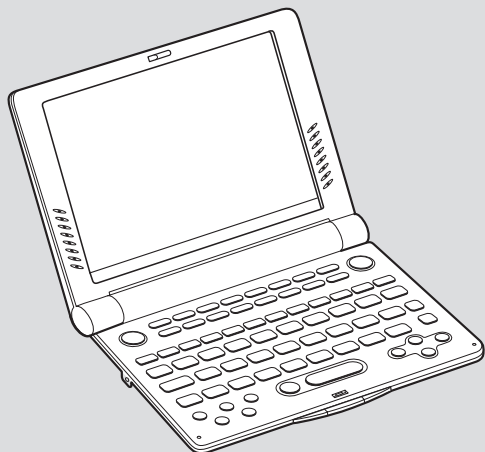


SHARP®

電子辞書 形名 PW-V8900

取扱説明書



お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ご使用前に「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。

この取扱説明書は、お客様ご相談窓口のご案内とともに、いつでも見ることができる場所に必ず保存してください。

よくあるご質問……281ページ

安全にお使いいただくために

この取扱説明書は、安全にお使いいただくための表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすると、けがをしたり財産に損害を受ける場合があります。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

図記号の意味



記号は、気をつける必要があることを表しています。



記号は、してはいけないことを表しています。



記号は、しなければならないことを表しています。

⚠ 注意

- 電池は誤った使いかたをすると、破裂や発火の原因となることがあります。また、液もれして機器を腐食させたり、手や衣服などを汚す原因となることがあります。以下のことをお守りください。
 - プラス“+”とマイナス“-”の向きを表示どおり正しく入れる。
 - 種類の違うものや新しいものと古いものを混ぜて使用しない。
 - 使えなくなった電池を機器の中に放置しない。
 - もれた液が目に入ったときはきれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断を受ける。障害をおこす恐れがあります。
 - もれた液が体や衣服についたときは、すぐに水でよく洗い流す。
 - 水や火の中に入れたり、分解したり、端子をショートさせたりしない。
 - 充電電池は使用しない。
 - 長期間使用しないときは、液もれ防止のため電池を取り外す。



◎イヤホンや別売のヘッドホンの取り扱いについて

⚠ 警告

事故を防ぐために、次のことをお守りください。

- 自動車やバイク、自転車などを運転中は、イヤホン・ヘッドホンを絶対に使わないでください。
- 歩行中は周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げ過ぎないでください。特に、踏切や横断歩道などでは、十分に気をつけてください。



⚠ 注意

- イヤホン・ヘッドホンで聞くとときは、音量の設定に十分気をつけてください。思わぬ大音量が出て、耳を痛める原因になることがあります。また、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。



◎コンテンツカードの取り扱いについて

⚠ 注意

- コンテンツカードの取り付け・取り外しをするときはカードの挿入口を顔のほうに向けしないでください。急に指を離すとカードが顔に向かって飛び出してくることがあります。



ご注意

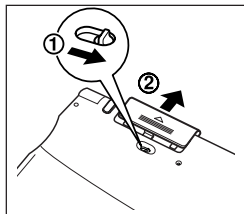
- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- お客様または第三者がこの製品および付属品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

初めてお使いになるときは

まず、乾電池を入れてからお使いください。

乾電池を入れる

1 本体裏面の電池ふたスイッチを“解除”側にします。

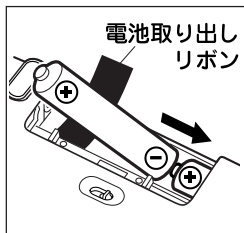


2 電池ふたを矢印の方向に水平に引いて外します。

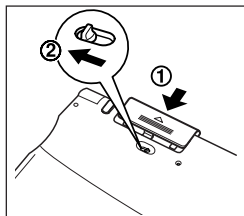
3 同梱されている乾電池を入れます。

向きをまちがえないように入れてください。

- リボンの上から電池を入れます。リボンの先端が電池の下に隠れないようにしてください。



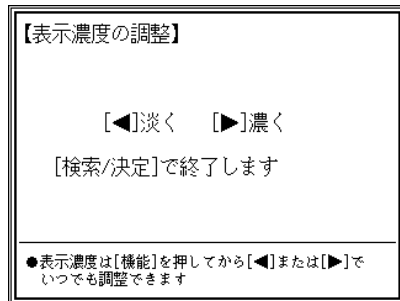
4 電池ふたをもとどおり水平に差しこんで取り付けます。



5 電池ふたスイッチを“ロック”側にします。

6 本体を開き(☞4ページ)、**入/切** キーを押して電源を入れます。

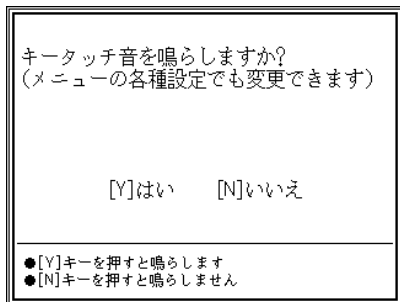
表示濃度の調整画面が表示されます。



- もし、違う画面が表示された場合は、276ページを参照して、リセット操作をしてください。
- もし、電源が入らないときは次の操作をしてください。
 - 電池ふたスイッチが“ロック”位置になっていることを確認して、もう一度**入/切** キーを押してください。
 - それでも電源が入らないときは、手順1~6の方法で電池を入れ直してみてください。

7 **淡く** (◀)、**濃く** (▶) キーを押して表示濃度を見やすい濃さに調整し、**検索/決定** を押します。キータッチ音(キーを押したとき“ピッ”と鳴る音)の設定確認画面が表示されます。

- 表示濃度は、どの画面でも調整することができます。(☞21ページ)



8 **は** **Y** または **N** キーを押して、鳴らす／鳴らさない
を選びます。

メインメニュー画面(コンテンツ[※]等選択画面：☞14
ページ)が表示されます。

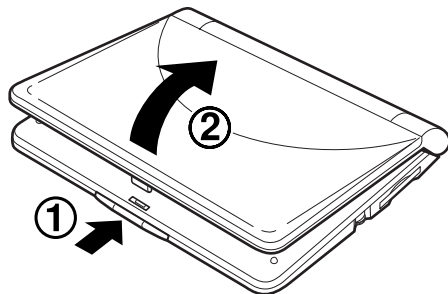
- キータッチ音の設定は後で切り変えることもできます。
(☞20ページ)

※ コンテンツ

コンテンツは文章などの内容や項目を指す言葉です。
収録されている辞書、書籍等を特定せずに示すとき「コ
ンテンツ」と記載します。

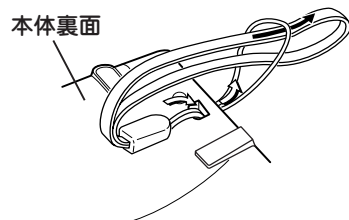
本体を開く

図のようにボタンを押して、本体を開きます。



市販のストラップを取り付けるときは
市販のストラップを取り付けることができます。
図のように裏面の取り付け穴に通して取り付けてください。

注) ストラップを取り付けて
ストラップを持って振り
回したり、強く引っばる
など、ストラップに過重
がかかる行為は行わない
てください。故障や破損
の原因となります。



本書でのキーの記載方法について

- 各キーは、基本的に枠()で囲んで表します。ただし便利計算機能の計算例の数字は枠で囲まずに記載します。
- 多くのキーには2種類以上の働きがあります。入力状態や使用している機能によって、選択できる文字や機能が異なります。本書では、そのとき使用する機能のみを記載しています。

例1: **W** は状況に応じ **W** または **か** と記載します。

例2: **例解** は状況に応じ **例/解説** または **Table**、**NOTE** と記載します。

例3: **検索/決定** は状況に応じ **検索/決定** または **=**、**W検索**、**機能** **登録** と記載します。

注: **機能** **登録** の記載は、**機能** キーを押して離れたあと、**登録** キーを押すことを示します。

- 緑色で書かれた機能は **機能** を押して離れたあと、それぞれのキーを押します。

例1: **機能** **削除** や **機能** **?** のように記載します。

オートパワーオフ機能

この製品は、電池の消耗を防ぐため、キー操作が一定時間ないと自動的に電源が切れます。この時間は最初5分間に設定されていますが、20ページの方法で変更することができます。




電源を入れる／切る

電源は、下記のキーで入れることができます。それぞれのキーで電源を入れたときの画面が次のようになります。なお、電源を切るときは **入/切** を押します。

電源を入れるキー	電源が入ったときの画面
入/切	電源が切れる前の画面に戻ります。 (レジューム機能) オープニング画面を表示するように設定している場合は、オープニング画面表示後、電源が切れる前の画面になります。 デモ(商品紹介)を設定している場合はデモの開始確認画面が表示されます(オープニング設定: 22ページ)。
メニュー	メインメニュー画面(コンテンツ等選択画面: 14ページ)になります。
一括検索 、 広辞苑 リーダーズ 大辞典 、 和英 ODE 、 OALD 英和活用 My辞書 、 カード 例文検索	それぞれのコンテンツや機能の最初の画面(入力画面など)になります。 (ダイレクトオン機能)

もくじ

安全にお使いいただくために	1
初めてお使いになるときは	3
乾電池を入れる	3
本体を開く	4
本書でのキーの記載方法について	5
電源を入れる／切る	5
使用上のご注意とお手入れ	11
各部のなまえとはたらき	12
画面表示について	13
表示シンボル	13
操作ガイドメッセージ(ヒント)	13
基本的な画面での操作のしかた	14
メインメニュー画面でコンテンツなどを選ぶ	14
すべてのコンテンツリスト(一覧)から選ぶ	15
リスト表示画面などでの項目の選択と画面送り	15
詳細画面などでの画面送り	16
オートスクロール機能での自動画面送り	16
画面の文字サイズを切り替えて見る	17
詳細画面を簡条書きで見る(早見機能を使う)	18
画面の文字を1行ごとに拡大して見る(ズーム機能)	19
候補の言葉の意味をちょっと見る(プレビュー表示)	19
各種設定	20
キータッチ音を入れる／切る	20
かな入力方法の切り替え	20
オートパワーオフ時間の設定	20
表示濃度を調整する	21
プレビュー表示の入/切の切り替え	21
音声再生速度の切り替え	21
電源を入れたときの画面(オープニング画面)を設定する	22

基本的な使いかた	23
文字の入力と修正のしかた	23
英語の入力方法	23
日本語の入力方法	24
入力した文字を修正する	25
読みやすperlを入れて検索する	27
読みやすperlの一部を省略して検索する	28
画面上に表示される「  」(タブ)の使いかたは	29
画面に  マークが表示されたときは	30
画面に  マークが表示されたときは(音声を聞く) ...	31
イヤホンで音声を聞くときは	32
一度調べた語を再度調べたいときは(しおりを使う)	33
くり返し見たい語を登録する(単語帳を使う)	33
辞書などを一括して調べる(一括検索)	34
画面内の語を調べる(Sジャンプを使う)	35
詳細画面から別の語を調べる(W検索を使う)	36
よく使うコンテンツはMy辞書に登録(My辞書設定)	38
リーダーズ英和&プラスを使う	39
英単語の意味などを調べる	39
英単語のスペルから検索する(絞り込み検索)	39
検索した単語をくわしく調べる	41
リーダーズで成句を調べる	42
スペルチェック機能を使う	42
はっきりわからないスペルで検索	42
英和大辞典を使う	44
英単語の意味などを調べる	44
英単語のスペルから検索する(絞り込み検索)	44

検索した単語をくわしく調べる	46
英和大辞典で成句を調べる	46
スペルチェック機能を使う	46
和英辞典を使う	47
日本語の英訳を調べる	47
読みを入力して検索する(絞り込み検索)	47
検索した語をくわしく調べる	48
英英辞典(ODE、OALD)を使う	49
英単語を検索する	49
英単語のスペルから検索する(絞り込み検索)	49
英英辞典(ODE、OALD)で成句検索を行う	51
スペルチェック機能を使う	51
Thesaurus(類語辞典)を使う	52
類語を検索する	52
英単語のスペルから検索する(絞り込み検索)	52
検索した単語をくわしく調べる	54
Thesaurus(類語辞典)で成句検索を行う	55
スペルチェック機能を使う	55
Collocations(連語辞典)を使う	56
連語を検索する	56
スペルを入力して検索する(絞り込み検索)	56
スペルチェック機能を使う	57
英和活用大辞典を使う	58
英単語から連語を調べる	58
英単語のスペルから検索する(絞り込み検索)	58
連語検索を行う	60

スペルチェック機能を使う	61
「TOEIC® テスト 英単語・熟語マスタリー2000」を使う	62
英単語を学習する	62
英単語や例文のテストをする	64
英単語を調べる	66
例文を音声で聞く	67
「TOEIC® テストの英文法」を使う	68
文法のテストをする	68
文法の知識を見る(Coffee break)	69
「このコンテンツについて」を見る	70
『語源で覚える「英単語」2000』を使う	71
英単語を探す	71
スペルから探す	71
語根から探す	72
接頭辞/接尾辞から探す	73
「語源で覚える英単語2000について」を見る	73
英会話とっさのひとこと辞典を使う	74
場面別に調べる	74
キーワードの読みまたはスペルから探す	76
英会話 Make it! を使う	77
日常生活でよく使う基本表現を調べる	77
さまざまな場面や状況での表現を調べる	78
索引で英会話の決まり文句を調べる	79
英文ビジネスレター事典を使う	80
キーワードで決まり文句を検索する	80

読みを入力して検索する(絞り込み検索)	80	読みを入力して検索する	99
英単語のスペルから検索する(絞り込み検索)	81	英単語のスペルから検索する	100
ビジネスレターの基礎知識を調べる	82		
モデルレターを調べる	82	「手紙文作成」を使う	102
ファクスやEメールのレターについて調べる	82	手紙文を作成する	102
広辞苑・逆引き広辞苑を使う	83	文例を作る	102
広辞苑を使う	83	作成した手紙文(文例)の保存は	103
読みを入力して検索する(絞り込み検索)	83	便利計算機能を使う	104
逆引き広辞苑を使う	85	消費税電卓で計算をする	104
分野別に調べる	86	消費税率を変更する	107
人名や作品名など、分野から探す	86	通貨換算をする	107
慣用句を調べる	88	通貨のレートを設定する	107
類語新辞典を使う	90	通貨を換算する	108
類語を調べる	90	単位換算をする	109
読みを入力して検索する(絞り込み検索)	90	年号計算をする	110
分類から検索する	92	年齢計算をする	112
パーソナルカタカナ語辞典を使う	94	年齢を調べる	112
カタカナ語/略語を検索する	94	生まれた年(誕生日)を調べる	114
カタカナ語を検索する(絞り込み検索)	94	ある年齢になる年を調べる	115
アルファベット略語を検索する(絞り込み検索)	95	複数のコンテンツを一括して検索する(一括検索)	116
漢字源を使う	96	「読み」や「スペル」で語を探す	116
漢字を検索する	96	あいまいな語を探す	118
漢字の検索条件を入力する	96	W検索機能を使う	119
検索した漢字の熟語を調べる	98	W検索機能の使いかた	119
例文検索を使う	99	Sジャンプ機能を使う	121
例文を検索する	99	Sジャンプ機能の使いかた	121

しおり・単語帳を使う	124
しおりの使いかた	124
しおりを削除する方法	125
単語帳の使いかた	126
単語帳に語を登録する	126
各コンテンツの画面から登録した語を見る	126
コンテンツ一覧から登録した語を見る	127
単語帳を削除(登録を解除)する方法	128
よく使う辞書などをMy辞書に登録する(My辞書設定)	129
My辞書の設定と使いかた	129
辞書などをMy辞書に登録する	129
辞書などの登録を解除する	130
My辞書を使う	130
カードの使いかた	131
カードの取り付けかた／取り外しかた	131
カードを取り付ける	131
カードを取り外す	132
内蔵コンテンツのデータについて	133
リーダーズ英和辞典／リーダーズ・プラス	134
ジーニアス英和大辞典	148
ジーニアス和英辞典(第2版)	159
OXFORD英英辞典(ODE)	165
OXFORD現代英英辞典(OALD)	178
OXFORD Thesaurusガイド(類語辞典)	196
OXFORD Collocationsガイド(連語辞典)	200
英和活用大辞典	205

英文ビジネスレター事典	214
岩波書店 広辞苑(凡例)	215
広辞苑(付表、図)	220
類語新辞典(凡例)	260
学研 パーソナルカタカナ語辞典	268
漢字源(JIS版)	270
参考	273

参考にしてほしいこと **274**

電池交換のしかた	274
使用している電池	274
電池の交換時期	274
電池の交換手順	275
異常が発生したときの処理	276
リセット操作	276
異常を知らせるメッセージが表示されたときは	276
ローマ字→かな変換表	277
仕様	279
アフターサービスについて	280
保証について	280
補修用性能部品の保有期間	280
修理を依頼されるときは	280
お問い合わせは	280
よくあるご質問	281
保証書(保証規定)	284
故障かな?と思ったら	286

この製品に収録されている内容は、下記の辞書・書籍にもとづき編集しています。

『広辞苑 第五版』※1 岩波書店 (1998年11月発行)
(Copyright © Iwanami Shoten, Publishers, 1998-2004)
『逆引き広辞苑 第五版対応』 岩波書店 (1999年10月発行)
(Copyright © Iwanami Shoten, Publishers, 1999-2004)
『類語新辞典』角川書店 (1981年1月発行)
(Copyright © Susumu Ōno/Masando Hamanishi 1981)
『パーソナルカタカナ語辞典』学研 (1999年10月発行)
(Copyright © Gakken, 1999)
『漢字源(JIS版)』※2 学研 (2002年4月発行)
(Copyright © Gakken, 2003)
『リーダーズ英和辞典 第2版』 研究社 (1999年5月発行)
(Copyright © Kenkyusha Ltd., 1999-2003)
『リーダーズ・プラス』 研究社 (1994年6月発行)
(Copyright © Kenkyusha Ltd., 1994-2003)
『ジーニアス英和大辞典』大修館書店 (2001年4月発行)
(Copyright © KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei & Taishukan, 2001-2003)
『ジーニアス和英辞典 第2版』 大修館書店 (2003年12月発行)
(Copyright © KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei & Taishukan, 2003)
『Oxford Dictionary of English 第2版』 (2003年8月発行)
(Oxford Dictionary of English 2e © Oxford University Press 2003)
『OXFORD 現代英英辞典 第6版』 (2000年4月発行)
(Oxford Advanced Learner's Dictionary © Oxford University Press 2000)

『OXFORD Thesaurus』 (2002年7月発行)
(Concise Oxford Thesaurus 2e © Oxford University Press 2002)
『OXFORD Collocations』 (2002年4月発行)
(Oxford Collocations Dictionary for Students of English © Oxford University Press 2002)
『新編 英和活用大辞典』 研究社 (1995年7月発行)
(Copyright © 1995, 2004 株式会社研究社)
『TOEIC®テスト 英単語・熟語マスタリー2000』 旺文社 (2003年8月発行)
(Copyright © obunsha)
『5日間で攻略する TOEIC®テストの英文法』 PHP研究所 (2001年8月発行)
(Copyright © Naomi Koike 2001)
『語源で覚える「英単語」2000』 PHP研究所 (2002年6月発行)
(Copyright © Naomi Koike 2002)
『英会話とっさのひとこと辞典』 DHC (1999年3月発行)
(Copyright © Ichiro Tatsumi, Sky Heather Tatsumi, 1998)
『英会話 Make it! 基本表現編』 語学春秋社 (2001年4月発行)
『英会話 Make it! 場面攻略編』 語学春秋社 (2001年6月発行)
(Copyright © Gogaku Shunjusha Co., Inc., 2001)
『英文ビジネスレター事典』三省堂 (1999年5月発行)
(Copyright © Sanseido Co., Ltd. 2001)

※1 この製品に収録されている『広辞苑 第五版』には、新行政府名称などが増補されています。

※2 書籍版「改訂新版 漢字源」にもとづいて「漢字源 JIS 漢字版」として編集したものです。

- 「広辞苑」は岩波書店の登録商標です。
また、本書中の社名や商品名は各社の登録商標または商標です。
- TOEIC is a registered trademark of Educational Testing Service (ETS).
This (publication/product/website) is not endorsed or approved by ETS.

-  SDロゴは商標です。

お願い

この製品に収録されている各コンテンツの内容は、基本的に書籍版の内容を変更することなく収録しておりますので、書籍版に誤字／脱字を含む記載誤りがあるものは、そのまま収録されている場合がありますがご了承ください。

使用上のご注意とお手入れ

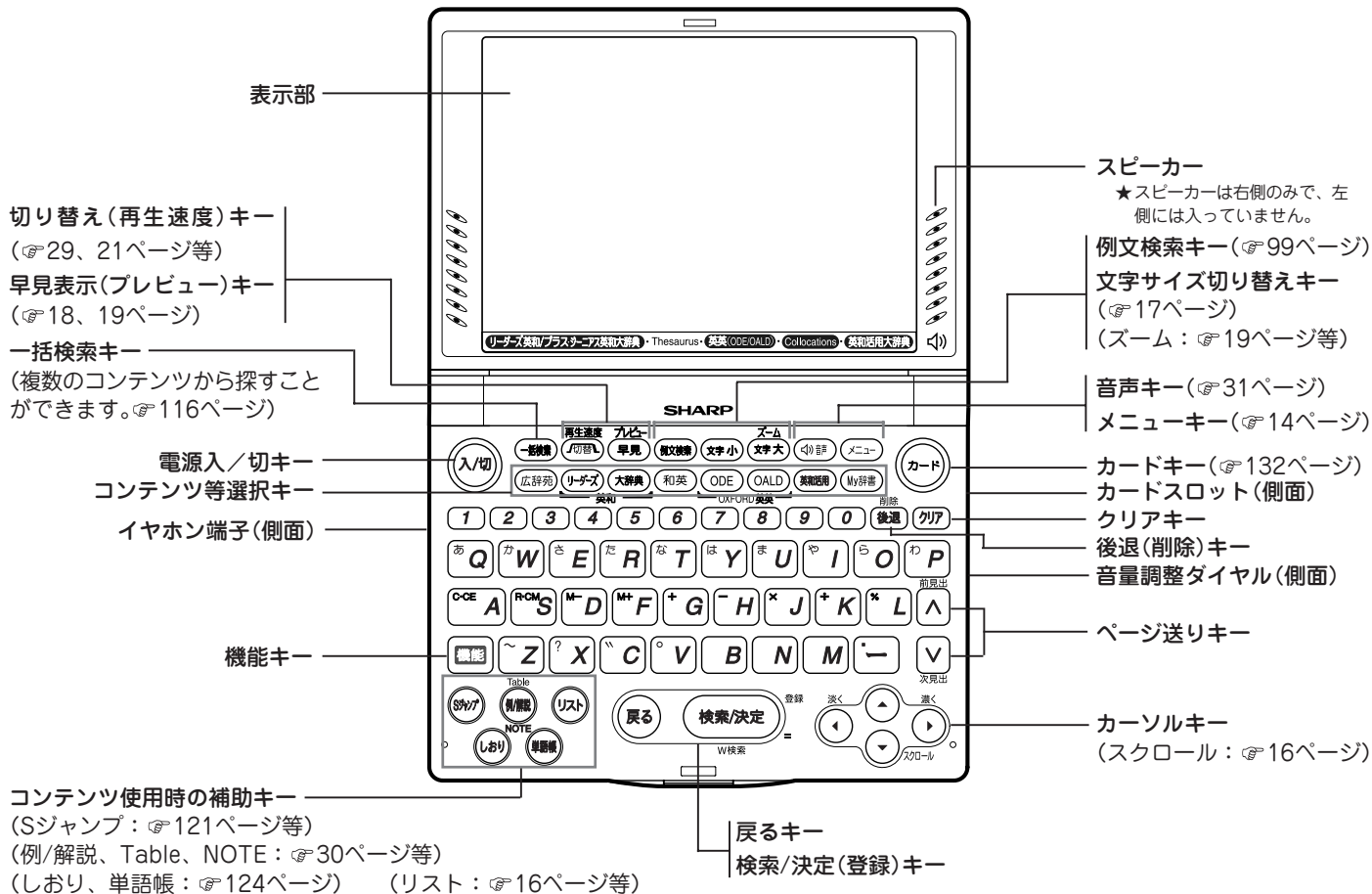
- 製品をズボンのポケットに入れたり、落としたり、強いショックを与えたりしないでください。
大きな力が加わり、液晶表示部が割れたり、本体が破損することがあります。
特に満員電車の中などでは、強い衝撃や圧力がかかる恐れがありますので注意してください。
- ポケットやカバンに、硬いものや先のとがったものと一緒に入れないでください。
傷がついたり、液晶表示部が割れたりすることがあります。
- 日の当たる自動車内・直射日光が当たる場所・暖房器具の近くなどに置かないでください。
高温により、変形や故障の原因になります。
- 表示部を強く押さないでください。割れることがあります。
キーを爪や硬いもの、先のとがったもので操作したり、必要以上に強く押さえないでください。
キーを傷めることがあります。
- 防水構造になっていませんので、水など液体がかかる場所での使用や保存は避けてください。
雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。
- お手入れは、乾いたやわらかい布で軽くふいてください。
シンナーやベンジンなど、揮発性の液体やぬれた布は使用しないでください。変質したり色が変わったりすることがあります。
- 電子辞書の電源が入ったままで、別売のカードの抜き差しはしないでください。
データの消失や故障の原因になります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオ、テレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。そのようなときは、次の点にご注意ください。

- この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。





各部のなまえとはたらき



画面表示について

表示シンボル

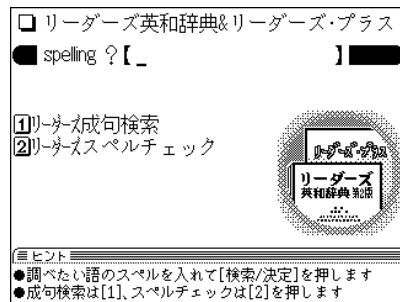
画面の端などに表示される表示シンボルは、製品の状態などを示します。

シンボル	意味
	画面の右上に表示され、電池が消耗していることを示します。速やかに新しい電池と交換してください。(274ページ)
	画面の右上に表示され、矢印の方向に、まだ表示されていないデータがあることを示します。 ▼、▲ : 1行ずつ画面を送ります。 ▽、△ : 1画面ずつ画面を送ります。
	ズームウィンドウ(19ページ)内で表示されていないデータがあります。 ▶、◀ : 内容を左右に送ります。
	このシンボルは画面の左上に表示されます。 機能 が押されたことを示し、キーボード上の緑色で書かれた機能を選択できます。 (状況により選択できない機能があります。)

操作ガイドメッセージ(ヒント)

画面下に操作ガイドメッセージが表示されることがあります。

操作ガイドメッセージには、状況に応じた簡単な使いかたが記載されています。操作が分からなくなったときなどに利用します。



操作ガイドメッセージ(例)

基本的な画面での操作のしかた

ここでは、各コンテンツを使用するために必要な、基本的な画面送りや、項目などの選択の方法を説明します。

メインメニュー画面でコンテンツなどを選ぶ

メニュー を押してください。

メインメニュー画面が表示されます。



メインメニュー画面
(コンテンツ等選択画面)

個別メニュー

分類メニュー

メインメニューの動作

メインメニュー画面では、画面の左側および下側に、2桁の番号(00～05)がついた分類メニューが表示されます。

メニュー を押してメインメニュー画面にしたときは、分類メニューの先頭の「00 英語系1」が選ばれ、数字が反転表示(白黒反転)されています。

▼ や ▲ を押すと数字の反転表示(カーソルと呼びます)が移動して、選ばれている項目が変わります。

なお、00～03 が選ばれているときは、その項目に含まれているコンテンツなどが右側の個別メニューに表示されます。

メニューの選びかた

● カーソルキーと **検索/決定** で選ぶ

1 ▼、▲ で、分類メニューの選択したい項目にカーソル(数字の反転表示)を移し **検索/決定** を押します。

00～03 の項目を選んで **検索/決定** または ▶ を押したときは、カーソルが個別メニューに移動します。

● カーソルを分類メニューに戻すときは ◀ を押します。

04～05 の項目を選んで **検索/決定** を押したときは、各種設定画面やMy辞書画面が表示されます。

2 個別メニューにカーソルがあるときは ▼、▲ で、使いたいコンテンツを選び **検索/決定** を押します。

選んだコンテンツの画面が表示されます。

● 数字キーで選ぶ

1 分類メニューの各項目の左側の数字(00、01～05)に対応するキー(0 0、0 1～0 5)を押して選びます。

00～03 の項目を選んだときは、選んだ項目の個別メニューにカーソルが表示されます。

04～05 の項目を選んだときは、各種設定画面やMy辞書画面が表示されます。

2 個別メニューでは、使いたいコンテンツの左側の数字、英字に対応するキーを押します。

選んだコンテンツの画面が表示されます。

● 個別メニューにカーソルがあるとき、**戻る** または **◀** を押すと、カーソルが分類メニューに戻ります。

◆ 本書では、「数字キーで選ぶ」方法で説明を行います。

すべてのコンテンツリスト(一覧)から選ぶ

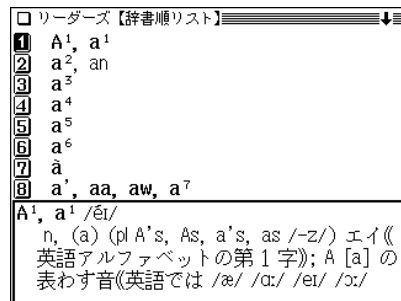
メニュー **0** **3** **4** と押すと、すべてのコンテンツリスト(一覧)が表示されます。



▼、**▲**、**▶**、**◀** で選択したいコンテンツにカーソル(数字の反転表示)を移し **検索/決定** を押すか、左側の数字に対応する数字キーを押すとコンテンツの画面になります。

リスト表示画面などでの項目の選択と画面送り

メニュー **0** **0** **1** と押し、**検索/決定** を押してください。リーダーズ英和辞典のリスト(一覧表示)画面になります。



リスト画面(見出し語(辞書順)リスト)

←プレビューウィンドウ(☞19ページ)

各項目(各語)を選択する方法

数字キーで選ぶか、**▼**、**▲** でカーソル(数字の反転表示)を目的の項目へ移動させて **検索/決定** を押します。

画面を送って別の内容を見る方法

画面の右上に**↓**や**↑**シンボルが表示されたときは画面外に隠れている内容があります。

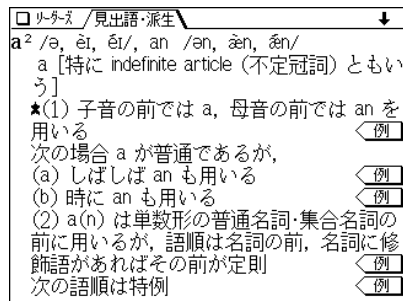
(1) **▼**、**▲** でカーソルを1行ずつ移動させていくと、最下(上)行以降は画面が送られます。

(2) **▽**、**△** で、1画面分ずつ画面が送られます。

● **▼**、**▲** や **▽**、**△** を押したままにすると、連続して画面が送られます。

詳細画面などでの画面送り

前ページの見出し語リスト画面で **(2)** を押してください。
「a², an」(見出し語)の詳細画面に訳語が表示されます。



詳細画面(1件表示画面)

画面を送って隠れている内容を見る

画面の右上に“↓”や“↑”シンボルが表示されたときは画面外に隠れている内容がありますので **(▼)**、**(▲)** または **(▽)**、**(△)** で画面を送って内容を見ます。

次(前)の見出し語の内容を見る

(機能) (▼) (**(機能) (△)**) と押すと並び順で次(前)の見出し語などが表示されます。

その他の操作

- (戻る)** …… 前の画面に戻ります。
- (クリア)** …… 各コンテンツの入力画面などに戻ります。
- (リスト)** …… 表示していた見出し語などから始まる収録順のリスト(一覧表示)画面になります。

オートスクロール機能での自動画面送り

画面の右上に“↓”や“↑”シンボルが表示されたときは **(▼)**、**(▲)** または **(▽)**、**(△)** で画面を送って内容を見ることができ、オートスクロール機能を使って、自動的に画面を送ることもできます。

“↓”シンボルが表示されている画面で、**(機能) (スクロール) (▼)** と押すと順方向に1行分ずつ自動的に画面(カーソル)が送られていきます。

順方向に送られているとき、**(▽)** を押すとスピードが速くなり、もう一度押すと元の速さに戻ります。

目的の語や内容が表示されたときは **(検索/決定)** を押して自動送りを止めます。

逆方向に送るときは、順方向に送られているとき **(△)** を押します。

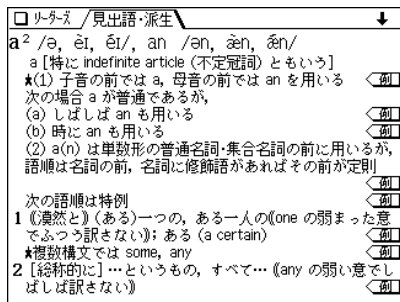
逆方向に送られているとき、**(△)** を押すとスピードが速くなり、もう一度押すと元の速さに戻ります。

なお、送られている方向と逆のキー(**(▽)** または **(△)**) を押せば、送り方向を変更することができます。

画面の文字サイズを切り替えて見る

右の表で示すコンテンツでは **文字小**、**文字大** を押すと表示される文字の大きさが切り替わります。

例えば、前ページの詳細画面で **文字小** を押すと文字が小さくなり、**文字大** を押すと文字が大きくなります。



12ドット文字での表示例

● 文字サイズは、次に切り替えるまで保持されます。

◆ この製品では、9ドットの文字に縦、横1ドットずつの空白領域を含めた「10×10ドットLCフォント」を採用しています。LCフォントは、シャープ株式会社から液晶表示画面で見やすく、読みやすくなるように設計したフォントです。

グループ	切り替え可能画面	文字サイズ (ドット)
第1群コンテンツ (🔍次ページ)	詳細(1件表示)画面	16↔12↔9 ↓ 24↔48
	リスト画面*1	16↔12
第2群コンテンツ (🔍次ページ)	詳細(1件表示)画面	16↔12↔9 ↓ 24
	例・解説、NOTEウィンドウ等*2	
	リスト画面*1	16↔12↔9
手紙文作成	詳細(1件表示)画面	16↔24
ジャンプウィンドウ W検索ウィンドウ*3	詳細画面	12↔9 ↓ 16↔24
	リスト画面	16↔12↔9*4
便利計算(年号計算)	詳細(1件表示)画面	16↔12
	リスト画面	

文字サイズは、各グループごとに詳細画面/リスト画面それぞれで保持します。

※1 しおりや単語帳のリスト画面を含みます。また、リスト画面にプレビューウィンドウが表示されている場合は、その文字サイズも含みます。

※2 例、解説ウィンドウはリーダーズ英和&プラス、英和大辞典、和英辞典、英和活用大辞典で表示されます。

NOTEウィンドウは英英辞典(OED、OALD)、連語辞典(Collocations)で表示されます。

また、類語辞典(Thesaurus)ではTableウィンドウが表示されます。

※3 W検索ウィンドウの入力画面は16ドット文字固定です。

※4 英語によるジャンプおよび検索でのみ9ドット文字で表示できます。

〈第1群コンテンツ〉

広辞苑&逆引き広辞苑
漢字源^{※5}

類語新辞典

〈第2群コンテンツ〉

リーダーズ英和&リーダーズ・プラス

英和大辞典

和英辞典

英英辞典(ODE、OALD)

Thesaurus(類語辞典)

Collocations(連語辞典)

英和活用大辞典

TOEIC®テストマスターリー^{※6}

TOEIC®テストの英文法

語源で覚える英単語

英会話とっさのひとこと辞典

英会話Make it!

英文ビジネスレター事典

パーソナルカタカナ語辞典

※5 漢字源では、詳細画面の見出し漢字は48ドット文字に固定されます。また、熟語詳細画面の見出し漢字は24ドットより小さい文字では表示されません。漢字リスト画面は切り替えできません。

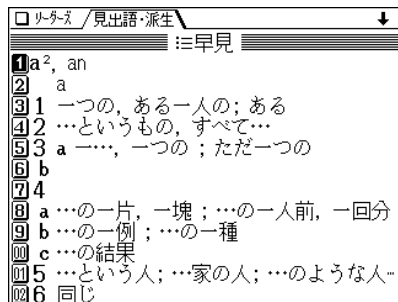
※6 TOEIC®テストマスターリーでは、詳細画面は16ドット文字に固定されます。

詳細画面を簡条書きで見る(早見機能を使う)

詳細画面の例文や補足説明などを省略し、意味などを簡条書きで表示させることができます。概略だけを素早く見たいときなどに、お使いいただけます。

【例題】詳細画面を早見表示させてみましょう。

1 16ページの詳細画面で **早見** を押します。
早見画面が表示されます。



早見 を押すと、詳細画面と早見画面が交互に切り替わりま

2 見たい語(意味)を表示させて数字キーで選ぶと、その語(意味)を先頭に表示した詳細画面になります。

早見機能が使えるのは

下記を除くコンテンツの詳細画面で使用することができます。(コンテンツによっては一部早見表示できない詳細画面があります。)

TOEIC®テスト 英単語・熟語マスターリー2000

英和/英英辞典の成句検索

(手紙文作成)

広辞苑の分野別の慣用句

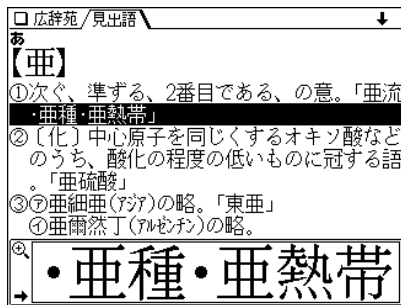
(便利計算)

パーソナルカタカナ語辞典

画面の文字を1行ごとに拡大して見る(ズーム機能)

〔広辞苑〕 **〔検索/決定〕** **〔5〕** と押し、**〔機能〕** **〔ズーム〕** を押してください。画面下にズームウィンドウ(窓)が表示されて、対象行の文字が最大の文字サイズで表示されます。

〔▼〕、**〔▲〕** で行を選び、**〔▶〕**、**〔◀〕** で左右に送って見たいところを表示させます。



ズームウィンドウ

- ズームウィンドウ内は“→”、“←”シンボルの表示に従って **〔▶〕**、**〔◀〕** で1文字ずつ左右に送ることができます。また **〔▼〕**、**〔▲〕** で1行ずつ送ることができます。
- ウィンドウを閉じるときは **〔戻る〕** を押します。

ズームができるのは

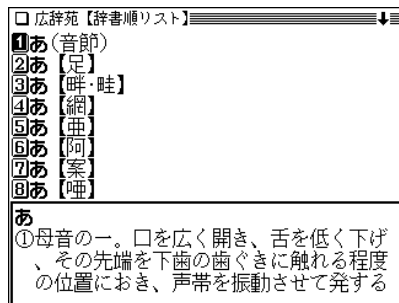
広辞苑・逆引き広辞苑 類語新辞典
漢字源 手紙文作成機能
の各詳細画面で使用することができます。

候補の言葉の意味をちょっと見る(プレビュー表示)

用語を調べるとき、多くの言葉がリスト表示されて目的の言葉がどれか迷うことがあります。

このようなときに、ちょっと説明などを見る機能です。

〔広辞苑〕 **〔検索/決定〕** と押してください。広辞苑の辞書順リストが表示され、先頭の言葉の説明の一部が下側の窓(プレビューウィンドウ)に表示されます。もし、窓を表示しないときは **〔機能〕** **〔プレビュー〕** と押してください。



←カーソルがある言葉

←プレビューウィンドウ

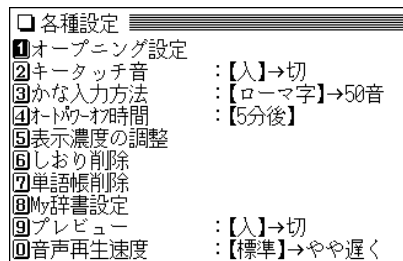
カーソルがある語の説明の先頭部分を表示

- **〔▼〕**、**〔▲〕** でカーソルを別の語へ移すと、その語の説明などが表示されます。
- **〔機能〕** **〔プレビュー〕** と押すたびにプレビュー表示の入(あり)/切(なし)が切り替わります。プレビュー表示入(あり)のときは、リスト画面にプレビューウィンドウが表示されます(漢字源や、タイトルなどの項目を選んでいく形式のリスト画面、窓(ウィンドウ)に表示されるリスト画面などを除く)。
- プレビュー表示の入/切は21ページの方法でも切り替えることができます。

各種設定

ここでは、使いやすく設定を変える方法を説明します。

メニュー を押し、**0** **4** と押してください。各種設定のリスト画面が表示されます。



各種設定の
リスト画面

各項目を **1** ~ **0** で選んで設定や切り替えを行います。

- オープニング画面の設定は22ページを参照ください。
- しよりの削除方法は125ページを参照ください。
- 単語帳の削除方法は128ページを参照ください。
- My辞書の設定方法は129ページを参照ください。

キータッチ音を入れる／切る

キーを押したとき「ピッ」と鳴るキータッチ音の「入」、「切」を切り替えます。

- 1** 各種設定のリスト画面で **2** を押します。
キータッチ音が「入」から「切」へ、または「切」から「入」へ切り替わり(メッセージを一時表示して)、メインメニュー画面に戻ります。

かな入力方法の切り替え

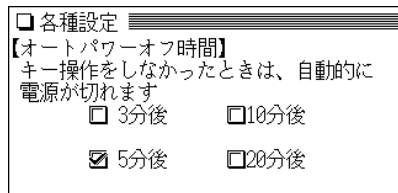
ひらがなの入力方法をローマ字かな入力方式から50音かな入力方式に(またはその逆に)切り替えることができます。

- 1** 各種設定のリスト画面で **3** を押します。
入力方法が切り替わり(メッセージを一時表示して)、メインメニュー画面に戻ります。(初期状態では「ローマ字かな入力方式」になっています。)

オートパワーオフ時間の設定

この製品は、キー操作がなかったとき自動的に電源が切れる時間を下記の方法で設定できます。(初期状態では「5分」に設定されています。)

- 1** 各種設定のリスト画面で **4** を押します。
オートパワーオフ時間設定画面になります。

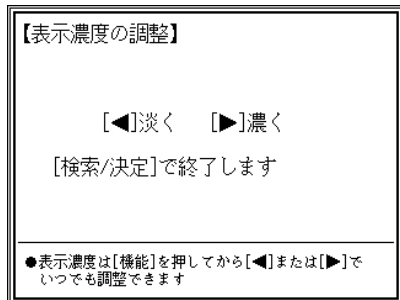


- 2** **▲**、**▼**、**◀**、**▶** で“✓”を移動させて時間を選び、**検索/決定** を押します。
時間が設定され、メインメニュー画面に戻ります。

表示濃度を調整する

画面の表示濃度を調整します。

- 1 各種設定のリスト画面で **5** を押します。



- 2 **◀**(淡く)、**▶**(濃く)で見やすい濃さに調整して **検索/決定** を押します。
メインメニュー画面に戻ります。

- 表示濃度の調整は各画面で、**機能** **◀**、**機能** **▶** と何回か押しても調整できます。
機能 を押して離れた後、**◀** または **▶** を押したままにすると、濃度が連続的に変わっていきます。

プレビュー表示の入/切の切り替え

プレビュー表示(☞19ページ)の入(あり)/切(なし)を切り替えます。

- 1 各種設定のリスト画面で **9** を押します。

プレビュー表示が「入」から「切」へ、または「切」から「入」へ切り替わり(メッセージを一時表示して)、メインメニュー画面に戻ります。(初期状態では「入」になっています。)

- プレビュー表示ができるリスト(一覧)画面で **機能** **プレビュー** と押しても、プレビュー表示の入/切が切り替わります。

音声再生速度の切り替え

音声を再生できるコンテンツでの、再生の速度を切り替えます。

- 1 各種設定のリスト画面で **0** を押します。

再生速度表示が「標準」から「やや遅く」へ、または「やや遅く」から「標準」へ切り替わり(メッセージを一時表示して)、メインメニュー画面に戻ります。(初期状態では「標準」になっています。)

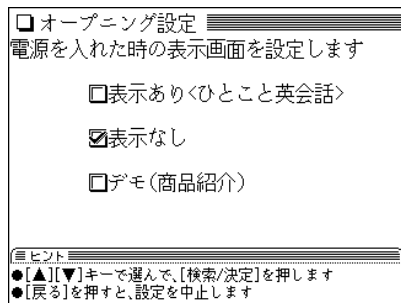
- 音声再生できる画面(**🔊**を表示)で **再生速度** を押しても、再生速度が切り替わります。(☞31ページ)

電源を入れたときの画面(オープニング画面)を設定する

入/切 を押して電源を入れたときに一定時間表示される画面(オープニング画面)を設定することができます。(初期状態では「表示なし」に設定されています。)

- 表示あり** : 「ひとこと英会話」*を表示します。
表示なし : 電源が切れる前の画面を表示します。
デモ(商品紹介) : 商品の紹介をデモ形式で表示します。

1 **メニュー** **0** **4** と押し、**1** を押してオープニング設定画面にします。



2 **▲**、**▼** で“✓”を移動させてオープニングの設定を選び、**検索/決定** を押します。

- 「表示あり」、「表示なし」を選んだ場合は、メインメニュー画面が表示されます。
- 「デモ(商品紹介)」を選んだ場合は、デモの開始確認画面が表示されます。この画面で **Y** を押すとデモが始まります。

また、**N** を押すとメインメニュー画面になります。次回から **入/切** で電源を入れるとデモの開始確認画面が表示されるようになります。

オープニング画面を停止してコンテンツを使いたいときは オープニング画面表示中にコンテンツ等選択キーや **クリア** キーなど、いずれかのキーを押します。

オープニング画面を表示しないようにするには 手順2で「表示なし」を選んで **検索/決定** を押します。

※ オープニング画面で表示される「ひとこと英会話」の内容は、英会話 Make it! から抜粋したものです。

基本的な使いかた

ここでは、辞書など(コンテンツ)で調べるための文字の入れかたや、全体に関する機能などの基本的な使いかたを説明します。

文字の入力と修正のしかた

英語の入力方法

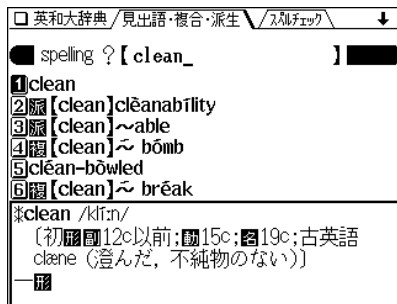
次の例題で文字の入力のしかたを練習しましょう。入れまちがえたときは25ページを参照して直してください。

【例題】「clean」と入れましょう。

- 1 **メニュー** (0) (0) (2) と押して英和大辞典にします。
(**大辞典**) を押してもよい)

2 「clean」と入れます。

C L E A N と押します。



- 新しい言葉を引くときは、**クリア** を押して前に入れた文字をすべて消します。

スペル入力時の参考

1. 見出し語にスペース、「-」、「'」、「/」、「.」などがある場合、これらは省いて入力し、検索します。
(例) fast food → fastfood で検索する
weak-kneed → weakkneed で検索する
let's → lets で検索する
2. 見出し語が大文字の場合も、小文字で検索します。
(例) AC → ac で検索する
USA → usa で検索する
3. 数字は英語のスペルで検索します。
(例) 18 → eighteen で検索する
4. 「&」は「and」と入力します。

日本語の入力方法

日本語の入力方式は、「ローマ字かな入力方式」と「50音かな入力方式」の2種類があり、最初は「ローマ字かな入力方式」になっています。入力方式を切り替えるときは **メニュー** **0** **4** **3** と押します。(☞20ページ)

次の例題で文字の入力のしかたを練習しましょう。

- 入れまちがえたときは25ページを参照して直してください。

【例題】「じゅんぷう」と入れましょう。

1 **メニュー** **0** **2** **1** と押して広辞苑&逆引き広辞苑にします。(**広辞苑** を押してもよい)

2 「じゅんぷう」と入れます。

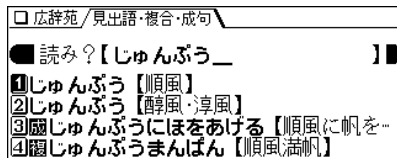
ローマ字かな入力の場合：

J U N (N) P U U

50音かな入力の場合：

さ さ 〃 や や や や や わ わ わ わ わ
は は は 〃 あ あ あ ▶

- **〃** は **C** キー、**〃** は **V** キーです。



- 50音かな入力では、最後の文字を入れた後、**▶** を押して文字を確定させます。
- 新しい言葉を引くときは、**クリア** を押して前に入れた文字をすべて消します。

ローマ字かな入力方式での入力について

ローマ字のスペルでひらがなを入力する方法は、「ローマ字→かな変換表」(☞277ページ)を参照してください。

- めは **W Y I**、ゑは **W Y E** と押して入れます。

50音かな入力方式での入力について

50音によるひらがなの入力には次の操作で行います。

例えば **あ** を1回押すと“あ”が表示されます。続けて **あ** を押していくと

あ→い→う→え→お→あ→い→う→え→お→あ……

と表示が変わります。

入力したい文字を表示させて、次の文字を入れるか、**▶** を押すと入力文字が確定されます。

1. 濁音は清音の後に〔 〃 〕を、半濁音は清音の後に〔 〇 〕を押して入れます。

ざっぴ → ざ　　っ　　ぴ
さ　〃　た　た　た　た　た　た
　　〃　　〃　　〃　　〃　　〃
は　は　〇　(▶)

2. 同じ行(あ行など)の文字を続けて入れるときは、〔▶〕で文字を確定させます。

あ　　あ　　あ　　あ　　あ　　あ　　あ　　あ
あ　▶　あ　▶　あ　▶　あ　▶　あ　▶　あ　▶
文字を確定させる

3. 拗(よう)音、促(そく)音は、それぞれの文字が含まれる行の後ろに収録されています。また、ゐ、ゑ、およびんは、わ行に収録されています。

〔あ〕 …… : あ → い → う → え → お → あ → い →
う → え → お → あ ……
〔た〕 …… : た → ち → つ → て → と → っ → た ……
〔や〕 …… : や → ゆ → よ → や → ゆ → よ → や ……
〔わ〕 …… : わ → ゐ → ゑ → を → ん → わ → わ ……

4. 長音符は、〔ー〕を押して入れます。

(例) あーち →

スペースやアポストロフィ(')、ハイフン(ー)は入る？

スペースやアポストロフィ(')、ハイフン(ー)は入れることができません。探したい語にこれらの文字・記号がある場合は、省いて入力してください。

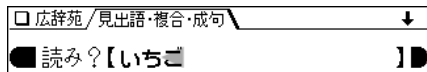
入力した文字を修正する

広辞苑の入力画面で、入力した文字の修正のしかたを練習しましょう。

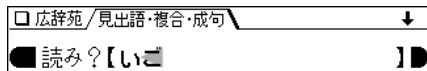
余分な文字を削除する

【例題】「いちご」を「いご」に直してみましよう。

- 1 広辞苑の入力画面で「いちご」を入れます。
- 2 ◀ で“いちご”の“ご”にカーソルを移します。



- 3 〔後退〕を押します。
“ち”(カーソルの前の文字)が削除されます。



カーソル位置の文字を削除する

カーソル位置の文字は と押すと削除されます。

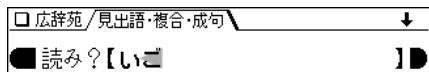
入力した文字をすべて削除する

を押すと入力した文字がすべて削除されます。

文字を追加する

【例題】「いご」を「いちご」に直してみましょう。

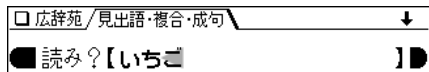
1 ◀ で“いご”の“ご”にカーソルを移します。



- カーソルのある文字の前に新たな文字を追加できます。

2 “ち”を入力します。

“ち”が追加されます。



- 50音かな入力でカーソル(◀または_)が表示されないときは ▶ を押して表示させてください。

読みやスペルを入れて検索する

ここでは基本的なコンテンツ(辞書など)の引きかたを説明します。

広辞苑や和英辞典では見出し語の読みを入れて目的の語を探し、英和辞典や英英辞典ではスペルを入れて目的の語を探して、その内容を見ます。

読みなどの文字を入力していくと、その文字が先頭に含まれる見出し語を検索してリスト(一覧)表示します。

リストに表示された見出し語(候補)から、目的の語を選んで、その説明内容(意味など)を見ることができます。

入力した文字が一字増えるたびに検索を行って、候補になる見出し語を絞り込んでいきます(絞り込み検索)。

【例】 広辞苑で「ひまわり」(向日葵)を調べる場合

1 広辞苑の入力画面で「ひま」と入れます。

「ひま」を先頭に持つ語が候補としてリスト表示されます。

□ 広辞苑 / 見出語・複合・成句 \	↓
● 読み?【ひま_	】▶
①ひま【隙・暇・閑】	
②ひま【藪麻】	
③ひまあき【暇明き・隙明き】	
④ひまいり【日参り】	
⑤ひまいり【隙入り】	
⑥ひまおしみ【隙惜しみ】	
ひま【隙・暇・閑】	
①物と物との間の透いたところ。すきま。 すき。源氏物語(帚木)「見ゆやと思せど一 しなれば、しばし聞き給ふに」	

2 続いて「わり」と入れます。

候補が絞り込まれて表示されます。

□ 広辞苑 / 見出語・複合・成句 \	
● 読み?【ひまわり_	】▶
①ひまわり【日回り・向日葵】	
②ひまわり【火回り】	
③闊ひまわりそう【日回り草】	

3 数字キー(ここでは①)で目的の語を選びます。

詳細画面になり、意味などが表示されます。

- **戻る** を押すと前の画面に戻ります。
- **リスト** を押すと収録(辞書)順のリスト表示になります。
- **クリア** を押すと入力前の画面に戻ります。

◆ 辞書などの検索は、上記以外の方法で行われる場合があります。

例えば、一括検索では上記の絞り込み検索と、入力した読みまたはスペル(単語)と完全に一致する見出し語を検索する完全一致検索とを切り替えることができます。

英和辞典の成句検索では、入力したキーワード(単語)を含む成句(熟語)が検索されます。

くわしくはそれぞれの辞書などの説明を参照ください。

注：検索する語によっては、検索に時間がかかることがあります。

読みやスペルの一部を省略して検索する

(“?”や“~”を使う)

読みや単語の一部を“?”(ワイルドカード)または“~”(ブランクワード)に置き換えて検索することで、はっきりしない語も探すことができます。

ワイルドカード: “?”は文字数がわかっているとき、不明な文字の代わりに入力します。

(読み: 最大12個、スペル: 最大19個)

(例) 「う????ざくら」 「se????y」

ブランクワード: “~”は文字数もわからないとき、複数の文字の代わりに1個だけ入力します。

(例) 「う~ざくら」 「se~y」 「~men」

- “?”は先頭に使えません。“~”は最後に使えません。
- “?”と“~”を同時に使うことはできません。
- “?”は **機能** (?) (**X**)、 “~”は **機能** (~) (**Z**) と押して入れます。

◆ “?”または“~”は次の辞書などで使えます。

リーダーズ英和&リーダーズ・プラス

英和大辞典 和英辞典

英英辞典(ODE、OALD) Thesaurus(類語)

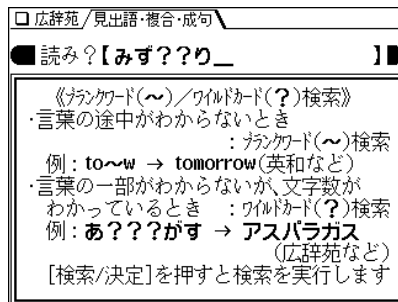
Collocations(連語) 英和活用大辞典

英文ビジネスレター事典 広辞苑

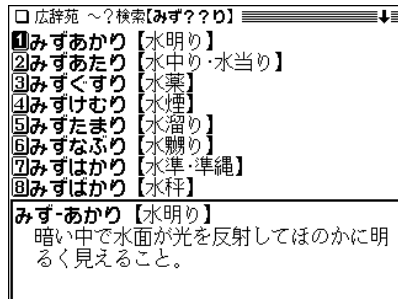
類語新辞典 パーソナルカタカナ語辞典

【例題】 広辞苑で「みず? ?り」と入れて探してみましょう。

1 広辞苑の入力画面で「みず? ?り」と入れます。



2 **検索/決定** を押して検索します。





3 目的の語を数字キーで選択します。


詳細画面になり、意味などが表示されます。

- **戻る** を押すと前の画面に戻ります。
- **リスト** を押すと収録(辞書)順のリスト表示になります。
- **クリア** を押すと入力前の画面に戻ります。

画面上に表示される (タブ)の使いかたは

広辞苑などでは、詳細画面などの上側に  () マーク(タブ)が表示されます。



タブは、現在の表示の種類(見出し語など)を示します。また、タブが複数表示されているときは、関連する内容があることを示します。

タブが複数表示されているときは、 で切り替えて、内容を見ることができます。

【例題】英和大辞典の詳細画面でタブを切り替えてみましょう。






1      と押し、 を押します。

「a, A」の詳細画面が表示され、上側に3種類のタブが表示されます。

英和大辞典	見出し語	複合・派生	成句
a, A /éi/			
 (複) ◆【語法】			
1 英語アルファベットの第1字。			
2 a, A字の表す音; A字形のもの(◆アルファベットの各文字についても同様)。			
3 第1番目(のもの); アルファ(alpha); 【数字】第1の既知数【量】(cf. b, B / c, C); 【論理】全称肯定(cf. e, E 5)。			
4 a (品質が)最高級のもの  例			
b 《英》(社会的・経済的区分の)Aクラス階層《第1位の所得階層; 上級管理職階層; 高収入専門職》。			






2  を押します。

複合・派生のタブが選ばれ、見出し語に関連する複合語・派生語が表示されます。

英和大辞典	見出し語	複合・派生	成句
[a, A]			
 battery			
《主に米》【電子工学】A 電池(cf. B battery)			
 bursary			
《NZ》A奨学金《大学・工業技術専門学校<polytechnic>などへ進学する学生のための2つの奨学金のうち額の高い方; cf. B bursary》。			
 horizon			
 見出し語			
 level			

3 もう一度  を押します。

成句のタブが選ばれ、見出し語に関連する成句(熟語)が表示されます。

英和大辞典	見出し語	複合・派生	成句
[a, A]			
 A to Z			
 from A to B			
 from A to Z [izzard, Zéd]			
 Inót knów A from B			
 the A to Z of O			

• 数字キーで成句を選べば、その訳語などを見ることができます。

◆ さらに  を押すと見出し語の詳細画面に戻ります。

画面に ◀ マークが表示されたときは

詳細画面などに ◀ 例、◀ 解説、◀ NOTE、◀ Table マークが表示されたときは、表示している内容に関連する例文や解説、コラム(NOTE)、テーブル(表)が収録されています。

このとき (例/解説) (Table) を押すと表示されている最初のマークが選ばれ、白黒反転表示になります。

◀、▶、▶、◀ で反転表示を調べたいマークに移して (検索/決定) を押すと、収録されている内容が表示されます。前後に別の例などがあるときは、▶ (例/解説) や ◀ で表示させることができます。

終了するときは (戻る) を2回押します(1回目で例や解説などが閉じ、2回目でマークの反転表示が解除されます)。

◆ 上記のマークは、主に次のコンテンツで表示されます。

◀ 例、◀ 解説：リーダーズ英和&リーダーズ・プラス、英和大辞典、和英辞典

◀ NOTE：英英辞典(ODE、OALD)、Collocations(連語)

◀ Table：Thesaurus(類語)

【例題】英和大辞典の詳細画面で例や解説を見てみましょう。

- 1 (メニュー) (0) (0) (2) と押し、(A) (2) と押します。
- 2 (例/解説) を押します。

英和大辞典/見出語
 a¹ /《弱》ə;《強》ei, éi/, an
 [初12c;古英語 an (ひとつ)]

▶ 解説 ←マークの反転表示

1 [a(n)+①単数名詞]
 1 [初めて登場するある特定の人[物]を指す名詞, または特にこれと断定しないで漠然とある人[物]を指す名詞に付けて]ある, 1つ[1人, 1匹 など]の《*日本語には訳さないことが多い》

2 [総称的に]どの, どれも, …というものは(すべて)《*anyの弱い意味;同類の中から1つを代表に選ぶ言い方で, 定義や一般

- 3 ◀、▶、▶、◀ でマークを選び、(検索/決定) を押します。

英和大辞典/見出語
 a¹ /《弱》ə;《強》ei, éi/, an
 [初12c;古英語 an (ひとつ)]

▶ 例/解説

【語法】
 (1) [a と an] a は次の音が子音の場合, an は次の音が母音の場合に用いる。くわしくは→ an.
 (2) [弱形と強形] 通例, 弱形 /ə, ən/であるが, 次のような場合は強形 /ei, éi/ を用いる。a) (典説などで)特に強調するとき :a/éi/ new nation (1つの)新しい国(

例/解説ウィンドウなど

- ウィンドウ内に表示されていない部分がある場合は、◀ (メニュー) (A) や ▶ (戻る) (A) で送って確認します。
- 4 別の例や解説があるときは ▶ (例/解説) や ◀ で表示させます。
 - 5 終了するときは (戻る) を2回押します。
 1回目で例/解説ウィンドウが閉じ、2回目でマークの反転表示が解除されます。

画面に◀▶マークが表示されたときは（音声を聞く）

詳細画面(例文)などに◀▶マークが表示されたときは、表示している例文などの音声を再生することができます。

このとき◀▶語を押すと、表示されている最初のマークが選ばれ、白黒反転表示になります。

▼、▲、▶、◀で反転表示を調べたいマークに移して「検索/決定」を押すと、収録されている音声再生されます。

◆上記のマークは、次のコンテンツで表示されます。

◀▶：TOEIC® テスト 英単語・熟語マスタリー 2000

音声を再生してみましょう。

◆本体右横にある音量調整ダイヤルを中間位置ぐらいにしてお試しください。

1 [メニュー] 0 [1] [1] と押し、[2] [1] [1] と押し、項目を選択していきます。

□ TOEIC学習をする / 見出語 \ 例文 \
employee [emploɪi:] (1)
【名】従業員
《派生語》employ 【他】～を雇う《反意語》employer 【名】雇い主

2 [切替] を押して例文を表示させます。

□ TOEIC学習をする / 見出語 \ 例文 \
All the employees were worried about the coming restructuring. (1)◀▶
すべての従業員が、来るべきリストラのことを心配していた。

3 ◀▶語を押して◀▶マークを反転表示させます。

【標準】：[切替]で音声の再生速度を切替します
All the employees were worried about the coming restructuring. (1)◀▶
すべての従業員が、来るべきリストラのことを心配していた。

•◀▶マークが複数表示されているときは▼、▲、▶、◀で反転を移動させてマークを選びます。

4 「検索/決定」を押します。

音声再生されます。

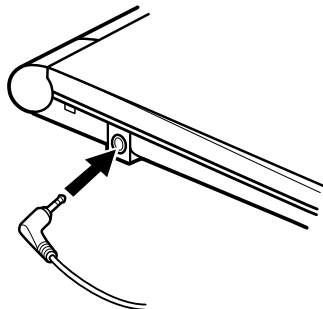
- 本体右横にある音量調整ダイヤルで、適正な音量に調整ください。
- 音声再生中 [戻る] を押すと再生が中止されます。音声再生終了後 [戻る] を押すと◀▶マークの反転が解除されます。
- 音声の再生速度を変えることができます(☞21ページ)。

イヤホンで音声を聞くときは

付属のイヤホンで音声を聞くときは、イヤホンのプラグを本体左側のイヤホン端子に接続します。

- ◆本体右横にある音量調整ダイヤルを中間位置ぐらいにしておいてください。

- 1 **入/切** を押して電子辞書の電源を切ります。
- 2 イヤホンのプラグをイヤホン端子に接続します。



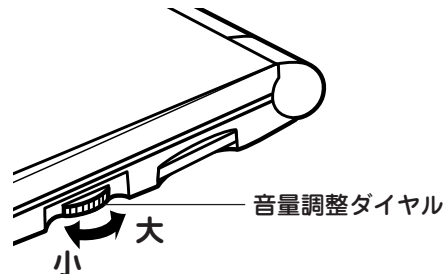
- プラグは奥まで完全に差し込んでください。

- プラグの抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを引っ張ると故障の原因になります。

- 3 電子辞書の電源を入れ、前ページの方法で音声を再生します。

- 本体右横にある音量調整ダイヤルで、適正な音量に調整ください。

- ◆ 内蔵スピーカーで音声を聞くときはイヤホンのプラグをイヤホン端子から抜いておいてください。



音声が再生できるのは・・・

本製品に収録されている「TOEIC® テスト 英単語・熟語マスタリー 2000」の例文には音声データが収録されており、音声を再生させることができます。また、別売の電子辞書専用コンテンツカードの中には音声データが含まれているものがあり、それらの音声を再生することができます。

なお、音声はモノラルでの再生になります。

一度調べた語を再度調べたいときは（しおりを使う）

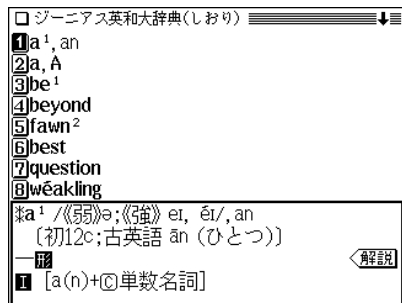
この製品では、一度調べた語は“しおり”として新しいものから100件まで自動的に記憶されます。もう一度同じ語を調べたいときは、しおりのリスト（一覧）表示から引き出して調べることができます（☞124ページを参照）。

【例題】英和大辞典でしおりを使ってみましょう。

1 **メニュー** **0** **0** **2** と押して、英和大辞典の画面にします。

2 **しおり** を押します。

しおり表示画面になり、英和大辞典で調べた語が、新しいものから順にリスト表示されます。



- 画面の右上に“↓”や“↑”シンボルが表示されているときは、**▽** **△** など画面を送ることができます。

くり返し見たい語を登録する（単語帳を使う）

この製品には、くり返し見たい語や覚えたい語などを登録しておく「単語帳」があります。

単語帳には、登録したい語の詳細画面などで **機能** **登録** と押して登録します。

また、その語を調べるときは、登録した辞書などの画面で **単語帳** を押します。単語帳が表示され、登録した語がリスト（一覧）表示されます。

リストの中から、目的の語を数字キーで選べば、その語の詳細画面が表示されます（☞126ページを参照）。

3 目的の語を数字キーで選びます。

選択した語の詳細画面が表示されます。

辞書などを一括して調べる(一括検索)

この製品は、複数のコンテンツ(辞書など)を対象にして言葉を調べることができます。

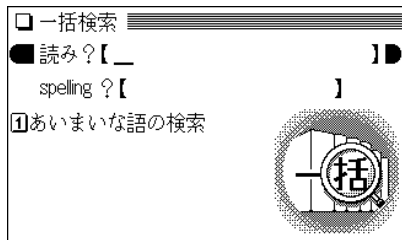
「読み」または「スペル」を入れ、対象となる辞書などから見出し語を探します(116ページを参照)。

文字を入力していくと候補が絞り込まれていきます(絞り込み検索)が、必要な文字をすべて入れても候補が多い場合は、入力した文字と一致する語だけを検索する、完全一致検索に切り替えて見ることができます。

【例題】「escape」を一括検索してみましょう。

1 一括検索 を押します。

一括検索の入力画面になります。



2 ▼ でスペル入力欄にカーソルを移し「escape」を入力します。

1字入れるごとに候補の語が絞り込まれていきます。

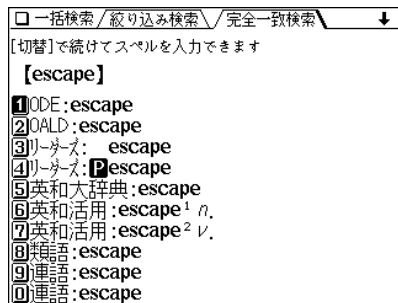
- 日本語の読みで調べる場合は「読み」入力欄に入力します。



この画面例ではプレビュー表示を「切」にしています。

3 完全一致検索で見るときは (切替) を押します。

入力したスペルと一致する見出し語がリスト表示されます。



この画面例ではプレビュー表示を「切」にしています。

- 入力した読みやスペルを変更するときは (切替) を押して絞り込みの画面に戻って行きます。

4 目的の語を数字キーで選びます。

その語が収録されている辞書などの詳細画面になり、意味などが表示されます。

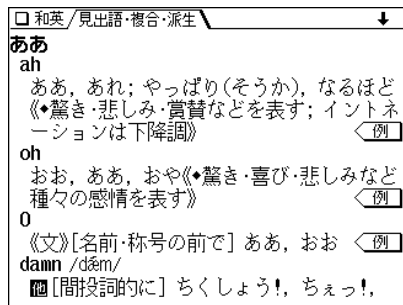
- (戻る) を押すと前の画面に戻ります。

画面内の語を調べる(Sジャンプを使う)

詳細画面に表示される任意の語の意味や訳語をコンテンツ間を飛び越えて調べることができます(☞121ページを参照)。

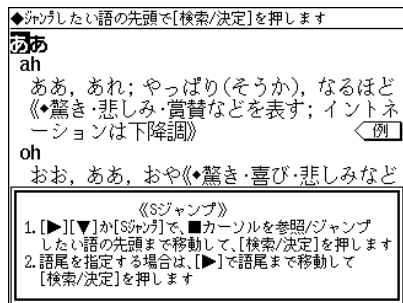
【例題】和英辞典の画面からジャンプしてみましょう。

1 **メニュー** **0** **0** **3** **検索/決定** **1** と押します。
和英辞典の「ああ」の画面が表示されます。



2 **Sジャンプ** を押します。

■カーソル(文字の反転表示)が表示されます。



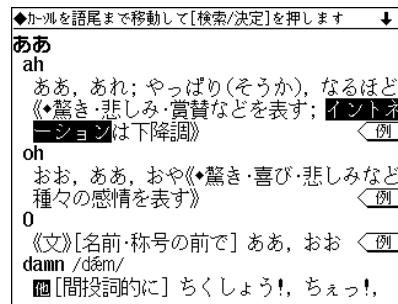
←ジャンプの操作ガイド
メッセージ

3 ▼ ▲ ▶ ◀ で反転表示(カーソル)を移して調べたい語を選びます。

- 英単語やジャンプマーク(▶)が示す語は、その語全体が選ばれ反転表示になります。なお **(Sジャンプ)** で、漢字やかなを飛ばして英単語などを選ぶことができます。
- 漢字やひらがな、カタカナの語は、範囲指定をすることで選びます。

「イントネーション」を範囲指定する場合

先頭文字「イ」にカーソル「■」を移して **(検索/決定)** を押し、続いて **(▶)** で最後尾の文字「ン」までカーソル「■」を移動させます(1字の指定では、後ろの指定は不要です)。

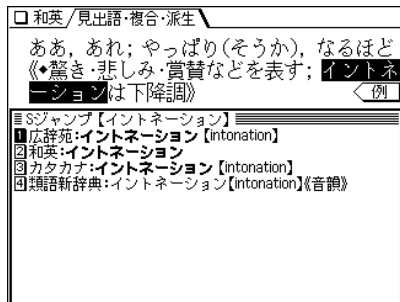


←ジャンプの操作ガイド
メッセージ

- 指定を解除するときは **(戻る)** や **(クリア)** を押します。

4 **検索/決定** を押します。

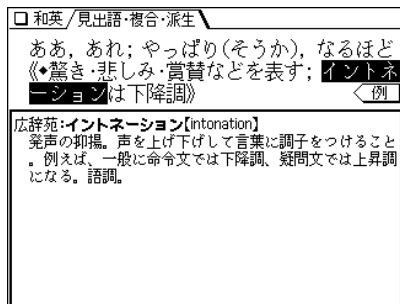
ジャンプウィンドウに候補が表示されます。



ジャンプウィンドウ

- **[戻る]** が示す語や、1語だけ一致するときは、ウィンドウに詳細画面が表示されます。

5 表示させたい語を数字キー(ここでは **[1]**)で選びます。ジャンプウィンドウに詳細画面が表示されます。



6 **[検索/決定]** を押してジャンプします。選択した語の詳細画面が表示されます。

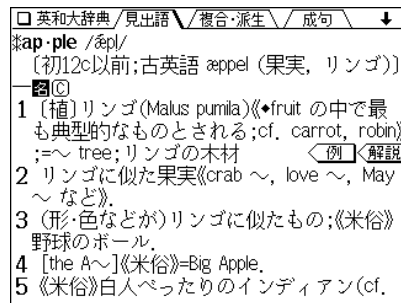
- **[戻る]** を押すと前の画面に戻ります。

詳細画面から別の語を調べる(W検索を使う)

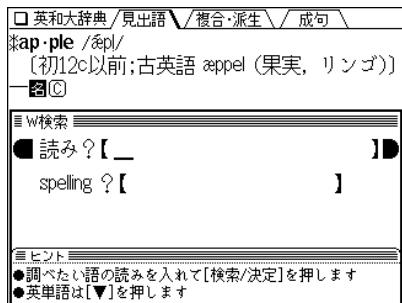
詳細画面に別のウィンドウを開いて、別の語を調べることができます。調べる語は、画面に表示されている必要はありません(☞119ページを参照)。

[例題] 英和大辞典の画面から調べてみましょう。

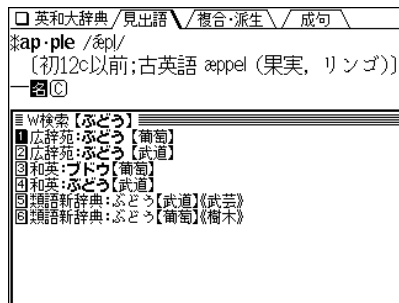
- 1** **[メニュー]** **[0]** **[0]** **[2]** と押して英和大辞典にします。(**[大辞典]** を押してもよい)
- 2** 例えば「apple」と入れ、 **[1]** を押します。「apple」の詳細画面が表示されます。



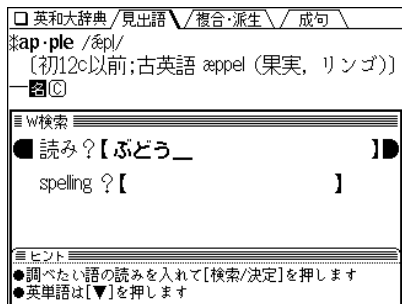
- 3** **[検索/決定]** を押します。W検索ウィンドウが表示されます。



W 検索ウィンドウ

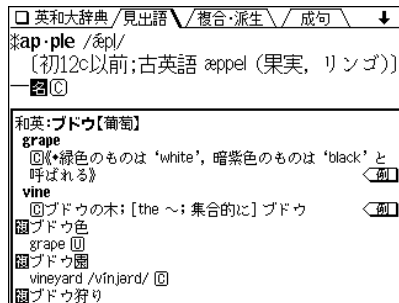


- 4 検索する言葉(たとえば「ぶどう」)を入れます。
- スペルを入れるときは (▼) でカーソルをスペル入力欄へ移して入れてください。



- 5 **検索/決定** を押します。
- W検索ウィンドウに候補が表示されます。

- 6 表示させたい語を数字キー(ここでは (3)) で選びます。
- W検索ウィンドウに詳細画面が表示されます。



- 7 **検索/決定** を押すと、W検索ウィンドウに表示されているコンテンツ(辞書など)の詳細画面になります。
- 戻る** を押すと前の画面に戻ります。

よく使うコンテンツはMy辞書に登録 (My辞書設定)

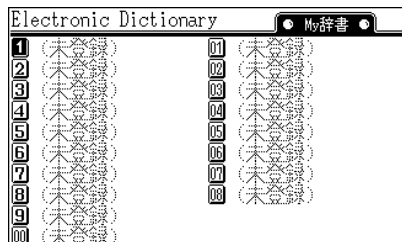
よく使うコンテンツ(辞書など)をMy辞書に登録しておけば、**My辞書** キーから選ぶことができます(129ページを参照)。

【例題】 Collocations(連語) を登録してみましょう。

1 **My辞書** を押します。

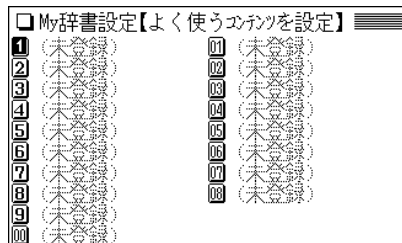
My辞書の選択画面が表示されます。

- 最初はすべて(未登録)になっています。



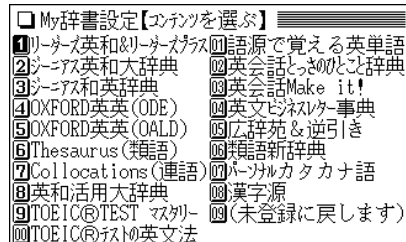
2 **S** を押します。

My辞書設定画面が表示されます。



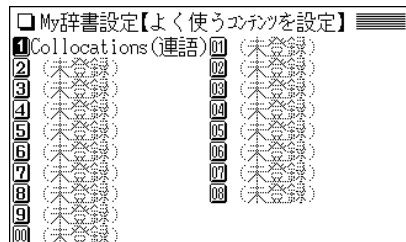
3 辞書などを登録したい番号を数字キー(例えば **1**) で選びます。

辞書などの選択画面が表示されます。



4 登録したい辞書などを数字キー(ここでは **7**) で選びます。

辞書などが登録され、My辞書設定画面に戻ります。



- 続けて登録する場合は、手順3、4をくり返します。

5 **My辞書** や **メニュー** を押して終了します。

『リーダーズ英和 & リーダーズ・プラス』 を使う

リーダーズ英和辞典とリーダーズ・プラス辞典の両方のデータを使って、英単語の意味を調べることができます。また、成句(熟語)を直接検索したり、スペルをチェックすることもできます。

●本辞典は、出版社の監修に基づき、リーダーズ英和、リーダーズ・プラスのデータに、増補版 約1,600語を追加して編集・収録しています。

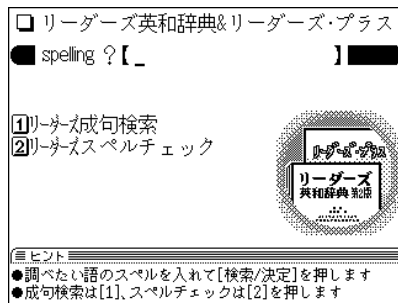
英単語の意味などを調べる

英単語のスペルから検索する(絞り込み検索)

単語のスペルを入れて、その単語の訳語などを調べます。

【例題】「sleep」を調べましょう。

- 1 **メニュー** **0** **0** **1** と押して「リーダーズ英和 & リーダーズ・プラス」にします。(**リーダーズ** を押してもよい)
スペルの入力画面になります。



2 「sleep」と入れます。

1文字入れるごとに候補が絞り込まれていきます。

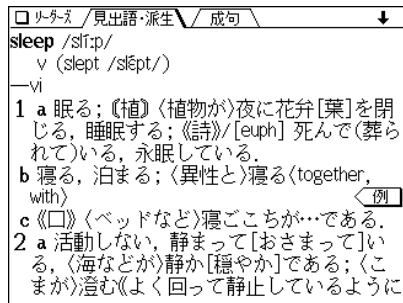


入力は20文字以内

- **P** はリーダーズ・プラス、**+** は増補版のデータを示しています。
- **派** は派生語を示しています。
- 画面上側に **スペルチェック** が表示されているとき、**切替** で選べばスペルチェックの入力画面になり、単語のスペルチェックができます(☞42ページ)。

3 目的の語を数字キー(ここでは ①)で選びます。

見出し語(sleep)の詳細画面が表示されます。



- **戻る** を押すと前の画面に戻ります。
- **リスト** を押すと、辞書順のリスト表示になります。
- 画面上側に **成句** が表示されているときは **切替** で成句(熟語)を見ることができます(☞29ページ)。
- 別の語を調べるときは、そのままスペルを入力するか、**クリア** を押して入力画面にします。
- 詳細画面に表示される語や英単語を調べるときは、ジャンプ機能が使えます(☞121ページ)。
▶マークで示される語は、同じコンテンツ内でジャンプして調べることができます。

リスト表示での並び順は

絞り込み中のリスト表示では、リーダーズ、リーダーズ・プラス、増補版と一緒にアルファベット順に並びますが、辞書順リストでは、リーダーズの後にリーダーズ・プラス、その後に増補版が、分かれてアルファベット順に並びます。

絞り込んで、候補がなくなったときは

手順2でスペルを入れていったとき、該当する候補がなくなると次のような画面を表示します。



このときは、数字キーで実行したい項目を選びます。

並び順の近い語を表示：アルファベット順で、入力したスペルよりも後の単語がリスト表示されます。

スペルチェックへ：スペルチェック機能(☞42ページ)でスペルチェックが行えます。

英単語のスペルがはっきりわからないときは

手順2でスペルを入れたあと **切替** を押すと、スペルチェック機能(☞42ページ)に切り替わり、スペルチェックが行えます。

スペル入力時の参考

1. 見出し語にスペース、ハイフン「-」、アポストロフィ「'」がある場合、これらは省いて入力し、検索します。
(例) fast food → fastfood で検索する
weak-kneed → weakkneed で検索する
let's → lets で検索する
2. 見出し語が大文字の場合も、小文字で検索します。
(例) AC → ac で検索する
USA → usa で検索する
3. 数字は英語のスペルで検索します。
(例) 18 → eighteen で検索する

スペルの入力を省略して検索する(“?”や“~”を使う)

“?”や“~”を使って、スペルの入力を省略したり、はっきりしない単語を調べることができます。

くわしくは、28ページをご覧ください。

検索した単語をくわしく調べる

例や解説を調べる

詳細画面などに **例** マークが表示されている場合、例(用例)を調べることができます。また、**解説** マークが表示されている場合、語法などの解説を調べることができます。

詳細画面などに **例**、**解説** マークが表示されているとき **例/解説** を押すと、最初のマークが選ばれ(反転表示になります)。

▼、**▲**、**▶**、**◀** で反転表示を調べたいマークに移して、**検索/決定** を押すと用例または解説が表示されます(☞30ページ)。

成句(熟語)を調べる

見出し語に関連した成句(熟語)がある場合は、詳細画面の上部に **成句** (タブ)が表示されます。

切替 を押してタブを切り替えれば、それぞれの内容が表示されます(☞29ページ)。

派生語を調べる

見出し語に関連した派生語は詳細画面で、前に **派** を付けて表示されます。

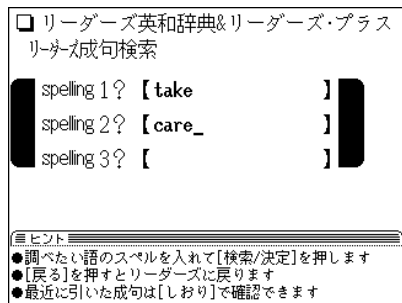
- リストに表示される派生語は、絞り込み検索で直接検索することができます。

リーダーズで成句を調べる

英語の成句(熟語)を調べたいときには、3つ以内の単語を入力して、それらの単語をすべて含んだ成句だけを検索することができます。

【例題】「take」と「care」を使った成句を調べましょう。

- 1 **メニュー** **0** **0** **1** と押し、**1** を押します。
成句検索のスペル入力画面になります。
- 2 「take」と入れ、**▼** を押してから「care」を入れます。
スペルを複数入れるときは**▼** **▲** で入力欄を移動します。それぞれ、17字まで入れられます。



- 3 **検索/決定** を押します。
成句の候補のリストが表示されます。
- 4 目的の成句を数字キーで選択します。
その成句の訳語などが表示されます。

スペルチェック機能を使う

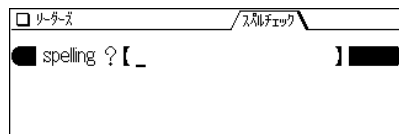
探したい単語のスペルがはっきりわからないときなどにはスペルチェック機能で目的の単語を探することができます。

はっきりわからないスペルで検索

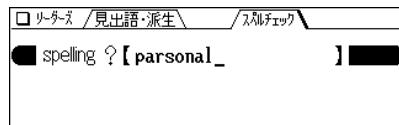
はっきりわからないスペルを入れて、チェックします。

【例題】「personal」を「parsonal」でチェックした場合(“e”を“a”とまちがえた場合)。

- 1 **メニュー** **0** **0** **1** と押し、**2** を押します。
スペルチェック機能の入力画面が表示されます。

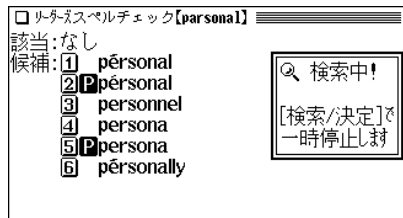


- 2 「parsonal」と入れます。



- 3 **検索/決定** を押します。

検索が開始され、入力したスペルに類似した単語のリストが表示されます。



- 検索が終了すると「スペルチェックを終了しました」と、一時表示をします。

4 目的の単語(またはそう思われるもの)を、数字キー(ここでは ①)で選択します。

選択した単語の詳細画面が表示されます。

- **[戻る]** を押すと前の画面に戻ります。
- **[リスト]** を押すと、リーダーズ英和&リーダーズ・プラスの辞書順のリスト表示になります。

メモ スペルチェック機能について

- 入力したスペルと同じスペルの単語がある場合は、リスト内の「該当:」欄に表示されます。また、類似した単語がある場合は「候補:」欄に表示されます。
- 単語の候補は、該当語を含めて最大100件まで検索されます。

思った単語がなかなか出てこない

- 入力したスペルによっては検索に時間がかかることがあります。
- 該当語および類似した候補が1件もない場合は「見つかりません」と表示して入力画面に戻ります。
スペル(入力したアルファベット)を変更して、再度検索を試みてください。

検索中に目的の単語を見つけたときは

- 検索中に **[検索/決定]** を押すと検索を一時止めることができます。このとき、表示されている候補を数字キーで選択すれば、その訳語(詳細画面)を表示させることができます。詳細画面で **[戻る]** を押せば、候補のリスト画面に戻ります。
- 候補のリスト画面(検索停止中の画面)で **[リスト]** を押すと、検索を再開します。
中止するときは **[戻る]** または **[クリア]** を押します。

…ご注意…

本製品には、次の辞書にそれぞれスペルチェック機能があります。それぞれの辞書により収録語・語数が異なるため、同じスペルでチェックを行っても同じ結果が得られない場合があります。

リーダーズ英和&リーダーズ・プラス	英和大辞典、
英英辞典(ODE、OALD)	類語辞典(Thesaurus)、
連語辞典(Collocations)	英和活用大辞典

英和大辞典を使う

英和大辞典で英単語のスペルから単語の意味を調べることができます。

また、成句(熟語)を直接検索したり、スペルをチェックすることもできます。

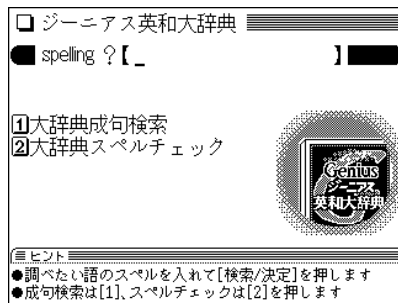
英単語の意味などを調べる

英単語のスペルから検索する(絞り込み検索)

単語のスペルを入れて、その単語の訳語などを調べます。

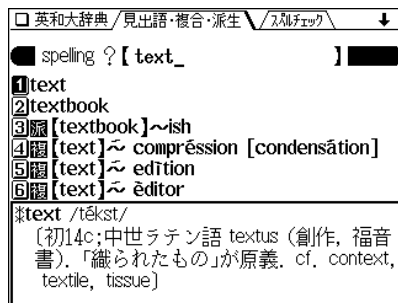
【例題】「text」を調べましょう。

- 1 **メニュー** **002** と押して「ジーニアス英和大辞典」を選びます。(**大辞典** を押してもよい) スペルの入力画面になります。



2 「text」と入れます。

1文字入れるごとに候補が絞り込まれていきます。

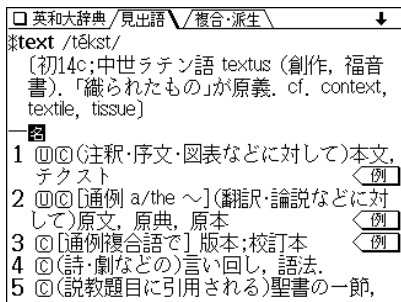


入力は20文字以内

- “**関**”は複合語、“**派**”は派生語を示しています。
- 画面上側に **スペルチェック** が表示されているとき、**切替** で選べばスペルチェックの入力画面になり、単語のスペルチェックができます(☞46ページ)。

3 目的の語を数字キー(ここでは **1**)で選びます。

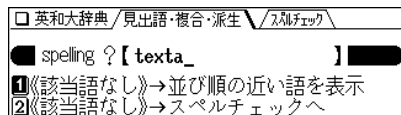
見出し語(text)の詳細画面が表示されます。



- **戻る** を押すと前の画面に戻ります。
- **リスト** を押すと、辞書順のリスト表示になります。
- 画面上側に **複合・派生** や **成句** が表示されているときは **切替** で複合語や派生語、または成句(熟語)を見ることができます(☞29ページ)。
- 別の語を調べるときは、そのままスペルを入力するか、**クリア** を押して入力画面にします。
- ◆ 詳細画面に表示されている語や英単語を調べるときは、ジャンプ機能が使えます(☞121ページ)。

絞り込んで、候補がなくなったときは

手順2でスペルを入れていったとき、該当する候補がなくなると次のような画面を表示します。



このときは、数字キーで実行したい項目を選びます。

並び順の近い語を表示：アルファベット順で、入力したスペルよりも後の単語がリスト表示されます。

スペルチェックへ：スペルチェック機能(☞46ページ)でスペルチェックが行えます。

英単語のスペルがはっきりわからないときは

手順2でスペルを入れたあと **切替** を押すと、スペルチェック機能(☞46ページ)に切り替わり、スペルチェックが行えます。

スペルの入力を省略して検索する(“?”や“~”を使う)

“?”や“~”を使って、スペルの入力を省略したり、はっきりしない単語を調べることができます。

くわしくは、28ページをご覧ください。

検索した単語をくわしく調べる

例や解説を調べる

詳細画面などに **例** マークが表示されている場合、例(用例)を調べることができます。また、**解説** マークが表示されている場合、語法などの解説を調べることができます。

詳細画面などに **例**、**解説** マークが表示されているとき **例/解説** を押すと、最初のマークが選ばれ(反転表示になります)。

▼、**▲**、**▶**、**◀** で反転表示を調べたいマークに移して、**検索/決定** を押すと用例または解説が表示されます(☞30ページ)。

複合語や派生語、成句(熟語)を調べる

見出し語に関連した複合語(2語以上からなる見出し語)や派生語、または成句(熟語)がある場合は、詳細画面の上部に **複合・派生** や **成句** (タブ)が表示されます。

切替 を押してタブを切り替えれば、それぞれの内容が表示されます(☞29ページ)。

英和大辞典で成句を調べる

英語の成句(熟語)を調べたいときには、3つ以内の単語を入力して、それらの単語をすべて含んだ成句だけを検索することができます。

【例題】「take」と「care」を使った成句を調べましょう。

1 **メニュー** **0** **0** **2** と押し、**1** を押します。
成句検索のスペル入力画面になります。

以降は、42ページの成句検索の手順2以降と同様の操作で利用することができますのでご参照ください。

スペルチェック機能を使う

探したい単語のスペルがはっきりわからないときなどにはスペルチェック機能で目的の単語を探することができます。

【例題】「personal」を「parsonal」でチェックした場合(“e”を“a”とまちがえた場合)。

1 **メニュー** **0** **0** **2** と押し、**2** を押します。
スペル入力画面になります。

以降は、42ページのリーダーズ英和 & リーダーズ・プラスを使ったスペルチェックの手順2以降と同様の操作で利用することができますのでご参照ください。

和英辞典を使う

日本語の読みから英単語などを調べることができます。

日本語の英訳を調べる

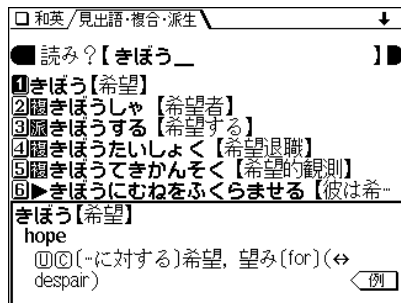
読みを入力して検索する（絞り込み検索）

日本語の読みを入れて、その語の訳語や派生語、複合語などを調べます。

【例題】「希望(きぼう)」を調べましょう。

1 **メニュー** (0) (0) (3) と押して「ジーニアス和英辞典」を選びます。(和英) を押してもよい
読みの入力画面になります。

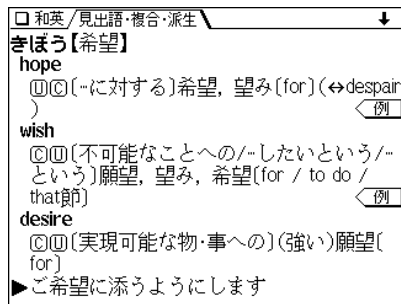
2 「きぼう」と入れます。
1文字入れるごとに候補が絞り込まれていきます。



入力は13文字以内

- “**願**”は複合語であることを示しています。
- “**派**”は派生語であることを示しています。

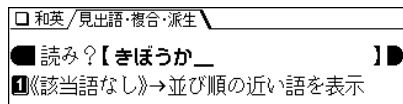
3 目的の語を数字キー(ここでは (1))で選びます。
見出し語の詳細画面(訳語画面)が表示されます。



- **戻る** を押すと前の画面に戻ります。
- **リスト** を押すと、辞書順のリスト表示になります。
- ◆ 詳細画面に表示されている語や英単語を調べるときは、ジャンプ機能が使えます(121ページ)。

絞り込んで、候補がなくなったときは

手順2で読みを入れていったとき、該当する候補がなくなると次のような画面を表示します。



このとき、①または**〔検索/決定〕**を押すと、50音順で、入力した読みよりも後の語がリスト表示されます。

〔戻る〕を押したときは、読みの入力画面に戻ります。

読み入力時の参考

1. カタカナの言葉も、ひらがなで入れます。
2. 長音は「ー」または、前の文字の母音を入れます。
(例) アパート → 「あばーと」と入れる。または
「あばあと」と入れる。
3. 「ー」などは省略して入れます(ーたい→たい)。

読みの入力を省略して検索する(“?”や“~”を使う)

“?”や“~”を使って、読みの入力を省略したり、はっきりしない言葉を調べることができます。

くわしくは、28ページをご覧ください。

検索した語をくわしく調べる

例や解説を調べる

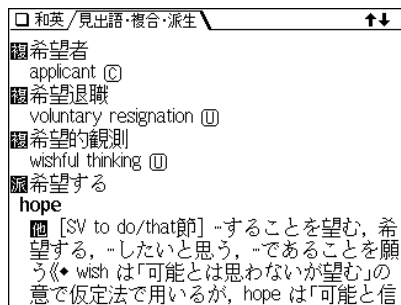
詳細画面などに**〔例〕**マークが表示されている場合は例(用例)を、**〔解説〕**マークが表示されている場合は語法などの解説を調べることができます。

〔例〕、**〔解説〕**マークが表示されているとき**〔例/解説〕**を押すと、最初のマークが選ばれ(反転表示になります)。

〔▼〕、**〔▲〕**、**〔▶〕**、**〔◀〕**で、反転表示を調べたいマークに移し、**〔検索/決定〕**を押すと用例などが表示されます(☞30ページ)。

複合語や派生語を調べる

見出し語に関連した複合語や派生語は詳細画面で見ることができます。派生語は前に**〔派〕**、複合語・慣用表現は前に**〔複〕**を付けて示しています。



- リストに表示される複合語や派生語は、絞り込み検索で直接検索することができます。

英英辞典(ODE、OALD)を使う

英英辞典として、『OXFORD英英辞典』(ODE)および『OXFORD現代英英辞典』(OALD)を収録しています。それぞれの辞典で、単語のスペルを入力して、その意味(英語表記)を調べることができます。また、成句(熟語)を直接検索したり、スペルをチェックすることもできます。

ODE: Oxford Dictionary of English
OALD: Oxford Advanced Learner's Dictionary

英単語を検索する

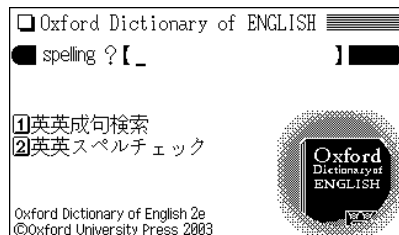
英単語のスペルから検索する(絞り込み検索)

スペルを入れて、その単語の意味(英語表記)を調べます。

【例題】OXFORD英英辞典で「advance」を調べましょう。

- 1 **メニュー** (0) (0) (4) と押して「OXFORD英英(ODE)」を選びます。(ODE)を押してもよい)
 - 「OXFORD英英(OALD)」で調べるときは **メニュー** (0) (0) (5) と押します。(OALD)を押してもよい)

入力/選択画面になります。



入力/選択画面

2 「advance」と入力します。

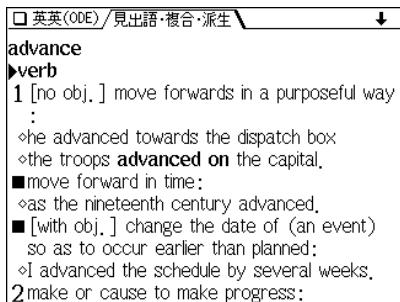
1文字ごとに候補が絞り込まれていきます。目的の語が表示されれば、それ以上入力する必要はありません。



入力は20文字以内

- 画面上側に **スペルチェック** が表示されているときは **切替** を押すとスペルチェックの入力画面になり、単語のスペルチェックができます(51ページ)。

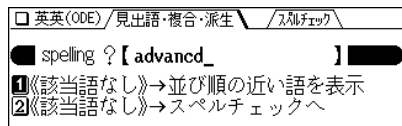
3 目的の語を数字キー(ここでは 1)で選びます。見出し語(advance)の詳細画面が表示されます。



- **戻る** を押すと前の画面に戻ります。
- **リスト** を押すと辞書順のリスト表示になります。
- 別の語を調べるときは、そのままスペルを入力するか、**クリア** を押して入力／選択画面にします。
- ◆ 詳細画面に表示されている英単語を調べるときは、ジャンプ機能が使えます(☞121ページ)。

絞り込んで、候補がなくなったときは

手順2でスペルを入れていったとき、該当する候補がなくなると次のような画面を表示します。



このときは、数字キーで実行したい項目を選びます。
並び順の近い語を表示：アルファベット順で、入力したスペルよりも後の単語がリスト表示されます。

スペルチェックへ：スペルチェック機能(☞51ページ)でスペルチェックが行えます。

スペル入力時の参考

1. 見出し語にスペース、ハイフン「-」、アポストロフィ「'」がある場合、これらは省いて入力し、検索します。
 (例) fast food → fastfood で検索する
 weak-kneed → weakkneed で検索する
 let's → lets で検索する
2. 見出し語が大文字の場合、小文字にして検索します。
 (例) AC → ac で検索する
 USA → usa で検索する
3. 数字は英語のスペルで検索します。

スペルの入力を省略して検索する(“?”や“~”を使う)

“?”や“~”を使って、スペルの入力を省略したり、はっきりしない単語を調べることができます。
 くわしくは、28ページをご覧ください。

コラムを調べる

詳細画面に **<NOTE>** マークが表示されている場合、その語に関するコラムを調べることができます(☞30ページ)。

英英辞典(ODE、OALD)で成句検索を行う

3つ以内の単語を入力して、それらの単語をすべて含んだ成句(熟語)を検索することができます。

【例題】「take」と「care」を使った成句を調べましょう。

1 「OXFORD英英(ODE)」で調べるときは **メニュー** ①

① ④ と押します。

•「OXFORD英英(OALD)」で調べるときは **メニュー** ①

① ⑤ と押します。

2 ① を押して「英英成句検索」を選びます。

成句検索のスペル入力画面になります。

以降は、42ページの成句検索の手順2以降と同様の操作で利用することができますのでご参照ください。

スペルチェック機能を使う

探したい単語のスペルがはっきりわからないときなどにはスペルチェック機能で目的の単語を探することができます。

【例題】「personal」を「parsonal」でチェックした場合(“e”を“a”とまちがえた場合)。

1 「OXFORD英英(ODE)」で調べるときは **メニュー** ①

① ④ と押します。

•「OXFORD英英(OALD)」で調べるときは **メニュー** ①

① ⑤ と押します。

2 ② を押して「英英スペルチェック」を選びます。

スペル入力画面になります。

以降は、42ページのリーダーズ英和 & リーダーズ・プラスを使ったスペルチェックの手順2以降と同様の操作で利用することができますのでご参照ください。

Thesaurus(類語辞典)を使う

単語のスペルを入れ、その意味が似た語や関連する語を調べることができます。また、スペルがはっきりしないときでも検索できます。
成句(熟語)を直接検索したり、スペルをチェックすることもできます。

類語を検索する

英単語のスペルから検索する(絞り込み検索)

単語のスペルから類語を調べます。

【例題】「colour」を調べましょう。

- 1 **メニュー** **006** と押して「Thesaurus(類語)」を選びます。
スペル入力画面になります。

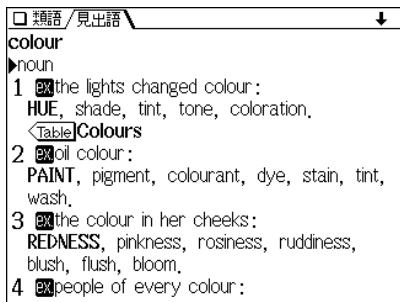


- 2 「colour」と入れます。
1文字ごとに候補が絞り込まれていきます。目的の語が表示されれば、それ以上入力する必要はありません。



入力は20文字以内

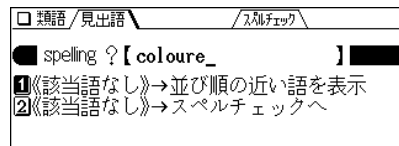
- 画面上側に **スペルチェック** が表示されているときは **切替** を押すとスペルチェックの入力画面になり、単語のスペルチェックができます(55ページ)。
- 3 目的の語を数字キー(ここでは **1**)で選びます。
見出し語(colour)の詳細画面が表示されます。



- **戻る** を押すと前の画面に戻ります。
- **リスト** を押すと辞書順のリスト表示になります。
- 別の語を調べるときは、そのままスペルを入力するか、**クリア** を押して入力画面にします。
- ◆ 詳細画面の英単語を調べるときは、ジャンプ機能が使えます(☞121ページ)。

絞り込んで、候補がなくなったときは

手順2でスペルを入れていったとき、該当する候補がなくなると次のような画面を表示します。



このときは、数字キーで実行したい項目を選びます。

並び順の近い語を表示：アルファベット順で、入力したスペルよりも後の単語がリスト表示されます。

スペルチェックへ：スペルチェック機能(☞55ページ)でスペルチェックが行えます。

スペルの入力を省略して検索する(“?”や“~”を使う)

“?”や“~”を使って、スペルの入力を省略したり、はっきりしない単語を調べることができます。

くわしくは、28ページをご覧ください。

検索した単語をくわしく調べる

Tableの内容を調べる

詳細画面に **<Table>** マークが表示されている場合、その見出し語に関するテーブル(リスト)を見ることができます。また、見出し語に関連する他の見出し語にテーブルが収録されているときは、関連する見出し語のテーブルも見ることができます。

【例題】「plant」に含まれるテーブルを見てみましょう。

1 「plant」の詳細画面を表示させます。
「plant」を入力し、**(検索/決定)** を押します。

2 **(Table)** (**例/解説**) を押します。

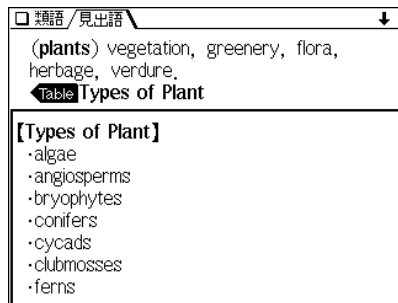
最初の **<Table>** マークが選ばれ(反転表示になり)ます。



- **<Table>** の後ろにはテーブルのタイトル、またはテーブルが収録されている見出し語が表示されます。

3 **(▽)**、**(▲)**、**(▶)**、**(◀)** で反転表示を移して、調べたいマークを選びます。

4 **(検索/決定)** を押します。
テーブルウィンドウ(窓)が表示され、関連する語が表示されます。



テーブルウィンドウ

- ウィンドウ内の内容で、表示されていない部分がある場合は、画面右上に“↓”や“↑”が表示されるので **(▽)** **(▲)** や **(▼)** **(▲)** で送って確認します。

5 次や前のテーブルを見るときは、**(▶)** (**Table**) や **(◀)** を押します。

6 終了するときは **(戻る)** を2回押します。
1回目でテーブルウィンドウが閉じ、2回目でマークの反転表示が解除されます。

Thesaurus(類語辞典)で成句検索を行う

類語辞典に収録されている成句(熟語)を調べたいときには、3つ以内の単語を入力して、それらの単語をすべて含んだ成句を検索することができます。

【例題】「take」と「out」を使った成句を調べましょう。

- 1 **メニュー** **0** **0** **6** と押し、**1** を押します。
成句検索のスペル入力画面になります。
以降は、42ページの成句検索の手順2以降と同様の操作で利用することができますのでご参照ください。

スペルチェック機能を使う

探したい単語のスペルがはっきりわからないときなどはスペルチェック機能で目的の単語を探することができます。

【例題】「personal」を「parsonal」でチェックした場合（“e”を“a”とまちがえた場合）。

- 1 **メニュー** **0** **0** **6** と押し、**2** を押します。
スペル入力画面になります。
以降は、42ページのリーダーズ英和 & リーダーズ・プラスを使ったスペルチェックの手順2以降と同様の操作で利用することができますのでご参照ください。

Collocations(連語辞典)を使う

特定の語句の慣用的な使われかたや結びつきかたを調べます。

連語を検索する

スペルを入力して検索する(絞り込み検索)

【例題】「accept」に関する連語を調べましょう。

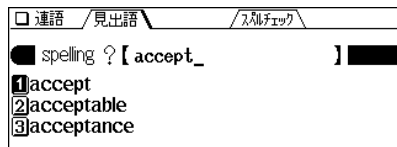
1 **メニュー** **0** **0** **7** と押して「Collocations(連語)」を選びます。



入力画面

2 「accept」と入れます。

1文字入れるごとに候補が絞り込まれていきます。

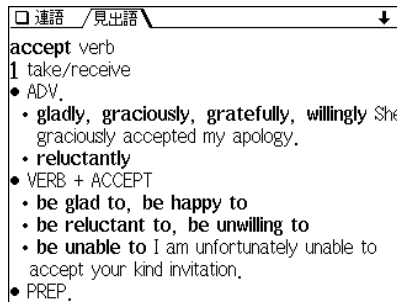


入力は20文字以内

●画面上側に **スペルチェック** が表示されているときは **切替** を押すとスペルチェックの入力画面になり、単語のスペルチェックができます(☞57ページ)。

3 目的の語を数字キー(ここでは **1**)で選びます。

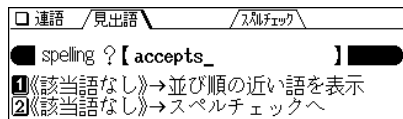
見出し語(accept)の詳細画面が表示されます。



- **戻る** を押すと、前の画面に戻ります。
- **リスト** を押すと辞書順のリスト表示になります。
- 別の語を調べるときは、そのままスペルを入力するか、**クリア** を押して入力画面にします。
- ◆ 詳細画面の英単語を調べるときは、ジャンプ機能が使えます(☞121ページ)。

絞り込んで、候補がなくなったときは

手順2でスペルを入れていったとき、該当する候補がなくなると次のような画面を表示します。



このときは、数字キーで実行したい項目を選びます。

並び順の近い語を表示：アルファベット順で、入力したスペルよりも後の単語がリスト表示されます。

スペルチェックへ：スペルチェック機能でスペルチェックが行えます。

スペルの入力を省略して検索する(“?”や“~”を使う)

“?”や“~”を使って、スペルの入力を省略したり、はっきりしない単語を調べることができます。

くわしくは、28ページをご覧ください。

NOTEの内容を調べる

詳細画面に<NOTE>マークが表示されている場合、その見出し語に関する参照説明やスペシャルページを見ることができます。

<NOTE>マークが表示されているとき (NOTE) (例/解説) を押すと、最初のマークが選ばれ(反転表示になります)。

▼、▲、▶、◀ で反転表示を調べたいマークに移して、

検索/決定 を押すと内容が表示されます(☞30ページ)。

スペルチェック機能を使う

探したい単語のスペルがはっきりわからないときなどはスペルチェック機能で目的の単語を探すことができます。

【例題】「personal」を「parsonal」でチェックした場合(“e”を“a”とまちがえた場合)。

1 (メニュー) (0) (0) (?) と押し、(1) を押します。
スペル入力画面になります。

以降は、42ページのリーダーズ英和 & リーダーズ・プラスを使ったスペルチェックの手順2以降と同様の操作で利用することができますのでご参照ください。

英和活用大辞典を使う

英語の表現においては、ある語には慣習的に他のある語が用いられるという場合があります。

このような、語と語の慣習的な結合を連語(コロケーション)と呼びます。

本辞典では、単語が慣習的にどのような語と結びついて用いられるかを主に用例を用いて示しています。

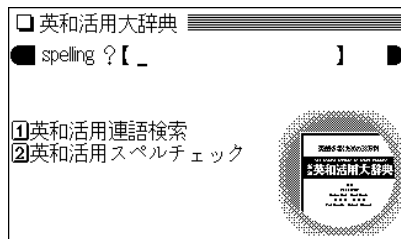
英単語から連語を調べる

英単語のスペルから検索する (絞り込み検索)

スペルから単語を探し、連語を調べます。

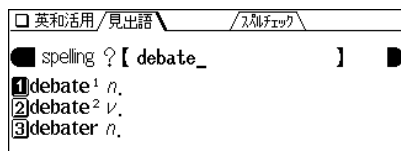
【例題】「debate」を調べましょう。

- 1 **メニュー** (0) (0) (8) と押して「英和活用大辞典」を選びます。(**英和活用**) を押してもよい)
入力/選択画面になります。



2 「debate」と入れます。

1文字ごとに候補が絞り込まれていきます。目的の語が表示されれば、それ以上入力する必要はありません。

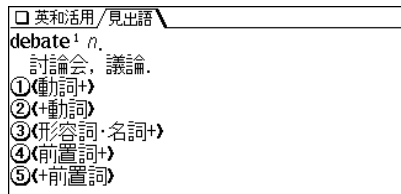


入力は20文字以内

- 画面上側に **スペルチェック** が表示されているときは **切替** を押すとスペルチェックの入力画面になり、単語のスペルチェックができます(61ページ)。

3 目的の語を数字キー(ここでは ①)で選びます。

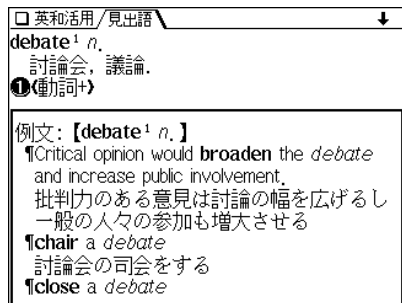
見出し語(debate)の品詞(分類)が表示されます。



- 画面内の()で示す品詞(分類)は、見出し語と結びつく語の形を示します。たとえば、見出し語が名詞の場合、(動詞+)は、その見出し語(名詞)を目的語に取る他動詞・他動詞句の例文、(+動詞)の表示は、その見出し語(名詞)が主語になって取る述語動詞の例文が収録されていることを示します。詳しくは205ページを参照ください。

4 見たい例文の分類を数字※キー(ここでは ①)で選びます。

例文ウィンドウ(窓)が表示され、例文が表示されます。



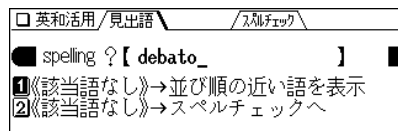
例文ウィンドウ

- ウィンドウ内の内容で、表示されていない部分がある場合は、画面右上に“↓”や“↑”が表示されるので (V) (A) や (▽) (▲) で送って確認します。
- ※ 見出し語と結びつく分類(品詞など)を選ぶ場合は、各分類の左の①、②など○で囲まれた数字に対応した数字キーを押しますが、分類が多い場合、○で囲まれた英字、記号が表示されている場合があります。その場合は、対応した英字キー、記号キーなどを押すと選ぶことができます。

- 別の分類の例文を見るときは(戻る)で手順3の画面に戻って品詞を選びます。
- ◆ 例文ウィンドウの語を調べるときは、ジャンプ機能が使えます(☞121ページ)。

絞り込んで、候補がなくなったときは

手順2でスペルを入れていったとき、該当する候補がなくなると次のような画面を表示します。



このときは、数字キーで実行したい項目を選びます。

並び順の近い語を表示：アルファベット順で、入力したスペルよりも後の単語がリスト表示されます。

スペルチェックへ：スペルチェック機能(☞61ページ)でスペルチェックが行えます。

スペルの入力を省略して検索する(“?”や“~”を使う)

“?”や“~”を使って、スペルの入力を省略したり、はっきりしない単語を調べることができます。

くわしくは、28ページをご覧ください。

連語検索を行う

3つ以内の単語を入力して、それらの単語が連語関係にある用例を検索することができます。

また、連語検索時に「連語検索パターン」を指定することによって、検索される用例を絞り込むことができます。

- 連語検索時に、たとえば「連語検索パターン」に“動詞+名詞”を選び、動詞のみを入力して検索すると、その動詞がとる目的語の検索ができたリ、名詞だけを入力すると、その名詞に共起する(同時に出現する)動詞を使った用例を検索することができます。

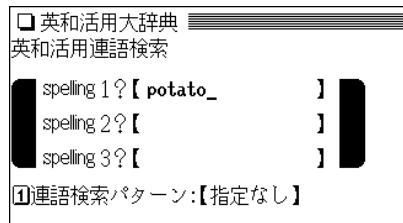
【例題】「potato」と“動詞+名詞”の関係になる連語の用例を調べましょう。

1 **メニュー** (0) (0) (8) と押し、(1) を押します。

連語検索のスペル入力画面になります。

2 「potato」と入れます。

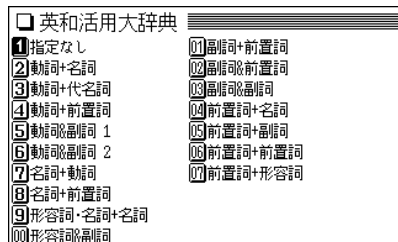
スペルを複数入れるときは(▼)(▲)で入力欄を移動します。それぞれ、17字まで入れられます。



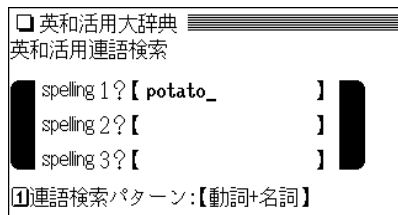
←初めは「指定なし」
になっています

3 ① を押します。

品詞の組み合わせパターン選択画面が表示されます。



4 目的のパターンを数字キー(ここでは(2))で選択します。



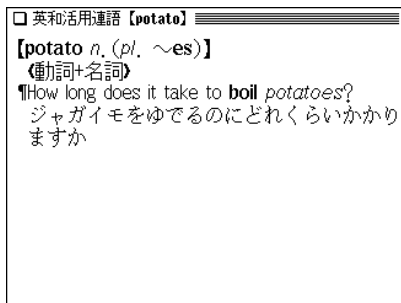
←選択したパターン
を表示

5 **検索/決定** を押します。

用例のリストが表示されます。



- 6 目的の用例を数字キー(ここでは (2))で選択します。
その用例の収録されている見出し語や訳語などが表示されます。



- (戻る) を押すと前の画面に戻ります。

スペルチェック機能を使う

探したい単語のスペルがはっきりわからないときなどはスペルチェック機能で目的の単語を探することができます。

【例題】「personal」を「parsonal」でチェックした場合
 (“e”を“a”とまちがえた場合)。

- 1 (メニュー) (0) (0) (8) と押し、(2) を押します。
スペル入力画面になります。

以降は、42ページのリーダーズ英和 & リーダーズ・プラスを使ったスペルチェックの手順2以降と同様の操作で利用することができますのでご参照ください。

『TOEIC® テスト 英単語・熟語 マスタリー 2000』を使う

- TOEIC is a registered trademark of Educational Testing Service (ETS). This (publication/product/website) is not endorsed or approved by ETS.

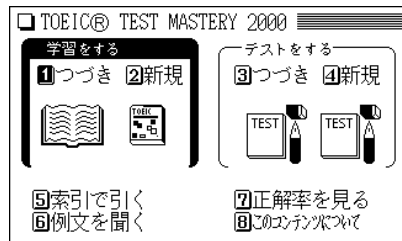
TOEICに出やすい英単語1800に、覚えておくべき重要熟語200を加えた計2000単熟語を例文とともに収録しています。また、見出し単語などを隠してテストすることや、例文を音声で聞くこともできます。

英単語を学習する

英単語や熟語の意味や例文を表示させて学習します。

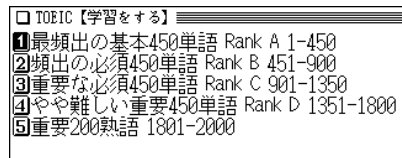
【例題】「最頻出の基本450単語 Rank A 1-450」に収録の英単語や例文を学習しましょう。

- 1 **メニュー** **0** **1** **1** と押して「TOEIC® TEST MASTERY」を選びます。
機能選択画面になります。

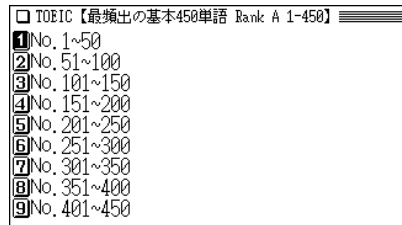


機能選択画面

- 2 **2** を押して「学習をする」の「新規」を選びます。
「学習をする」のグループ選択画面が表示されます。

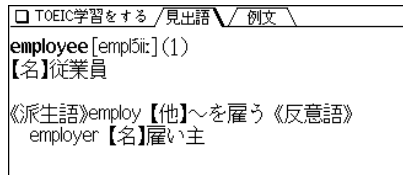


- 3 学習したいグループを数字キー(ここでは **1**)で選びます。
選んだグループ内の分類選択画面が表示されます。



4 学習したい分類を数字キー(ここでは ①)で選びます。

詳細画面に英単語とその意味などが表示されます。

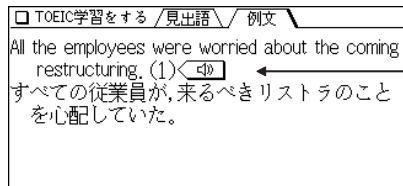


詳細画面

- **機能** (V) (次見出) または (▶) を押すと、次の英単語の詳細画面が表示されます。
逆に送るときは **機能** (∧) (前見出) または (◀) を押します。(この操作は、分類やグループの区切りにかかわらず、すべてのデータを順番に送って表示します。)
- 見出し語の後ろの(1)などの番号は、収録している単語の番号です。収録されている単語にはすべて番号(連番)がついています。

5 (切替) を押して例文を表示させます。

英単語の例文が表示されます。



例文表示画面

音声マーク

- もう一度 (切替) を押すと詳細画面に戻ります。
- (クリア) を押すと機能選択画面に戻ります。

6 (音声) マークがある例文を音声で聞くときは (音声) 語でマークを反転表示させ、(検索/決定) を押しします。

- 途中で音声を止めるときは (戻る) を押しします。(音声) マークの反転を解除するときも (戻る) を押しします。

前回の続きを学習するときは

- 手順1で (1) を押す(「学習をする」の「つづき」を選ぶ) と、前回学習した英単語の詳細画面が表示されます。

英単語や例文のテストをする

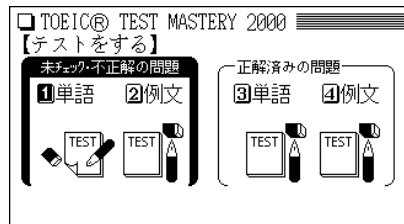
「英単語を学習する」で調べた英単語の詳細画面の英単語の意味や例文の語句を隠して表示させ、テストすることができます。

また、テストした結果は正解・不正解別に記憶し、不正解の英単語のみをテストすることもできます。

【例題】「最頻出の基本450単語 Rank A 1-450」に収録の英単語をテストしてみましょう。

1 **メニュー** (0) (1) (1) と押し、(4) を押して「テストをする」の「新規」を選びます。

「テストをする」の選択画面が表示されます。



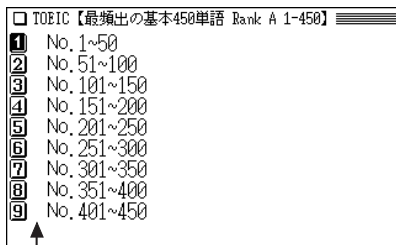
2 テストしたい問題を数字キーで選びます。(ここでは(1)を押して「未チェック・不正解の問題」の「単語」を選びます。)

選んだ問題内のグループ選択画面が表示されます。



3 テストしたいグループを数字キー(ここでは(1))で選びます。

選んだグループ内の分類選択画面が表示されます。



• 正解率が100%の群には◎が、80%以上の群には○が表示されます。

4 テストしたい分類を数字キー(ここでは(1))で選びます。

英単語のテスト画面が表示されます(英単語や説明などが隠れて表示されます)。

隠れた英単語(下線部分)を考えてください。

□ TOEIC単語テスト / 見出語

(1)

【名】従業員

《派生語》employ 【他】～を雇う《反意語》
employer 【名】雇い主

5 検索/決定 を押して答えを表示します。

□ TOEIC単語テスト / 見出語

employee [emplɔɪi:] (1)

【名】従業員

《派生語》employ 【他】～を雇う《反意語》
employer 【名】雇い主

6 正解の場合は (Y) を、不正解の場合は (N) を押します。(ここでは (Y) を押します。)

メッセージが一時表示された後、次の英単語のテスト画面が表示されます。

□ TOEIC単語テスト / 見出語

(2)

【他】～を期待[予期]する、～が…するだろう
と思う

《派生語》expectation 【名】期待, 予期

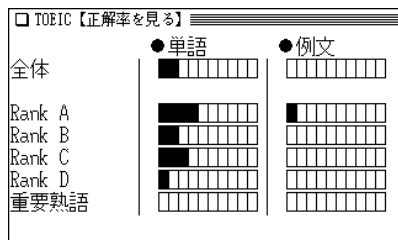
- (戻る) を押すとカテゴリ内の分類選択画面に戻ります。
- (クリア) を押すと機能選択画面に戻ります。

前回の続きをテストするとき

- 手順1で (3) を押す(「テストをする」の「つづき」を選ぶ)と、前回、最後に表示していた問題のテスト画面が表示されます。

正解率を見るとき

- 機能選択画面(62ページ)で (7) を押して「正解率を見る」を選ぶと、正解率を確認できます。



- 正解率が10%上がるごとに棒グラフの黒い部分が伸びていきます。

学習の情報を消去したいときは

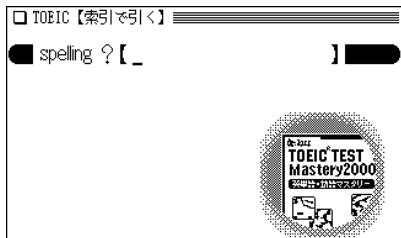
- 新たに学習をはじめのために、これまでの学習情報をすべて消去(初期化)したいときは、上記の画面で (機能) (削除) と押します。消去(初期化)の確認画面が表示されますので (Y) を押します。

英単語を調べる

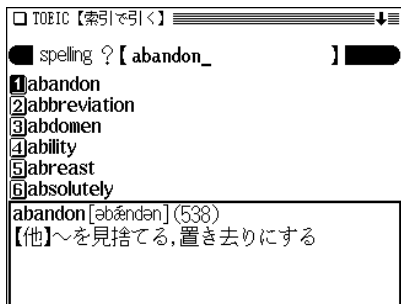
収録されている英単語を、英単語の「スペル」を入力して調べることができます。

【例題】「abandon」の意味や例文を調べてみましょう。

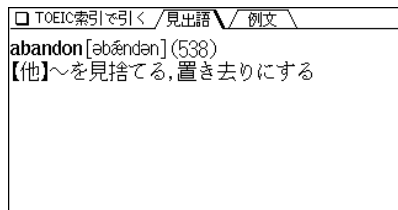
- 1 **メニュー** **0** **1** **1** と押し、**5** を押します。
索引検索のスペル入力画面になります。



- 2 「abandon」と入力します。
「abandon」を先頭に持つ語から始まるリスト表示になります。



- 3 目的の語を数字キー(ここでは **1**)で選びます。
英単語の詳細画面が表示されます。



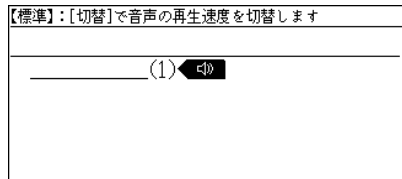
- **切替** を押すと例文が表示されます。
- **機能** **▽** または **▶** を押すとアルファベット順で、入力したスペルの次の英単語の詳細画面が表示されます。
- **戻る** を押すと前の画面に戻ります。
- 別の語を調べるときは、詳細画面でそのままスペルを入力するか、**クリア** を押してスペル入力画面にします。
- ◆ 詳細画面に表示されている語や英単語を調べるときは、ジャンプ機能が使えます(121ページ)。

例文を音声で聞く

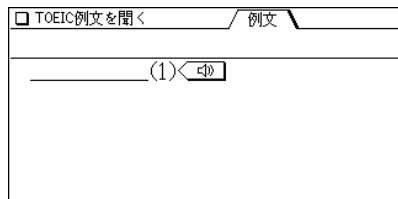
収録されている英単語の例文を音声で聞くことができます。

【例題】「最頻出の基本450単語 Rank A 1-450」に収録の例文を聞いてみましょう。

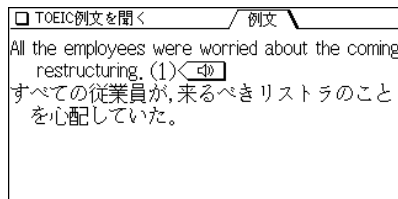
- 1 **メニュー** **0** **1** **1** と押し、**6** を押します。
「例文を聞く」のグループ選択画面が表示されます。
- 2 目的のグループを数字キー(ここでは **1**)で選びます。
選んだグループ内の分類選択画面が表示されます。
- 3 目的の分類を数字キー(ここでは **1**)で選びます。
詳細画面が表示されます。このとき、例文は隠されて、**< 音** マークが反転表示しています。



- 4 **検索/決定** を押します。
例文が音声で読み上げられます。
その後、**< 音** マークの反転が解除されます。
 - 本体右横にある音量調整ダイヤルで、適正な音量に調整ください。
 - 音声の再生速度を変えることができます(☞21ページ)。



- 5 **検索/決定** を押します。
例文が表示されます。



- 6 **検索/決定** を押して、次の例文を表示させます。

- **戻る** を押すと分類選択画面などに戻ります。(**< 音** マーク反転時に **戻る** を押すと反転が解除されます。)
- 例文の後ろの(1)などの番号は、収録している例文の番号です。収録されている例文にはすべて番号(連番)がついています。
- 一度聞いた例文をもう一度聞く場合は **音 詳** で **< 音** マークを反転表示させ、**検索/決定** を押します。

『TOEIC® テストの英文法』 を使う

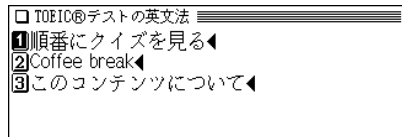
本コンテンツでは、TOEIC試験で重要な英文法の例題を、5つのレベルに分けて収録しています。

また、意外な文法の知識を、「Coffee break」として参照できるようにしています。

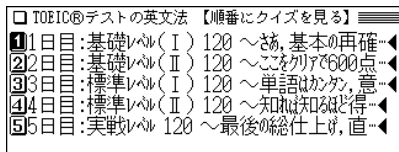
文法のテストをする

1 **メニュー** **0** **1** **2** と押して「TOEIC®テストの英文法」を選びます。

テーマ選択画面になります。

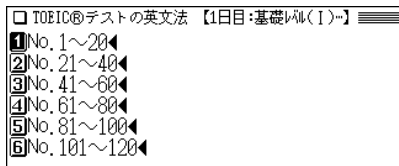


2 **1** を押して「順番にクイズを見る」を選びます。
問題のレベル選択画面になります。



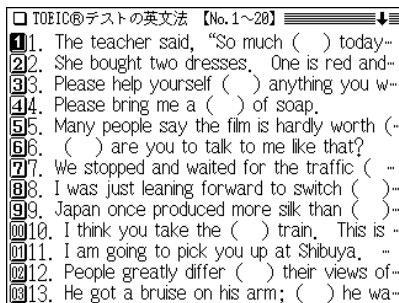
3 テストしたいレベルを数字キー(ここでは **1**)で選びます。

問題のグループ選択画面になります。



4 テストしたいグループを数字キー(ここでは **1**)で選びます。

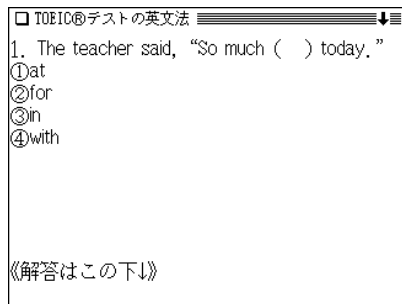
問題の選択画面になります。



5 問題を数字キー(ここでは ①)で選びます。

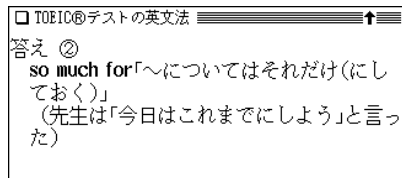
問題の詳細が表示されます。

正解を考えてください。



6 問題を解いたら、(V) や (▽) を押して正解を表示させます。

下部に正解と例文の全訳があります。

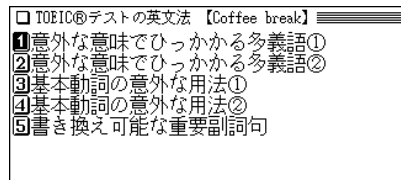


- (戻る) を押すと、前の画面に戻ります。
- (クリア) を押すとテーマ選択画面に戻ります。

文法の知識を見る (Coffee break)

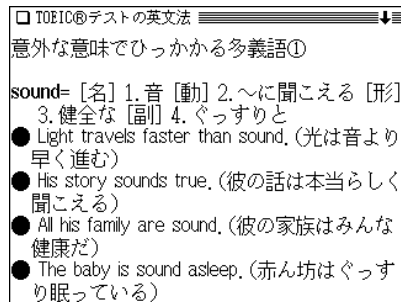
1 (メニュー) ① ② と押し、② を押します。

「Coffee break」の項目選択画面になります。



2 見たい項目を数字キー(ここでは ①)で選びます。

項目の詳細な内容が表示されます。



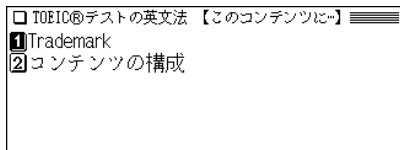
3 (V)、(△) や (▽)、(▲) で画面を送りながら、内容を読んでいきます。

- (戻る) を押すと、前の画面に戻ります。
- (クリア) を押すとテーマ選択画面に戻ります。

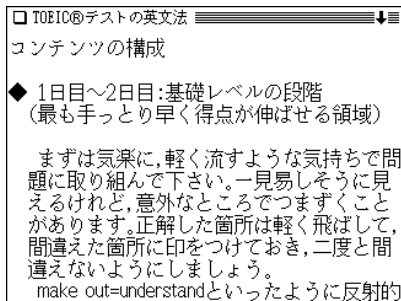
「このコンテンツについて」を見る

TOEICの商標に関する記載や、このコンテンツの構成などの説明が収録されています。

- 1 **メニュー** (0) (1) (2) と押し、(3) を押します。
項目選択画面が表示されます。



- 2 見たい項目を数字キー(ここでは (2)) で選びます。
詳細画面に内容が表示されます。



- (戻る) を押すと前の画面に戻ります。
- (クリア) を押すとテーマ選択画面に戻ります。

『語源で覚える「英単語」2000』

を使う

本コンテンツは、TOEIC、TOEFL、英検、大学入試・就職試験などに共通して頻出する英単語の中から、特に重要と思われる2000語を選び抜き、語源を通して覚えられるよう構成しています。

英単語を探す

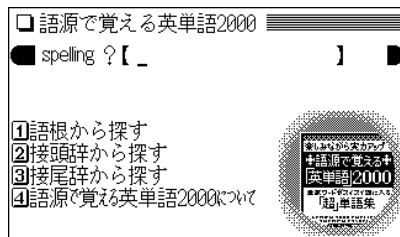
スペルから探す

収録単語をスペルから探します。

【例題】「abbreviate」を調べてみましょう。

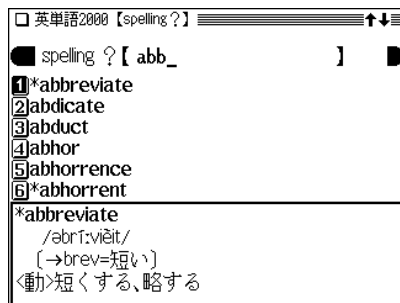
1 **メニュー** (0) (1) (3) と押し「語源で覚える英単語」を選びます。

入力/選択画面になります。



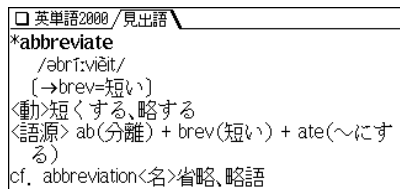
2 スペルの入力欄へ「abb」と入れます。

「abb」を先頭に持つ語から始まるリスト表示になります。



3 目的の語を数字キー(ここでは (1)) で選びます。

詳細画面が表示されます。



- 見出し語の前に * マークが付く語は重要語、* マークが付く語は最重要語です。

- **戻る** を押すと前の画面に戻ります。
- 詳細画面に表示される語や英単語などを調べるときは、ジャンプ機能が使えます(☞121ページ)。
マークで示される語は、同じコンテンツ内で、示されている語へジャンプできることを示します。

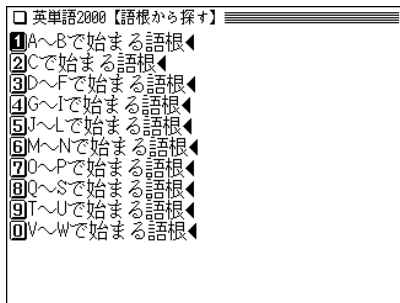
語根から探す

同じ語根を持つ語を、その語根から探します。

【例題】語根「ceed」から「proceed」を探してみましょう。

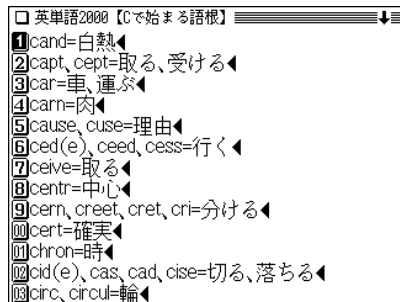
1 **メニュー** **0** **1** **3** と押し「語源で覚える英単語」を選びます。

2 **1** を押して「語根から探す」を選びます。
 語根の分類選択画面が表示されます。

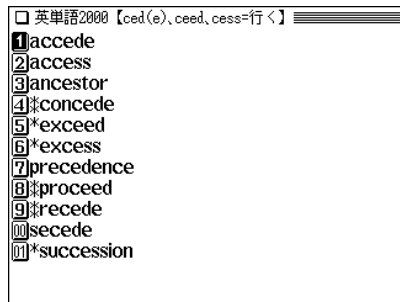


3 目的の語根が含まれる範囲を数字キー(ここでは **2**) で選びます。

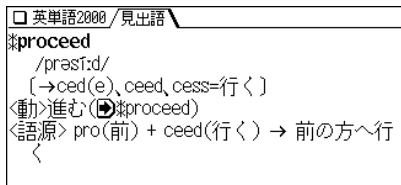
語根がリスト(一覧)表示されます。



4 数字キー(ここでは **6**) で目的の語根を選びます。
 選んだ語根の語がリスト(一覧)表示されます。

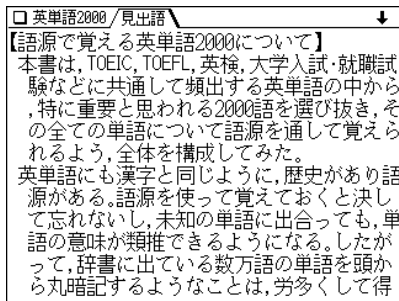


5 数字キー(ここでは **8**) で目的の語を選びます。
 詳細画面が表示されます。



「語源で覚える英単語2000について」を見る

- 1 **メニュー** **0** **1** **3** と押し、**4** を押して「語源で覚える英単語2000について」を選びます。詳細画面に内容が表示されます。



- 2 **▽**、**△** や **▼**、**▲** で画面を送りながら内容を読み進みます。

接頭辞／接尾辞から探す

先の「語根から探す」と同様の操作で探すことができます。

接頭辞から探す場合は手順2で **2** を押し、接尾辞から探す場合は手順2で **3** を押して、表示されるリストを選んでいって目的の語を探してください。

- ◆ 本コンテンツでは「語根」で扱った単語が「接頭辞」または「接尾辞」でも出てくることがあります。知識の定着と、語源の知識をさらに応用できるようにするため、135個の単語に関しては敢えて複数収録しています。

英会話とっさのひとこと辞典 を使う

さまざまな場面で使われる英会話表現を調べることができます。

■ 場面別に8章に分類されています。会話文がまるごと見出しになっていますので、場面・状況にあった会話表現を見つかります。第8章の後にコラムが収録されています。

■ 使いたい単語や熟語が含まれる会話文を検索することができます。

場面別に調べる

会話文を場面別の一覧から調べます。

【例題】理解しあえるひとことを調べてみましょう。

- 1 と押して「英会話とっさのひとこと辞典」を選びます。
選択/入力画面になります。

英会話とっさのひとこと辞典

①場面別会話

キーワード 読み？【 】

キーワード spelling？【 】

選択/入力画面

- 2 を押して「場面別会話」を選びます。
場面の選択画面に大分類が表示されます。

英会話とっさのひとこと辞典【場面別会話】

①第1章 毎日の生活でつかうひとこと

②第2章 会話を楽しくするひとこと

③第3章 理解しあえるひとこと

④第4章 感情をあらわすひとこと

⑤第5章 冠婚葬祭でつかうひとこと

⑥第6章 海外旅行でつかうひとこと

⑦第7章 ビジネス・レターに役立つひとこと

⑧第8章 会話によくできることわざ・決まり文

⑨コラム

- 3 数字キー(ここでは) で目的の大分類を選びます。
中分類が表示されます。

英会話とっさのひとこと辞典【場面別会話】

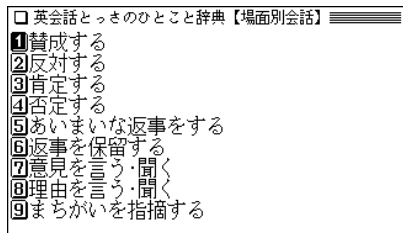
①話しあう

②要求する

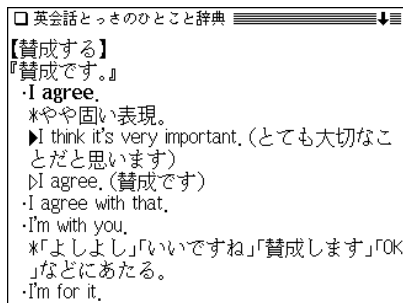
③相談する

④いろいろな質問

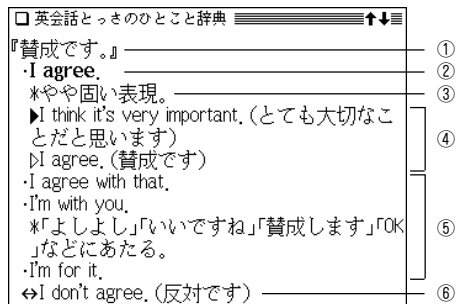
- 4 数字キー(ここでは (1))で目的の中分類を選びます。
小分類が表示されます。



- 5 数字キー(ここでは (1))で目的の小分類を選びます。
詳細画面が表示されます。



詳細画面に表示される説明の構成



- (V) (A) や (▽) (▲) で送って、内容を見ていきます。
- (戻る) を押すと前の画面に戻ります。
- (クリア) を押すと選択/入力画面に戻ります。

- ① 見出し文：日本語の会話文による見出しです。
- ② 英語見出し文：①に対応する英語会話文です。
- ③ 文・語彙の説明：②のニュアンス・用法・発音・単語や熟語の意味を解説しています。日本人が用いるときに、注意すべきことなども含みます。
- ④ 会話例：②を用いた会話例。対話・問答になっているので、どのような場面での会話が、より具体的にわかります。▷が英語見出し文を使った例文です。
- ⑤ 類似表現：①②とほぼ同じ意味をもつ言い換え表現。ニュアンスの異なるときは、*や()の日本語訳で説明しています。この言い換え表現は、①②とまったく同じ意味とはかぎりませんので注意してください。同じような場面で用いたときに、ほぼ同じ内容を表現できるものです。
- ⑥ 反意文(↔で示す)：①②の文とほぼ対をなす表現です。
応答表現(→で示す)：①もしくは⑤に答えるときの決まった表現です。

キーワードの読みまたはスペルから探す

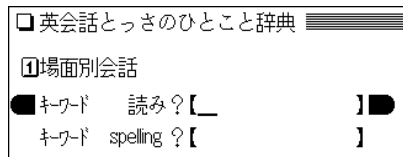
会話文に含まれるキーワードから探します。

- コラムの内容は検索しません。

【例題】「うれしい」をキーワードとして探してみましょう。

1 **メニュー** **0** **1** **4** と押し、**▼** を押して読みの入力欄へカーソルを移します。

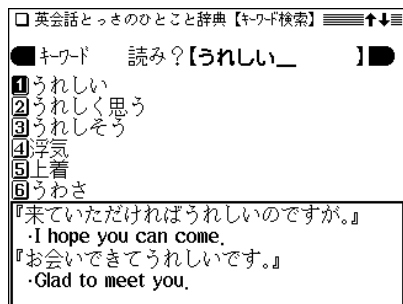
スペルで探すときはスペル入力欄へカーソルを移してください。



入力は
読み8文字以内、
スペル16文字以内

2 読み「うれしい」を入れます。

入力した読みを先頭に持つ語、または並び順でそれ以降の語が表示されます。



3 目的の語を数字キー(ここでは **1**) で選びます。
詳細画面になり、選んだ語を含む文が表示されます。



- **戻る** を押すと前の画面に戻ります。

英会話 Make it! を使う

日常生活でよく使う英会話の基本表現や、さまざまな場面・状況で使う応用表現の会話例およびその解説を調べることができます。

日常生活でよく使う基本表現を調べる

分からないときの聞き返しや自然なあいづち、英語の数の使いかたなど、日常生活に必要な基本表現を調べることができます。

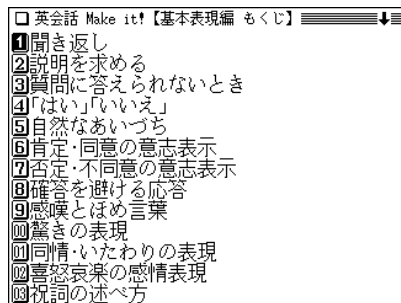
【例題】相手の言ったことが聞き取れないとき、「もう一度言ってもらいたいときの聞き返しかた」を調べましょう。

- 1 **メニュー** (0) (1) (5) と押して「英会話 Make it!」を選びます。
英会話 Make it! の選択/入力画面になります。



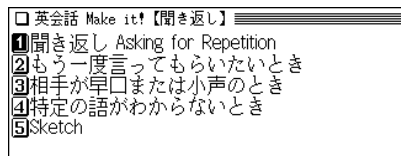
選択/入力画面

- 2 (1) を押して「基本表現編」を選びます。
基本表現編のもくじ画面が表示されます。

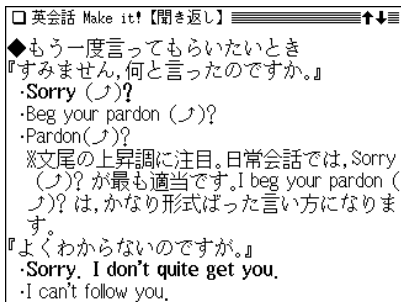


基本表現編のもくじ画面

- 3 調べたいカテゴリーを数字キー(ここでは (1)) で選びます。
選んだカテゴリー内の詳細選択画面が表示されます。



- 4 目的の項目を数字キーで選びます。(ここでは ② を押して「もう一度言ってもらいたいとき」を選びます。) 会話文例や解説・注意点などが表示されます。



- (戻る) を押すと前の画面に戻ります。
- (クリア) を押すと選択/入力画面に戻ります。
- 表示されている語や英単語を調べるときは、ジャンプ機能が使えます(☞121ページ)。
- ◆ カテゴリー内の内容は一つにつながっていて、(V) (A) や (▽) (▲) で送りながら読んでいくことができます。

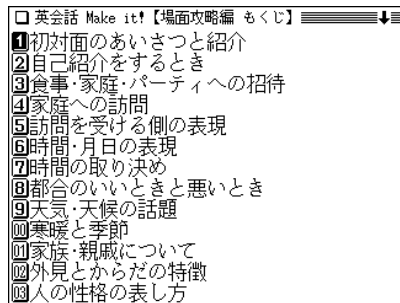
さまざまな場面や状況での表現を調べる

初対面のかたとのあいさつやレストランでの食事の注文など、さまざまな場面や状況での応用表現を調べることができます。

【例題】「初対面のあいさつのしかた」を調べましょう。

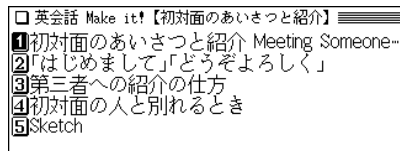
- 1 (メニュー) (0) (1) (5) と押し、(2) を押して「場面攻略編」を選びます。

場面攻略編のもくじ画面が表示され、場面攻略編のもくじ画面



- 2 調べたいカテゴリーを数字キー(ここでは ①)で選びます。

選んだカテゴリー内の詳細選択画面が表示されます。



- 3 目的の項目を数字キー(ここでは ①)で選びます。会話文例や解説・注意点などが表示されます。

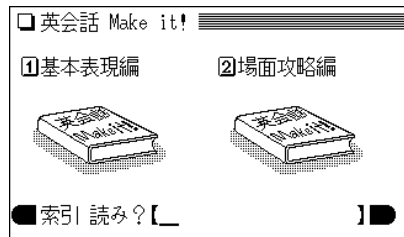
索引で英会話の決まり文句を調べる

英会話 Make it! に収められた英会話の例文や解説を、索引の「読み」を入力して調べることができます。

【例題】「あいさつ」で調べてみましょう。

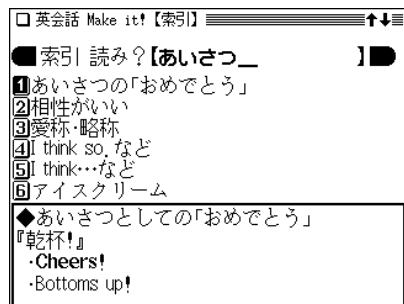
1 **メニュー** **0** **1** **5** と押し、**▼** を押します。

索引読みの入力欄にカーソルが表示されます。



2 「あいさつ」と入力します。

入力した読みを先頭に、50音順リスト表示になります。



3 目的の語を数字キー(ここでは **①**)で選びます。
あいさつの例文や解説が表示されます。

英文ビジネスレター事典 を使う

英語のビジネスレターでの決まり文句を、日本語の読みや英単語のスペルから調べることができます。
また、英文でビジネスレターを書くときの基礎知識やモデルレターを調べることもできます。

キーワードで決まり文句を検索する

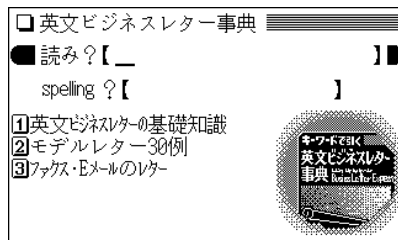
読みを入力して検索する（絞り込み検索）

キーワードの読みを入れて、決まり文句を調べます。

【例題】「考え(かんがえ)」を調べましょう。

1 **メニュー** **0** **1** **6** と押して「英文ビジネスレター事典」を選びます。

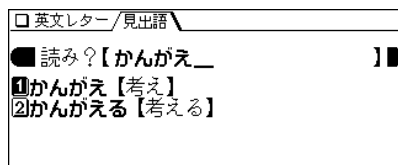
入力／選択画面になります。



入力／選択画面

2 「かんがえ」と入力します。

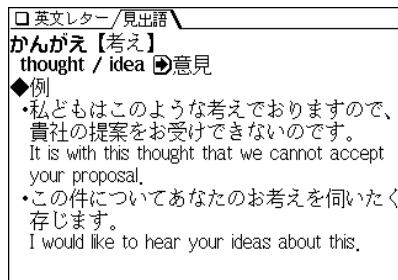
1文字入れるごとに候補が絞り込まれていきます。




読みの入力は13文字以内

3 目的の語を数字キー(ここでは **1**)で選びます。

見出し語(かんがえ【考え】)を使った決まり文句などが表示されます。



● **戻る** を押すと前の画面に戻ります。

- **リスト** を押すと辞書順のリスト表示になります。
- 別の語を調べるときは、そのままキーワードの読みを入力するか、**クリア** を押して入力画面にします。
- ◆ 詳細画面の英単語や  で示す語を調べるときは、ジャンプ機能が使えます(121ページ)。


読み入力時の参考

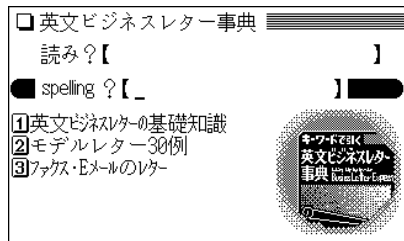
「…」などは省略して入れます(…したい → したい)。

英単語のスペルから検索する (絞り込み検索)

英単語のスペルから決まり文句を調べます。

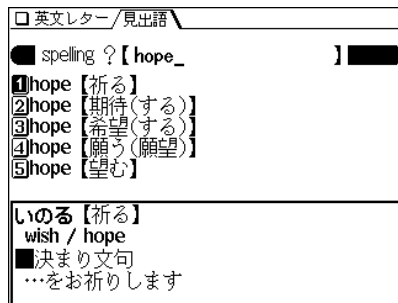
【例題】「祈る」を使った決まり文句を「hope」から調べましょう。

- 1 **メニュー** (0) (1) (6) と押した後、 を押してスペルの入力欄へカーソルを移します。



- 2 「hope」と入力します。

1文字入れるごとに候補が絞り込まれていきます。



スペルの入力
は20文字以内

- 3 目的の語を数字キー(ここでは (1)) で選びます。
「祈る」を使った決まり文句の詳細画面が表示されます。

スペル入力時の参考

英字の小文字を入れることができます。検索する語が大文字のときも小文字を入力して検索します。

「-」などの記号やスペースなどは省略して入れます。

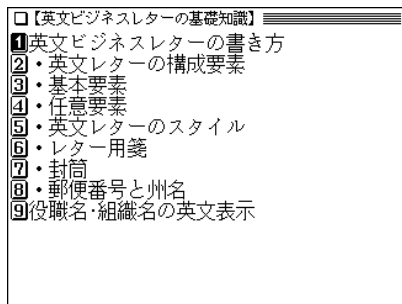
読みやスペルの入力を省略して検索する(“?”や“~”を使う)
“?”や“~”を使って、スペルの入力を省略したり、はっきりしない単語を調べることができます。

くわしくは、28ページをご覧ください。

ビジネスレターの基礎知識を調べる

英文のビジネスレターの書きかたなどを調べることができます。

- 1 **メニュー** **0** **1** **6** と押し、**1** を押して「英文ビジネスレターの基礎知識」を選びます。



- 2 目的の項目を数字キーで選びます。
 - **戻る** を押すと前の画面に戻ります。

モデルレターを調べる

ビジネスレターの文例を状況別に調べることができます。

- 1 **メニュー** **0** **1** **6** と押し、**2** を押して「モデルレター30例」を選びます。

- 2 目的の項目を数字キーで選びます。

文例が表示されます。

 - **戻る** を押すと前の画面に戻ります。

ファクスやEメールのレターについて調べる

ファクスやEメールの場合のビジネスレターの書きかたや文例を調べることができます。

- 1 **メニュー** **0** **1** **6** と押し、**3** を押して「ファクス・Eメールのレター」を選びます。

- 2 目的の項目を数字キーで選びます。
 - **戻る** を押すと前の画面に戻ります。

広辞苑・ 逆引き広辞苑を使う

言葉の意味(語義)や成句(慣用句)などを調べることができます。

また、言葉の後ろにつく文字から目的の言葉を探すこともできます。(逆引き広辞苑)

広辞苑に収録された語を、人名や地名などの分野別に探したり、慣用句を読みやキーワードから探したりすることもできます。(分野別小辞典)

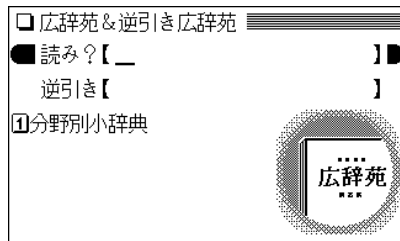
広辞苑を使う

読みを入力して検索する(絞り込み検索)

読みを入れて言葉を探し、意味などを調べます。複合語や成句(慣用句)も検索できます。

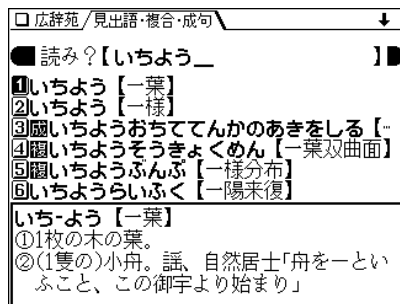
【例題】「一葉(いちよう)」を調べましょう。

- 1 **メニュー** **0** **2** **1** と押して「広辞苑&逆引き広辞苑」を選びます。(**広辞苑** を押してもよい)
広辞苑の入力・選択画面になります。



入力は13文字以内

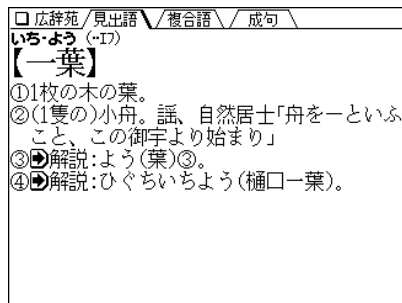
- 2 読みに「いちよう」を入れます。
1字入れるごとに、候補の語が絞り込まれていきます。



- “**闊**”は複合語、“**闊**”は成句(慣用句)を示しています。

3 目的の語を数字キー(ここでは①)で選びます。

詳細画面になり、意味などが表示されます。

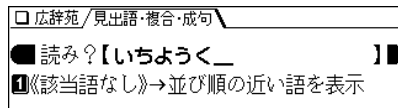


←タブ表示
(切替) で切り替えて
見る(☞29ページ)

- (戻る) を押すと前の画面に戻ります。
- (リスト) を押すと収録(辞書)順のリスト表示になります。
- 別の語を調べるときは、詳細画面でそのまま読みを入力するか、(クリア) を押して入力画面にします。
- 詳細画面に表示される語や英単語を調べるときは、ジャンプ機能が使えます(☞121ページ)。
なお、☞マークで示される語は、広辞苑内でのみジャンプすることができます。
- ◆ 説明の中に「→表、図」と表示されたときは、関連した表や図が本書に掲載されています(☞220ページ)。

絞り込んで、候補がなくなったときは

手順2で読みを入れていったとき、該当する候補がなくなると次のような画面を表示します。



このとき、① または (検索/決定) を押すと、50音順(辞書順)で、入力した読みよりも後の語がリスト表示されます。
(戻る) を押したときは、読みの入力画面に戻ります。

読み入力時の参考

1. 外来語などのカタカナも、ひらがなで入れます。
2. 長音は「ー」または、前の文字の母音を入れます。
(例) アパート → 「あばーと」と入れる。または「あばあと」と入れる。

読みの入力を省略して検索する(“?”や“~”を使う)

“?”や“~”を使って、読みの入力を省略したり、はっきりしない言葉を調べることができます(☞28ページ)。

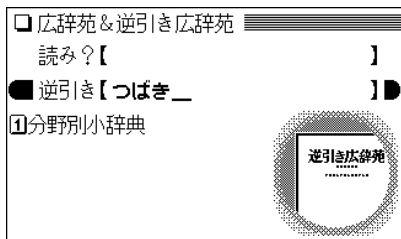
逆引き広辞苑を使う

「～ゆり」や「～じだい」など、後ろにつく文字から語を探します。

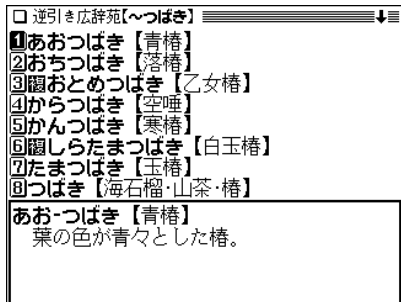
【例題】後ろに「つばき」がつく語を調べましょう。

1 **メニュー** (0) (2) (1) と押したあと、**▼** を押して逆引きの入力欄へカーソルを移します。

2 「つばき」を入れます。



3 **検索/決定** を押して検索します。



4 目的の語を数字キーで選びます。

詳細画面が表示されます。

- **戻る** または **リスト** を押すと、抽出した語のリスト表示に戻ります。
- 詳細画面で **機能** (▼) (機能) (▲) と押したときは、抽出した語の中で、次(前)の並びの語が表示されます。

“?”や“～”は使える?

逆引き広辞苑では、ワイルドカード“?”やブランクワード“～”を使用することはできません。

<逆引き広辞苑 第五版対応について>

- 書籍版『逆引き広辞苑 第五版対応』(岩波書店辞典編集部編)収録の「囲み記事」は、この製品には収録されていません。
- この製品は、書籍版『広辞苑 第五版』の全項目について「逆引き(後方一致検索)」が行えます。
- 逆引き広辞苑で表示される見出し語の配列は、書籍版とは異なります。

分野別に調べる

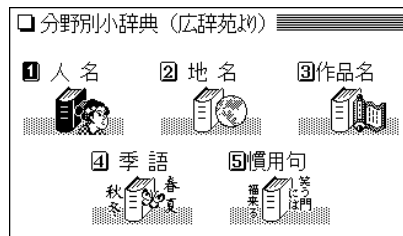
人名や作品名など、分野から探す

人名、地名、作品名、季語を、それぞれの内容によるグループと読みから探します。

【例題1】日本の作品から源氏物語(げんじものがたり)を調べましょう。

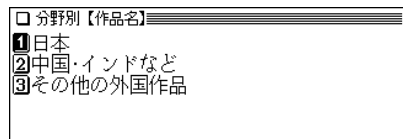
1 **メニュー** **0** **2** **1** と押し、**1** を押して「分野別小辞典」にします。

分野選択画面が表示されます。



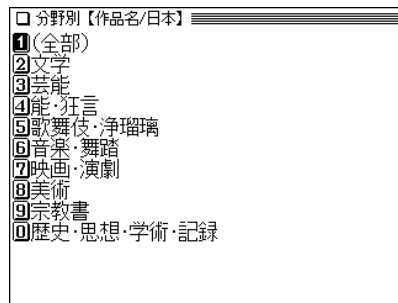
分野選択画面

2 **3** を押して「作品名」を選びます。
地域選択画面が表示されます。

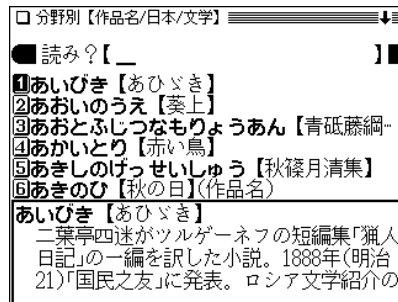


地域選択画面

3 ここでは **1** を押して「日本」を選びます。
分野の選択画面が表示されます。

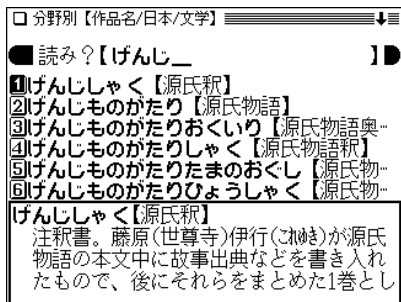


4 ここでは **2** を押して「文学」を選びます。
読み入力画面が表示されます。



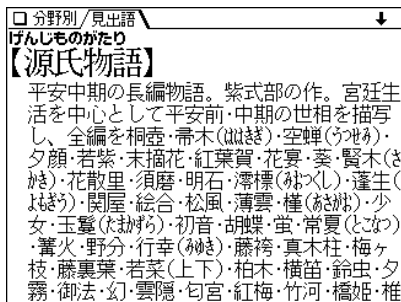
読み入力画面

5 作品の読み(ここでは「げんじ」)を入れます。
1字入れるごとに候補が絞り込まれていきます。



6 目的の「源氏物語」を数字キー(ここでは ②)で選びます。

詳細画面が表示されます。



- (戻る) を押すと前の画面に戻ります。
- (リスト) を押すとグループ内の収録順リスト表示になります。
- (クリア) を押すと読み入力画面になります。

分野別小辞典の検索について

- 「人名」、「地名」、「季語」で検索をするときも、「作品名」と同様に、内容ごとにグループ分けされた項目を次々と選び、候補を絞り込んでいきます。
- グループのどの項目に当てはまるかがわからないときは「(全部)」という項目を選んでください。

分野別小辞典のグループ一覧

分野名	グループ			
人名	日本 中国・朝鮮	ヨーロッパ・北アメリカ インド・アフリカなど		
地名	日本	全域 北海道 東北地方 関東地方 中部地方 近畿地方 中国地方	四国地方 九州地方	(全部) 自然地理 地方・県名など 都市名・区町村名など 歴史的地名 自然公園・観光地など その他
	アジア	全域 中国・朝鮮 東南アジア・南アジア 中近東・中央アジア		(全部) 自然地理 国名 地方・州名・省名・県名など 都市名・区町村名など その他

分野名	グループ		
地名	ヨーロッパ	全域 イギリス・アイルランド 北ヨーロッパ 西ヨーロッパ 南ヨーロッパ 東ヨーロッパ 中部ヨーロッパ 旧ソ連地域	(全部) 自然地理 国名 地方・州名など 都市名・区町村名など その他
		アフリカ	
		北アメリカ	
		中部アメリカ・南アメリカ	
		オセアニア・南極	
作品名	日本	(全部) 音楽・舞踏 文学 映画・演劇 芸術 美術 能・狂言 宗教書 歌舞伎・浄瑠璃 歴史・思想・学術・記録	
		(全部) 美術 宗教書 音楽・舞踏・芸術 歴史・思想・学術・記録	
	中国・インドなど	(全部) 文学 音楽・舞踏・芸術	
	その他の外国作品	(全部) 文学 音楽・舞踏・芸術 映画・演劇 宗教書 歴史・思想・学術・記録	
季語	春	(全部)	動物
	夏	時候・天文・気象・地形	植物
	秋	行事・祭事・習俗・俗信	
	冬	衣食住	
	新年	人事(遊び・病気など) 農耕・狩猟・漁労など	

慣用句を調べる

広辞苑に収録されている慣用句(成句)を読みまたはキーワードから探すことができます。

読み検索： 慣用句の読みの先頭2文字から検索

キーワード検索： 慣用句に関連する語(10文字以内)を3種類まで指定して検索

【例題1】 読み「なま」で始まる慣用句を調べましょう。

1 分野選択画面で **5** を押して「慣用句」を選びます。
慣用句検索の入力画面が表示されます。

2 読み「なま」を入れます。

分野別小辞典 (広辞苑)

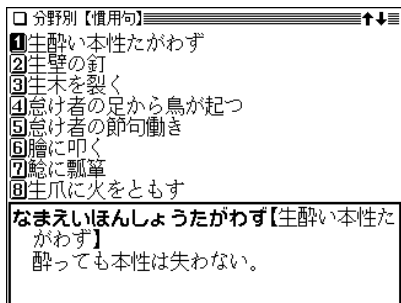
慣用句

■ 読み? (先頭2文字)【なま】

キワード1 【 】
 キワード2 【 】
 キワード3 【 】

3 **検索/決定** を押します。

「なま」から始まる慣用句(成句)を収録順にリスト(一覧)表示します。



- 清音、濁音、半濁音の区別、大きい文字、小さい文字の区別はせずに検索します。
- 該当する見出し語がないときは、収録順で次の語が表示されます。

4 目的の慣用句を数字キーで選びます。
慣用句(成句)の詳細画面が表示されます。

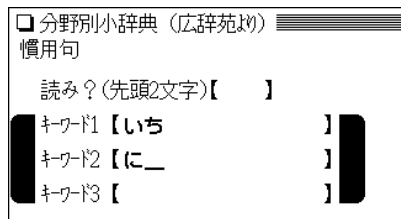
- **戻る** を押すと、前の画面に戻ります。
- **クリア** を押すと入力画面になります。

【例題2】 キーワード「いち」と「に」に関連する慣用句を調べましょう。

1 慣用句の詳細画面などで **クリア** を押し、慣用句検索の入力画面にします。

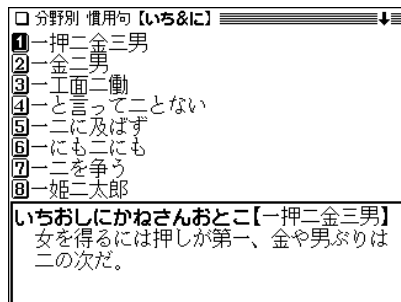
2 **▼** を押して、キーワードの入力欄へカーソルを移します。

3 「いち」を入れ、**▼** で次の欄へカーソルを移して「に」を入れます。



4 **検索/決定** を押します。

キーワードを含む慣用句(成句)をリスト(一覧)表示します。



5 目的の慣用句を数字キーで選びます。
慣用句(成句)の詳細画面が表示されます。

- **戻る** を押すと前の画面に戻ります。
- **リスト** を押すと収録順のリスト表示になります。
- **クリア** を押すと入力画面になります。

類語新辞典を使う

言葉の意義(意味)が似ている語や関連する語を調べることができます。

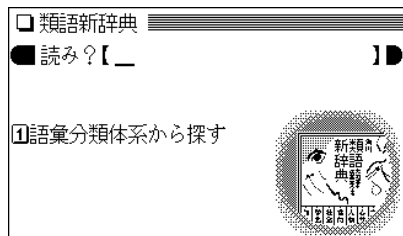
類語を調べる

読みを入力して検索する (絞り込み検索)

読みを入れて言葉を探し、その類語を調べます。

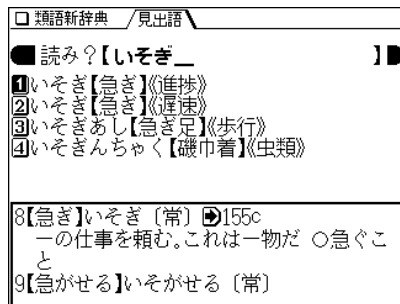
【例題】「急ぎ(いそぎ)」から類語を調べましょう。

1 **メニュー** (0) (2) (2) と押して「類語新辞典」を選びます。



2 読みに「いそぎ」を入れます。

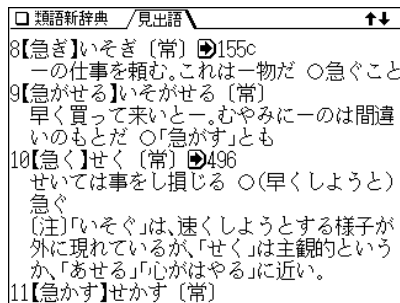
1字入れるごとに、候補の語が絞り込まれていきます。



• 語の後ろに〈 〉で囲って、その語が属する小分類名を示しています。

3 目的の語を数字キー(ここでは ①)で選びます。

詳細画面になり、選んだ語を先頭にした類語が表示されます。

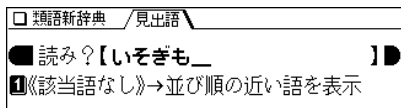


4 画面右上に“↓”、“↑”が表示されているときは (▼)、(▲) や (▽)、(△) で画面を送って必要な類語を探します。

- 各小分類の内容は一つのデータとして収録されています。したがって画面を送れば小分類内のすべての内容を見ることができます。
データの先頭に大分類名と中分類名が示されます。
- (戻る) を押すと、前の画面に戻ります。
- (リスト) を押すと、収録順(辞書順)のリスト表示になります。
- 別の語を調べるときは、そのまま読みを入力するか、(クリア) を押して入力画面にします。
- 詳細画面に表示される語や英単語を調べるときは、ジャンプ機能が使えます(☞121ページ)。
▶ マークで示される番号(小分類)は、示されている小分類に属する同じ語へジャンプできることを示します。

絞り込んで、候補がなくなったときは

手順2で読みを入れていったとき、該当する候補がなくなると次のような画面を表示します。



このとき、(1) または (検索/決定) を押すと、収録順で、入力した読みよりも後の語がリスト表示されます。

(戻る) を押したときは、読みの入力画面に戻ります。

読み入力時の参考

1. 外来語などのカタカナも、ひらがなで入れます。
2. 長音は「ー」または、前の文字の母音を入れます。
(例) アパート → 「あぱーと」と入れる。または「あばあと」と入れる。

読みの入力を省略して検索する(“?”や“~”を使う)

“?”や“~”を使って、読みの入力を省略したり、はっきりしない言葉を調べることができます。

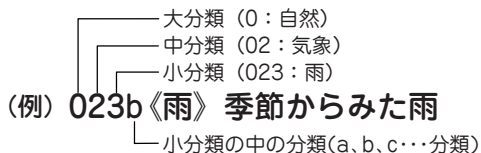
くわしくは、28ページをご覧ください。

分類から検索する

すべての語彙(ごい)は大分類、中分類、小分類に分類され、必要に応じてa、b、c…に分類されています。

この分類から、類語を調べます。

なお、大・中・小分類には番号が付けられ、左から1桁目が大分類、2桁目が中分類、3桁目が小分類を表します。



【例題】季節からみた雨に関する語を調べましょう。

1 **メニュー** **0** **2** **2** と押し、**1** を押して「語彙分類体系から探す」を選びます。

大分類が表示されます。

類語新辞典【語彙分類体系】	
1	【自然】 自然(0)◀
2	【自然】 性状(1)◀
3	【自然】 変動(2)◀
4	【人事】 行動(3)◀
5	【人事】 心情(4)◀
6	【人事】 人物(5)◀
7	【人事】 性向(6)◀
8	【文化】 社会(7)◀
9	【文化】 学芸(8)◀
0	【文化】 物品(9)◀

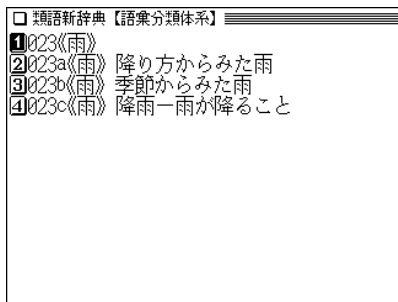
2 目的の大分類を数字キー(ここでは **1**)で選びます。
中分類が表示されます。

類語新辞典【自然】	
1	天文:天体とその現象(00)◀
2	暦日:暦で定めてある日(01)◀
3	気象:大気の状態と現象(02)◀
4	地勢:地形の起伏の状態(03)◀
5	景観:地表にあるものの眺め(04)◀
6	植物:生物の中で動物に対するもの(05)◀
7	動物:生物の中で植物に対するもの(06)◀
8	生理:生物の生命の現象(07)◀
9	物質:物を形作っている実質(08)◀
0	物象:生命のない物質が起こす現象(09)◀

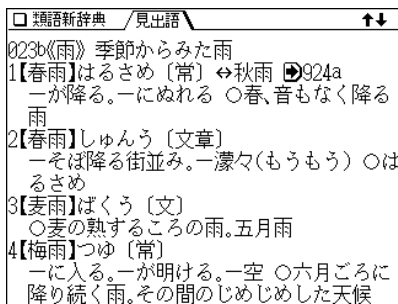
3 目的の中分類を数字キー(ここでは **3**)で選びます。
小分類が表示されます。

類語新辞典【自然-気象】	
1	気象:風雨や寒暖などの大気の現象(020)◀
2	寒暖:寒さと暖かさ(021)◀
3	晴曇:晴れと曇り(022)◀
4	雨:空から降ってくる水滴(023)◀
5	雪:水蒸気が結晶して降る白いもの(024)◀
6	霜:霜:大気中の水蒸気が水滴となったり、...
7	雲:水滴などの集まりが空中に浮かんだも...
8	霧:霧:地表近くを覆う水滴の集まり(027)
9	風:空気が流れ動く現象(028)◀
0	天変地異:天および地上に起こる異変(02-◀

4 目的の小分類を数字キー(ここでは **4**)で選びます。
ここではa、b、c…の分類が表示されます。
a、b、c…分類がない場合は詳細画面になり、類語が表示されます。



5 目的の分類を数字キー(ここでは ③)で選びます。
 詳細画面になり、類語が表示されます。



• ②(戻る) を押すと前の画面に戻ります。

6 画面右上に“↓”、“↑”が表示されているときは ▼、▲
 や ▽、△ で画面を送って必要な類語を探します。

パーソナルカタカナ語辞典 を使う

カタカナ語(外来語など)や、アルファベット略語の意味などを調べることができます。

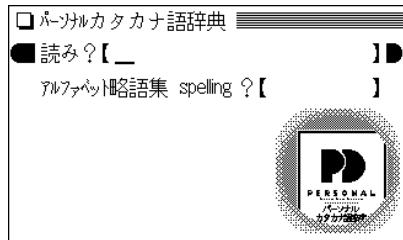
カタカナ語 / 略語を検索する

カタカナ語を検索する (絞り込み検索)

【例題】「モバイル」の意味を調べましょう。

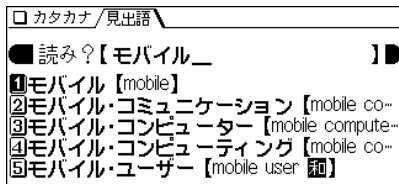
1 **メニュー** **0** **2** **3** と押して「パーソナルカタカナ語辞典」を選びます。

カタカナ語辞典の入力画面が表示されます。



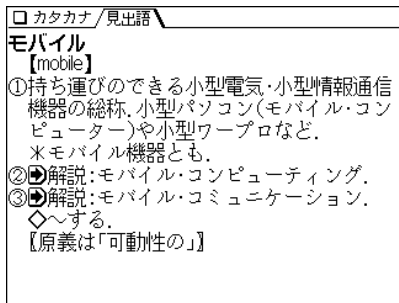
入力画面

2 「モバイル」と入力します。
1字入れるごとに候補が絞り込まれていきます。



読みの入力は13文字以内

3 数字キー(ここでは **1**)で目的の語を選びます。
カタカナ語(見出し語)の詳細画面が表示されます。



- **戻る** を押すと前の画面に戻ります。
- **リスト** を押すと辞書順のリスト表示になります。
- **クリア** を押すと入力画面になります。
- 表示されている語や英単語を調べるときは、ジャンプ機能が使えます(☞121ページ)。

読み入力時の参考

1. 中点「・」は省略して入れます(ア・カペラ → アカペラ)。
2. 長音符「ー」は、ないものと見なして検索を行います。

アルファベット略語を検索する(絞り込み検索)

略語のスペル(英大文字)を入れて、その略語の意味などを調べます。

【例題】「DVD」を調べましょう。

1 **メニュー** **0** **2** **3** と押して「**パーソナルカタカナ語辞典**」を選び、**▼**を押します。

アルファベット略語集のスペル入力欄へカーソルが移ります。

2 「DVD」と入力します。

1文字入れるごとに候補が絞り込まれていきます。



スペルの入力は
10文字以内

3 数字キー(ここでは **1**)で目的の語を選びます。

略語(見出し語)の詳細画面が表示されます。

- **戻る** を押すと前の画面に戻ります。
- **リスト** を押すと収録順のリスト表示になります。
- **クリア** を押すと入力画面になります。

スペル入力時の参考

1. 英字の大文字を入れることができます。見出し語が小文字のときも大文字を入力して検索します。
数字、「一」、「'」、「,」、「.」、「/」、スペース、かな、漢字などは省略して入れます。(例 Co.,Ltd. → COLTD)
2. 「&」は「AND」と入力してください。(例 M&A → MANDA)

読みの入力を省略して検索する(“?”や“~”を使う)

“?”や“~”を使って、読みや略語の入力を省略したり、はっきりしない言葉を調べることができます。

くわしくは、28ページをご覧ください。

漢字源を使う

漢字そのものが読めなくても、使われている「部品」の読みや画数などから漢字を調べることができます。また、その漢字を使った熟語を調べることができます。

漢字を検索する

漢字の検索条件を入力する

漢字の部品読み、音訓読み、部首画数、総画数の4種類の条件のうちの1つ、または2つ以上の組み合わせで漢字を検索することができます。

部品読みについて

例えば「辞」は「舌」「辛」あるいは「舌」「立」「十」などの部品に分けることができます。これらの部品の読みから漢字を探すことができます。(形から連想される読みや、省略した読みで探せる場合もあります。)

【例】	「舌」	した、ぜつ、したへん	} どれを入れても検索できます。
	「辛」	からい、つらい、しん、かのと	
	「立」	たつ、りつ、りゅう、りつとる	
	「十」	じゅう、とお	

【例題】「軽(けい)」を探してみましょう。

- 1 と押して漢字源を選びます。
漢字源の条件入力画面が表示されます。

条件入力画面

- 2 、 でカーソル(および条件項目)を移動させて、条件を入力します。
(4つの条件項目すべてに入力する必要はありません。)

● 部品読みで検索する場合

軽の一部「また」(又)と「つち」(土)を入れます。(複数の読みを入れるときは でカーソルを下の欄に移して入れます。)

● 音訓読みで検索する場合

- (1) を1~2回押して条件項目を移動します。
(2)「けい」と入れます。(複数の読みを入れるときは でカーソルを下の欄に移して入れます。)

●部首画数で検索する場合

- (1) を1~2回押して条件項目を移動します。
- (2) 車の画数「7」を入れ、**検索/決定** を押します。
 - 7画の部首がリスト表示されます。
- (3) 画面を送り(ここでは を1回押す)、数字キー(ここでは **4**)で「車」を選択します。
 - 「車」が入力されます。

音訓読み
【けい】
【
】
部首画数 【車】
総画数
【 】

●総画数で検索する場合

- (1) を押して条件項目を移動します。
- (2) 「12」を入れます。

音訓読み
【けい】
【
】
部首画数 【車】
総画数 【12】

3 条件を入力し終わったら **検索/決定** を押します。

条件に合った漢字(候補)がリスト表示されます。

漢字源/見出語
部品【また&つち】 1/1 ←画面番号/画面数
音訓【けい】
部首【車】 総画【12画】
軽

候補が多くある場合
1画面に最大10個表示
されます。

- 候補が10個を超える場合は右上に“↓”シンボルが表示されますので、 で画面を送って目的の漢字を探します。

4 目的の漢字を数字キー(ここでは **1**)で選択します。

漢字(見出し語)の詳細画面が表示されます。

- で目的の漢字にカーソル(数字の反転)を移して **検索/決定** を押しても、その漢字の詳細画面を表示できます。

漢字源/見出語/熟語
軽 輕
総画:12画 部首:車 第1水準 常用 3年
区点:2358 JIS:375A シフトJIS:8C79
【軽】旧字
総画:14画 部首:車
区点:7743 JIS:6D4B シフトJIS:E76A
常読:ケイ/かる・い/かる・やか
字首:ケイ(漢)・キョウ(呉)・キン(唐) <qing>(平)庚(清)

5 、 などで意味などを読んでいきます。

- **戻る** を押すと前の画面に戻ります。
- **リスト** を押すと漢字(候補)リスト表示になります。
- **クリア** を押すと条件入力画面になります。

検索した漢字の熟語を調べる

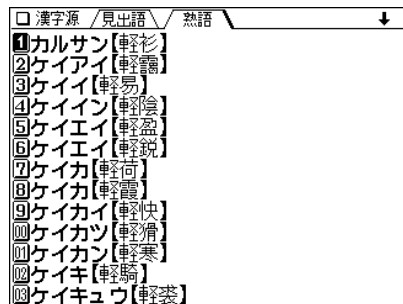
画面の上部に **熟語** が表示されているときは、漢字に関連した熟語を調べることができます。

【例題】「軽」(けい)の熟語を調べましょう。

1 漢字「軽」の詳細画面を表示させます。

2 **切替** を押します。

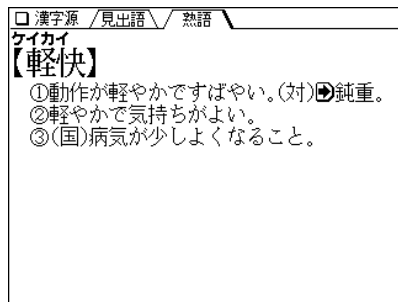
熟語のリスト(一覧)が表示されます。



• **▽** **△** で画面を送って目的の熟語を探します。

3 目的の熟語を数字キー(ここでは **9**)で選びます。

詳細画面に熟語の意味などが表示されます。



- **戻る** を押すと熟語のリストに戻り、**切替** を押すと漢字(見出し語)の詳細画面へ戻ります。

例文検索を使う

日本語の読みや単語のスペルから、その語が含まれる例文を検索することができます。

※検索対象の辞書などは次のとおりです。

“読み”による検索：和英、英文ビジネスレター

“スペル”による検索：リーダーズ英和&リーダーズ・プラス、
英和大辞典、和英、英和活用、英英
(ODE、OALD)、Thesaurus、とっさ
のひとこと、英文ビジネスレター

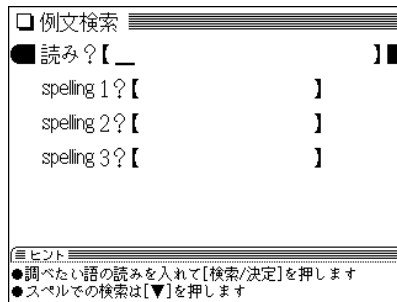
例文を検索する

読みを入力して検索する

読みを入れて例文を調べます。

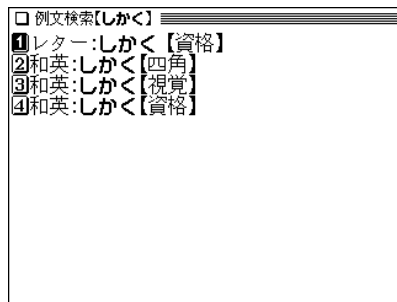
【例題】「資格(しかく)」を調べましょう。

1 **メニュー** **0** **3** **1** と押して例文検索の画面にします。(**例文検索** を押してもよい)



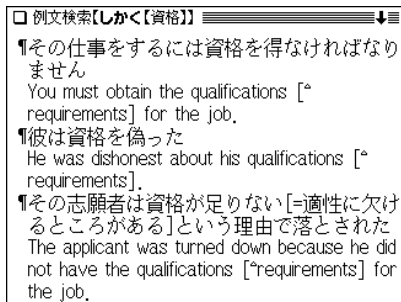
読みの入力は13文字以内

2 「しかく」と入れ、**検索/決定** を押します。
単語の候補のリストが表示されます。



● 候補が一つの場合にはリスト画面は表示されず、例文が表示されます。

3 目的の語を数字キー(ここでは **4**)で選びます。
見出し語(しかく)が含まれた例文が表示されます。



- (戻る) を押すと前の画面に戻ります。
- ◆ 例文の中の語や英単語を調べるときは、ジャンプ機能が使えます(☞121ページ)。
- ◆ 例文を単語帳に登録して利用することができます。(☞126ページ)。

読み入力時の参考

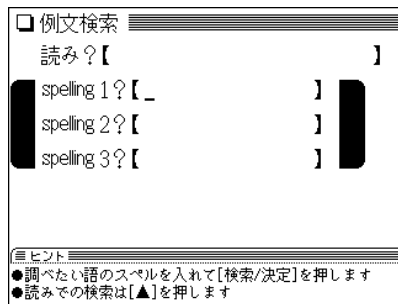
「ー」「…」などは省略して入れます。
 (ーたい → たい、むしろ…したい → むしろしたい)

英単語のスペルから検索する

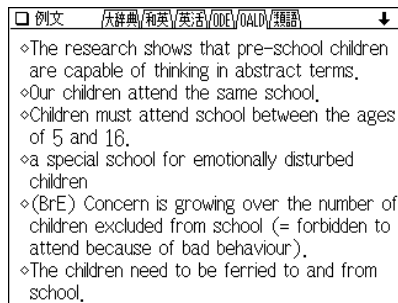
英単語のスペルを入力し、その語が含まれる例文を調べます。英単語は3つまで入力でき、それらの単語をすべて含んだ例文を検索することができます。

【例題】「children」と「school」で調べましょう。

- 1 (メニュー) (0) (3) (1) と押した後、(▼) を押してスペルの入力欄へカーソルを移します。



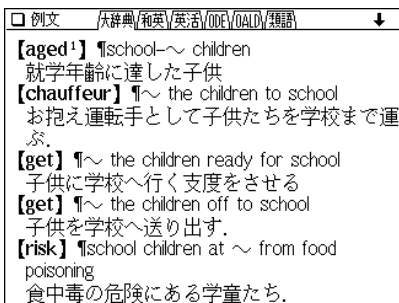
- 2 「children」を入れ、(▼) を押して「school」を入れます。
 スペルを複数入れるときは (▼) (▲) で入力欄を移動します。



英英辞典(OALD)
の例文表示

3 検索/決定 を押します。

入力した語が含まれた例文が検索されます。
該当する例文があった辞書などは、画面上側にタブが表示されます。



英和大辞典の
例文表示

- (戻る) を押すと前の画面に戻ります。

4 (切替) を押して見たい辞書などを選びます。

(切替) を押すたびに辞書など(画面上側のタブ)が切り替わり、それぞれの辞書などの例文が表示されます。

スペル入力時の参考

英字の小文字を入れることができます。見出し語が大文字のときは小文字を入力して検索します。
「一」、「'」、「,」、「.」、「/」、スペースなどは省略して入れます。

検索・抽出される例文数

各辞書などは該当する例文があれば、それぞれ約500例まで抽出されます。
抽出される例文が多い場合は、検索条件(単語)を増やして、抽出される例文を絞り込んでください。

『手紙文作成』を使う

「手紙文作成」を使えば、質問に答えていだけで手紙の文例を作成することができます。実際に手紙を書くときには、作成した文例を参照しながら書くことができます。

手紙文を作成する

文例を作る

【例題】転居を知らせるはがきの文例を作ってみましょう。

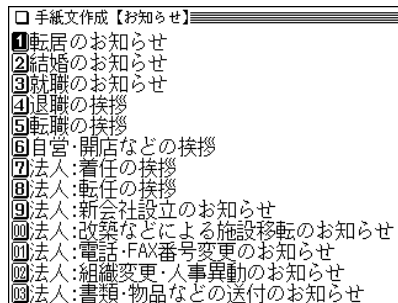
1 **メニュー** **0** **3** **2** と押して「手紙文作成」を選びます。

文例の種類選択画面が表示されます。

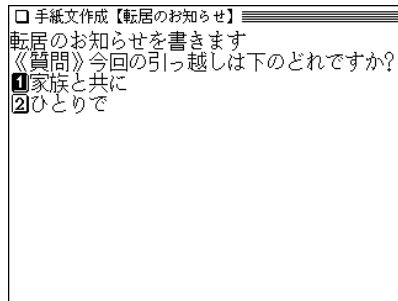


注)
画面のイラストは文例の種類を表すイメージとして使用しています。

2 **1** を押して「お知らせ」を選びます。
タイトルの選択画面が表示されます。



3 **1** を押して「転居のお知らせ」を選びます。
質問が表示されます。



4 数字キーで答えを選びます。

5 順番に表示される質問の答えを数字キーで選んでいきます。

ただし、時候の挨拶文を選ぶ場合は、画面下に表示されるメッセージにしたがって、**(V)**、**(^)** で採用する挨拶文を表示させ、**(検索/決定)** を押して採用します。最後の質問と答えの選択が終わると「作成終了しました」と表示した後、作成した文例が表示されます。

<input type="checkbox"/> 手紙文作成【転居のお知らせ】
【転居のお知らせ】
拝啓 長らくご無沙汰いたしておりますが、 いかがお過ごしでしょうか。
さて、このたび私こと、転勤のため下記の 住所へ転居いたしましたのでお知らせ申し上げます。
付近にお越しの際は、ぜひお立ち寄りください ますようお願いいたします。
今後ともよろしくお願いいたします。
敬具
(★日付)
(★住所/名前/電話など)

- 隠れている内容は **(V)** **(^)** や **(▼)** **(▲)** で画面を送って確認してください。
- 質問を表示しているときや、作成が終了した直後では、**(戻る)** を押すと1つ前の質問に戻ります。
- 作成終了後、**(クリア)** を押すと文例の種類選択画面に戻ります。
- 文章中の★マークで示された部分は、手紙を書くとき、ご自身の状況に合った内容に書き換えてください。

作成した手紙文(文例)の保存は

作成した手紙文は「しおり」として、最新のものから100件まで記憶されます。

呼び出すときは、手紙文作成の画面で **(しおり)** を押し、表示されるリスト(一覧)画面で、見たい文例のタイトルを数字キーで選びます。(☞124ページのしおりの説明)

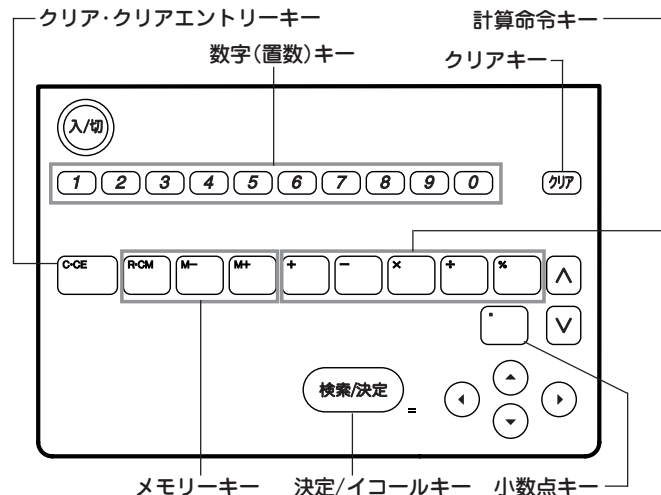
手紙文の作成を中止するときは

- 手紙文作成中に **(クリア)** を押したときや、他の機能を選択したときは、手紙文の作成中止を確認する画面が表示されません。このとき、**(Y)** を押すと手紙文の作成が中止されます。**(N)** を押すと、手紙文作成の画面に戻ります。

便利計算機能を使う

便利計算機能では、普通の計算の他に、通貨や単位の換算、年号や年齢の計算ができます。

【電卓で主に使用するキー】

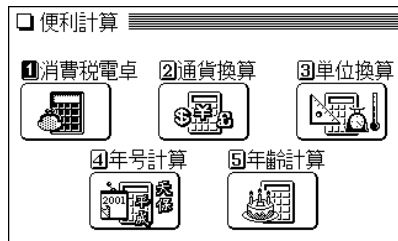


消費税電卓で計算をする

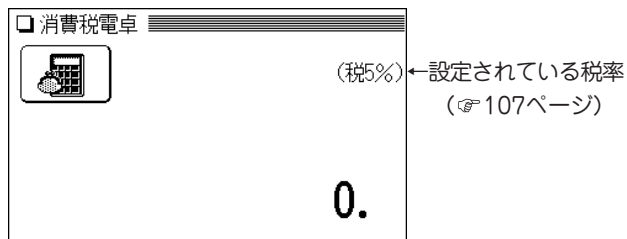
12桁までの加減乗除、税込/税抜計算、メモリー計算などができます。

一般の四則計算などは、この「消費税電卓」で行います。

- 1 **メニュー** **0** **3** **3** と押します。
便利計算の機能選択画面になります。



- 2 **1** を押して「消費税電卓」を選びます。
電卓画面が表示されます。



- 便利計算の機能選択画面に戻るときは **戻る** を押します。

計算を始める前に

- 計算を行う前に、**R・CM** **R・CM** **クリア** と押して、メモリーと表示をクリアしてから始めてください。
- 消費税計算を行うときは税率を確認し、必要なときは設定し直してください(☞107ページ)。
- 負の数が最初にくるときは、減算記号(**−**)を負数シンボル(マイナス)として計算を始めることができます。
- 入力中に数字を入れまちがえたときは **C・CE** を押して、もう一度入れ直してください。

計算の途中や結果を示すため、画面に“=”、“M+”、“M−”、“+”、“−”、“×”、“÷”が表示されますが、以降の計算例では、これらの表示は省略しています。

“=”は **=** または **%** を押したとき、その他の“M+”、“+”などは、それぞれのキーを押したときに表示されます。

	計算例	キ ー 操 作	表示(答)
加減乗除	$(-24) \div 4 - 2 =$	クリア − 24 ÷ 4 − 2 =	− 8.
定数計算	$34 + 57 =$	34 + 57 = (加数が定数 となります)	91.
	$45 + 57 =$	45 =	102.
	$68 \times 25 =$ $68 \times 40 =$	68 × 25 = (被乗数が定数 となります) 40 =	1' 700. 2' 720.
パーセント 計 算	200の10%は?	200 × 10 %	20.
	9は36の何%	9 ÷ 36 %	25.
割 増 割 引	200の10% 増しは?	200 + 10 % (または200 × 10 % + =)	220.
	500の20% 引きは?	500 − 20 % (または500 × 20 % − =)	400.
べき乗	$4^6 = (4^3)^2 =$	4 × = = × =	4' 096.
逆数計算	$1 / 8 =$	8 ÷ =	0.125
税込計算	25000円の 税込額(5%)	25000 ◀	26' 250. <small>税込</small>
	税額(5%)	◀	1' 250. <small>税額</small>
	税抜額が 1000円と500円の 合計額	1000 + 500 =	1' 500.
	税込額(5%)	◀	1' 575. <small>税込</small>
税額(5%)	◀	75. <small>税額</small>	

	計算例	キー操作	表示(答)
税抜計算	44100円の 税抜額(5%)	44100 \blacktriangleright	税抜 42' 000.
	税額(5%)	\blacktriangleright	税額 2' 100.
	税込額が 1050円と525円の 合計額	1050 $(+)$ 525 $(=)$	1' 575. 税抜
	税抜額(5%)	\blacktriangleright	1' 500. 税額
	税額(5%)	\blacktriangleright	75.
メモリー 計算	(累計)	計算の前にメモリーを消去します \downarrow $(R \cdot CM)$ $(R \cdot CM)$	※
	25 \times 5 =	25 (\times) 5 $(M+)$	M 125.
	$-$) 84 \div 3 =	84 (\div) 3 $(M-)$	M 28.
	$+$) 68 + 17 =	68 $(+)$ 17 $(M+)$	M 85.
	(計) =	$(R \cdot CM)$	M 182.
	(定数記憶)	$(R \cdot CM)$ $(R \cdot CM)$	
	12 $(+)$ 14 $(M+)$	M 26.	
	135 \times (12+14) =	135 (\times) $(R \cdot CM)$ $(=)$	M 3' 510.
	(12+14) \div 5 =	$(R \cdot CM)$ (\div) 5 $(=)$	M 5.2

● $(-)$ キーは (H) を押します。

※ メモリーに0以外の数値が入ると、“M”が表示されます。

$(M+)$ 、 $(M-)$ は $(=)$ の働きもかねています。

こんなときはエラーが出ます

計算結果の整数部が13桁以上になったときや、除数が0の除算をしたときなどは、画面に「E」が表示されて、その後の計算ができなくなります。

$(C \cdot CE)$ を押してエラー状態を解除してください。

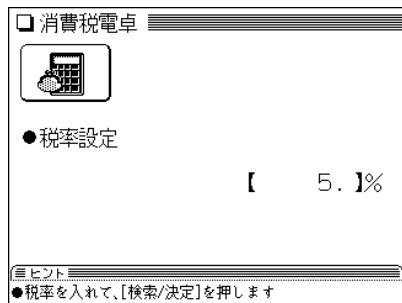
次のような概数が表示されているとき、小数点は兆の位を示します。

例： 4567890123 (\times) 4560 $(=)$ $\overset{E}{20.8295789608}$
 $(C \cdot CE)$ $\overset{E}{20.8295789608}$
↑
兆の位

消費税率を変更する

税率の変更があったときに行います。
消費税率はあらかじめ5%に設定されています。

- 1 電卓画面で **(△)** を押します。
消費税率を設定する画面が表示されます。



- 2 税率を入力します。
小数点を数えずに、4桁の範囲で設定できます。
- 3 **検索/決定** を押します。
新しい消費税率が設定され、電卓画面に戻ります。

通貨換算をする

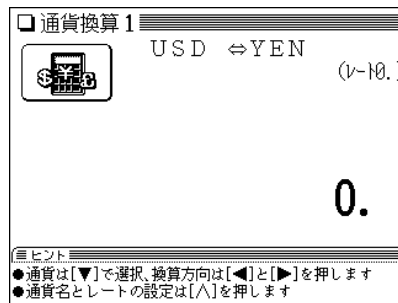
通貨換算機能は、通貨の換算が簡単にできます。

通貨のレートを設定する

「通貨1」から「通貨4」まで、4種類の通貨レートが設定できます。

【例題】「通貨1」に「1ドル=122.5円」を設定しましょう。

- 1 **メニュー** **(0)** **(3)** **(3)** **(2)** と押します。
通貨換算の画面が表示されます。



- 2 **(▼)**、**(▲)** で、レートを設定する画面を選びます。(ここでは手順1の画面を選びます。)
- 3 **(△)** を押します。
通貨名とレートを入力する画面が表示されます。
- 4 **(▼)**、**(▲)** でカーソル(入力欄)を移動させて、通貨名と通貨レートを入力します。

●通貨名の入力

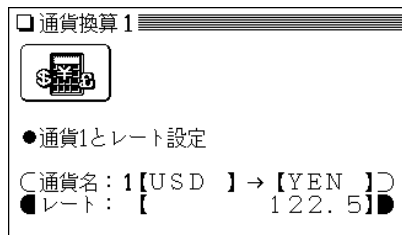
英字の大文字を使って、4文字以内で通貨名を入力します。

左右の入力項目は **▶**、**◀** でカーソルを移動させて選びます。

- 「通貨換算1」の通貨名の欄には、あらかじめ左側に「USD」(米ドル)、右側に「YEN」(円)が入力されています。
- 左側に基準の通貨名、右側にレートを設定する通貨名を入力します。

●通貨レートの入力

小数点を数えずに、10桁の範囲で入力できます。



5 **検索/決定** を押します。

通貨レートが設定されます。

通貨を換算する

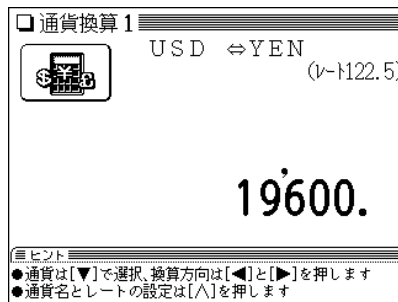
あらかじめ設定した通貨レートにしたがって、通貨の換算ができます。

【例題】 1ドル=122.5円で通貨レートを設定しているとき、19,600円が何ドルになるか、調べてみましょう。

1 **メニュー** **0** **3** **3** **2** と押します。
通貨換算の画面が表示されます。

2 **▼**、**▲** で通貨「通貨換算 1 USD ⇔ YEN」を選びます。

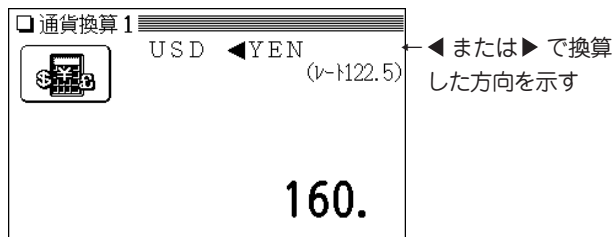
3 「19600」を入力します。



入力は、たとえば「2450×8=」のような計算をして入れることもできます。

4 **◀** で円をドルに換算します。
19,600円がドルに換算されます。

- **▶** を押すと、表示数値をドルとみなして、円に換算します。



- 別の金額を換算するときは、そのまま数値を入力するか、**(C・CE)** で数値を消してから、新たに入力します。
- 別の通貨で換算するときは **(▼)**、**(▲)** で選びます。
- 便利計算の機能選択画面に戻るときは **(戻る)** を押します。

単位換算をする

単位換算機能を使うと、長さや重さ、温度の単位を簡単に換算することができます。

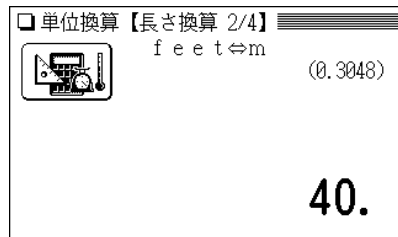
【例題】 40フィートは何メートルになるか調べましょう。

1 **(メニュー)** **(0)** **(3)** **(3)** **(3)** と押します。

単位換算の入力画面が表示されます。

2 **(▼)**、**(▲)** で「長さ換算 2/4 feet↔m」を選びます。

3 「40」を入力します。

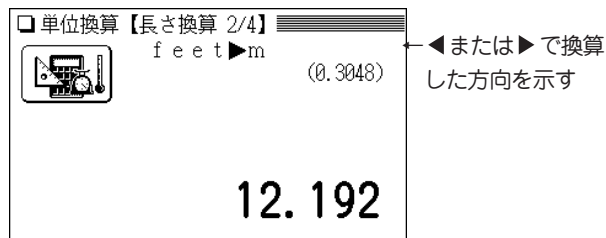


入力は、たとえば「25+15=」のような計算をして入れることもできます。

4 **(▶)** を押します。

40フィートがメートルに換算されます。

- **(◀)** を押すと、表示数値をメートルとみなして、フィートに換算します。



- 別の数値を換算するときは、そのまま数値を入力するか、**C・CE**で数値を消してから、新たに入力します。
- 別の単位で換算するときは **▼**、**▲** で選びます。
- 便利計算の機能選択画面に戻るときは **戻る** を押しします。

換算できる単位

この製品では、次のような単位の換算ができます。

- 長さ1 inch (インチ) ⇔ cm (センチメートル)
- 長さ2 feet (フィート) ⇔ m (メートル)
- 長さ3 yard (ヤード) ⇔ m (メートル)
- 長さ4 mile (マイル) ⇔ km (キロメートル)
- 重さ1 常用oz (オンス) ⇔ g (グラム)
- 重さ2 常用lb (ポンド) ⇔ kg (キログラム)
- 温度 °F (華氏) ⇔ °C (摂氏)

注：上記単位の「ポンド」は**常用ポンド**、「オンス」は**常用オンス**です。この場合、1ポンドは16オンスになります。この他に、トロイポンド、トロイオンスなどがあります。くわしい内容は広辞苑でご確認ください。

年号計算をする

年号計算では、西暦と和暦を換算したり、その年の干支などを調べることができます。西暦593年から2087年までの年を調べることができます。

年号の検索には次の2つの方法があります。

西暦または明治以降の和暦から調べる：

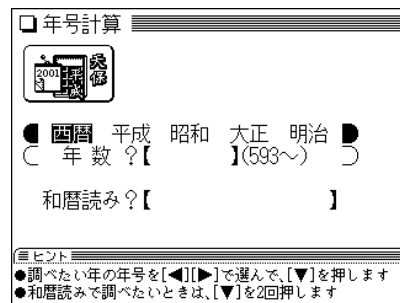
画面の表示から西暦または和暦を選び、年を入力

明治よりも以前の和暦から調べる：

和暦の読みを入力

【例題1】西暦1989年が和暦の何年になるか調べましょう。

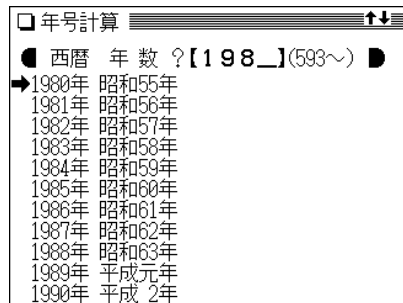
- 1 **メニュー** **0** **3** **3** **4** と押します。
年号計算の入力画面が表示されます。



- 2 **▶**、**◀** を押して「西暦」を選び、**▼** を押してカーソルを年数の入力欄へ移します。

3 「198」と入力します。

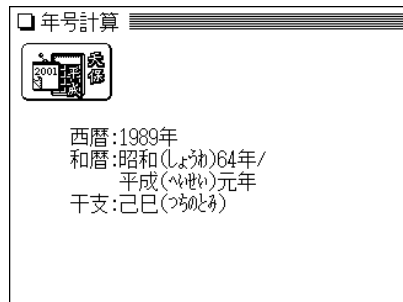
該当する年から順番にリスト(一覧)表示されます。



- 数値を入れまちがえたときは、**〔後退〕** や **〔機能〕** **〔削除〕** で数字を削除して入れ直してください。

4 **〔下〕**、**〔上〕** で“→”マークを目的の「1989年」へ移し(年数を「1989」と入れてもよい)、**〔検索/決定〕** を押しします。

その年の詳細画面が表示されます。

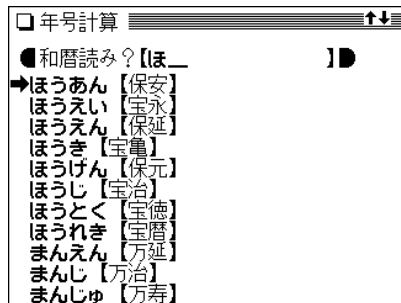


- 詳細画面で **〔左〕**、**〔右〕** を押すと前後の年が表示されます。

- **〔戻る〕** を押すと前の画面に戻ります。
- 別の年を調べるときは **〔クリア〕** を押して入力画面にします。

【例題2】宝永2年が西暦の何年にあたるか、調べましょう。

- 1 **〔クリア〕** を押して、年号計算の入力画面にします。
- 2 **〔下〕** を2回押して、和暦読みの入力欄へカーソルを移動します。
- 3 和暦の読み(ここでは「ほ」)を入力します。
「ほ」から始まる和暦が50音順にリスト(一覧)表示されます。



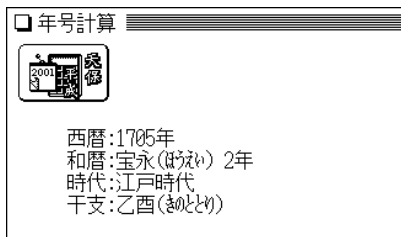
- 4 **〔下〕**、**〔上〕** で“→”マークを目的の和暦「宝永」へ移して(読みを「ほうえい」と入れてもよい)、**〔検索/決定〕** を押しします。

宝永元年から順番にリスト(一覧)表示されます。



5 ▼、▲ で“→”マークを目的の年「宝永2年」へ移して **検索/決定** を押します。

その年の詳細画面が表示されます。



- 詳細画面で ◀、▶ を押すと前後の年が表示されます。
- **戻る** を押すと前の画面に戻ります。
- 別の和暦を調べるときは **クリア** を押して入力画面にします。
- 「平成」の年表示は、仮に「平成」が西暦2087年まで続くものとして表示します。

年齢計算をする

年齢計算機能を使うと、年齢や誕生日(生まれた年)を計算したり、干支などを調べることができます。

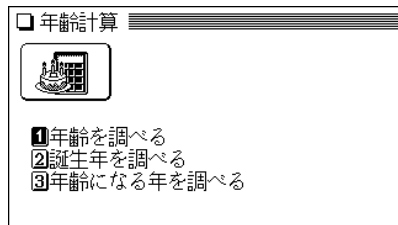
年齢を調べる

誕生日がわかっているとき、何歳になるのかを調べることができます。

【例題】 大正15年生まれの人が、2006年で何歳になるか、調べましょう。

1 **メニュー** **0** **3** **3** **5** と押します。


年齢計算の機能選択画面が表示されます。



年齢計算の
機能選択画面

2 **①** を押して、「年齢を調べる」を選びます。
誕生日と現在の年の入力画面が表示されます。

□ 年齢計算【年齢は?】



● 西暦 平成 昭和 大正 明治

○ 誕生年?【 】(1868~)

○ 西暦 平成 昭和 大正 明治

○ 現在年?【 】(1868~)


3 ▶、◀ で「大正」を選び、▼ を押して生まれた年「15」を入力します。

4 ▼ を押して現在年の年号欄へカーソルを移します。

- 和暦で入力するときは ▶、◀ で年号を選びます。

5 ▼ を押し、現在年「2006」を入力します。

□ 年齢計算【年齢は?】



○ 西暦 平成 昭和 大正 明治

○ 誕生年?【 15 】(1~15)


○ 西暦 平成 昭和 大正 明治

● 現在年?【 2006】(1868~)

- 数値を入れまちがえたときには (後退) や (機能) (削除) で数字を削除して入れ直してください。

6 (検索/決定) を押します。

□ 年齢計算【年齢は?】



大正15年/昭和元年(1926年)
丙寅(のねとら)年生まれの方は
平成18年(2006年)の誕生日で
【80才】になります

- (戻る) を押すと前の画面に戻ります。
- 別の条件で年齢を調べるときは (クリア) を押して入力画面にします。

こんなときはエラーが出ます

- 誕生年、現在年に、西暦にして1868年~2087年以外になる年を入力したとき
このときは、エラーを示すメッセージが一時表示されますので、入力内容を確認して、修正してください。

生まれた年(誕生日)を調べる

年齢が分かっているとき、何年生まれかを調べることができます。

【例題】平成18年で41歳になる人が、何年生まれなのかを調べましょう。

1 **メニュー** **0** **3** **3** **5** と押します。

年齢計算の機能選択画面が表示されます。


2 **2** を押して「誕生日を調べる」を選びます。

現在年と年齢の入力画面が表示されます。

3 **▶**、**◀** で「平成」を選び、**▼** を押して現在年「18」を入力します。

4 **▼** を押して年齢の入力欄へカーソルを移し、年齢「41」を入力します。

□ 年齢計算【誕生日は?】




〔 西暦 **平成** 昭和 大正 明治 〕
〔 現在年?【18】 (1~) 〕

● 年齢 ?【41】才 ●

- 誕生日後の年齢を入れてください。
- 数値を入れまちがえたときには **後退** や **機能** **削除** で数字を削除して入れ直してください。

5 **検索/決定** を押します。

□ 年齢計算【誕生日は?】



平成18年(2006年)の誕生日で
41才の人は
【昭和40年(1965年)
乙巳(ととみ)年生まれ】です

- 手順4で誕生日前の年齢を入れたときは、計算結果から1年を引いてください。
- 別の条件で誕生日を調べるときは **クリア** を押して入力画面にします。

こんなときはエラーが出ます

- 現在年に、西暦にして1868年～2087年以外になる年を入力したとき
 - 計算の結果、誕生日が西暦1868年より前の年になったとき
- このような場合は、エラーを示すメッセージが一時表示されますので、入力内容を確認して修正してください。

ある年齢になる年を調べる

誕生年がわかっているとき、ある年齢になるのが何年なのかを調べることができます。

【例題】昭和63年生まれの人が99歳になるのはいつかを調べましょう。

1 **メニュー** **0** **3** **3** **5**と押します。

年齢計算の機能選択画面が表示されます。

2 **3**を押して「年齢になる年を調べる」を選びます。

誕生年と年齢の入力画面が表示されます。

3 **▶**、**◀**で「昭和」を選び、**▼**を押して誕生年「63」を入力します。

4 **▼**を押して、年齢の入力欄へカーソルを移し、年齢「99」を入力します。

□ 年齢計算【いつの年?】

C 西暦 平成 昭和 大正 明治

C 誕生年?【63】(1~64)

● 年齢 ?【99】才 ●

● 数値を入れまちがえたときには **後退** や **機能** **削除** で数字を削除して入れ直してください。

5 **検索/決定** を押します。

□ 年齢計算【いつの年?】

昭和63年(1988年)
戊辰(つゆはつ)年生まれの人が
99才になるのは
【平成99年(2087年)】です

- 和暦での年号は、仮に「平成」が続くものとして表示しています。
- 別の条件で調べるときは、**クリア** を押して入力画面にします。

こんなときはエラーが出ます

- 誕生年に、西暦にして1868年～2087年以外になる年を入力したとき
このときは、エラーを示すメッセージが一時表示されますので、入力内容を確認して、修正してください。

複数のコンテンツを一括して 検索する(一括検索)

この製品は、複数のコンテンツ(辞書など)を対象にして言葉を調べることができます。

「読み」や「スペル」を入れ、対象となる辞書などから見出し語を探します。

文字の入力中は1文字入れるごとに候補を絞り込む**絞り込み検索**で探し、すべての文字を入れても候補が多い場合には、**完全一致検索**に切り替えて探すことができます。

また、語の一部が分からないような、あいまいな語を調べることもできます。

絞り込み検索：入力した文字を読みやスペルの先頭に持っている見出し語を探し出します。

この製品では、文字を1文字入れるたびに検索を行い、候補を絞り込んでいきます。

長い読みやスペルの見出し語は、すべての文字を入れなくても探し出せる場合が多くあります。

完全一致検索：入力した文字と、見出し語の読みやスペルの文字が、ぴったり一致する見出し語を探し出します。

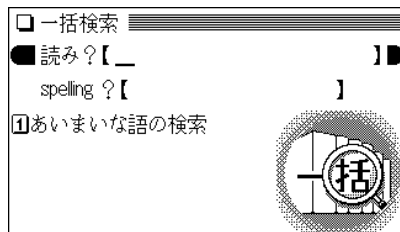
他の候補が表示されないで、目的の語がはっきりしている場合などに利用します。

「読み」や「スペル」で語を探す

【例題】「いちご」を一括検索してみましょう。

1 **一括検索** を押します。

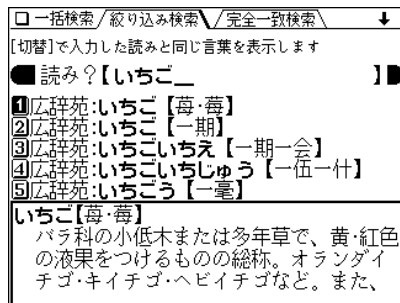
一括検索の入力画面になります。



2 「いちご」を入力します。

1文字入れるごとに候補が絞り込まれていきます。

●英単語を調べる場合は、(▼) でスペル入力欄にカーソルを移し、スペルを入力します。



候補は最大100件まで探し出されます。

●見出し語の前に、収録されている辞書などを示す名前が表示されます。

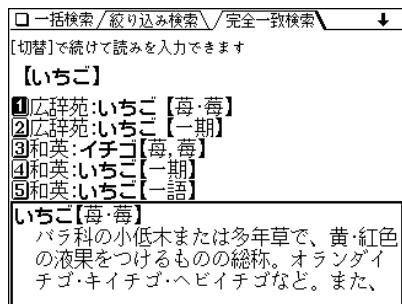
3 目的の語が表示されているとき、または など
で目的の語を表示させて、数字キーで選びます。
収録されている辞書などの詳細画面になり、意味などが
表示されます。

● を押すと前の画面に戻ります。

● 候補が多すぎる場合などには、完全一致検索に切り替え
て探します。

4 手順2の画面で を押します。

入力した読みと一致する読みの見出し語がリスト表示さ
れます。



● 入力した読みやスペルを変更するときは を押して
絞り込み検索の画面に戻って行きます。

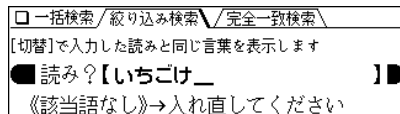
5 目的の語を数字キーで選びます。

収録されている辞書などの詳細画面になり、意味などが
表示されます。

● を押すと前の画面に戻ります。

候補がないときは

手順2で、読みやスペルを入れていったとき、該当する候補が
なくなると次のような画面を表示します。



このときは、文字を修正・変更する、または を押して
から、新たに入力してください。

を押して完全一致検索に切り替えたときに、該当する語が
ない場合は、「見つかりません」と一時表示をして、文字入力中の
画面に戻ります。

一括検索について

- 目的の語を選択した後は、通常の調べかたで表示させたとき
と同じ動作になります。
- 目的の語を選択した後の画面で を押したときは、
一括検索の入力画面に戻ります。

“?”や“~”は使える?

一括検索では、読みやスペルの入力に“?”や“~”は使えません。
あいまいな語を調べるときは、次項の「あいまいな語を探す」方法
で探してください。

一括検索できるコンテンツ

“読み”入力時の検索対象コンテンツ

和英辞典	広辞苑
英会話とっさのひとこと辞典	類語新辞典
英会話Make it!	パーソナルカタカナ語辞典
英文ビジネスレター事典	漢字源*

“スペル”入力時の検索対象コンテンツ

リーダーズ英和 & リーダーズ・プラス	TOEIC®テスト 英単語・熟語 マスター-2000
英和大辞典	語源で覚える「英単語」2000
英英辞典(ODE、OALD)	英会話とっさのひとこと辞典
Thesaurus(類語)	英文ビジネスレター事典
Collocations(連語)	パーソナルカタカナ語辞典(略語)
英和活用大辞典	

※ 漢字源は、完全一致検索のときにのみ検索対象になります。絞り込み検索では検索されません。

あいまいな語を探す

後ろのほうだけわかっている語や、前後はわかるが途中があいまいな語を探すことができます。

【操作例】「inf~ent」で探してみましょう。

- 1 **一括検索** を押します。
一括検索の入力画面になります。
- 2 **①** を押します。
あいまいな語の入力画面になります。
- 3 **▼**、**▲** で入力欄を選びます。
ここでは、最下行のスペルの前後入力欄を選びます。
- 4 左の欄に「inf」を入れ、**▶** で右の欄にカーソルを移して「ent」を入れます。

<input type="checkbox"/> 一括検索(あいまいな語の検索)	
語の先頭がわからないとき	
読み? ~{	}
spelling ? ~{	}
語の途中がわからないとき	
読み? {	}~{ }
spelling ? { inf	}~{ent_ }
<hr/>	
ヒント	
● 調べたい語の前後の2桁を入れて[検索/決定]を押します	
● 調べたい語が全部わかっているときは[戻る]を押します	

5 検索/決定 を押して検索します。



6 目的の語を数字キーで選択します。

収録されている辞書などの詳細画面になり、意味などが表示されます。

- (戻る) を押すと前の画面に戻ります。

あいまいな語の検索で使用するコンテンツ

- “読み”入力時の検索対象コンテンツ
 - 和英辞典 類語新辞典
 - 英文ビジネスレター事典 パーソナルカタカナ語辞典
 - 広辞苑
- “スペル”入力時の検索対象コンテンツ
 - リーダーズ英和& Collocations(連語)
 - リーダーズ・プラス 英和活用大辞典
 - 英和大辞典 英文ビジネスレター事典
 - 英英辞典(ODE、OALD) パーソナルカタカナ語辞典(略語)
 - Thesaurus(類語)

W 検索機能を使う

この製品には、各コンテンツ(辞書など)の詳細画面で、画面を切り替えることなく別の語を調べることができるW検索機能があります。

例えば「インターネット」を調べているとき、画面に表示されていない「IP電話」や「イントラネット」などの言葉を一時的に調べて見たいときなどに利用できます。

W 検索機能の使いかた

【操作例】広辞苑の「ジャズ」の画面から「ロックンロール」を調べてみましょう。

- 1 広辞苑で「ジャズ」を引いて詳細画面にします。
- 2 (検索/決定) を押します。
W検索ウィンドウが表示されます。

3 検索する言葉(たとえば「ろっくんろーる」)を入れます。

- スペルを入れるときは (▼) でカーソルをスペル入力欄へ移して入れてください。

□ 広辞苑/見出語\複合語\
ジャズ
【jazz】
アメリカに発生した民衆音楽。20世紀初め

≡ W検索 ≡
● 読み?【ろっくんろーる_】
spelling ?【 】

≡ ヒント ≡
● 調べたい語の読みを入れて[検索/決定]を押します
● 英単語は[▼]を押します

W検索ウィンドウ

4 (検索/決定) を押します。

W検索ウィンドウに候補が表示されます。

□ 広辞苑/見出語\複合語\
ジャズ
【jazz】
アメリカに発生した民衆音楽。20世紀初め

≡ W検索【ろっくんろーる】 ≡
① 広辞苑:ロックンロール【rock'n'roll】
② 和英:ロックンロール
③ カタカナ:ロックンロール【rock'n'roll】

- 候補は、選択した語と一致する語、一致する語がないときは選択した語を先頭を含む語が表示されます(英単語は一致する語のみ表示)。なお1語だけ一致するときは、

ウィンドウに詳細画面が表示されます。

- 候補になる語が1語もないときは「見つかりません」と一時表示されます。

5 表示させたい語を数字キー(ここでは①)で選びます。W検索ウィンドウに詳細画面が表示されます。

□ 広辞苑/見出語\複合語\
ジャズ
【jazz】
アメリカに発生した民衆音楽。20世紀初め

広辞苑:ロックン・ロール【rock'n'roll】
黒人のリズム・アンド・ブルースと白人のカントリー・アンド・ウェスタンとの融合から生れたアメリカのポピュラー音楽。叫ぶような黒人的唱法、アフター・ビートによる明快なリズムを特色とし、1950年代後半から世界的に流行。

6 (検索/決定) を押すと、W検索ウィンドウに表示されているコンテンツ(辞書など)の詳細画面になります。

- (戻る) を押すと前の画面に戻ります。

Sジャンプ機能を使う

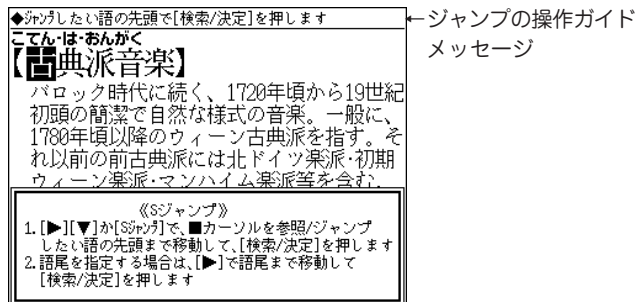
この製品には、各コンテンツ(辞書など)の詳細画面に表示される任意の語の意味や訳語を、搭載されているコンテンツ間を飛び越えて調べることができるジャンプ機能(Sジャンプ)があります。

例えば、1つの用語を複数の辞書などで調べたり、例えば、広辞苑から和英辞典へ、和英辞典から英和辞典へ…、というように、関連する語を次々にジャンプして調べていくなど、コンテンツ間の垣根を飛び越えて広範囲に検索ができます。

Sジャンプ機能の使いかた

【操作例】広辞苑でジャンプしてみましょう。

- 1 広辞苑で「古典派音楽」(こてんはおんがく)を引いて詳細画面にします。
- 2 **Sジャンプ** を押します。
■カーソル(文字の反転表示)が表示されます。

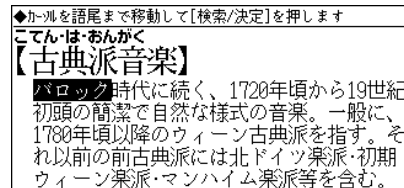


3 ▼ ▲ ▶ ◀ で反転表示(カーソル)を移して調べたい語を選びます。

- 英単語やジャンプマーク(📌)が示す語は、その語全体が選ばれ反転表示になります。これらは **Sジャンプ** で、順番に選ぶこともできます(📖 123ページ)。
- その他の漢字、ひらがな、カタカナの語は、次のように範囲指定をして選択します。

「バロック」を範囲指定する場合

先頭文字「バ」にカーソル「■」を移して **検索/決定** を押し、続いて **▶** で最後尾の文字「ク」までカーソル「■」を移動させます(1文字の指定では、この操作は不要です)。

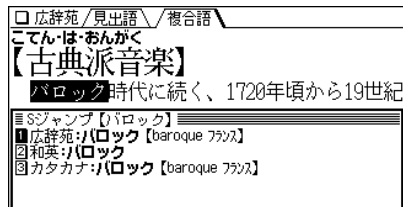


- 範囲指定について、123ページも参照ください。

- 指定を解除するときは **戻る** や **クリア** を押します。

4 **検索/決定** を押します。

ジャンプウィンドウに候補が表示されます。

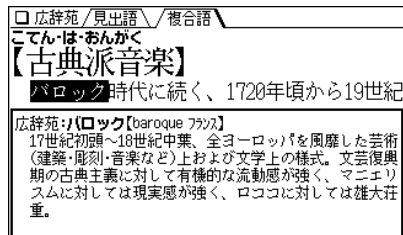


ジャンプウィンドウ

- 候補は、選択した語と一致する語、一致する語がないときは選択した語を先頭を含む語が表示されます(英単語は一致する語のみ表示)。なお **▶** が示す語や、1語だけ一致するときは、ウィンドウに詳細画面が表示されます。
- 候補になる語が1語もないときは「見つかりません」と一時表示されます。
- 候補は最大150件まで検索されます。

5 表示させたい語を数字キー(ここでは **①**)で選びます。

ジャンプウィンドウに詳細画面が表示されます。



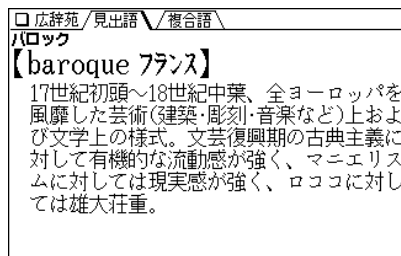
ジャンプウィンドウ

- **戻る** を押すと前の画面に戻ります。

- 画面右上に“↓”や“↑”シンボルが表示されているときは、**▽** **△** などでウィンドウ内を送ることができます。

6 **検索/決定** を押してジャンプします。

選択した語の詳細画面が表示されます。



- **戻る** を押すと前の画面に戻ります。

コンテンツを指定してジャンプするには

- 手順4で **検索/決定** の代わりに **広辞苑** や **リーダーズ**、**大辞典**、**和英**、**ODE**、**OALD**、**英和活用** を押すとそのコンテンツ(あるいはそのグループのジャンプ対象コンテンツ)のみが検索対象になります。
- また、**My辞書** を押すと、My辞書に登録されているジャンプ対象のコンテンツが検索対象になります。

例/解説ウィンドウなどにジャンプするには

- 手順5、6で **例** や **解説**、**Table**、**NOTE** マークが表示されているときは **例/解説** を押してマークを反転させ **検索/決定** を押すと、それらの内容が表示されます(☞ 30ページ)。

ジャンプについて

- ジャンプした後は、通常の調べかたで表示させたときと同じ動作になります。
- ジャンプした先の画面で **(クリア)** を押したときは、ジャンプを始める前に使用していたコンテンツの入力画面などに戻ります。
- ジャンプ先でジャンプをする、というようにジャンプを重ねた場合、**(戻る)** で最大 10 回までは戻ることができます。10 回を超えてジャンプを重ねた場合、11 回目の戻りでリスト画面などへ戻ります。

ジャンプマークのジャンプ

- 広辞苑などの詳細画面で **(→)** マークの後に示される語は同じコンテンツ内でジャンプします。

→ マークで示す語や英単語の選択

- 画面内に **(→)** マークで示す語や、英単語が表示されている場合は、**(Sジャンプ)** でそれらの語だけを順番に選んでいくことができます。
(Sジャンプ) を押すたびに、表示されている **■** カーソルより後の、**(→)** マークで示す語、および英単語へカーソルが移っていきます。
表示されている最後の語までカーソルが移った後は、1 行ずつ画面を送り、対象の語が出てくれば、その語にカーソルが移ります。
行き過ぎたときは **(▲)** や **(◀)** でカーソルを戻してください。

範囲指定について

- 範囲指定できるのは、漢字、ひらがな、カタカナが連続している場合です。
英字、数字、記号、マークなどがあると、そこで範囲指定は止まります。
- 範囲指定をしているとき、画面を送ることはできません。
範囲指定したい語が、すべて画面に表示されていることを確認してから範囲指定の操作をしてください。

ジャンプできるコンテンツ

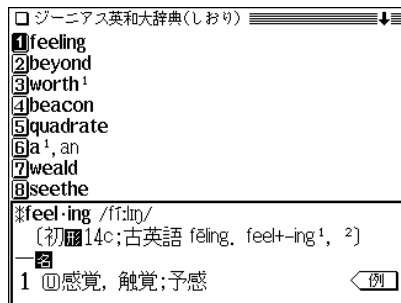
- 各コンテンツ(辞書など)から**太字**で示すコンテンツへジャンプすることができます。

※一部ジャンプできない場合もあります。

- リーダーズ英和 & リーダーズ・**TOEIC®テスト 英単語・熟語 マスタリー2000**
- リーダーズ成句検索
- **TOEIC®テストの英文法**
- **英和大辞典**
- **語源で覚える「英単語」2000**
- 大辞典成句検索
- 英会話とっさのひとこと辞典
- **和英辞典**
- 英会話 Make it!
- **英英辞典(ODE、OALD)**
- **英文ビジネスレター事典**
- 英英成句検索
- **広辞苑 & 逆引き広辞苑/分野別小辞典**
- **Thesaurus(類語辞典)**
- **類語新辞典**
- 類語成句検索
- **Collocations(連語辞典)**
- **パーソナルカタカナ語辞典**
- **英和活用大辞典**
- **漢字源**
- 連語検索(英和活用大辞典)

しおり・単語帳を使う

この製品には、前に調べた語を引き出して再度調べることができるしおり、くりかえし参照する語をコンテンツ(辞書など)別に登録することができる単語帳があります。



- 画面の右上に“↓”や“↑”シンボルが表示されているときは、 などで画面を送ることができます。

3 目的の語を数字キーで選びます。

選択した語の詳細画面が表示されます。

しおりの使いかた

一度調べた語は、新しいものから100件まで自動的に記憶されます。しおりは、その語をもう一度調べたいときに引き出して調べることができる機能です。

また、手紙文作成で作成した手紙文もしおりとして記憶され、後で引き出して見ることができます。

【操作例】英和大辞典でしおりを使ってみましょう。

1 と押して、英和大辞典の画面にします。

2 を押します。

しおり表示画面になり、英和大辞典で調べた語が、新しいものから順にリスト表示されます。

しおりがないコンテンツ

しおりは、下記を除く各コンテンツで利用できます。

TOEIC®テスト 英単語・熟語 マスタリー2000
(例文検索) (便利計算)

それぞれのコンテンツの最初の画面などで、 を押すことで調べることができます。なお、しおり表示画面の表示のされかたはコンテンツにより異なる場合があります。

しおりについて

- しおり表示で、語の後ろに“…”と表示されているときは、その語が省略されていることを示します。
- しおりの記憶件数が100件を超えるときは、古いものが消されます。

しおりを削除する方法

しおりは、1件ずつ削除する方法と、コンテンツ別にすべてを削除する方法、あるいは製品内のすべてのしおりを削除する方法があります。

しおりを1件ずつ削除する方法

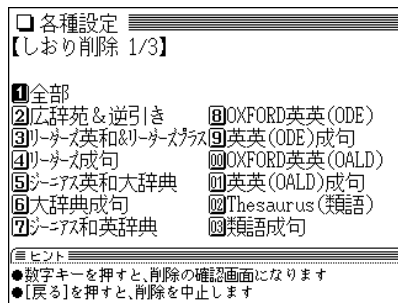
次の手順で削除します。

- 1 しおり表示画面に削除したい語を表示させます。
- 2 **▼**、**▲** (漢字源は **▶**、**◀**、**▼**、**▲**) で、削除したい語の番号にカーソル(反転表示)を移します。
- 3 **後退** (または **機能** **削除**) と押します。
削除の確認画面が表示されます。
- 4 **Y** キーを押します。
選択した語が削除されます。

しおりをまとめて削除する方法

次の手順で削除します。

- 1 **メニュー** **0** **4** と押して、各種設定画面にします。
- 2 **6** を押して「しおり削除」を選びます。



- 画面は3画面あり、**▼** **▲** で切り替えます。
- 3 数字キーで、しおりを削除するコンテンツまたは「全部」を選びます。
削除の確認画面が表示されます。
 - 4 **Y** キーを押します。
選択したコンテンツのしおり、またはすべてのしおりが削除されます。

単語帳の使いかた

くり返し参照する語や覚えたい語を単語帳に登録することができます。その語をもう一度調べたいときに引き出して調べることができる機能です。

- 単語帳は各コンテンツ(辞書など)にあります(☞127ページ)。

単語帳に語を登録する

【操作例】英和大辞典の「text」を単語帳に登録しましょう。

1 英和大辞典で「text」の詳細画面にします(☞44ページ)。

2 **機能** **登録** と押します。

単語帳に登録した旨のメッセージを一時表示し、詳細画面の語が単語帳に登録されます。

- 単語帳の詳細画面からは登録できません。

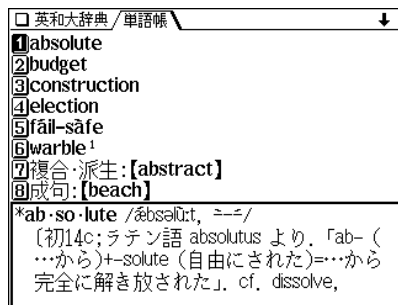
- ◆ 単語帳は各コンテンツで最大200件、全体で3,400件まで登録できます。

各コンテンツの画面から登録した語を見る

【操作例】英和大辞典の単語帳に登録した語を見てみましょう。

1 英和大辞典の入力/選択画面にします。
(見たい辞書などの画面にします。)

2 **単語帳** を押します。
英和大辞典の単語帳が表示されます。



- 単語帳はコンテンツ(辞書など)のリスト表示や1件表示画面で **単語帳** を押しても表示されます。
- データは各コンテンツと同様の順番で並びますが、成句などは見出し語よりも後に並びます。

3 目的の語を数字キーで選びます。
選んだ語の詳細画面が表示されます。

単語帳について

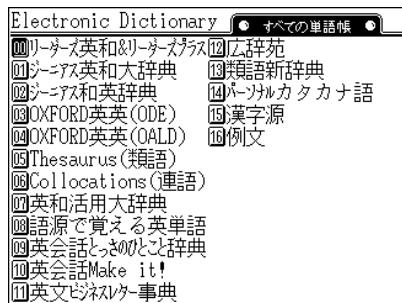
- 単語帳表示で、語の後ろに“…”と表示されているときは、その語が省略されていることを示します。

コンテンツ一覧から登録した語を見る

登録した単語帳のデータをコンテンツの一覧から見る事ができます。

1 **メニュー** **0** **3** と押し、**5** を押して「すべての単語帳を見る」を選びます。(メニュー **単語帳** と押してもよい)

単語帳があるコンテンツの一覧が表示されます。



2 目的のコンテンツを数字キーで選びます。

選んだコンテンツの単語帳が表示されます。

3 目的の語を数字キーで選びます。

選んだ語の詳細画面が表示されます。

注：別売のコンテンツカード内のコンテンツは、このコンテンツ一覧には表示されませんので、前ページの方法で単語帳を見てください。

単語帳があるコンテンツ等と登録できる語

- リーダーズ英和&プラス
(見出し語、成句、用例、解説)
- 英和大辞典(見出し語、複合・派生語、成句、用例、解説)
- 和英辞典 (見出し語、用例、解説)
- 英英辞典(ODE) (見出し語、NOTE)
- 英英辞典(OALD) (見出し語、NOTE)
- Thesaurus(類語) (見出し語、成句、Table)
- Collocations(連語) (見出し語、NOTE)
- 英和活用大辞典 (見出し語)
- 英会話とっさのひとこと (見出し語)
- 英会話Make it! (見出し語)
- 語源で覚える「英単語」2000 (見出し語)
- 英文ビジネスレター事典 (見出し語)
- 広辞苑 (見出し語、成句、複合語)
- 類語新辞典 (見出し語)
- パーソナルカタカナ語辞典 (見出し語)
- 漢字源 (見出し漢字)
- 例文検索 (検索結果の一文)

単語帳を削除(登録を解除)する方法

単語帳は、1件ずつ削除する方法と、コンテンツ別にすべて、あるいは製品内のすべての単語帳をまとめて削除する方法があります。単語帳を削除しても、元の辞書などのデータは削除されません。

単語帳を1件ずつ削除する方法

次の手順で削除します。

- 1 単語帳表示画面に削除したい語を表示させます。
- 2 **▼**、**▲** (漢字源は **▶**、**◀**、**▼**、**▲**) で、削除したい語の番号にカーソル(反転表示)を移します。
- 3 **後退** (または **機能** **削除**) と押します。
削除の確認画面が表示されます。
- 4 **Y** キーを押します。
選択した語が削除されます。

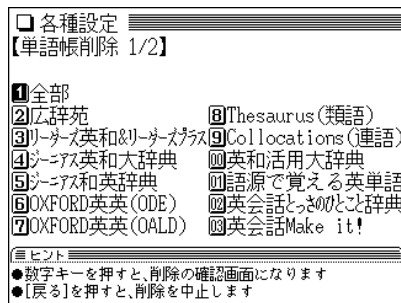
- 単語帳の詳細画面で、上記3以降の操作を行っても削除することができます。

単語帳をまとめて削除する方法

次の手順で削除します。

- 1 **メニュー** **0** **4** と押して、各種設定画面にします。

- 2 **7** を押して、「単語帳削除」を選びます。



- 画面は2画面あり、**▼** **▲** で切り替えます。

- 3 数字キーで、単語帳を削除するコンテンツまたは「全部」を選びます。

削除の確認画面が表示されます。

- 4 **Y** キーを押します。

選択したコンテンツの単語帳またはすべての単語帳が削除されます。

コンテンツカードの単語帳をすべて削除するときは

別売のコンテンツカードで提供される辞書などに単語帳がある場合に、それらの単語帳をすべて削除するときは、手順3で「カード」を選んで削除してください。

この場合、カード内の辞書などの単語帳がすべて削除されます。

注：カード内の辞書などの単語帳データは、カードではなく、本体に記憶されます。

よく使う辞書などを My 辞書に 登録する (My 辞書設定)

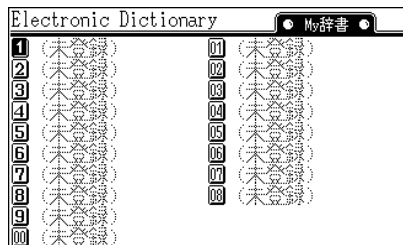
よく使うコンテンツ(辞書など)をMy辞書に登録しておけば、**(My辞書)** キー(またはメインメニューの「My辞書」)から登録したコンテンツのみを表示させ、選ぶことができます。

My 辞書の設定と使いかた

辞書などをMy辞書に登録する

1 **(メニュー)** **(0)** **(5)** と押します。(**(My辞書)** を押してもよい)

My辞書の選択画面が表示されます。

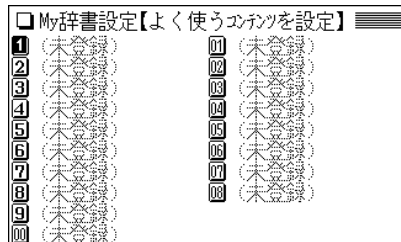


My辞書の選択画面

最初はすべて(未登録)です。

2 **(S)** を押します。

My辞書設定画面が表示されます。

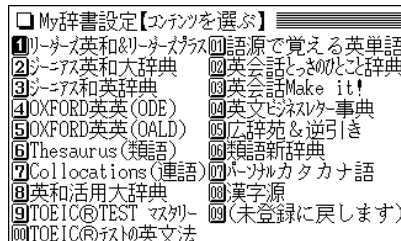


My辞書設定画面

3 辞書などを登録したい番号を数字キーで選びます。

(番号 **(1)** に登録するときは **(1)** を押します。)

辞書などの選択画面が表示されます。

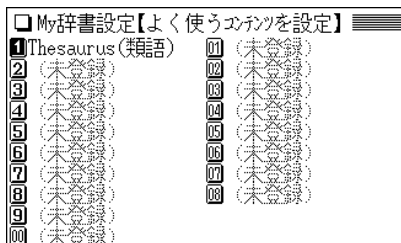


辞書等選択画面

4 登録したい辞書などを数字キーで選びます(例えば、Thesaurus(類語)を登録するときは **(6)** を押しま

す)。

辞書などが登録され、My辞書設定画面に戻ります。



- 続けて登録する場合は、手順3、4をくり返します。
- 終了する場合は、**My辞書** や **戻る**、**メニュー** を押します。
- ◆ 各種設定画面から手順2のMy辞書設定画面を表示させることもできます。

メニュー **0** **4** と押して各種設定画面を表示させ、**8** を押して「My辞書設定」を選ぶと手順2のMy辞書設定画面が表示され、コンテンツの登録などを行うことができます。

すでに登録している番号に別の辞書などを登録したいときは

登録したい番号に別の辞書などを登録すれば、元の登録は解除され、後の辞書などが登録されます。

辞書などの登録を解除する

My辞書に設定した辞書などの登録を解除する場合は、次の手順で行います。

- 1 先の登録手順の3で、解除したい辞書などを数字キーで選びます。
辞書などの選択画面が表示されます。
- 2 数字キーで「未登録に戻します」を選びます。
選択した番号の辞書などの登録が解除され、My辞書設定画面に戻ります。

My辞書を使う

My辞書 を押す、または **メニュー** **0** **5** と押すと表示されるMy辞書の選択画面で、使いたい辞書などを数字キーで選べば、選んだ辞書などの画面になります。

カードの使いかた

この電子辞書には、カードスロットが1基、設けられています。

カードスロットには、別売のコンテンツカードを取り付けることができ(本書では、**カード**と記載します)、辞書などのコンテンツを追加することができます。

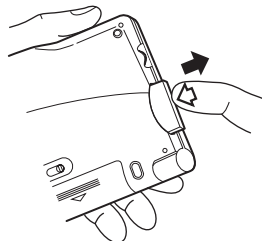
カードの取り付けかた／取り外しかた

カードの取り付け、取り外しは次の手順で行ってください。
ご注意：

- カードの取り付け、取り外しは、必ず電子辞書の電源を切り、画面が消えていることを確認してから行ってください。電源を入れたまま行くと、カードに記録されているデータが消えることがあります。
- たて続けにカードの取り付け／取り外し操作を行わないでください。データが消えたり、故障したりすることがあります。

カードを取り付ける

- 1 電子辞書の電源を切ります。
- 2 保護カードが取り付けられているときは、保護カードの端を指で押し込み、ゆっくり離します。ロックが外れ、保護カードが少し出てきます。

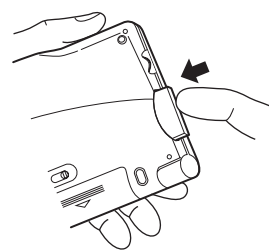
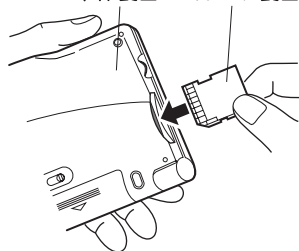


注) カードの取り付け、取り外し時に、爪でカードを弾くように指を離すと、カードが飛び出すことがありますので、ゆっくり押し、ゆっくり離してください。

- 3 保護カードを抜き取ります。
 - 保護カードは保存しておいてください。
- 4 図のように、電子辞書の裏面とカードの裏面が同じ方向になるようにして、奥まで確実に挿入します。

ご注意：裏表をまちがえないでください。まちがえると、故障したりカードが取り出せなくなったりします。

本体裏面 カード裏面



5 電子辞書の電源を入れます。

「カードのデータを読み込んでいます しばらくお待ちください」と表示した後、メインメニュー画面などになります。

6 **カード** を押します。

装着しているカードのメニュー画面などが表示されます(カードにより表示される内容は異なります)。それぞれの説明書等を参照してご使用ください。

別売の電子辞書専用コンテンツカードの取扱説明書に、「カード内へは、1回だけジャンプすることができます」との説明をしている場合がありますが、それらのカードを本電子辞書に装着したときは、本体と同様のジャンプ機能をご使用いただけません。

カードの使用に関するメッセージが表示された場合は

1. **カードが入っていません**

カード を押したときにこのメッセージが表示された場合はカードが装着されていません。カードを正しく装着してください。(P.131ページ)

2. **このカードは使用できません**

この電子辞書で扱えないカード、データが壊れているなどの理由で、この電子辞書で使用することができません。使用できるカードを装着してください。

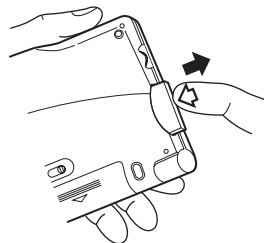
電源が切れたり、カードが使えないときは

カードを取り付けて電源を入れると、すぐに電源が切れたり、正しいコンテンツカードを取り付けていても「カードが入っていません」と表示される場合は、電子辞書の電池が消耗している場合があります。275ページを参照して電池を交換してみてください。

カードを取り外す

1 電子辞書の電源を切ります。

2 カードの端を指で押し込み、ゆっくり離します。 ロックが外れ、カードが少し出てきます。



注) 爪でカードを弾くように指を離すと、カードが飛び出すことがありますので、ゆっくり押し、ゆっくり離してください。

3 カードを抜き取り、保護カードを取り付けてください。

内蔵コンテンツの データについて

リーダーズ英和辞典／リーダーズ・プラス	134
ジーニアス英和大辞典	148
ジーニアス和英辞典（第2版）	159
OXFORD英英辞典（ODE）	165
OXFORD現代英英辞典（OALD）	178
OXFORD Thesaurusガイド（類語辞典）	196
OXFORD Collocationsガイド（連語辞典）	200
英和活用大辞典	205
英文ビジネスレター事典	214
岩波書店 広辞苑（凡例）	215
広辞苑（付表，図）	220
類語新辞典（凡例）	260
学研 パーソナルカタカナ語辞典	268
漢字源（JIS 版）	270
参考	273

I 見出し語

- 1.1 a 配列は原則としてアルファベット順としたが、単につづりが異なる語・追込み見出し・同義の複合語は比較的近くに配列される場合は必ずしもこの原則によらず一か所にまとめて示したので注意されたい。また -o- や -i- の付く連結形はほとんどこれらの連結母音を付けない形のところで並記するにとどめたので、そのつもりで検索されたい。(辞書順リストでは、リーダーズ英和、リーダーズ・プラス、増補版ごとに並ぶ。)
- b 数字を含む見出し語の配列は、それを数詞で書いた場合の順序とする《たとえば A1 は A one、4-H club は four-H club》。
- 1.2 つづりが米英で異なるときは米式つづりを主とし、英式つづりを従として示した。米英のつづりの違いは縦線(|)を用い、米英の違いではないときの並記にはコンマ(,)を用いて区別した。異つづりを並記するときには、多くの場合共通する部分をハイフン(-)を用いて略記した。
例: **hon-or | hon-our** 《米では概して honor とつづり、英では概して honour とつづる》
shash-lik, -lick, shas-lik 《米英ともに 3 通りのつづりを用いる》
ep-i-logue, 《米》-log 《米英ともに epilogue のつづりが普通で、米ではさらに epilog ともつづる》

★派生語・複合語についてはいちいち英式つづりは示さず、また -ize と -ise はほとんど -ize のほうだけを示した。

- 1.3 同じつづりの語でも語源が異なるときは別見出しとし、右肩に小文字で番号を付けて区別した。
- 1.4 発音を表記しない見出し語には、本来のつづり字にはないアクセント記号を付けて、発音の強勢アクセントを示した(⇒ II 発音)。
- 1.5 a 分節の切れ目は中点(・)で示した。発音の違いによって分節が異なる語は原則として第一に示した発音によって切った。語頭・語末の 1 音節をなす 1 字は切らないほうが望ましいので示さない。
b 複合語・派生語については各要素間の切れ目と音節の切れ目が一致するときは、各要素の切れ目にのみ中点あるいはハイフンを示し、各要素の分節は了解されているものと見なして省略した。
- 1.6 省略しうる部分は () 括弧で、言い換えできる部分は [] 括弧で示した。
- 1.7 スワングダッシュ(〜)は追込み見出し・語形変化・成句・用例中などで、本見出しと同一つづりの部分を表わすために用いた。

II 発音

- 2.1 発音は、国際音声記号を用い // に入れて示した。音声記

号の音価については、「発音記号表」を参照。

- 2.2 リーダーズでは、母音記号の上にアクセント符 /´/ を付けて第1アクセントを示し、/ ` / を付けて第2アクセントを、/ ˘ / を付けて第3アクセントを示した。

また、リーダーズ・プラスでは母音記号の上にアクセント符 /´/ を付けて第1アクセントを示し、/ ` / を付けて第2アクセントを示した。

例：add /éd/

ars nova /á:rz nóuvə/

rep-re-sent /rèprizént/

- 2.3 a 発音の異形 (variant) はコンマ(,) で区切って並記した。その場合、共通の部分はハイフンを用いて省略した。

b 米音と英音が異なる場合は次の形式で示した。

例：aunt /ént; á:nt/ ((=/米 ént; 英 á:nt/))

doll /dál, *dól/ ((=/米英共通 dál, 米には dól もある/))

c 発音が同じでアクセントだけが異なる場合、各音節を短いダッシュで表わし、アクセントの位置の違いを示した。

例：gab-ar-dine /gæbærdi:n, ʌ-æ/ ((/ʌ-æ/= /gæbærdi:n/))

im-port v /impò:rt/ ... -n /æ>/ ((/æ>=/ /impò:rt/))

- 2.4 人・場合によって発音されない音は()内に入れて示した。

例：at-tempt /ətém(p)t/ ((=/ətémpt, ətém/))

ただし、/ə/ が省略された場合には、次の音が /l/, /m/, /n/ のいずれかであれば、音節主音 (syllabic) になり、音節数は不変である。

- 2.5 強い形 (strong form) もあるが弱い形 (weak form) を常用するものは、次のように弱い形を先に示した。

例：at¹ /ət, àt, é<t/ for /fər, fò:r/

- 2.6 次のような場合は、繰返しを避けて先行させた語のみに発音を示した。

例：eth-nic /éθnik/, -ni-cal ((ethnic /éθnik/, ethnical /éθnik(ə)l/))

- 2.7 同一見出し語内における並記見出し語・変化形・異品詞・追込み見出しにおいては、通例その異なる部分のみを表記し、同じ部分は /-/ で略記した。

- 2.8 複合語のアクセントを示すために、その構成要素としての一つの単語全体の発音を長いダッシュで表わした。

例：A-bomb /éi- / ((=/éibàm/))

ABO blood group /èibi:óu ← →/ ((=/èibi:óu bláð grù:p/))

- 2.9 a 外来語の発音は近似の英語音で示した。ただし、フランス語とドイツ語に由来するものについては原音を示した場合もある。その場合、F または G を付して、それぞれフランス語またはドイツ語の原音であることを示した。

例：Ab-é-lard /éβələ:rð; F abela:r/ ((=/英語音 éβələ:rð; フランス語原音 abela:r/))

Augs-burg /ɔ:gzbɔ̀:rg, áugzbùərg; G áuksburk/

((= /英語音 ɔ:gzbɔ̀:rg, áugzbùərg; ドイツ語原音 áuksburk/))

b フランス語の複数形などの発音が主見出しの発音と同一の場合は /—/ で示した。

2. 10 直前の見出し語と発音・つづりおよび分節が同じ場合には、発音・アクセント表記および分節を省略した。なお、大文字と小文字の違いは、ここではつづりの違いとはみなさない。

また、直前の見出しと分節だけが異なる場合には、分節だけを示し発音表記を省略した場合がある。

2. 11 次にあげる種類の見出し語には、つづり字の上にアクセントが示してあるだけで発音表記はないが、構成要素それぞれの発音は独立見出しで与えられているから、その発音を合成し、示されたアクセント型で発音するものとする。

a 二語(以上の)見出し

例： **áction stàtion** ((action, station は独立に見出しとしてあり、発音はそれぞれ /ækʃ(ə)n/, /stéʃ(ə)n/ であるから、これを合成して示されたアクセント型を付与すれば /ækʃ(ə)n stèʃ(ə)n/ となる))

ábsentee bállot ((absentee は単独では /æbs(ə)ntí:/ であるが、全体としては /æbs(ə)nti: bállot/ と発音することを示す))

同じ辞典に独立見出しとして記載されていない語については、その部分だけ発音を示した。

例： **Brám-ah lòck** /brú:mə-, *bræm-/

b 複合語

例： **bláck-bird**

複合語の構成要素の一部の発音が独立見出しの発音と異なるときはその要素の発音を示した。

例： **bóok-man** /-mən, -mæn/ ((= /búkmən, búkmæn/))
複合語の発音の一部を示すときは、その要素に第1アクセントがあれば見出し語の上にこれを示し、これ以外は示さない。

c 派生語および屈折形の中で、語幹の発音・つづり・分節に影響を及ぼさず、それ自身一定した発音をもっている接辞の付いているものの発音も省略した。また、所有格および複数の s の発音は省略した。

d 音節の増加をもたらさない文字の付加によってでき上がった語は、発音を示さず、全体の分節とアクセントだけを示した。

派生または屈折によってサイレントの e が脱落したり、y が i に変わったり、子音字が重なったりした場合には、発音を省略してアクセントのみ示したが、初出の場合にかぎって語全体の分節を示した。

e 派生または屈折によって同じ子音字が重なった場合、原則として発音は単一である。

例： **spécial-ly** ((= /spéʃ(ə)li/))

f 連結形を含む語で、連結形の発音が一定している場合、

例： **hýdro-therapéutics**

★(1) 発音を省略した見出しで、構成要素の切れ目(と同時に分節点)を示す中点(・)は構成の順序とは必ずし

も関係がない。

(2) 発音を表記しない見出し語に対する発音の異形を示すために /, … / ; … / などを用いた。

例： **di-amide** /, daɪəməd/ (=**dáimàid**, daɪəməd/)

2. 12 発音表記を省略できる語でも紛らわしいときには註として発音を添えたものがある。

例： **àr-che-typical** /-típ-/

léad time /lɪ:d-/ , **léad-wòrk** /léd-/

III 品詞

3. 1 品詞表示の略語については「略語表」を参照。

3. 2 一語で2品詞以上にわたる場合、一を用いて同一項内で品詞の分かれ目を示した。

IV 語形変化

4. 1 不規則な変化形のつづり・発音は () 括弧の中で以下のように示した。ただし複合語・派生語については必ずしも示さない。

4. 2 名詞の複数形

例： **the-sis** /θi:səs/ n (pl **-ses** /-sɪ:z/)

goose /gú:s/ n (pl **geese** /gí:s/)

deer /díər/ n (pl ~, ~s)

pi-ano¹ /piænou, pjæn-/ n (pl **-án-os**)

4. 3 a 不規則動詞の過去形；過去分詞；-ing 形

例： **run** /rʌn/ v (**ran** /ræn/; **run**; **rún-ning**)

cut /kʌt/ v (~; **cút-ting**)

sing /sɪŋ/ v (**sang** /sɛŋ/, 《まれ》 **sung** /sʌŋ/; **sung**)

b 語幹の子音字を重ねる場合は次のように示した。

例： **flip**¹ /flíp/vt, vi (**-pp-**) (=**-pp-**=**flípped**; **flíp-ping**)

pat¹ /pæt/ v (**-tt-**) (=**-tt-**=**pát-ted**; **pát-ting**)

4. 4 形容詞・副詞の比較級；最上級

単音節語には -er; -est を付け、2音節以上の語には more; most を付けるのを通則とするので、通則に従う変化は示さない。これに反するもの、またはつづり・発音の注意すべきものは次のように示した。

例： **good** /gúd/ a (**bet-ter**/bétər/; **best** /bést/)

big¹ /bíg/ a (**big-ger**; **big-gest**)

V 語義と語法

5. 1 多義語・重要語については、通例 アラビア数字 **1 2 3** を用いて語義の分類を示した。さらに上位区分として **A B** を用い、下位区分として **a b c** を用いた。

5. 2 訳語の前に [] 括弧を用いて文法・語法上の指示・説明を添えた。

例： [C-] [s-] (《大文字または小文字で始まることを示す》)

[the ~] [a ~] (《冠詞 the, a が付く》)

[^upl] (《普通は複数形で用いる》), [~s] (《見出しに s が付く》)

[<sg>] [<p1>] [<sg/pl>] (構文上の単数・複数)
[pass] [pp] [pred]

5.3 ㊦の後に続く語は参照すべき見出し語を示し、その語にジャンプできることを示す。語義(の一部)・説明語(句)・相互参照など随所に用いたので十分活用されたい。

5.4 a 用法指示ラベルには〈 〉を用いた(⇒「略語表」)。《古》《まれ》、《スコ》《豪》《方》、《詩》《口》《俗》などの用法指示は絶対的なものではなく、いずれもおおよその傾向を示すにとどまり、またその傾向の程度もまちまちで決して一様ではない。《米》《英》の表記はそれぞれ*、"の記号で示した。《・英古》《・英方》のように中点(・)を付したものはそれぞれ「《英》では《古》」「《英》では《方》」の意を表わす。

b 学術用語などの分野指示には〔 〕を用いた。〔医〕〔昆〕〔哲〕などの指示は、必ずしも専門用語であることを示すものではない。

c 制度・団体などの国籍を示すのに〔 〕を用いた。〔米〕〔英〕はそれぞれ《米国の》《英国の》の意である。〔アイル〕は《アイルランドの》の意であり、《アイル》がことばとしてIrishであることを示すものと異なる。

5.5 訳語では〈 〉括弧を用いて、動詞の主語・目的語や形容詞と名詞の連結などを示した。

例：date¹ … — vt 1a〈手紙・文書〉に日付を入れる；
〈事件・美術品など〉の日時〔年代〕を定める； …
2 *〈口〉〈異性〉と会う約束をする〈up〉、…とデートする〔つきあう〕。

5.6 見出し語と連結する前置詞・副詞・接続詞を訳語のあとに〈in, at〉〈on〉〈that〉のように示した。

例：acquaint … vt 〈人〉に知らせる、…、告げる〈with a fact, that, how〉； …

capable … a 1 a …；〈…に必要な〉実力〔資格〕のある〈for〉… 2 … b …、〈…に〉耐えうる、〈…を〉入れうる〈of〉…

5.7 同意語(synonym)は訳語のあとに()括弧で、反意語(antonym)は(opp. …)の形で、説明語句は訳語の前または後ろに(())を用いて示した。

5.8 語義・訳語に用いた()括弧は()内を省略しうること示し、[]括弧は先行の語(句)と置き換えることを示す。

例：gránd-dúcal a 大公(妃)の；帝政ロシアの皇子〔皇女〕の。〔「大公の、大公妃の；帝政ロシアの皇子の、帝政ロシアの皇女の」の意〕

5.9 随所に★を用いて、(1)発音・つづり字・語法・文法・慣用その他についての補足的な注意・説明・参考事項などを示し、(2)類語を一か所に列記して各語間の関連を明確にした。

VI 用例と成句

6.1 なるべく多くの語義を収載する方針を採ったために、全体に用例を相当割愛した。用例および成句中での()括弧、[]括弧の用法は、見出し語(⇒ 1.6)および語

義・訳語 (⇒ 5. 8) の場合と同じである。

a 用例は <例> で示し、別画面で表示するようにした。

b 用例は必ずしも全訳せず必要箇所のみを訳出し、また意味が自明であるときはまったく訳を示さないこともある。

6. 2 a 用例および成句中に用いた one, one's, oneself は、その位置に文の主語と同一の人または物を表わす名詞または代名詞がはいることを示す。

例： **mas-ter**¹ (の成句) … **make oneself master of** … …に熟達する、…を自由に使いこなす。

b 用例および成句中に用いた sb または sth は、その位置に文の主語と異なる人または物を表わす名詞または代名詞がはいることを示す。

例： **bag**¹ (の成句) … **give [leave] sb the bag to hold** 人を窮境に見捨てる。(たとえば Jack gave her the bag to hold. となる)

VII 語源

7. 1 語源は各語の記述の最後に [] 括弧に囲んで示した。記述は、現在の語義・語形の理解に役立つことを主眼とし、必要に応じてセミコロン (;) のあとに説明を加えた。

7. 2 [<] は derivation を示す。語源欄最初の(言)語は直接のもとを示すが、最後は最終語源とは限らない。借入経路を省略した場合はコンマを入れて […, < …] で示す。

例： **turban** [MF, <Turk <Pers; cf. tulip]

7. 3 直前・直後の語またはその語源欄の参照はそれぞれ (↑) (↓) で示す。

7. 4 [?] は語源が不確実または不明の語に付し、必要に応じて初出世紀・関連語などを示す。また、借入源を特定言語に確定できない場合、地域名を () 内に示す。

例： **tag**² (の成句) [C18<?]

VIII 諸記号の用法

8. 1 諸種の括弧

a ()

(1) 括弧内が省略されうることを示す (⇒ 1. 6, 2. 4, 5. 8, 6. 1)。

(2) 見出し語の語形変化を示す (⇒ IV)。

(3) 同意語・反意語・参照語(句)を示す (⇒ 5. 7)。

(4) 人の生没年・歴史年代や、漢字のふりがな・仮名の送り漢字などを示す。

b []

(1) 語(句)の入れ換えを示す (⇒ 1. 6, 5. 8, 6. 1)。

(2) 語法などの指示を示す (⇒ 5. 2)。

c [] 全記述の末尾において語源を示す (⇒ VII)。語義・句義の末尾において意味の由来を示す。略語中において言語名や外国語のつづりを示す。

d (())

(1) 語義・訳文などの前後に置いて限定的・補足的説明を示す (⇒ 5. 7)。

(2) 関連語, 特に関連形容詞を示す.

e / / 発音を示す (⇒ II).

f 〈 〉の用法については 5. 5, 5. 6 を参照.

g 〈 〉の用法については 5. 4 を参照.

h [] の用法については 5. 4 を参照.

8. 2 a ハイフンは次のように用いた.

(1) 見出し語

複合語

dóuble-lóck vt …

接頭辞・接尾辞・連結形

ad-// -ics // Russo-// -phobia

一部省略

bio-chémical, -chémic a

生化学の, 生化学的な.

— n [-cal] 生化学製品[薬

品]. **派** **-ical-ly** adv

(2) 見出し語以外

つづり本来のハイフン

fa-mous /fémɪməs/ a **1** 有名

な, 名高い (well-known) …

発音表記の一部省略

ole-ic /ouli:ik, -léi-, óuli-/

a 油の; [化] オレイン酸

の.

b (1) ^u, ^o, ^s はそれぞれ usually (通例), often (しばしば), sometimes (時に) を記号化したもので, 次のように用いた.

例: [^up1] ((通例複数で用いる))

[^oP-] ((しばしば P で始まる))

[^u~s, <sg>] ((通例 -s 付きの形で構文上は単数扱い))

なお, 発音表記に用いるときも同じ.

(2) *, " はそれぞれ《米》, 《英》の意.

(3) +(プラス)は派生語などの語義記述の前において, 「記述するまでもない派生的な意味に加えて」の意.

c その他

~ 見出し語と同一のつづりを表わす (⇒ 1.7).

⇒ 参照すべき項目を示す.

★ 注意事項・一括列記 (⇒ 5.9)

☆ 地名の説明中で, 都市名の前に付けて首都・州都・中心都市を示す.

… 語義・用例・訳文中において, …の所にいろいろな語が該当することを示す. 「instead of…の代わりに」のように英語・日本語の共通部分にはこれを繰り返さない.

° 略語・記号の見出しで, そのもととなった2語以上から成る語句の前に付けて, それが見出しにあることを示す.

例: **BA**[野] ° **batting average**; ((batting average の見出しがある)).

* 語源の記述で, 例証されないが同族語の対応などから理論的に再建された語形であることを示す.

例: **la-dy** (の成句) …[OE hlæfdige loaf kneader (hláf bread, *dig- to knead; cf. dough); cf. lord]

略語表

品詞表示

a	adjective	neg	negative
adv	adverb	obj	objective
attrib	attributive	p	past
comb form	combining form	pass	passive
compd	compound	pl	plural
conj	conjunction	poss	possesive
derog	derogatory	pp	past participle
dial	dialect	pred	predicative
dim	diminutive	pref	prefix
euph	euphemism	prep	preposition
fem	feminine	pres p	present participle
fig	figurative	pron	pronoun
freq	frequentative	rflx	reflexive
imit	imitative	sb	somebody
impv	imperative	sg	singular
int	interjection	sth	something
inter	interrogative	suf	suffix
iron	ironical	v auxil	auxiliary verb
joc	jocular	vi	intransitive verb
masc	masculine	voc	vocative
n	noun	vt	transitive verb

用法指示

《詩》	poetical	《米》, *	Americanism
《古》	archaic	《英》, "	Briticism
《廢》	obsolete	《スコ》	Scottish
《口》	colloquial,	《北イング》	North England
	informal	《アイル》	Irish
《文》	literary	《ウェールズ》	Welsh
《俗》	slang	《ニューイング》	New England
《学俗》	school slang	《豪》	Australian
《海俗》	sailors' slang	《ニュ》	New Zealand
《韻俗》	rhyming slang	《インド》	Anglo-Indian
《卑》	vulgar, taboo	《カナダ》	Canadian
《まれ》	rare	《南ア》	South Africa
《幼児》	nursery	《カリブ》	Carib
《方》	dialectal		

分野指示

〔医〕	医学	〔化〕	化学
〔遺〕	遺伝学	〔海〕	海語, 航海
〔印〕	印刷	〔解〕	解剖学
〔韻〕	韻律学	〔画〕	絵画
〔宇〕	宇宙	〔楽〕	音楽
〔映〕	映画	〔カト〕	カトリック
〔泳〕	水泳	〔眼〕	眼科(学)
〔園〕	園芸	〔気〕	気象(学)
〔音〕	音声学	〔機〕	機械

〔旧約〕	旧約聖書	〔修〕	修辞学	〔動〕	動物(学)	〔紡〕	紡績
〔キ教〕	キリスト教	〔商〕	商業	〔凶書〕	凶書館(学)	〔簿〕	簿記
〔ギ神〕	ギリシア神話	〔晶〕	結晶	〔日〕	日本	〔紋〕	紋章(学)
〔ギ正教〕	ギリシア正教	〔城〕	築城	〔農〕	農業, 農学	〔野〕	野球
〔魚〕	魚類(学)	〔植〕	植物(学)	〔馬〕	馬術	〔冶〕	冶金
〔空〕	航空	〔心〕	心理学	〔バスケ〕	バスケットボール	〔薬〕	薬学
〔軍〕	軍事	〔人〕	人類学	〔バド〕	バドミントン	〔郵〕	郵便, 郵趣
〔経〕	経済(学)	〔新約〕	新約聖書	〔美〕	美術	〔窯〕	窯業
〔劇〕	演劇	〔数〕	数学	〔フェン〕	フェンシング	〔理〕	物理学
〔建〕	建築(学)	〔スポ〕	スポーツ	〔服〕	服飾	〔力〕	力学
〔言〕	言語(学)	〔生〕	生物(学)	〔フット〕	フットボール	〔林〕	林業
〔工〕	工学	〔政〕	政治(学)	〔プロ〕	プロテスタント	〔倫〕	倫理学
〔光〕	光学	〔聖〕	聖書	〔保〕	保険	〔レス〕	レスリング
〔鉱〕	鉱物(学), 鉱山	〔生化〕	生化学	〔ボウル〕	ボウリング	〔労〕	労働
〔古ギ〕	古代ギリシア	〔生保〕	生命保険	〔ボク〕	ボクシング	〔口神〕	ローマ神話
〔古史〕	古代史	〔染〕	染色, 染料	〔法〕	法学, 法律(学)	〔論〕	論理学
〔古生〕	古生物	〔測〕	測量	〔砲〕	砲術		
〔古ロ〕	古代ローマ	〔地〕	地質学				
〔昆〕	昆虫(学)	〔畜〕	畜産				
〔財〕	財政(学)	〔地物〕	地球物理学				
〔史〕	歴史(学)	〔彫〕	彫刻				
〔歯〕	歯科(学)	〔鳥〕	鳥類(学)				
〔紙〕	製紙	〔哲〕	哲学				
〔写〕	写真	〔電〕	電気				
〔社〕	社会学	〔電算〕	電算機				
〔狩〕	狩猟	〔天〕	天文学				
〔宗〕	宗教	〔統〕	統計学				

言語名の略形

AF	Anglo-French	AmSp	American Spanish
(Afr)	Africa	AN	Anglo-Norman
Afrik	Afrikaans	Arab	Arabic
Akkad	Akkadian	Aram	Aramaic
AL	Anglo-Latin	Assyr	Assyrian
Alb	Albanian	(Austral)	Australia
Amh	Amharic	Bulg	Bulgarian
AmInd	American Indian	CanF	Canadian French

Cat	Catalan	Jpn, Jap	Japanese	Rum.	Rumanian	Slav	Slavonic
Celt	Celtic	L	Latin	Russ	Russian	Sp	Spanish
Chin	Chinese	LaF	Louisiana French	Sc	Scottish	Swed	Swedish
Copt	Coptic	Latv	Latvian	Scand	Scandinavian	Syr	Syriac
Corn	Cornish	LG	Low German	Sem	Semitic	Turk	Turkish
Dan	Danish	Lith	Lithuanian	Serb	Serbian	(WInd)	West Indies
Du	Dutch	M··	Middle / Medieval	Serbo-Croat	Serbo-Croatian	Yid	Yiddish
E	English	MDu	Middle Dutch	Skt	Sanskrit		
Egypt	Egyptian	ME	Middle English				
F	French	MexSp	Mexican Spanish				
Finn	Finnish	MHG	Middle High German				
Flem	Flemish	MLG	Middle Low German				
Frank	Frankish	ModGk	Modern Greek	All's W	<i>All's Well That Ends Well</i>	Hen VIII	<i>Henry VIII</i>
Fris	Frisian	ModHeb	Modern Hebrew	Antony	<i>Antony and Cleopatra</i>	John	<i>King John</i>
G	German	NL	Neo-Latin			Kinsmen	<i>The Two Noble Kinsmen</i>
Gael	Gaelic	Norw	Norwegian	As Y L	<i>As You Like It</i>	Lear	<i>King Lear</i>
Gk	Greek	O··	Old	Caesar	<i>Julius Caesar</i>	Love's L L	<i>Love's Labour's Lost</i>
Gmc	Germanic	ODu	Old Dutch	Corio	<i>Coriolanus</i>	Lucrece	<i>The Rape of Lucrece</i>
Goth	Gothic	OE	Old English	Cymb	<i>Cymbeline</i>	Macbeth	<i>Macbeth</i>
Haw	Hawaiian	OF	Old French	Errors	<i>The Comedy of Errors</i>	Measure	<i>Measure for Measure</i>
Heb	Hebrew	OHG	Old High German				
Hind	Hindustani	ON	Old Norse	Hamlet	<i>Hamlet</i>	Merch V	<i>The Merchant of Venice</i>
Hung	Hungarian	OS	Old Saxon	1 Hen IV	<i>1 Henry IV</i>		
Icel	Icelandic	Pers	Persian	2 Hen IV	<i>2 Henry IV</i>	Merry W	<i>The Merry Wives of Windsor</i>
IE	Indo-European	Pol	Polish	Hen V	<i>Henry V</i>		
Ir	Irish	Port	Portuguese	1 Hen VI	<i>1 Henry VI</i>	Mids N D	<i>A Midsummer Night's Dream</i>
It	Italian	Prov	Provençal	2 Hen VI	<i>2 Henry VI</i>		
Jav	Javanese	Rom.	Romanic	3 Hen VI	<i>3 Henry VI</i>		

Shakespeare 作品の略形

All's W	<i>All's Well That Ends Well</i>	Hen VIII	<i>Henry VIII</i>
Antony	<i>Antony and Cleopatra</i>	John	<i>King John</i>
As Y L	<i>As You Like It</i>	Kinsmen	<i>The Two Noble Kinsmen</i>
Caesar	<i>Julius Caesar</i>	Lear	<i>King Lear</i>
Corio	<i>Coriolanus</i>	Love's L L	<i>Love's Labour's Lost</i>
Cymb	<i>Cymbeline</i>	Lucrece	<i>The Rape of Lucrece</i>
Errors	<i>The Comedy of Errors</i>	Macbeth	<i>Macbeth</i>
Hamlet	<i>Hamlet</i>	Measure	<i>Measure for Measure</i>
1 Hen IV	<i>1 Henry IV</i>	Merch V	<i>The Merchant of Venice</i>
2 Hen IV	<i>2 Henry IV</i>	Merry W	<i>The Merry Wives of Windsor</i>
Hen V	<i>Henry V</i>	Mids N D	<i>A Midsummer Night's Dream</i>
1 Hen VI	<i>1 Henry VI</i>		
2 Hen VI	<i>2 Henry VI</i>		
3 Hen VI	<i>3 Henry VI</i>		

Much Ado	<i>Much Ado about Nothing</i>	Tempest	<i>The Tempest</i>	Ezra	<i>Ezra</i>
Othello	<i>Othello</i>	Timon	<i>Timon of Athens</i>	Gal	<i>The Epistle of Paul the Apostle to the Galatians</i>
Pericles	<i>Pericles</i>	Titus	<i>Titus Andronicus</i>	Gen	<i>The First Book of Moses, called Genesis</i>
Rich II	<i>Richard II</i>	Troilus	<i>Troilus and Cressida</i>	Hab	<i>Habakkuk</i>
Rich III	<i>Richard III</i>	Twel N	<i>Twelfth Night</i>	Hag	<i>Haggai</i>
Romeo	<i>Romeo and Juliet</i>	Two Gent	<i>The Two Gentlemen of Verona</i>	Heb	<i>The Epistle of Paul the Apostle to the Hebrews</i>
Shrew	<i>The Taming of the Shrew</i>	Venus	<i>Venus and Adonis</i>	Hos	<i>Hosea</i>
Sonnets	<i>Sonnets</i>	Winter's	<i>The Winter's Tale</i>	Isa	<i>The Book of the Prophet Isaiah</i>
				James	<i>The General Epistle of James</i>
				Jer	<i>The Book of the Prophet Jeremiah</i>
				Job	<i>The Book of Job</i>
				Joel	<i>Joel</i>

英訳聖書 (AV) 書名の略形

Acts	<i>The Acts of the Apostles</i>	John	<i>The Gospel according to St. John</i>
Amos	<i>Amos</i>	1 John	<i>The First Epistle General of John</i>
1 Chron	<i>The First Book of the Chronicles</i>	2 John	<i>The Second Epistle of John</i>
2 Chron	<i>The Second Book of the Chronicles</i>	3 John	<i>The Third Epistle of John</i>
Col	<i>The Epistle of Paul the Apostle to the Colossians</i>	Jonah	<i>Jonah</i>
1 Cor	<i>The First Epistle of Paul the Apostle to the Corinthians</i>	Josh	<i>The Book of Joshua</i>
2 Cor	<i>The Second Epistle of Paul the Apostle to the Corinthians</i>	Jude	<i>The General Epistle of Jude</i>
Dan	<i>The Book of Daniel</i>	Judges	<i>The Book of Judges</i>
Deut	<i>The Fifth Book of Moses, called Deuteronomy</i>	1 Kings	<i>The First Book of the Kings</i>
Eccles	<i>Ecclesiastes, or the Preacher</i>	2 Kings	<i>The Second Book of the Kings</i>
Ephes	<i>The Epistle of Paul the Apostle to the Ephesians</i>	Lam	<i>The Lamentations of Jeremiah</i>
Esth	<i>The Book of Esther</i>	Lev	<i>The Third Book of Moses, called Leviticus</i>
Exod	<i>The Second Book of Moses, called Exodus</i>	Luke	<i>The Gospel according to St. Luke</i>
Ezek	<i>The Book of the Prophet Ezekiel</i>	Mal	<i>Malachi</i>
		Mark	<i>The Gospel according to St. Mark</i>
		Matt	<i>The Gospel according to St. Matthew</i>
		Mic	<i>Micah</i>
		Nah	<i>Nahum</i>

Neh	<i>The Book of Nehemiah</i>
Num	<i>The Fourth Book of Moses, called Numbers</i>
Obad	<i>Obadiah</i>
1 Pet	<i>The First Epistle General of Peter</i>
2 Pet	<i>The Second Epistle General of Peter</i>
Philem	<i>The Epistle of Paul to Philemon</i>
Philip	<i>The Epistle of Paul the Apostle to the Philippians</i>
Prov	<i>The Proverbs</i>
Ps	<i>The Book of Psalms</i>
Rev	<i>The Revelation of St. John the Divine</i>
Rom	<i>The Epistle of Paul the Apostle to the Romans</i>
Ruth	<i>The Book of Ruth</i>
1 Sam	<i>The First Book of Samuel</i>
2 Sam	<i>The Second Book of Samuel</i>
Song of Sol	<i>The Song of Solomon</i>
1 Thess	<i>The First Epistle of Paul the Apostle to the Thessalonians</i>
2 Thess	<i>The Second Epistle of Paul the Apostle to the Thessalonians</i>
1 Tim	<i>The First Epistle of Paul the Apostle to Timothy</i>
2 Tim	<i>The Second Epistle of Paul the Apostle to Timothy</i>
Titus	<i>The Epistle of Paul to Titus</i>
Zech	<i>Zechariah</i>
Zeph	<i>Zephaniah</i>

外典 (Apocrypha)

Baruch	<i>Baruch</i>
Bel and Dragon	<i>The History of the Destruction of Bel and the Dragon</i>

Ecclus	<i>The Wisdom of Jesus the Son of Sirach, or Ecclesiasticus</i>
1 Esd	<i>I Esdras</i>
2 Esd	<i>II Esdras</i>
Judith	<i>Judith</i>
1 Macc	<i>The First Book of the Maccabees</i>
2 Macc	<i>The Second Book of the Maccabees</i>
Pr of Man	<i>The Prayer of Manasses</i>
Rest of Esther	<i>The Rest of the Chapters of the Book of Esther</i>
Song of Three Children	<i>The Song of the Three Holy Children</i>
Susanna	<i>The History of Susanna</i>
Tobit	<i>Tobit</i>
Wisd of Sol	<i>The Wisdom of Solomon</i>

発音記号表

/記号/	例 語	/記号/	例 語
/aɪ/	ice, mine, sky	/ð/	this, other, bathe
/aʊ/	out, bound, cow	/ɛ/	end, bell
/ɑ; ɔ/	ox, cotton	/eɪ/	aim, name, may
/ɑ:/	alms, father, ah	/ɛər, *æər/	air, care, heir, prayer, there
/ɑ:r/	art, card, star	/ə/	ability, silent, lemon, upon, banana
/æ/	attic, hat		
/æ; a:/	ask, branch	/ər/	butter, actor
/b/	bed, rubber, cab	/ɔ:r/	earn, bird, stir
/d/	desk, rudder, good		
/dʒ/	gem, adjective, judge	/ə; ʌ; ʌ/	courage, hurry, nourish

/記号/	例 語	/記号/	例 語
/f/	fox, offer, if	/r/	rain, sorry
/g/	gum, beggar, big	/s/	cent, fussy, kiss
/h/	house, behind	/ʃ/	ship, station, fish
/ɪ/	ink, sit, city	/t/	top, better, tent
/i/	easy, curious	/tʃ/	chair, pitcher, match
/i:/	eat, seat, see	/θ/	think, pithy, both
/ɪər/	ear, beard, hear	/ʊ/	good
/j/	yes	/u/	mutual, sensuous
/k/	call, lucky, desk	/u:/	ooze, food, too
/l/	leg, melon, call	/ʊər/	poor, tour
/m/	man, summer, aim	/v/	vine, cover, love
/n/	note, dinner, moon	/ʌ/	up, blood
/ŋ/	ink, sing	/w/	way
/oʊ; əʊ/	open, most, show	/z/	zoo, busy, lose
/ɔ(:), ɑ/	dog, orange, soft	/ʒ/	measure, rouge
/ɔ:/	all, fall, saw	/˘/	第1アクセント
/ɔ:r/	order, cord, more	/˘˘/	第2アクセント
/ɔɪ/	oil, coin, boy	/˘˘˘/	第3アクセント
/p/	pay, upper, cup		

※リーダーズ・プラスでは、以下の音にリーダーズとは異なる表記を使っている。

/記号/	例 語	/記号/	例 語
/ai/	ice, mine, sky	/ou ; əʊ/	open, most, show
/au/	out, bound, cow	/ɔ(:), ɑ/	dog, orange, soft
/æ(:) ; ɑ:/	ask, branch	/ɔɪ/	oil, coin, boy
/e/	end, bell	/u/	good
/ei/	aim, name, may	/uə(r)/	poor, tour
/eə(r), æə(r)/	air, care, heir, prayer, there	/y/	Bürger, Lunéville (唇をまるめて /i/ を発音する)
/ə:r, ʌ ; ʌ/	courage, hurry, nourish		
/i/	ink, sit, city	/˘/	第1アクセント
/iə(r)/	ear, beard, hear	/˘˘/	第2アクセント

- ★ (1) 丸括弧：略しうる音：/stéɪf(ə)n/= /stéɪfən, stéɪfn/
- (2) /˘/ : 次の子音が音節主音であることを表わす：/kánt˘nənt/= /kántnənt/.
- (3) /æ; ɑ:/ などのセミコロン(;)の左は米音，右は英音を表わす：ask /æsk; ɑ:sk/ は米音 /æsk/, 英音 /ɑ:sk/ の意。
- (4) /(:)/ は一般に長母音と短母音の両方の発音があることを表わすが，/ɔ(:)/は，米音 /ɔ:/, 英音 /ɔ/ の意。
- (5) /ɑ:r/ /eər, *ær/ /ɔ:r/ /ər/ /ɪər/ /ɔ:r/ /ʊər/ の /r/ は，英音では切れ目なしに母音が続く場合に

のみ発音される /r/ を表わす。すなわち子音の前と語末であとに母音がすぐ続かないときは発音されない。米音では先行する /ə/ に影響を与えてそれとともに /ə/ と表わされる「r 音色のついた母音 (r-colored vowel)」になる。また米音では、/a:r/ は /aə/, /ɔ:r/ は /ɔə/ と発音される。/ə/ は英音でのみ発音され、米音では発音されない /ə/ を表わす。

- (6) /, *.../ /, ".../ の…はそれぞれ「米音[英音]としては…の発音もある」の意 (⇒ 2. 3b).
 (7) 「発音表記のない本見出し語の発音」については 2. 10, 2. 11 参照。

非英語音およびその他の記号

- /ʏ/ Bürger, Lunéville (唇をまるめて /ɪ/ を発音する)
 /y/ Psychologie (唇をまるめて /i/ を発音する)
 /ø/ feu², Neuchâtel (唇をまるめて /e/ を発音する)
 /œ/ jeunesse, œuf (唇をまるめて /ɛ/ を発音する)
 /ã/ pensée, sans (鼻音化した /a/)
 /ẽ/ Maintenon, vin rosé (鼻音化した /ɛ/)
 /õ/ bonsoir, garçon (鼻音化した /ɔ/)
 /œ̃/ chacun à son goût (鼻音化した /œ/)
 /ç/ Brecht, nicht wahr (中舌面を硬口蓋に近づけて出す無声摩擦音)
 /x/ Bach, loch (後舌面を硬口蓋に近づけて出す無声摩擦音)
 /ɥ/ ennui, nuit blanche (/y/ に対応する半母音)
 /ɲ/ Bourgogne, Montaigne (口蓋化した /n/)
 /u̥/ ugh (唇をまるめない /u/; 日本語の「ウ」)
 /ϕ/ phew (両唇をせばめて出す無声摩擦音; 日本語の「フ」の子音)
 /ʔ/ uh-oh /ʔʔðu/ (声門閉鎖音; 日本語の「アッ」(驚きの声)の「ッ」の音)
 /. / hem /m̥m/ (無声化した /m/)

1. 見出し語

A. 見出し語の並べ方

- ① アルファベット順に並べてある。
- ② 同じつづりで語源の異なる語は別見出しとし、右肩に番号をつけた。

bill¹ bill² Bill

B. 重要語の表示

(アメリカ英語のコンピュータコーパスでの頻度調査結果を主な資料として、次のような記号をつけて重要度ランクを示した。)

‡	Aランク	約3500語
*	Bランク	約5400語
無印	Cランク	その他の語

C. いろいろなつづりがある場合

- ① 米国式と英国式のつづりがあるときは、米国式を優先し、英国式つづりは参照見出しとした。

‡ col·or, 《英》-our ... **名**

- ② () は省略可能な部分、-は最初のつづりとの共通部分を示す。

- ③ (-) はハイフンつきまたはハイフンなしの1語となることを示す。

D. 分節

- ① 音節の切れ目は、・(小さい中点)で表示した。
- ② 複数の発音を示した語では、最初に掲げた発音による切り方を示した。米音と英音が異なる場合は、米音による切り方を示した。
1語化した複合語(非分離複合語)では、構成要素の間だけを・で表示し、他の分節の表示は省略した。

E. 分離複合語(2語見出し)

2語以上からなる見出し語(以下「分離複合語」という)は、最初の語の複合語として、アルファベット順に掲げた。

F. 派生語の扱い

～は見出し語まるごとの代用である。

2. 発音

- ① 発音記号は/ /に入れて示した。省略可能な音は()に入れて示した。
第1強勢(ストレス)には´, 第2強勢には`を付けた。
- ② 発音の一部を省略するときは、省略部分をハイフン(-)で示した。

- ③ 品詞によって発音が違うときは、見出し語の直後に一括して掲げた。
- ④ 米国式と英国式の発音が異なるときは、米音・英音の順で示し、間に|を入れた。ただし、米音と英音が規則的に対応する場合には原則として米音のみを示し、以下の読み替えを行なう。

/ɑ/	→米 /ɑ/	英 /ɔ/
/ɔ(i)/	→米 /ɔ:/	英 /ɔ/
/n(j)u:/	→米 /nu:-/	英 /nju:-/
/ɚ/	→米 /ɚ/	英 /ə/
/ɛ:/	→米 /ɛ:/	英 /ɛ:/
/ou/	→米 /ou/	英 /əʊ/
/ɪə/	→米 /ɪə/	英 /ɪə/
/eə/	→米 /eə/	英 /eə/
/ʊə/	→米 /ʊə/	英 /ʊə/
/ɪər/	→米 /ɪər/	英 /ɪər/
/eər/	→米 /eər/	英 /eər/
/ʊər/	→米 /ʊər/	英 /ʊər/
/hw/	→米 /hw/	英 /w/

〔米+〕は「米国ではこの発音もある」の意。

〔英+〕は「英国ではこの発音もある」の意。

- ⑤ 外国語の場合、英語化した発音があればそれを示した。英語化した発音がない場合は、その外国語で用いられる一般的な発音を示した。

◇ 外国語音を示す場合の言語名は次のような略記を用いた。

Dut.	Dutch	Pol.	Polish
Fr.	French	Port.	Portuguese
Ger.	German	Rus.	Russian
Hung.	Hungarian	Sp.	Spanish
It.	Italian	Swed.	Swedish

- ⑥ /l/, /m/, /n/, (英)/r/は、母音なしに子音だけで1つの音節をなす「音節主音的子音(syllabic consonant)」になることがある。そのうち、一般的なものについては/!/, /m/, /n/, /r/で示した。

lo-cal /lóuk!/

rhythm /ríðm/

cot-ton /kátŋ/

win-er-y /((英)wámŋi/

- ⑦ **接頭** **接尾** **連結形** の発音は代表的な発音だけを示した。

3. 語源・由来

- ① A, Bランクの語を中心に、語源を発音表記の直後に〔 〕に入れて示した。
- ② 外来語(完全に英語化しているものも含む)は、その由来する言語名を〔フランス〕〔スペイン〕などとして示した。

4. 品詞

品詞は次のように示した。

名 名詞	代 代名詞
動 動詞	自 自動詞
	他 他動詞
助 助動詞	前 前置詞
形 形容詞	副 副詞
間 間投詞	接 接続詞
接頭 接頭辞	接尾 接尾辞
連結形	記号
略 略語	

5. 語形変化

A. 語形変化の表示の原則

- ① 名詞、動詞、形容詞、副詞の語形変化は、不規則変化と注意を要するもの(子音を重ねる場合など)を、品詞表示のすぐ後に()に入れて示した。
- ② ～は見出し語まるごとの代用、ーは見出し語の一部(音節の切れ目から前)の代用である。/~/は(語形変化した場合でも)発音が見出し語と同じであることを示す。

B. 名詞の複数形

(複)と表示した。

C. 動詞の語形変化

動詞の語形変化は

(過去形、過去分詞形；現在分詞形)

のように示した。

- 過去形と過去分詞形が同じ場合は1回だけ表示した。
- 2つ以上の形があるときはorで示した。

D. 形容詞・副詞の比較変化

- ① 1音節の語では -er 型、2音節以上の語では more 型が原則なので、これから外れるもののみを表示した。
 - ・ (しばしば -er 型)とあるのは、
[2音節以上の語で、more 型が多いが、-er型も用いる]
 - ・ (通例 more 型)とあるのは、
[1音節の語で、通例 more 型で用い、時に -er型でも用いる]
 - -yをiに変えて -erをつけるものも単に(-er型)と表示した。
 - -er, -estをつけるとき語尾の子音を重ねるものは(-tt-) (《英》-ll-)などと示した。
- ② A, Bランクの語を中心に、形容詞・副詞で通例比較変化しない語・語義には(φ比較)と表示した。

6. 語義・文型表示・語法・いろいろな注記

A. 語義の区分・順序

- ① 語義は**1, 2, 3**...の数字で区分し、さらに必要に応じて**a, b, c**...やセミコロン(;)で区切って示した。多くの語義のある語では、**I, II, III**...で大きな意味ブロックに分けた。

B. 語義の示し方

- ① 訳語のうち省略可能な部分や補足的な部分は()に入れた。
② []は直前の語句と交換ができる語句を示す。
decolorize ... 動 ...脱色[漂白]する
[「脱色する」または「漂白する」の意になる]
③ 語義の定義や内容の直接の説明は〈 〉に入れて示した。

C. 用法の指示, 文法上の注記

さまざまな用法・文法上の注記を[]に入れて示した。

語形

- [P~] 見出し語は小文字だが、大文字で用いる。
[p~] 見出し語は大文字だが、小文字で用いる。

名詞の用法

- [the ~][a ~][an ~] それぞれの冠詞つきで用いる。
[one's ~] 所有格の人称代名詞 (my, your, his, her, ourなど)つきで用いる。
[~s][~es] 複数形で用いる。
(子音+yで終る音については [~ies]と示した。)

形容詞の用法

- [叙述] 叙述用法(predicative use)(be, remainなど連結動詞(copulative verb)の補語となる用法)で用いる。
[限定] 限定用法(attributive use)(名詞の直前[または時に直後]に置いてその名詞を直接修飾する用法)で用いる。
[他動詞的に] 他動詞に由来し、「(…を)…させるような」といった意味で用いる。

動詞の用法

- [be ~ed] 受身形で用いる。
[伝達動詞] 直接話法の伝達動詞としての用法を示す。
[be ~ing] 進行形で用いる。

その他

- [俗用的に] 専門的な語が本来の専門用語としてでなく通俗的な意味で用いられた場合をいう。
• 間投詞のうちで丁寧さを表したり唐突なることを避けるために、ある程度意識的に使われるものには《談話標識》(Discourse Marker)のラベルをつけた。

D. 文型表示

(S, V, O (またはO₁, O₂), C, M)

① 記号の意味

- S=主語 V=動詞
O=目的語 C=補語
M=副詞的修飾語句(前置詞句, 副詞など)

- ② 不定詞、動名詞、that 節、wh 節などを伴う場合や、ある前置詞を決まって用いる場合などは、それも含めて示した。用いたり用いなかったりする部分は()に入れた。
/ は、その両側の一部分(または全部)が交換可能であることを示す。
- ③ “to do” “doing” という表示は to be, being を含む。to be, being だけのときは “to be” “being” とする。

E. スピーチレベル

語の使われる地域、文体、時代的差異などに関するスピーチレベルは、〈 〉に入れて示した。主なものは次のとおり(指示のない語は普通に用いられる一般語である)。

社会的差異

〈非標準〉 非標準英語(標準英語には特に表示しない)

レジスター(標準英語内における機能的差異)

〈正式〉 堅い書き言葉・話し言葉(時に〈文〉に通じる)

〈略式〉 くだけた書き言葉・話し言葉

〈俗〉 俗語、非常にくだけた話し言葉

〈性俗〉 性的な俗語(下品な語、タブーとされる語も含む)

〈文〉 文語、堅い書き言葉(時に〈古〉〈詩〉に通じる)

〈詩〉 詩で用いる言葉

〈まれ〉

性的・年齢的・人種的差異

〈男性語〉 〈女性語〉

〈学生語〉 〈小児語〉

〈黒人語〉 米国の黒人特有の言葉

地域的差異

〈方言〉 ある地域でだけ用いる。(〈英方言〉とあれば英国のある地域でのみ用いる言葉)

〈米〉 米国およびカナダでのみ用いる。

〈英〉 英国およびオーストラリア・ニュージーランドでのみ用いる。

〈カナダ〉 カナダでのみ用いる。

〈豪〉 オーストラリアでのみ用いる。

〈NZ〉 ニュージーランドでのみ用いる。

〈南ア〉 南アフリカ共和国でのみ用いる。

〈イング〉 イングランド方言

〈北イング〉 北部イングランド方言

〈スコット〉 スコットランド方言

〈アイル〉 アイルランド方言

その他、必要に応じていろいろな地域名を用いた。

時代的差異

〈やや古〉 〈古〉 〈廃〉

視覚方言

〈視覚方言〉 方言的・非標準的な発音を反映したつづりで表記した語

その他

〈愛称〉 〈揭示〉 〈Eメール〉

F. PC

- ① 性差別・人種差別・障害者差別等につながりうる語句には、非差別的表現を、《PC》という表示をつけて掲げた。(PC=politically correctness)
assemblyman 議員(《PC》assembly member)
- ② 特定の人種・民族や同性愛者などを見下した文脈で用いられ、侮辱的と受け取られる語には《侮蔑》という表示をつけて、特に使用上の注意を促した。

G. 専門語

専門的な語、決まった分野で用いられる語では、分野を〔 〕で示し、以下のものについては略号を用いた。

〔植〕	植物名・植物学
〔動〕	動物名・動物学
〔魚〕	魚類・魚類学
〔米史〕	米国史
〔英史〕	英国史
〔南ア史〕	南アフリカ史
〔豪史〕	オーストラリア史
〔NZ史〕	ニュージーランド史
〔アメフト〕	アメリカン=フットボール
〔アングリカン〕	アングリカン=チャーチ

◇他の分野名では、例えば「生態学」→「生態」のように「学」を省略した場合がある。

H. 人名・動植物名・化合物

- ① 人名項目では、性別を Ⓜ (male 男性), Ⓣ (female 女性) で示した。
- ② 動植物名の項目は、単独の種の場合は、和名の後、説明の前に()内に学名を記載した。
- ③ 化合物は、必要に応じて語義の後に()で化学式を記載した。

I. 選択制限・連語関係

- ① 動詞の主語・目的語などにどのような内容の語がくるかを、〈 〉で示した。また、その語と一緒によく用いられる前置詞(場合により動名詞・不定詞など)を、語義の後に〔 〕に入れて示した。それに対応する訳語も〔 〕で示した。
fire … **動** … 1 〈人が〉銃・弾丸などを〔…めがけて〕発射する, 発砲する, 〈矢〉を放つ[at, into, on, upon]
- ② 動詞としばしばいっしょに用いる副詞辞は、語義の後に()に入れて示した(同義語があるときはその後)。
figure … **動** … 1 …を計算する, 合計する(up)

J. いろいろな注記・記号

- ① 語義の後の()内に同義語または言い換え可能な英語を示した。
- ② 語義・訳語についての関連情報や語法説明・語のイメージなどは〈◆ 〉に入れて示した。
・「次の句」とあれば、同じ語義の用例(〈例〉)に句があることを示す。

- ③ 必要に応じて、次のような表示を用いているいろいろな情報を収録した。

[関連] [語法]

[文化] [事情]

[類] 類義語

[比較] 日本語と英語の比較

[表現] 主に英語で表現する場合に役立つ知識

cf. …を参照せよ

→ …を見よ(直接関連する情報が他の箇所にある場合)

⇔ 反意語・対になる語

7. 用例

A. 用例

- ① 見出し語と同じものを～で示した。
- ② 語形変化した形については～s, ～es, ～ed, ～ing のようにした。語尾の y を i に変えて es をつけるものは～ies とした。
- ③ [] は、直前の語と交換が可能であることを示す。
- ④ 英語とその訳の両方に[] があるときは、[] の前の語同士、[] の中の語同士が原則として対応している(これは注記などでも同じ)。

eclipse ... **名** 1 (の例)... a sólar [lúnar] ~ 日[月]食

[a solar eclipse が「日食」, a lunar eclipse が「月食」となることを示す]

()はその部分が省略可能であることを示す。英語とその訳の両方に()があるときは、対応している。

- ⑤ 用例の典拠や発言者を示す場合は、〈 〉で示した。聖書・シェイクスピアの作品については、11. 12. に示す略語を用いた。
- ⑥ 重要語については用例の言い換えを = で(または言い換え不可についての情報を[×]で)示したことがある。言い換えに用いた等号(=)は「ほぼ同じことをこのようにもいえる」といったかなり幅のある記号である。


B. イントネーション、強勢など

- ① イントネーションや強勢によって意味の違いが生じる場合など、必要に応じて用例にイントネーションや強勢を示した。
 - (1) ˋ(下降調) 通例平叙文で用いられ、文の完結を示す。断定的口調。疑問文では同意や情報を求める場合に用いられる。
 - (2) ˊ(上昇調) 通例疑問文で用いられ、質問・勧誘・依頼などを表す。また文中で、文が未完結であることを示す。
 - (3) ˋ(下降上昇調) 通例文頭の文副詞・挿入句[節]で用いる。文尾では対比とか話し手の含みのある態度を示す。
 - (4) ˋ(部分下降調) 中途半端な下降で、未完結あるいは話し手のちゅうちょなどを表す。
- ② ∴によって、若干の休止があることを示した。

8. C と U

名詞には、数えられるものに [C] (countable), 数えられないものに [U] (uncountable) の記号をつけた。

A. C U の意味

- ① [C] 名詞は、単数形では a, an(または the, my, any) などの決定詞が必要であり、複数形にすることができる。
- ② [U] 名詞は、冠詞(または他の決定詞)なしで用いることができ、複数形にならない。いわゆる物質名詞、抽象名詞、集合名詞などがこれに含まれる。特に a, an がつくときは [a ~], また [しばしば a ~][しばしば ~s] は [or a ~][or ~s] などと示した。
- ③ [C] [U] は [C] 性の方が強いことを表している。
- ④ [U] [C] は [U] 性の方が強いことを表している。
- ⑤ [U] 名詞の注記([種類] [C])
[U] 名詞であっても、その種類を問題にするときに [C] 扱いになることがある。これを「chalk  [U] ([種類] [C]) チョーク」のように注記した。この場合、チョークの種類を問題にするときは [C] となり、chalks of different colors(異なった色のチョーク)のように複数形が用いられる。
- ⑥ [U] [C] はつけない場合
[the ~][a ~][~s][the ~s][one's ~] などとあるものは常にこの形で用いられることを示す。この場合 [U] [C] はつけない。

9. S と D

A. S と D

動詞・形容詞の重要語義に [S] (stative), [D] (dynamic) の表示をした。

[S] = 人が自分の意志でコントロールできない状態・出来事を表す。

[D] = 人が自分の意志でコントロールできる行為・状態を表す。

B. 動詞・形容詞の用法と S D

1. 人を主語にした [S] 動詞・形容詞は、通例進行形・命令形で用いることができない。
 2. 人を主語にした [D] 動詞・形容詞は、通例進行形・命令形で用いることができる。
 3. 無生物主語の [S] 動詞・形容詞は、永続的な状態を表す場合、通例進行形で用いることができない。命令形は用いない。
 4. 無生物主語の [S] 動詞・形容詞は、一時的な状態を表す場合、進行形で用いることができる。むしろ進行形が普通である。命令形は用いない。(3, 4 の区別は該当する動詞にそれぞれ注記してある。)
- ◇ 無生物主語の [D] 動詞はない。

10. 成句・句動詞

A. 成句の掲げ方

- ① 成句は各品詞ごとに掲げた。
- ② 配列はアルファベット順である。

B. 成句に用いた記号

- ① Oは動詞・前置詞の目的語を示す(ただし、目的語ではなくても便宜上名詞・代名詞の入る場所にOを用いた場合がある)。
- ② one'sは成句の主語と同じものが人称代名詞(my, your, her, theirなど)になって入ることを示す。その他の場合はO'sとする。oneselfは再帰代名詞(myself, yourself, herselfなど)が入ることを示す。
- ③ < > [] () [] の意味は単語の語義の場合(6. B., 6. H.)と同じである。[] が成句見出しと訳の両方にあるときは、用例の場合(7. A. ③ 参照)と同じように、英語とその訳を対応させて用いるのを原則とした。
- ④ 重要語に相当する成句には*印をつけた。句動詞では、必要により [S] [D] を付した。

C. 成句を扱う場所

- ① 名詞を含む成句は、原則として句の中で最初に出てくる名詞の見出し語のところであらう。それ以外は、その成句の中でもっとも重要な語またはもっとも特徴的な語の見出し語のところであらう。
- ② 成句は、「成句検索」を用いれば直接検索できる。

D. 成句の機能表示

- ① 「動詞+前置詞または副詞辞」からなる句動詞には成句としての機能(品詞に準ずるもの)を次のように表示した。
[自] 自動詞+副詞辞：目的語をとらない。
[他] 他動詞+副詞辞：他動詞なので目的語をとる。原則として副詞辞は目的語の前にも後にも置かれる(～ O up / ～ up Oのいずれも可)。ただしOが代名詞の場合は通例 ～ O upのみ可。
◇まれに副詞辞ではなく前置詞の場合もここに入れた。
[自+][～ on O] 自動詞+前置詞：目的語は前置詞の目的語である。
- ② 句動詞以外でも、形や訳語からわかりにくいものは[名][副][接]のように機能表示をした。

E. 相互参照など

他の成句と同じ意味のときは=を用いて次のように示した。(arm¹の項で)

give one's right arm = give one's EARS.

[give one's earsと同じ意味であり、それはear(大文字になっている)の項に説明があることを示す]

11. Shakespeare 作品名の略表記

Ado	<i>Much Ado about Nothing</i>
AWW	<i>All's Well that Ends Well</i>
Ant	<i>Antony and Cleopatra</i>
AYL	<i>As You Like It</i>
LC	<i>A Lover's Complaint</i>
Cor	<i>Coriolanus</i>
Cym	<i>Cymbeline</i>
Err	<i>The Comedy of Errors</i>
Ham	<i>Hamlet</i>
1H4	<i>The First Part of King Henry IV</i>
2H4	<i>The Second Part of King Henry IV</i>
H5	<i>The Life of King Henry V</i>
1H6	<i>The First Part of King Henry VI</i>
2H6	<i>The Second Part of King Henry VI</i>
3H6	<i>The Third Part of King Henry VI</i>
H8	<i>The Famous History of the Life of King Henry VIII</i>
JC	<i>Julius Caesar</i>
Jn	<i>The Life and Death of King John</i>
LLL	<i>Love's Labours Lost</i>
Lr	<i>King Lear</i>
Luc	<i>The Rape of Lucrece</i>
Mac	<i>Macbeth</i>
MM	<i>Measure for Measure</i>
MND	<i>A Midsummer Night's Dream</i>
MV	<i>The Merchant of Venice</i>
Oth	<i>Othello, the Moore of Venice</i>
Per	<i>Pericles, Prince of Tyre</i>
PhT	<i>The Phoenix and the Turtle</i>

PP	<i>The Passionate Pilgrim</i>
R2	<i>The Tragedy of King Richard II</i>
R3	<i>The Tragedy of King Richard III</i>
Rom	<i>Romeo and Juliet</i>
Shr	<i>The Taming of the Shrew</i>
Son	<i>Sonnets</i>
TGV	<i>The Two Gentlemen of Verona</i>
Tim	<i>Timon of Athens</i>
Tit	<i>Titus Andronicus</i>
Tmp	<i>The Tempest</i>
TN	<i>Twelfth Night</i>
Tro	<i>Troilus and Cressida</i>
Ven	<i>Venus and Adonis</i>
Wiv	<i>The Merry Wives of Windsor</i>
WT	<i>The Winter's Tale</i>

12. 英訳聖書書名の略表記

Acts	<i>Acts of the Apostles</i>
Amos	
1 Chr.	<i>The First Book of the Chronicles</i>
2 Chr.	<i>The Second Book of the Chronicles</i>
Col.	<i>Epistle to the Colossians</i>
1 Cor.	<i>The First Epistle to the Corinthians</i>
2 Cor.	<i>The Second Epistle to the Corinthians</i>
Dan.	<i>Daniel</i>
Deut.	<i>Deuteronomy</i>
Eccles.	<i>Ecclesiastes</i>
Eph.	<i>Epistle to the Ephesians</i>

Esther		Matt.	<i>Gospel according to St. Matthew</i>
Exod.	<i>Exodus</i>	Mic.	<i>Micah</i>
Ezek.	<i>Ezekiel</i>	Nah.	<i>Nahum</i>
Ezra		Neh.	<i>Nehemiah</i>
Gal.	<i>Epistle to the Galatians</i>	Num.	<i>Numbers</i>
Gen.	<i>Genesis</i>	Obad.	<i>Obadiah</i>
Hab.	<i>Habakkuk</i>	1 Pet.	<i>The First Epistle General of Peter</i>
Hag.	<i>Haggai</i>	2 Pet.	<i>The Second Epistle General of Peter</i>
Heb.	<i>Epistle to the Hebrews</i>	Phil.	<i>Epistle to the Philippians</i>
Hos.	<i>Hosea</i>	Philem.	<i>Epistle to Philemon</i>
Isa.	<i>Isaiah</i>	Prov.	<i>Proverbs</i>
Jas.	<i>Epistle to James</i>	Ps.	<i>Psalms</i>
Jer.	<i>Jeremiah</i>	Rev.	<i>Revelation</i>
Job		Rom.	<i>Epistle to the Romans</i>
Joel		Ruth	
1 John	<i>The First Epistle General of John</i>	1 Sam.	<i>The First Book of Samuel</i>
2 John	<i>The Second Epistle of John</i>	2 Sam.	<i>The Second Book of Samuel</i>
3 John	<i>The Third Epistle of John</i>	S. of S.	<i>Song of Songs [Solomon]</i>
John	<i>Gospel according to St. John</i>	1 Thess.	<i>The First Epistle to the Thessalonians</i>
Jonah		2 Thess.	<i>The Second Epistle to the Thessalonians</i>
Josh.	<i>Joshua</i>	1 Tim.	<i>The First Epistle to Timothy</i>
Jude	<i>The General Epistle of Jude</i>	2 Tim.	<i>The Second Epistle to Timothy</i>
Judg.	<i>Judges</i>	Tit.	<i>Epistle to Titus</i>
1 Kgs.	<i>The First Book of the Kings</i>	Zech.	<i>Zechariah</i>
2 Kgs.	<i>The Second Book of the Kings</i>	Zeph.	<i>Zephaniah</i>
Lam.	<i>Lamentations</i>		
Lev.	<i>Leviticus</i>		
Luke	<i>Gospel according to St. Luke</i>		
Mal.	<i>Malachi</i>		
Mark	<i>Gospel according to St. Mark</i>		

1. ジーニアス和英辞典のしくみ

A. 見出し語とその並べ方

① かな見出し(ひらがな・カタカナ)で、国語辞典式の五十音順に並べた。

② 清音、濁音、半濁音の順。「っ」(促音)、「ゃ」「ゅ」「ょ」(拗音)は、それぞれ「つ」「や」「ゆ」「よ」の次に置いた。

見出し中の長音符(ー)は、その直前の音の母音を重ねたものとして配列した。

スーブ 「すうぶ」の位置 キーパー 「きいばあ」の位置

セーフ 「せえふ」の位置 コーヒー 「こおひい」の位置

()は省略可能、[]は直前の部分との交替可能を表す。見出しの配列は() []を除いた部分で行なう。

③ かな見出しで同じ表記のものが2つ以上あるときは、肩に数字をつけ、後ろにくゝで区別の手がかりを記した。

ライト¹ 〈明り〉

ライト² 〈野球〉

ライト³ 〈複合語を作る〉

英語の品詞が見出し語から推測しにくいときにも、〈形〉などで英語の品詞を示した。

助詞・助動詞・接尾辞など独立では用いられない語は、ハイフン(-)をつけて見出しにした。

-に -すぎ -たい

特に重要語では、ほぼ同じ英語が対応する2語をいっしょに扱うことがある。

いたむ【痛む】/いたい【痛い】

④ 日本語の形容動詞に英語の形容詞を対応させる場合は、原則として、まじめ(な) あべこべ(の) のように示した。動詞が対応する場合は、すき(だ) のように示した。

ただし、英語中見出し(㊦2)をたてない場合は(な)などは省略した。

B. 派生語見出し

① 「…する」「…した」「…ない」などのついた派生語見出しは、主見出しの後に 派 印の下に掲げた。日本語としてはやや長い語句であっても、英語では1語で表すものは適宜この形で示した。

英語中見出しなどの記述の方式は独立の見出しに準ずる。コア解説(㊦3)を設けるものは独立の見出しとした。

C. 記述の構成要素

① 本辞典の記述内容は次のような要素からなる。

かぎ【鍵】 見出し語

①【鍵】 意味の区分

key [C] (戸・車などの)かぎ <例>.....

..... 英語中見出し・英語中見出しを用いた用例

▶玄関のかぎをかけ忘れる leave the door unlocked

..... 英語中見出し以外の語を用いた用例

複 かぎ輪 key ring [C] 複合語

派 かぎがかかる lock 派生語

小さな項目では、適宜簡単な書き方をした。

D. 意味による区分

必要に応じ、見出し語を意味によって大きく区分して、①

②…で示した。

あたま【頭】 ①〔頭部〕 ②〔頭髪〕 ③〔頭脳〕

英語の品詞で区分することもある。

あいする【愛する】 ①〈動〉 ②〈形〉

2. 英語中見出し

A. 英語中見出し

①見出し語にはほぼ対応する英語があるときは、「英語中見出し」を置き、その発音(わかりにくいもののみ)・文型・語義・用法・用例などを掲げた。

配列は、その見出し語を含む文・句を英語で表現する場合の有用性を考慮して並べた。

②成句も、見出し語にはほぼ対応するものは「英語中見出し」として掲げた。

B. 記述の方法

①記述の方法や記号類の用法などの概要を「7」に掲げた。

②英語の品詞は、日本語との対応がわかりにくいものについて表示した。

英語中見出しの語義のうち、見出し語と同じものは、まぎらわしくない場合省略することがある(たとえば、「かくう(の)【架空(の)】」の項の英語中見出し imaginary の語義は「想像上の、実在しない」とし、「架空の」をあげていない)。

③英語の句・成句などで、動詞・前置詞の目的語をOで示した。また、目的語でなくても、便宜上、名詞にOを用いた場合がある(☞6. H)。

3. コア解説

重要語で対応する複数の英語の使い分けが問題になる場合は、適宜囲み(パー(≡≡≡))で上下を区切る)で詳しい解説をした。ここで取り上げられる英語を「コア語」、囲みの解説を「コア解説」という。

コア解説ではコア語を初めにまとめて掲げ、解説・用例(☞印)ではそれらを一括して扱った。

A. コア語の選定

①見出しになる日本語の中から重要な語をまず選び、それに相当する英語のシノニム(類義語)グループの中の重要な語をコア語とした。選定は、ネイティブスピーカーの直観的判断、コンピュータ・コーパスから得られる頻度、日本における英語教育の事情を考慮に入れて、日本人執筆者が行なった。

B. △・×

①コア解説では、コア語のグループを構成するシノニムの使い分けを詳述した。

コロケーション(連語関係)には文法のような一律的な規則はなく、その可否は慣用と直感に基づききわめて不安定である。したがって、執筆に際してはネイティブスピーカーが次の5段階でコロケーションの可否を評価した。

- + OK
- * very slightly unusual
- ** notably unusual
- *** very unusual
- **** deviant

実際にはこれを整理して、+(typical)は無印、*(less-typical)は^印、**以下(non-typical)は×印と3段階で表示した。

4. 用例

▶ 用例

英語中見出しとは別に、見出し語を含む文・句を英語で表現する場合に役に立つ用例(英語中見出し以外の語を用いたもの)や慣用表現を▶印の下に掲げた。

5. 複合語

複

- ① 見出し語が最初につく複合語(原則として名詞)と、それにあたる英語を、**複**印の下に掲げた。
- ② 複数の英語をあげる場合は；で区切った。
重要なもの、用例を掲げるものは独立見出しとした。

6. 英語中見出しでの記述

A. 中見出し

- ① 米国式と英国式のつづりがあるときは、米国式を優先した。
()部分は「省略可能」であることを表す。

B. 発音

- ① 発音のわかりにくい語、間違えやすい語について、代表的な発音を示した。

C. 由来

- ① 【 】で語源・由来を示した。【フランス】、【スペイン】、【日本】などは、外来語の由来する言語を示す。

D. 品詞表示

- ① 品詞は次のように示した。

名 名詞	動 動詞	前 前置詞
代 代名詞	自 自動詞	接 接続詞
形 形容詞	他 他動詞	間 間投詞
副 副詞	助 助動詞	
接頭 接頭辞	接尾 接尾辞	連結形 連結形
略 略語	記号 記号	

C **U** 表示のある語は名詞、**自** **他** 表示のある語は動詞である。

- ② 成句のうち、go on、get over のように「動詞＋前置詞または副詞辞」からなる「句動詞」には、成句としての機能(品詞に準ずるもの)を次のように示した。

[自] 自動詞＋副詞辞 目的語なし

[他] 他動詞＋副詞辞 他動詞なので目的語をとる。

副詞辞は原則として目的語(O)の前にも置かれる(get over O/get O over のいずれも可)。ただしOが代名詞の場合は通例 get O over のみ可。

[自+] 自動詞＋前置詞(＋目的語) 目的語は前置詞の目的語である。

その他、句動詞以外の成句でも、形や語義からわかりにくいものは**[副]****[接]**のように機能表示をした。

E. 語形変化

- ① 不規則変化する名詞の複数形を、英語中見出しの直後の(**複**)内に注記した。

F. 用法指示・文法上の注記

①さまざまな用法・文法上の注記を[]に入れて示した(ここで、～は英語中見出しの代用)。以下に主なものを掲げる。

[P~] 大文字始まり [p~] 小文字始まり

〈名詞〉

[the ~][a ~][an ~] それぞれの冠詞つき

[one's ~] my, your, her, his, our, their をつける。

[~ s][~ es] 複数形(子音+y で終わる語については [~ ies]と表示)

[単数扱い][複数扱い] それぞれ単数名詞・複数名詞に呼応する動詞や代名詞を用いる。

〈形容詞〉

[叙述] 叙述用法(be, become, remain などの補語となる用法)

[限定] 限定用法(名詞の直前[時に直後]でその名詞を直接修飾する用法)

[他動詞的に] 他動詞に由来し、「(…を)…させるような」といった意味で用いる。

〈動詞〉

[be ~ed] 受身形(語義は受身にしたものを掲げた。[通例 be ~ed] も同じ)

[be ~ing] 進行形 [命令形で]

〈その他〉

[a ~ of...] [比喩的に] など

G. [C] [U]

①[C]は数えられる名詞(countable)、[U]は数えられない名詞(uncountable)を示す。

他の注記によって用法が示されているときは[C][U]をつけない。

[U]名詞であっても、その種類を問題にするとき(「何種類かの…」「何色かの…」など)に[C]扱いになるものは「chalk [U]([種類][C])」のように注記した。

H. 文型表示

①重要な動詞および一部の形容詞については、S(主語)、V(動詞)、O(目的語)(またはO₁、O₂)、C(補語)、M(前置詞句・副詞など、副詞的修飾語句)を用いて文型を表示した。

動詞の文型は、5文型を拡張した次の7文型を基本とする。

SV	主語+動詞	} ……第I文型
SVM	主語+動詞+副詞的修飾語(句)	
SVC	主語+動詞+補語	……第II文型
SVO	主語+動詞+目的語	} ……第III文型
SVOM	主語+動詞+目的語+副詞的修飾語(句)	
SVO ₁ O ₂	主語+動詞+間接目的語+直接目的語	……第IV文型
SVOC	主語+動詞+目的語+補語	……第V文型

ただし、他動詞の[SVO]、自動詞の[SV]は、まぎらわしくない限り表示を省略した。

その他、不定詞・動名詞・that節・前置詞などを伴うときは、必要により、それも含めて示した。

O₁、O₂は、前置詞の目的語も含め、使用する名詞の順序によって番号をつける(例：SVO₁ to O₂/SVO₂O₁)。したがって、O₁=間接目的語、O₂=直接目的語と固定しているわけで

はない。なお、便宜上、目的語以外にも O を用いることがある(例: for the sake of O = for O's sake)。

I. 選択制限

① 動詞の主語・目的語・補語、形容詞の被修飾語、前置詞の目的語などにどう内容の語がくるか(選択制限)を、語義の中にく)で示した。文型表示をした場合は、その中の S、O などと対応している。

show 他 〈人・物が〉〈物・事〉を見せる、示す
主語については「〈人・物が〉」のように示す(語義から明らかかな場合は省略)。
目的語(O)については、「く)を」に「く)に」のように示す(選択制限を示さない場合は「…を」など)。

hand 他 [SVO₁O₂/SVO₂ to O₁] O₁〈人〉にO₂〈物〉を(手)渡す

rob 他 [SVO₁ of O₂] O₁〈人〉からO₂〈金・物〉を奪う
O₁、O₂ があるときは、その対応を明示した。

desire 他 [SVO/to do] 〈物・事〉を[…することを]強く望む
[SVO]の場合「〈物・事〉を強く望む」、[SVO to do]の場合「…することを強く望む」の意となる。

J. 連語関係

① その語といっしょによく用いられる前置詞(場合により動名詞・不定詞など)を語義の後に〔〕に入れて示し、それに対応する訳語も〔〕で示した。

translate 他 〈文章など〉を[…から/…に]翻訳する、訳す
〔from / into, to〕

動詞にしばしば伴う副詞辞(up、downなど)は、語義の後に(+up)のように示した。

light 他 〈光などが〉〈場所・物〉を明るくする、照らす
(+up)

K. スピーチ・レベル

① 語の使われる地域・文体などをく)で示す。指示のない語は普通に用いられる一般語である。主なものは次のとおり:

《正式》	堅い書き言葉・話し言葉	
《略式》	くだけた書き言葉・話し言葉	
《俗》	俗語、非常にくだけた話し言葉	
《文》	文語	
《米》	《英》	《やや古》

L. 《PC》・《侮蔑》

① 性差別・人種差別・障害者差別等につながりうる語句には、非差別的表現を、《PC》という表示をつけて掲げた。
(PC = politically correct)
特定の人種・民族や同性愛者などを見下した文脈で用いられ、侮辱的と受け取られる語には《侮蔑》という表示をつけて、特に使用上の注意を促した。

M. 専門語

① 専門的な語、決まった分野で用いられる語は、分野を〔〕で示した。略語は「専門分野略語表」参照。

7. いろいろな注記・記号

- () 省略可能な部分、補足的部分
[] 直前の語と入れ替え可能(英語とその訳の日本語の両方に[]があるときは、両者が対応している)。
〈 〉 語義・訳語の直接の定義・説明
《◆》 関連情報、注記など
→ …を見よ、参照せよ
(→) …も見よ
↔ 反意語・対になる語
× 文法的に誤った英語、語法上不適切な表現(時として使われる言い方でも、標準的とはいえないもの、外国人学習者としては用いない方が無難なものに×印をつけた場合もある)
= 別の言い方、言い換え
【聖】【Shak.】(用例中) それぞれ聖書、シェイクスピアの作品に由来する句・用法であることを示す。
イントネーションなど：(↘)下降調 (↗)上昇調 (↘↗)下降上昇調 (↘)部分下降調
[関連] 見出し語が後ろにつく複合語

8. 専門分野略語表

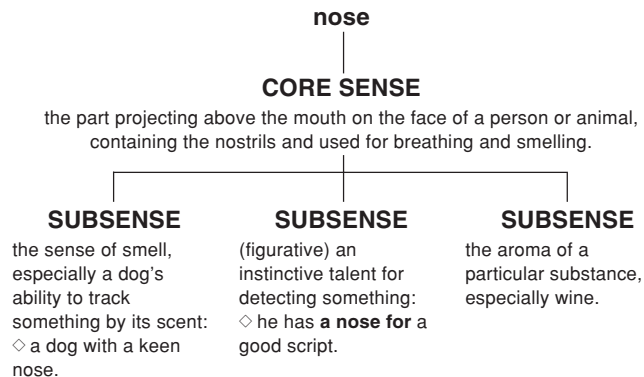
- [アメフト] アメリカンフットボール
[アングリカン] アングリカンチャーチ
[医] 医学 [印] 印刷 [映] 映画
[英史] 英国史 [音] 音楽 [音声] 音声学
[化] 化学 [絵] 絵画

- [カトリ] カトリック [機] 機械(工業)
[ギ神] ギリシア神話 [魚] 魚類
[軍] 軍事 [経] 経済(学) [建] 建築(学)
[言] 言語学 [工] 工業・工学 [鉱] 鉱物学
[コンピュータ] コンピュータ [史] 歴史(学)
[歯] 歯科(学) [社会] 社会学 [狩] 狩猟
[宗] 宗教(学) [商] 商業・商学 [植] 植物(学)
[神] 神学 [心] 心理学 [人類] 人類学
[数] 数学 [生] 生物(学) [政] 政治(学)
[生化] 生化学 [聖書] 聖書(学) [精神医] 精神医学
[地] 地学・地質学 [虫] 昆虫
[鳥] 鳥類 [哲] 哲学 [天] 天文学
[電気] 電気(工学) [電子工] 電子工学
[動] 動物(学) [土木] 土木(工学)
[農] 農業・農学 [バスケ] バasketボール
[美] 美術・美学 [物] 物理(学)
[プロテ] プロテスタント [米史] 米国史
[法] 法律・法学 [薬] 薬学 [郵] 郵便
[林] 林業・林学 [倫] 倫理(学) [口神] ローマ神話
[論] 論理学

◇ このほかの分野については省略しない形で、または「学」だけを省略して示してある(例：[教育] = 教育(学))。

構成 : Core sense と Subsense

各見出し語の最初に記載される品詞は、その見出し語の主要な品詞で、bag と balloon では名詞の意味を動詞の意味より先に表記し、babble と bake では動詞の意味を、名詞の意味より先に表記しています。



各品詞の中で最初に表記される語義が core sense (= 中核的意味) で、core sense が 2 つ以上ある場合には、太字の番号で表記しました。

core sense とは、Oxford English Corpus やその他の言語データベースの研究と分析により確立されたもので、現在のネイティブ・スピーカーの一般的な使い方であり、語義どおりで中心的な意味です。しかし言葉の意味は時間の経過と共に変化し、また、

現在もっとも使われている意味が比喩的なものである場合があり、必ずしも core sense は、最も使われている意味と同じとは限りません。

core sense には、他の関連した subsense (= 派生的意味) への入り口としての役割もあります。これらの subsense は core sense の下にまとめました。

これらの subsense と、これらの上に表記した core sense の間には論理的関係があり、この関係に応じた意味の配列には工夫をしています。本辞典の使用者は、見出し語の内容や関連する意味を、容易に検索できるだけでなく、複数の意味がどのように関係し、その関係より、言語がどのように成り立っているのかということも理解できます。

core sense と subsense の関係には、下記のようなものがあります。

(a) core sense の比喩的拡張

HEADWORD: logjam

CORE SENSE: a crowded mass of logs blocking a river.

SUBSENSE: *figurative* a situation that seems irresolvable:

◇ EXAMPLE: ◇ the president can use his power to **break the logjam** over this issue.

SUBSENSE: *figurative* a backlog:

◇ EXAMPLE: ◇ keeping a diary may ease the logjam of work.

HEADWORD: bankrupt

CORE SENSE: (of a person or organization) declared in law as unable to pay their debts.

SUBSENSE: *figurative* completely lacking in a particular good quality:

◇ EXAMPLE: ◇ their cause is morally bankrupt.

(b) core sense が特殊化したケース

HEADWORD: ball¹

CORE SENSE: a single throw, kick, or other movement of the ball in the course of a game, in particular:

SUBSENSE: *Cricket* a delivery of the ball by the bowler to the batsman.

SUBSENSE: *Baseball* a pitch delivered outside the strike zone which the batter does not attempt to hit.

HEADWORD: basement

CORE SENSE: the floor of a building which is partly or entirely below ground level.

SUBSENSE: *Geology* the oldest formation of rocks underlying a particular area.

(c) その他の拡張や意味の変化、core sense の一つ以上の要素を保持したケース

HEADWORD: bamboo

CORE SENSE: [mass noun] a giant woody grass which is grown chiefly in the tropics.

SUBSENSE: the hollow jointed stem of this plant, used as a cane or to make furniture and implements.

HEADWORD: management

CORE SENSE: the process of dealing with or controlling things or people.

SUBSENSE: [treated as sing. or pl.] the people managing a company or organization, regarded collectively:

◇ **EXAMPLE:** ◇ management were extremely cooperative.

HEADWORD: ambassador

CORE SENSE: an accredited diplomat sent by a state as its permanent representative in a foreign country.

SUBSENSE: a representative or promoter of a specified activity:

◇ **EXAMPLE:** ◇ he is a good ambassador for the industry.

見出し語の多くは core sense は一つしかありませんが、中には複雑なものや複数の core sense を持つものもあります。この場合、それぞれの core sense は番号を表記し、core sense に関連した複数の subsense を表記する場合があります。

専門的語彙

辞書の重要な用途の一つとして、一般の読者にはなじみのない専門用語の説明をすることにあります。従来多くの辞書では、ある専門家が別の専門家向けに書いたような、一般の読者には理解しにくい語義が表記されることが多くありました。本辞典の主な目的の一つとして、専門的語彙の理解を妨げる障壁を打ち壊すことにありました。

本辞典では、専門家のための高いレベルの専門知識と正確さを保ちつつ、一般の読者に適した分かりやすい情報を提供することが課題となり、いくつかの専門用語(特に植物や動物、化学物質)の見出し語では、専門的な情報を、その他の語義や説明と切り離し **<NOTE>** に記載しました。

例: **balloonfish, benzopyrene**

また、その他の場合には、語義の中に追加説明をしました。

例: **curling, cuttlebone**

他の語彙の場合も同様に、このような記載は適切で興味深い情報を提供することを目的としており、ただ定義するだけでなく、現実の世界においてその語が生起する文脈を記述し、説明すること

も狙いです。このタイプの追加情報は相当な量がある場合、**<NOTE>**で示しました。

例：**earth, Eocene**

動物と植物の取り扱いについては、全世界の動物と植物について詳細な調査と徹底的な見直しを行い、これまで一般的な辞書には収録されたことのない多数の見出し語を収録しました。これらの提示方法は、本辞典の専門的語彙の一般的な方針に従い、見出し語は専門的な情報を提供するだけでなく、外見その他の特徴や習性、薬効や料理での用途、神話上の意味や名前の由来など、動植物の典型的な生息地や分布についても、日常的な言葉で記載しました。

例：**mesosaur, kowari, hiba**

百科事典的資料

英国の辞書の中には、人物や地名、その他の固有名詞の見出し語を掲載しないものがありますが、それは単語と事実の違いに基づき、辞書は単語を扱い、百科事典やその他の参考図書は、事実を扱うとしていますからです。この区分けは、理論上興味深いものですが、実際にはShakespeare や England 等の名称は、drama や language のように単語と事実が重なりあう部分が多くあり、英語の一部として、大きな辞書には記載されています。

本辞典では単語と名前の分類について、従来分類にとらわれず、人々が実際に必要としていると考えられる、全ての語彙を表記し、定義方法や、追加資料を **<NOTE>**に記載しました。

本辞典には、地名の見出し語が、4,500件以上、人名等が4,000件、その他固有名詞が3,000件収録されています。見出し語に

は、人物の出生・死亡年月日やフルネームなど基本的事実や、その人物の人生や重要性などの背景的状况を記載しました。また、国など、いくつかの非常に重要な百科事典的項目は、さらに詳しく、**<NOTE>**に追加情報を記載しました。

文法

近年、文法は過去数十年に比べて大きく脚光を浴び、英国内外の公立学校で、重要な学習事項の一つとして再び教えられています。さらに、ある単語の異なる意味は異なる語彙・統語的振る舞いを示す認識もあり、本辞典は、もっとも重要なものを各単語の意味の該当するところに記載し、単語の意味と言語使用の手引きになるようにしました。

例えば、bombという語は、直接目的語を取るか取らないか、直接目的語を取らず義務的な副詞句を取るかなど、文法事項だけでこの動詞の主な意味を区別することができます。

CORE SENSE: attack *(a place or object)* with a bomb or bombs:

◇EXAMPLE: ◇ they bombed *the city* at dawn.

GRAMMAR: [with obj.]

(*内は、カッコ[]で示した内容の例文中の該当する場所を示しています。)

CORE SENSE: Brit. *informal*/move very quickly:

◇EXAMPLE: ◇ we were bombing *down the motorway* at breakneck speed.

GRAMMAR: [no obj., with adverbial of direction]

(*内は、例文中の副詞句を示しています。)

CORE SENSE: *informal* (of a film, play, or other event) fail badly:

◇ EXAMPLE: ◇ it just became another big-budget film that bombed.

GRAMMAR: [no obj.]

これらの表記は個々の意味に限らず、言語そのものの構造を説明することを目的としている本辞典では特に重要ですので、各単語の文法には特別な注意を払い、文法構造を明確に示し、可能ならば、語の統語的振る舞いは直接的に表記しました。例えば、ある動詞が前置詞を従えて句動詞として現れる場合には、この句動詞を語義の前に太字で表記しました。

例: **build (build on)**

ある語が典型的に用いられる連語関係に関しては、例文の中で、太字で表記しました。

例: **cushy (a cushy number), end (ended up in, end up with)**

専門用語は、使用の最小限に努めましたが、文法事項を説明する為には、若干の専門用語が必要です。以下に一般読者には、なじみの薄い用語を紹介します。すべての用語は、本辞典のそれぞれの見出し語で定義し説明しました。

名詞に関連した用語

名詞と名詞の意味は、本辞典では一般的に[mass noun](=不可算名詞)か[count noun](=可算名詞)のどちらかに分類されます。[mass noun]とは、通常、複数形では見られず、不定冠詞‘a’のついた単数形でも用いられない名詞です。例えば、通常“bacon”とは言いますが、“a bacon”や“three bacons”とは言いません。

一方[count noun]とは、shirt, shirts のように不定冠詞“a”をつけて使え、複数形を取れる名詞です。

本辞典では、[mass noun]の表記がない場合は、すべての名詞は可算名詞とみなしています。

[count noun]は、同一語が既に記載されている不可算名詞の用法のほかに、複数形をとる用法を持つ場合に表記しています。しかし、不可算名詞によっては、ある特定の状況では複数形を取ることができる場合があります。例えば、名詞‘cheese’は普通は、不可算名詞として振る舞いますが、チーズの種類を言うときには複数形を取ります。

本辞典では、スペースと簡潔性から、特に重要な用法を収録しています。このような複数形をとれる不可算名詞の主な種類を以下に記載します。

1 種類を表す場合

・ 食べ物と飲み物

例: **yogurt/yogurts, pasta/pastas, rum/rums**

・ 植物

例: **clover/clovers, barley/barleys**

・ 布

例: **gingham/ginghams, silk/silks**

・ 特定の言語、科目

例: **English/Englishes, music/musics**

・ 金属と合金

例: **steel/steels, solder/solders**

・ 岩石

例: **granite/granites, lava/lavas, clay/clays**

・化合物

例：**fluoride/fluorides, hydride/hydrides**

・その他の物質や材料

例：**rind/rinds, soil/soils, sealskin/sealskins, sunscreen/suncreams**

2 複数のまとまりや単位からなる場合(特に食べ物や飲み物など)

例：**lager(glasses/bottles of lager = lagers), paella (portions of paella = paellas)**

3 色を表す場合

例：**pink/pinks, scarlet/scarlets, grey/greys**

4 その他

・行為または過程

例：**completion(an instance of completing a property sale = completions), genocide(an act of genocide = genocides), lambing(an act of lambing = lambings)**

・外科手術

例：**circumcision/circumcisions**

・感情、痛み、感覚

例：**backache/backaches, grief(an instance of cause of grief= griefs)**

5 特定の土地

例：**bogland/boglands, terrain/terrains**

その他の名詞に関連した用語

[as modifier]：別の名詞の前に置いて、その意味を修飾できる名詞を表します。

例：**boom, bedside**

[treated as sing.]：複数形ですが、動詞の単数形とともに使われる名詞を表します。

例：**mumps is one of the major childhood diseases** の 'mumps', **genetics has played a major role in this work** の 'genetics'

[treated as sing. or pl.]：見出し語の意味や形を変えることなく、動詞の単数形・複数形のどちらとも一緒に使うことができる名詞を表します。(一般的に集合として考えられる人々のグループを表すことから、集合名詞と呼ぶこともあります。)

例：**the government are committed to this policy**
the government is trying to gag its critics

[in sing.]：可算名詞として使われますが、複数形がまったく見られない名詞や、まれにしか見られない名詞を表します。

例：**an ear for rhythm and melody** の ear

動詞に関連した用語

[with obj.] : 直接目的語をとる動詞(他動詞)を表します。(直接目的語の種類は、語義の内に表記しました。)

例 : **belabour**

[no obj.] : 直接目的語をとらない動詞(自動詞)を表します。

例 : **bristle**

[with adverbial] : 義務的な副詞句をとる動詞を表します。義務的な副詞句とは、典型的な前置詞句のことをいい、これがないと文章が不自然に聞こえたり、奇妙に聞こえたりするものをいいます。

例 : **barge** の次の **barge into**

形容詞に関連した用語

[attrib.] : 通常、限定的に使用される形容詞(修飾する名詞の前に来る形容詞)を表します。

例 : **certain man** における **certain** (the man is certain ではありません。これは全く意味が異なります。)なお、限定用法は、特に専門分野で多く用いられる形容詞では標準的な用法ですので、本辞典では、そのような場合は[attrib.]を表記していません。

[predic.] : 通常、叙述的に使われる形容詞(動詞の後に来る形容詞)を表します。

例 : **the door was ajar** の **ajar**
(the ajar door とは言いません。)

[postpositive] : 後置的に使われる形容詞(修飾する名詞のすぐ後にくる形容詞)を表します。後置用法は標準的な言語からの借用が多くあり、このような用法は英語では一般的ではありません。

例 : **there were prizes galore for everything** の **galore**

副詞に関連した用語

[sentence adverb] : 文や節の外側に位置して、文または節全体について意見を述べたり、動作の様態というよりは、文または節の意味内容に対する話し手または書き手の態度を表したりする副詞であることを表します。文副詞は話し手や書き手の視点を表現することが最も多いが、参照分野を明記することによって文脈を設定するために使われることもあります。

例 : **certainly**

[as submodifier] : 形容詞や他の副詞を修飾するために使われることを表します。

例 : **comparatively**

標準英語

本辞典に収録された語や意味は、特に明記しない限り全て標準英語ですが、単語の中には特定の文脈でのみ適切なものもありますので、文脈の種類を下記のとおり表記しました。なお、この言語における特定の使用レベルを専門用語で「レジスター」と呼びます。

formal	: 通常、公文書のような文脈における記述にのみ使われる。
Informal	: 通常、友人の間で交わされる会話や手紙のような文脈においてのみ使われる。
dated	: 英語を話す大多数の人には、もはや使われない。しかし、時折、特に更に古い世代の間で使われる。
archaic	: 現在では使わない非常に旧式の言葉。時々、古い雰囲気を出すために利用する。また、現在でも広く読まれる過去の作品に見られる。
historical	: 現在でも使うが、現在では見られなくなった習慣などを指すときに使われる。 例: baldric , almoner
literary	: 主に、「高尚な」スタイルで書かれた文学に見られる。
technical	: 通常、専門用語としてのみ使う。特定の内容に限定されない。
rare	: 一般的には使用しない。
humorous	: ユーモラスな表現に使う。
dialect	: 一般的には使わないが、特定の地域では今でも広く使われる。
offensive	: 使用者の意図に関わらず、人種的な意味で、人の気持ちを不愉快にさせる可能性が高い言葉。
derogatory	: 相手を見下して意見を伝える、意図的に人の気持ちを不愉快にさせる言葉。
euphemistic	: 不快なものやタブーに対して直接言い及ぼさず、間接的に表現する言葉。
vulgar slang	: タブーとされる性行為や排泄など、肉体的機能を指す、不愉快にさせる言葉。

世界の英語

英語は、世界中の3億を超える人々によって第一言語として話され、そして、更に数百万による第二の言語として使われていいます。それは、取引、外交、スポーツ、科学、技術、及び、無数の他の分野における国際コミュニケーションの言語で、主に、イギリス英語、アメリカ及びカナダ英語、オーストラリア及びニュージーランド英語、南アフリカ英語、インド英語、西インド諸島及び東南アジア英語に分類され、これらの地域に、地方の方言も見られます。

例えば、イギリス英語の中で、スコットランド及びアイルランド英語には、長い歴史と多くの弁別的素性があり、特定の北米英語やそれ以外の英語にも影響を与えています。本辞典のような辞書の有効範囲は、目的とする範囲を考慮すると、概して局所的な方言の変化より、むしろ世界全体の標準語の語彙に制限されなければなりません。さまざまな地域の標準の文脈でいられる、何千の言葉も収録しています。

例: **bakkie**, **larrikin**, **ale**, **history-sheeter**, **sufferation**

このような語を収録する理由として、「正しい」英語は、英国、特にオックスフォードやロンドンだけで話されるという伝統的で偏狭な考えから抜け出すことにありました。これを支援していただいたのが、英語を話す世界中のコンサルタントからなるネットワークです。彼らは特別な地域の英語の、全ての側面に関する情報を多くは毎日、電子メールで提供し、答えてくれました。多くの場合は、主な目的としてイギリス英語でよく知られる標準の特定の単語や意味、表現が、どこか他で用いられるかを見出すことにありました。しかしながら、実際にはそれ以外にも、ネット

ワークによる調査を通じて、部分的に似た世界各地の英語の複雑な関わりがありました。本辞典では、単語及び意味に、14,000を超える地域表記を記載しています。これに対して、表記のないものが10倍以上あります。

これら複雑な関わり合いについては、スペースと情報提示の明確さという理由から、単純化して掲載せざるを得ませんでした。

例えば、'chiefly Brit'という表現は、アメリカ英語では一般的に使用されませんが、米国の一部地域で用いられている可能性があります。また、'US'という表現は、おそらく米国に起源があり、古くから米国で使用されていますが、イギリス英語では一般的に使用されません。しかし、例えば、オーストラリアや南アフリカ英語など、他の地域においては使用されている可能性もあります。同様に、'Brit.'は、イギリス英語ではよく使用されますが、標準のアメリカ英語では使用されません。しかし、この場合も他の地域では使用されている可能性があります。

つづり

英語のつづりは、不規則で不合理で、現在の発音とは間接的にしか関連していないと言われています。本辞典では、特に変則的なつづりや、ネイティブ・スピーカーにも難しいつづりを以下に要約しました。

いろいろなつづり

本辞典の各単語は、標準のイギリス英語のつづりを採用しています。他に、例えばアメリカ英語の標準的つづりがある場合は、見出し語の最初に示され、そして、アルファベットの位置が標準のイギリス英語のつづりから3語以上離れている場合は、相互参照

できるようにしています。

例：**filo/phyllo, aluminium/aluminum**

その他、古いつづりや古風なつづり、略式のつづりなどについては、標準的なつづりを参照できるようにしていますが、標準的なつづりの見出し語には記載していません。

例：**Esquimau/Eskimo**

-ise or -ize?

多くの動詞は、-ise または -ize で終わります。-ize という形は英語では16世紀以来、英語の中で使用され、一部の人が考えるようなアメリカ英語の特有語法ではなく、代替的な形の -ise は、一般的に、アメリカ英語よりも、むしろイギリス英語で見られます。この種の動詞では、-ize と -ise のどちらも受け入れられています。

本辞典では -ize のつづりを使い、-ise は同様に等しく正しい代替出来るつづりと示しました。しかし、次のような一部の単語では -ise が義務的となります。

1. より大きな単語要素の一部を形成する場合

例：**compromise** における **-mise(=sending)**,
surprise における **-prise(=talking)**

2. 語幹に -s- を含む名詞に対応する動詞

例：**advertise, televise**

ハイフネーション

英語における標準のつづりは決定されていますが、ハイフネーションの用法は、つづりに比べると、そうではありません。標準英語では、いくつかの一般法則で進められ、これらの概説は下記のとおりです。

名詞複合語のハイフネーション：例えば *airstream*、*air stream*、*air-stream* などの名詞複合語は、どれが正しいのか決める明確な規則がなく、どの形も使用されています。

しかしながら、現代英語では、名詞複合語にハイフネーションを使用しない傾向があります。(ただし、文法機能を示すために使う場合は別です。)

例えば *air-stream* より *airstream* が、*air-raid* より *air raid* が好まれます。この傾向はイギリス英語にもアメリカ英語にも見られます。ハイフネーションを使用しない場合、アメリカ英語では1語で表し、イギリス英語では2語で表します。例えば *buck-tooth* の場合、イギリス英語では *buck tooth*、アメリカ英語では *bucktooth* が最も一般的な表現になります。

本辞典では、スペースを節約し混乱を回避するために、3つの表記方法のうち、イギリス英語のものを見出し語として採用しました。しかしながら、これは、その他の形が誤っている、あるいは使われないということではありません。

文法機能：ハイフンは特定の文法機能を果たすために使用されています。独立した2語からなる名詞複合語が別の名

詞の前に置かれそれを修飾するために使われる場合、その名詞複合語(例：*credit card*)にハイフンを入れるのが一般的です。例えば、*I used my credit card* ですが、この *credit card* が名詞修飾をすると、*credit-card debt* になります。この種の規則的な交替は、本辞典の例文にもありますが、見出し語の中では特に明記していません。同様の交替は、*well intentioned* のような複合形容詞にも見られます。動詞の後で叙述的に使われる場合は、形容詞にハイフンを使いませんが、名詞の前で限定的に使われる場合はハイフンを入れます。例えば、叙述用法では *his remarks were intentioned* ですが、*well intentioned* が限定的に用いられると *a well-intentioned remark* になります。動詞複合語に関しては、*beta test* のように、名詞複合語が2語ある場合、そこから派生する動詞には、例えば、*beta-test : the system was beta-tested* のように、ハイフンを入れるのが、通常の一般的規則となります。

同様に、動詞的名詞および動詞形容詞は、例えば、*glass-making*、*nation-building* のように、名詞複合語や形容詞複合語よりも、ハイフンが用いられることが多くあります。

'*take off*' や '*take over*'、'*set up*' などの句動詞にはハイフンは入れませんが、句動詞から作られた名詞には、ハイフンを入れるか、一語で書くことが多くなっています。

例： **the plane accelerated for take-off; a hostile takeover; he didn't die, it was a set-up.**

これらの動詞形にも、food available to take-away のようにハイフンを入れる傾向はありますが、これは良い書き方とは言えず、避けるべきです。

語尾変化

他のヨーロッパ言語に比べて、英語には比較的、語尾変化が少なく、存在しても著しく規則的です。

我々は大部分の名詞に -s を加え複数形を作り、大部分の動詞に -ed を加えて過去形、または過去分詞形を作り、-ing を加えて現在分詞形を作りました。しかし、時には困難も起こります。例えば、短い強勢のある母音の後の子音は、-ed または -ing を加える前に、子音を重ねる必要があります。

例： **hum, hums, humming, hummed**

更に、一般に他の言語から借用された言葉は、その国の語尾変化に従うため、それらの言語に熟練していない英語を話者にとって問題となります。

本辞典では、こうした問題を、以下の方針に基づき、語尾変化を記載しました。

動詞

次の形は規則的として、本辞典では各変化形を記載していません。

・語幹に -s がつく三人称単数形、または、-s、-x、-z、-sh、軟音の -ch で終わる語幹に -es が付く場合。

例： **find → finds change → changes**

・語末の 'e' が落ち、語幹に -ed が付く過去形と過去分詞形や、語幹に -ing が付く現在過去分詞形。

例： **change → changed change → changing**

その他、下記については、各変化形を示しました。

・子音を重ねて語尾変化する動詞。

例： **bat → batting, batted**

・-y で終わり、それを -i に変えて語尾変化する動詞。

例： **try → tries, tried**

・過去形と過去分詞形が -ed の規則的パターンに従わない動詞。

例： **feel → felt awake → awoke, awoken**

・-ing が付くが、最後の e を保持する現在分詞形 (g の発音が軟音のままであることを明確にするため)。

例： **sing → singeing**

名詞

複数形が -s (あるいは、-s、-x、-z、-sh、軟音の -ch で終わる場合は -es) をつけることで形成されるものは、規則的と見なし複数形は記載していません。その他、下記については各複数形を示しました。

・-i または -o で終わる名詞。

例： **agouti → agoutis albino → albinos**

・ラテン語に由来するか、そう思われる -a、um、-us で終わる名詞。

例： **alumna → alumnae spectrum → spectra
alveolus → alveoli**

・-y で終わる名詞。

例：fly → flies

- ・複数形が二種類以上ある名詞。

例：storey → storeys, stories

- ・複数形が語幹の変化する名詞。

例：foot → feet

- ・複数形と単数形が同じ名詞。

例：sheep → sheep

形容詞

比較級と最上級については、次の語形を規則的とみて、本辞典では各変化形を特別に記載していません。

- ・1音節からなる語で、-er と -est が付く場合。

例：great → greater, greatest

- ・1音節からなる語で、黙音 e で終わり、その -e が落ちて -er と -est が付く場合。

例：brave → braver, bravest

- ・‘more’ と ‘most’ が付くことによって、比較級と最上級を作る単語。

その他の場合、特に次のものについては、比較級と最上級のそれぞれを示しました。

- ・最後の子音を重ねることによって、比較級と最上級を作る形容詞。

例：hot → hotter, hottest

- ・2音節からなる語で、-es と -est によって比較級と最上級をつくる形容詞(典型的な例としては、-y で終わる形容詞とその否定形)。

例：happy → happier, happiest

unhappy → unhappier, unhappiest

発音

一般的に、英語のネイティブ・スピーカーは、bake, baby, beach, bewilder, boastful, budget などの、普通の日常的な単語の発音には、特に説明を必要としていませんので、本辞典では、そのような単語や複合語、派生語の発音を表記していません。

一方で、baba, ganoush, baccalaureate, beatific, bijouterie, bucolic, buddleia のような、あまり馴染みの無い単語は問題になることがあります。特に Chechnya, Kieslowski, Althusser 等の地名など、外国の人名や地名には、発音が困難なものがあります。

本辞典では、英語のネイティブ・スピーカーが発音する上で、問題が起きるとされる語には発音を表記しました。特に、外国の単語や名前、科学やその他の専門用語、稀にしか使わない語、強勢のパターンが変化している語、標準の発音について、代替の発音が存在するか議論のある語などに、発音の表記をしました。

本書では、国際音標文字(IPA)を使って英国南部で話される英語の標準的発音(容認発音 = Received Pronunciation または RP)を表記しています。本辞典の発音表記は、実際に現代英語で話されている発音を反映しているため、1930年代の放送局や、パブリックスクールの標準的発音を基にしたような伝統的な音声体系とは異なります。

本辞典では原則的にイギリス南部の発音を採用していますが、その他の英語を話す地域では、標準的な話し言葉に、さまざまな発音があります。

発音記号とその音価は下記のとおりです。

多音節単語では、記号 ' の次の音節に強勢があります。(例：
kə'bal) ' は第2強勢です。(例：'kalə'bri:s)

子音：b, d, f, h, k, l, m, n, p, r, s, t, v, w, z は、通常の英語の音価を持ちます。その他の記号は以下とおりに用います。

g	get	x	loch	ð	this	j	yes
tʃ	chip	ŋ	ring	ʃ	she		
dʒ	jar	ə	thin	ʒ	decision		

Vowels

<i>short vowels</i>	<i>long vowels</i> (: indicates length)	<i>diphthongs</i>	<i>triphthongs</i>	
a	cat	ɑ: arm	ʌɪ my	ʌɪə fire
ɛ	bed	ɛ: hair	aʊ how	aʊə sour
ə	ago	ə: her	eɪ day	
ɪ	sit	ɪ: see	əʊ no	
i	cosy	ɔ: saw	ɪə near	
ɒ	hot	u: too	ɔɪ boy	
ʌ	run		ʊə poor	
ʊ	put			

/l/, /m/, /n/ の前の (ə) は、母音と子音によってではなく音節子音
l, m, n によって音節が実現されます。(r) は、母音が続くときに、
時々発音されることのある r です。

外国語の発音

他言語の単語や成句については、英語として自然かどうかに関わらず、常に英語化された発音が与えられています。英語化された発音とは、他言語話者ではない人、標準英語のネイティブ・スピーカーが使用する発音のことをいいます。また、主にフランス語、オランダ語、ドイツ語、イタリア語、ロシア語、スペイン語などから取り入れられた言葉については、発音が英語化されたものとはかなり違う場合や、外国語の発音が多く英語話者によく知られている場合には、その外国語の発音も記載しました。外国の地名の現地地形を、英語化して表記した場合には、その言語の発音のみを記載しました。

外国語の発音表記は、各国の規格に基づいています。地域の違いは表記していませんが、スペイン語については、カスティリア語とラテンアメリカで使われるスペイン語に明らかな違いがある場合は、両方の発音を表記しました。外国語の発音表記の多くは、英語と同じ表記で、英語のRP(容認発音)と類似した音値を持っています。外国語の音に対応する表記が英語に無い場合は、以下のとおり、発音記号を英語の発音表記に追加表記しています。

子音

ç	(German)	Ehrlich, gemütlich
ɲ	(French)	Monseigneur, Auvergne, Daubigny
	(Italian)	Emilia-Romagna
	(Portuguese)	Minho
	(Spanish)	España, Buñuel
β	(Spanish)	Bilbao
ɣ	(Spanish)	Burgos

ʎ	(Italian)	Cagliari
ʒ	(Hungarian)	Magyarország
ʀ	French 'r'	Anvers, Arles
ʀ	all other values of 'r' in other featured languages.	(German) Braunschweig (Italian) Alberti (Russian) Grozny (Spanish) Algeciras, zarzuela

u	(French)	Anjou	
	(Italian)	Duccio	
	(Spanish)	Asunción	
y	(French)	cru	y: (German) gemütlich
ʏ	(German)	München	
j	(Irish)	Dáil	
	(Russian)	Arkhangelsk	
ʁ	(French)	Horta	

Vowels

Short vowels

ɐ	(German)	Abitur
ɑ	(Dutch)	Nederland
e	(French)	abbé
	(Italian)	Croce
	(Spanish)	Albacete
o	(French)	auberge
	(Italian)	Palio
	(Spanish)	Cortes
ɔ	(French)	Bonnard
	(German)	durchkomponiert
	(Greek)	Dhílos
	(Hungarian)	Brassó
	(Italian)	Borgia
œ	(French)	Pasteur
ø	(French)	Montreux

long vowels (: <i>indicates length</i>)	
a:	(Dutch) Den Haag (German) Aachen
e:	(German) Wehrmacht (Dutch) Nederland (Irish) Gaeltacht
o:	(German) verboten (Hungarian) Brassó
ø:	(German) Gasthöfe

nasalized vowels (~ *indicates nasality*)

ã	pincette	} used for anglicized French pronunciations
õ	cordon bleu	
ũ	(French) Danton, Lac Lemans	
ɛ̃	(French) Amiens, Rodin	
œ̃	(French) Verdun	
õ̃	(French) arrondissement	

diphthongs

aɪ	(German) Gleichschaltung
----	---------------------------------

定義

この辞典にあるすべての定義は約3000語の一般的な単語を使って書かれています。そのため明確で理解しやすくなっています。

見出し語

● 見出し語

- アルファベット順に並べてある。
- いろいろな綴りがある場合は、最も頻繁に使われる綴りを優先して示す。
あまり頻繁に使われない綴りの見出し語は以下のように示し、主の見出し語へ導いている。
ban·nis·ter = BANISTER
- 動詞の米語変化形、及び、不規則変化形も同様の扱いである。

● 意味を探す

- ショートカットを見ることで素早く調べたい意味が見つけられる。ショートカットは、大文字で【 】内に示している。

略語・記号の説明

1. 省略形

abbr.	: 省略形、短縮形	NZE	: ニューージーランド英語
adj.	: 形容詞	pl.	: 複数形
adv.	: 副詞	pp	: 過去分詞形
AmE	: アメリカ英語	prep.	: 前置詞
AustralE	: オーストラリア英語	pron.	: 代名詞
BrE	: イギリス英語	pt	: 過去形
C	: 可算名詞	sb	: だれか(somebody)
conj.	: 接続詞	ScotE	: スコットランド英語
det.	: 限定詞	sing.	: 単数形
etc.	: (～)など	sth	: 何か(something)
IrishE	: アイルランド英語	symb	: シンボル
n.	: 名詞	U	: 不可算名詞
NorthE	: イングランド北部英語	v.	: 動詞

● 記号

- ～ : 見出し語の出だしの言葉に置き換えるもの
- : 見出し語で新しい語法の部分を示す
- ▶ : 見出し語で派生語の部分
- ◇ : 例文
- × : 文法的に誤った英語、語法上不適切な表現
- △ : 忌み言葉
- IDM** : 見出し語で慣用句の部分
- PHR V** : 見出し語で句動詞の部分
- SYN** : 同意語・類義語
- OPP** : 反意語

2. スタイルラベル

本辞典では、特定の態度や場で使われる語には、ラベルをつけています。以下にそれぞれの意味を表示していますので、適切な語の使用に役立ててください。

approving	同意や賞賛の感情を示すときに用いる表現。
disapproving	不賛成や軽蔑の感情を示すときに用いる表現。
figurative	文字どおりではなく、暗喩的な意味を示す表現。
formal	厳粛な場や公式な場でのみ用いられる表現。日常会話での使用は不適切。
humorous	ユーモラスな表現。
informal	友人同士、あるいはくつろいだ、ないしは非公式の場で用いられる表現。形式ばった場での使用は不適切。
ironic	本来の意味と反対または、まったく違った意味で使う。
literary	文学やフィクションで主に用いられる言語。
offensive	非常に侮辱的な表現。とくに人種や宗教、性別、身体障害に関して用いる。通常使うべきでない表現。
rare	一般的には使われない言語。たいてい別の語で言い換えられる。
slang	非常にくだけた表現。主に口語で用いられ、同年代や同業者など限定された集団の中で、通常使われる。
spoken	主にくだけた会話で使われる表現。

technical	特定の分野の専門家によって使われる言語。
written	主に文書で使われる表現。
AmE	アメリカ英語の表現。
BrE	イギリス英語の表現。
dialect	ブリテン諸島の地方特有の表現。ここではアイルランドやスコットランドは含まない。
old-fashioned	現代では使用されなくなりつつある表現。
old use	現代では使用されなくなった表現。
saying	ことわざなど良く知られた決まり文句や伝統的な表現。

3. verb patterns

本辞典では、動詞を用法別に22の型に分類し、ラベルで表示しています。各記号の意味は以下のとおりです。

▼ 自動詞

[V]	動詞のみ
[V+adv./prep.]	動詞+副詞または前置詞句

▼ 他動詞

[VN]	動詞+名詞句
[VN+adv./prep.]	動詞+名詞句+副詞または前置詞句

▼ 他動詞+2つの目的語

[VNN]	動詞+名詞句+名詞句
-------	------------

▼ 連結動詞

[V-ADJ]	動詞＋形容詞
[V-N]	動詞＋名詞句
[VN-ADJ]	動詞＋名詞句＋形容詞
[VN-N]	動詞＋名詞句＋名詞句

▼ 節や句とともに使われる動詞

[V that] [V (that)]	動詞＋that節
[VN that] [VN (that)]	動詞＋名詞句＋ that 節
[V wh-]	動詞＋ wh- 節
[VN wh-]	動詞＋名詞句＋ wh- 節
[V to]	動詞＋ to 不定詞
[VN to]	動詞＋名詞句＋ to 不定詞
[VN inf]	動詞＋名詞句＋原形不定詞
[V -ing]	動詞＋現在分詞
[VN -ing]	動詞＋名詞句＋現在分詞

▼ 動詞＋直接話法

[V speech]	動詞＋直接話法
[VN speech]	動詞＋名詞句＋直接話法

4. 発音

イギリス英語の発音として記載されたものは、一般的なイギリス英語を話す若い人々による発音です。これにはRP(容認発音)とそれほど強くない地方訛りで許容範囲にある同等の発音を含んでいます。アメリカ英語の発音として記載されたものは、可能な限り一般的な(特定の地方に偏らない)発音です。イギリス英語とアメリカ英語の間で発音に違いのある言葉については、まずイギリ

ス式発音を示し、次に前にAmEと付けてアメリカ式発音を示しています。

(r)という記号は、イギリス式の場合、far awayなどのように次の語が母音で始まる時のみ /r/ の音を発音し、それ以外では /r/ が省略されることを示しています。アメリカ式の場合は /r/ の音はすべて発音されます。

/x/ はスコットランド語のlochやアイルランド語のloughでの /lɒx/ に見られるような摩擦音を表します。

イギリス人の多くはよく使う言葉において、二重母音 /ɔə/ の代わりに /ɔ:/ を使うことが多くなり、sureが /ʃɔ:(r)/ となったりします。

/ɒ/ の発音はアメリカ式には見られないもので、この母音を持つイギリス英語の語句はアメリカ英語では /ɑ:/ や /ɔ:/ で代用されます。例えばgotの発音はイギリス式では /gɒt/ ですが、アメリカ式では /gɑ:t/、dogはイギリス式 /dɒg/ に対してアメリカ式では /dɔ:g/ になります。

/ɪə eə ɔə/ という3種類の二重母音はイギリス式発音にのみ見られます。それに対応する部分についてアメリカ英語では単母音に /r/ を続けます。したがって、nearは /nɪr/、hairは /her/、pureは /pjʊr/ となります。

/~/ の記号で表される鼻母音はフランス語から入ってきた一部の言葉で残っているようです。例えばpenchant /'pɛ̃ʃɑ̃/ やcoq au vin /,kɔk ɔ̃ vɑ̃/ などがあります。

子音

/l/や/n/の音は「音節」になり得ます。つまり、それ自体で母音なしに音節を作ることができるのです。middle /'mɪdl/ の通常の

発音では、音節音 /l/ が含まれ、sudden /'sʌdn/ には音節音 /n/ が含まれます。

弱母音 /i/ と /u/

/i:/ と /ɪ/ で表される音は、heat /hi:t/ と hit /hɪt/ の例のように常に区別される必要があります。/i/ は /i:/ と /ɪ/ のどちらのようにも発音されるか、両方の中間のような母音を表していません。Happy /'hæpi/ のような言葉では若い話し手は /i:/ のような音質で発音しますが、音の長さは短くなります。/i/の後に/ə/が続く場合には /jə/ のようにも発音されます。したがって、dubious という語は /'dju:biəs/ と も /'dju:bjəs/ と も発音されます。

同じように /u:/ と /ʊ/ で表される2つの母音は区別される必要がありますが、/u/ は両者の間で変化する弱母音を意味します。/u/ の後に直接子音がかかる場合には /ə/ のように発音されることもあります。したがって、stimulate は /'stɪmjəleɪt/ または /'stɪmjəleɪt/ と発音されます。

弱形と強形

例えば at, and, for, can など非常によく使われる言葉の中には2種類の発音を持つものがあります。この場合、通常(弱形)の発音を最初に示しています。2番目に示す発音(強形)はその語が強調される場合や、またその語が文章の末尾にくる場合に使われません。例えば次のような場合です。

I'm waiting for /fə(r)/ a bus.

What are you waiting for /fɔ:(r)/ ?

強調

/'/ という記号はその語のアクセント位置を示します。第1音節にアクセントのある able /'eɪbl/ と第2音節にアクセントのある ability /ə'bi:ləti/ を比較してみてください。アクセントの置かれる音節は相対的に大きな声で、長めで、明確に、際立って、それとわかる声の強さで発音されます。

長い単語になると主要アクセントのほかに1つないし2つの副アクセントがその前に付きます。それは abbreviation /ə'brɪ:vi'eɪʃn/ や agricultural /,ægrɪ'kʌltʃərəl/ のように /,/ という記号で示されます。

ある単語で主アクセントの後に副アクセントがくる場合も聞かれますが、この辞典ではそのようなものは特に注記されません。

2つの語が句の中で一緒になる場合には、最初の語の主アクセント位置が副アクセントの位置にずれて、2つの連続する音節でアクセントが衝突することを避けるようになります。例として、,after'noon は noon に主アクセントがありますが、,afternoon 'tea という句になると noon の上のアクセントはなくなります。

,Well 'known の場合は known に主アクセントの位置がありますが、well-known 'actor という句になると known 上のアクセントはなくなります。

句動詞でのアクセント位置

句動詞の中で、ある種類のものは最初の語に唯一強いアクセントを置きます。その例としては、'come to sth, 'go for sb, 'look at sth などがあります。どのような場合でもこのパターンが適用され、2番目の語には決してアクセントは置かれません。2番目

の語が通常弱形になる場合には、句の最後で強形を使わなければならないことを忘れないでください。

その他に句動詞には2箇所アクセントを取るものがあります。辞典の中で、第2語にアクセントが置かれているものは、動詞の示すことが明白であったり、句の中で全体として動詞が一番軽視できる言葉であったりするような場合を示します。

What time are you ,coming 'back?

He ,made it 'up.

,Fill them 'in.

しかし、話し手としては、たとえ動詞の後にきても重要と思われる語であれば強いアクセントを置くでしょう。句動詞の第2語上のアクセントは、他の強いアクセントの位置に続いているようなことがなければ、弱められるかあるいはなくなります。この現象はアクセントの置かれる重要語が動詞句の2語間にある場合、その後にある場合のどちらでも生じます。

We ,came back 'early.

I ,filled in a 'form.

,Fill this 'form in.

アクセントパターンが複数あったり、アクセント位置が文脈に依存したりするような場合には、アクセント位置は示されません。

慣用句のアクセント位置

慣用句については、アクセントパターンが複数あったり、アクセント位置が文脈に依存したりするような場合でなければ、少なくとも1箇所のアクセント位置が示されます。学習者は発音する際に、この示されたアクセント位置を変えないようにすべきです。

そうでないと慣用句の持つ特別な意味が損なわれる場合があります。

/t/のタッピング

アメリカ英語の場合、2つの母音の間に/t/の音がきて、母音にアクセントが置かれない場合、/t/は非常に素早く、短い /d/ や、ある言語での r の音のように発音されます。専門的には、この音は「タップ」と呼ばれ、/t/ で象徴されます。したがって、アメリカ人はpotatoを /pə'teɪtəʊ/ のように2番目の /t/ をタッピングさせて発音します(しかし、最初の /t/ はアクセントの関係でそうはなりません)。イギリス人はふつうこのようには発音しません。

not only、what I などの場合のように語句が組み合わされるときには、タッピングされる条件が非常にそりやすくなります。この場合、後に続く母音にアクセントがあるかないかは問題とならず、またイギリス人でもこの場合はタッピングを使いますが、少しでも感じた感じの発音になります。

破裂音

イギリス英語でもアメリカ英語でも広い範囲の英語で、語尾または音節の最後に/t/がくると、/t/ の代わりに声門閉鎖音(破裂音) /ʔ/ (短く息を止めることで作られる無音の空白)として発音されます。これが起こるのは次にくる音が母音や/l/ではない場合です。したがって、footballは /'fʊtbɔ:l/ ではなく、/'fʊʔbɔ:l/ となり、buttonは /'bʌtn/ ではなく /'bʌʔn/ となります。しかし、bottleやbetterに出てくる /t/ の場合には、後に続く音の関係から声門閉鎖音(破裂音)は使われません。

5. usage notes(語法欄)

本辞典のコラム(NOTEで示している)は、次の5つのカテゴリーに分類されています。

▼ Which word?

混同しやすい語や、類似した意味を持つ語などの違いを示します。

▼ Vocabulary building

さまざまな興味深い表現を提示し、語彙力増加を助けます。

▼ Grammar point

問題を引き起こしやすい文法項目を解説します。

▼ British/American

イギリス英語とアメリカ英語の用法の違いを示します。

▼ More about

イギリスやアメリカの生活や言語に関して、さらに詳しい情報を紹介します。

語句をつなぐ

前置詞や副詞と共に用いられる語句

- 動詞、名詞、形容詞の多くは特定の前置詞を取ります。

She is a very active person with a great **zest for** life.
I felt **nervous about** meeting him.
- 動詞の後に、前置詞の代わりに特定の副詞が続く場合もあります。

We **lazed around** by the pool all day.
The paintwork was dirty and **peeling off** in places.
そのような副詞は前置詞と同じように示されます。
- 動詞の中には特定の前置詞または副詞を取ることで意味を変えるものもあります。動詞+前置詞/副詞の組み合わせは句動詞と呼ばれる動詞の特殊な形と見なされます。句動詞の例としては、「care for(名詞)」や「hold(名詞)up」などがあります。

She **cares for** her elderly mother.
Traffic **was held up** for over two hours.

句や節と共に使われる語句

- 動詞、名詞または形容詞の後に別の動詞を含む句や節全体が続く場合がよくあります。そのような動詞は不定形(to-)や-ing形となるか、あるいはthat、what、howなどの後に続きます。

I was all packed and **ready to leave**.
I'd appreciate your **cooperation in clearing** the hall.
It was **obvious that** he was not well.

並べて使われる名詞

- 名詞が別の名詞の前で形容詞のような使われ方をする場合もあります。
 - the chair back (= the back of the chair)
 - a family business (a business belonging to one family)
 - garden flowers (= flowers grown in a garden)
- 最初にくる名詞は、ふつう複数形を取る名詞であってもほとんどの場合単数形になります。
 - a pyjama jacket
 - a billiard ball
- しかし稀に、この使われ方でも複数形を維持する名詞があります。
 - a clothes peg
 - a glasses case
- 名詞がこのような使われ方をする場合にはたいてい、見出し語に例文を示しています。

コロケーション

コロケーションとは何か

- コロケーションとは特定の語句の慣用的使われ方、結びつき方のことです。例えば次のような表現が可能です。

Meals will be served outside on the terrace, **weather permitting**.

ただし、Meals will be served outside on the terrace, **weather allowing**. とはしません。
- 両方の文章は同じことを言っているように思えます(天気が良ければ食事を外に運びましょうという意味)。またallowと

permitは非常に似た意味を持っています。しかし、この組み合わせではpermittingを使うことが正しくなります。weatherと結びつく(collocates)のはpermittingであり、allowingではありません。

コロケーションの種類

- 自然で正しい英語を書いたり話したりするためには、例えば次のようなことを知っておく必要があります。
 - ある特定の名詞と共に用いられる形容詞にはどのようなものがあるか。
 - ある特定の形容詞と共に用いられる名詞にはどのようなものがあるか。
 - ある特定の名詞と共に用いられる動詞にはどのようなものがあるか。
 - ある特定の形容詞を強調する副詞にはどのようなものが用いられるか。

この辞書でのコロケーション

- 特定の名詞に使われる形容詞を見つけるには、名詞の見出し語の例文を見てください。その名詞と共に使われる代表的な形容詞がスラッシュ(/)で区切って示されています。
- 形容詞を調べると、どのような名詞がよく一緒に使われるかがわかります。
- ある名詞と一緒に使われる動詞を見つけたい場合には、名詞の見出し語の例文を見てください。
- 形容詞を調べると、その意味を強調したい場合にどのような副詞が使えるかがわかります。

- 重要なコロケーションについては例文中に太字で表示してあります。コロケーションの意味がわかりにくい場合には、後ろに括弧書きで簡単な解説を付けています。

名詞と形容詞

名詞

- sugarの場合はtoo much sugarと言いますが、chairの場合はtoo many chairsとなります。
名詞は単数形・複数形両方とも取るか、**a, both, each, the**のような限定詞と一緒に使う必要があるかどうか、また動詞が名詞に呼応して単数形になるのか複数形になるのかにより種類が異なってきます。

可算名詞と不可算名詞

- 名詞の中には2つの大きな分類として可算名詞と不可算名詞(または質量名詞とも呼ばれます)があります。たいていの可算名詞は数えられる個別の物事をあらわす言葉です。例えばapples、books、teachersなどがあります。不可算名詞は通常、ある量やかたまりとして見なされるものを表す言葉です。例としてwaterやtimeがあります。
- しかし、英語の名詞の中には数えられると思われてもそうではないものもいくつかあります。例えば、furniture、information、equipmentなどは、他の言語では可算名詞とされる場合もありますが、英語ではすべて不可算名詞になります。

可算名詞[C]

- 可算名詞には単数形と複数形があります。単数形の場合、常にその前に限定詞を取ります。複数形では限定詞を取っても取らなくても使うことが可能です。

I'm having **a driving lesson** this afternoon.

She's learning to play golf – she's had **several lessons** already.

Lessons cost £20 an hour.

- 可算名詞は名詞の最も一般的な種類です。その語の意味が一つだけであったり、またはどの意味であっても数えられる場合にはただnounとだけ表記されます。意味が多くあったり、その中に不可算のものも含まれる場合には、数えられる意味のところに[C]と表記します。

不可算名詞[U]

- 不可算名詞の形は単一で、単数形、複数形の区別がありません。限定詞は取っても取らなくても使えます。

Can we make **space** for an extra chair?

There isn't **much space** in this room.

- 不可算名詞が動詞の主語になる場合、動詞の形は単数形になります。

Extra **money has been found** for this project.

Sadness is not the same as depression.

- furniture、information、equipmentなどの名詞では、他の多くの不可算名詞と同様に、a piece of、three items of、some bits ofなどの語句を使って、その物の量や独立した部分について言及することができます。piece、item、bitなどの名詞はこ

のような用法の場合、部分詞と呼ばれます。

I picked up **some information** that might interest you.

I picked up **two pieces of information** that might interest you.

複数形名詞[pl.]

- 常に複数形を取り、単数形のない名詞もあります。2つの部分が組み合わさったものを表す名詞、例えばglasses、jeans、scissorsなどは複数形名詞です。通常、a pair of jeans、a pair of scissorsというように表現することができます。

I'm going to buy **some new jeans**.

I'm going to buy **a new pair of jeans**.

そういった名詞の見出し語には、このような使い方ができるという例文を示しています。

- 中にはpoliceやcattleのように単数形のように思える複数形名詞もあります。このような名詞は特定の人や動物の集合体で、一つの単位としてひとくくりで見なされる場合を表します。この場合にも動詞は複数形を取ります。

Police are searching for a man who escaped from Pentonville prison today.

The **cattle are fed** on barley and grass.

単数形名詞 [sing.]

単数形のみで複数形のない名詞もあります。このような名詞は限られた用法でのみ使われる場合が多いものです。例えば、いくつかの名詞では、その前に特定の制限詞、またはその後特定の前置詞を必ず取るか、よく一緒に用いられることになりま

す。fillipの場合、そのパターンは、a fillip(to/for 名詞)となります。

名詞と単数形動詞、複数形動詞

[sing.+sing./pl.v.] [C+sing./pl.v.]

- イギリス英語の場合単数形名詞(または可算名詞の単数形)が単数形動詞と同様に複数形動詞を取ることもあります。このような名詞は通常、人の集合、組織または場所を表すもので、組織、場所または集団(単数形)か、多くの個々の人間(複数形)かのどちらの意味とも取れるものです。

The **Vatican has/have issued** a further statement this morning.

The **committee has/have decided** to dismiss him.

- このような名詞は、常に単数形になる場合[sing.+sing./pl.v.]という記号が付けられ、複数形も取る場合には[C+sing./pl.v.]という記号が付けられます。複数形の場合は複数形動詞が対応します。
- アメリカ英語の場合、このような名詞の単数形は必ず単数形動詞を取ります。

The government **says it is** committed to tax reform.

[U+sing./pl.v.]

- 不可算名詞の中には複数形動詞と単数形動詞のどちらも使えるものがあります。これには語尾が's'で終わり、あたかも複数形のように見える名詞が含まれます。

His **whereabouts are/is** still unknown.

また人や物の集合を意味する名詞で、集合(単数形)とも、多く

の個別の人、物(複数形)の意味とも取れるものも含まれます。

Personnel is/are currently reviewing pay scales.

形容詞

- 多くの形容詞は名詞の前でも、be、become、seem、turnなどの連結動詞の後でもどちらでも使うことができます。

[only before noun]

[usually before noun]

- 形容詞のいくつか、または特定の意味で使う形容詞は必ず名詞の前に置かれ、連結動詞の後に置くことはできません。このような語句には[only before noun]という記号が付けられています。[usually before noun]という記号が付いている場合は、稀ではあるが動詞の後でも使える形容詞であることを意味します。

[not before noun]

[not usually before noun]

- [not before noun] と記号の付いた形容詞は連結動詞の後でのみ使われるもので、決して名詞の前にはきません。
[not usually before noun] の記号は、稀ではあるが名詞の前でも使える形容詞であることを示します。

[after noun]

- 数は少ないですが、常に修飾する名詞の後にくる形容詞もあります。このような形容詞は[after noun]という記号を付けて示されます。

動詞

- He sighed.

She cut her hand.

The soup tastes salty.

それぞれの文章には主語(he、she、the soup)と動詞(sigh、cut、taste)があります。最初の文ではsighが単独で使われています。このような動詞は自動詞と呼ばれます。2番目の文では、cutが他動詞になります。なぜなら目的語(her hand)を取っているからです。3番目の文では、tasteは目的語を取っていませんが、形容詞なしの単独では使えません。saltyのように動詞の主語について情報を提供するような形容詞は補語と呼ばれます。補語を取る動詞は連結動詞と呼ばれます。

- 次の文を比較してみてください。

She can drive.

She drives a fast car.

最初の文で動詞driveは目的語を取らず自動詞として使われています。2番目の文ではa fast carという名詞句を目的語とする他動詞として使われています。

- この辞典では、動詞がそれぞれの意味においてどのような使われ方をするかを文法記号と例文を用いて正確に示しています。

自動詞

[V] [V+adv./prep.]

- 自動詞は目的語を取りません。主語の後に単独で使われる場合、[V] という記号が付けられています。

A large dog **appeared**.

- 自動詞の中には常に前置詞句や副詞と共に使われるものがあります。それはたいていの場合、特定の方向への動きを示す動詞です。そのような動詞には[V+adv./prep.]の記号が付けられています。

A runaway car came **hurtling towards** us.

A group of swans **floats** by.

I bought Mary a book.

- 動詞を通常の他動詞として用いてtoまたはforで始まる前置詞句を加えることで、たいていこれと同じ意味を表すことができます。

I **sold** a car **to** Jim.

I **bought** a book **for** Mary.

他動詞

[VN] [VN+adv./prep.]

- 他動詞は必ず目的語を取ります。目的語は名詞、代名詞、名詞句または名詞節になります。
- 名詞、代名詞、または名詞句を目的語に取る他動詞を示す記号は[VN]です。

Jill's behaviour **annoyed** me.

- 他動詞のほとんどは受動態で使うことが可能です。

I **was annoyed** by Jill's behaviour.

他動詞の中には、自動詞のように動詞と密接に結びつく前置詞句や副詞を常に取り取るものもあります。そのような他動詞には[VN+adv./prep.]という記号が付けられています。

He **wedged the phone under** his chin.

She was bundled off to boarding school.

他動詞+2つの目的語

[VNN]

- sellやbuyのような動詞は2つの目的語を取ることができます。このような動詞は[VNN]という記号で示されます。

I sold Jim a car.

連結動詞

[V-ADJ] [V-N] [VN-ADJ] [VN-N]

- His voice sounds hoarse.

Elena became a doctor.

このような文では、連結動詞(sound、become)の後には補語である形容詞(hoarse)または名詞句(a doctor)が続き、主語について説明を加えています。

- 補語として形容詞を取る動詞には[V-ADJ]という記号が付き、名詞句を補語として取る動詞には[V-N]という記号が付き
- また、目的語と補語の両方を取る動詞もあります。

She considered herself lucky.

They elected him president.

補語(lucky、president)は動詞の目的語(herself、him)についてより詳しい情報を与えています。[V-ADJ]という記号は、動詞が他動詞で形容詞を補語として取ることを表し、記号[VN-N]は、他動詞で名詞句を補語として取るものを示します。

節と共に用いられる動詞

- George complained that it was too hot.

Did you hear what he said?

Don't forget to lock the door.

He enjoys working with children.

Jane asked, 'Are you OK?'

以上の文にはすべて動詞が含まれていますが、それは他の動詞を含む節や句(that it was...、what he said...、to lock...、working...)と一緒に使われています。この辞典では動詞と一緒に使うことのできる節や句の種類のことを「that節」、[wh-節]、「不定詞句」、「-ing句」、「直接話法」などと呼びます。

動詞 +that 節

[V that] [V (that)] [VN that] [VN (that)]

- [V that] という記号は動詞の後にthatで始まる節を取ることを表します。
- しかし、thatという言葉自体を必ずしも使う必要はありません。

I **said that** he would come.

I **said** he would come.

以上の2文は同じ意味になります。この辞典では[V (that)]という記号で示され、括弧を使って一方だけの例文を示します。

I **said (that)** he would come.

- 名詞句と「that節」の両方を一緒に使うことのできる動詞もあります。このような使われ方をする動詞には[VN that]または[VN (that)]という記号が付きます。

Can you **remind me that** I need to buy some milk?

I **told her (that)** I would be late.

動詞 +wh- 節

[V wh-] [VN wh-]

- 「wh-節」(または句)とは以下の言葉のうちいずれかで始まる節または句です: which、what、whose、why、where、when、who、whom、how、if、whether。この辞典で「V wh-節」を取る動詞に付けられている記号は[V wh-]です。

I **wonder what** the new job will be like.

He doesn't **care how** he looks.

Did you **see which** way they went?

- 名詞句と「wh-節」の両方を一緒に使うことのできる動詞もあります。このような使われ方をする動詞には[VN wh-]という記号が付きます。

I **asked him where** the library was.

I **told her when** the baby was due.

He **teaches his students how** to research a subject thoroughly.

動詞 + 不定詞句

[V to inf] [VN + to inf] [VN inf]

- Eatとto eatはどちらも動詞の不定形です。Eatの方は原形不定詞、to eatの方はto-不定詞と呼ばれます。不定詞を取る動詞のほとんどはto-不定詞と一緒に用いられます。そのような動詞を示す記号は[V to inf]です。

The goldfish **need to be fed**.

She never **learned to read**.

- 名詞句と「to-不定詞」の両方を一緒に使うことのできる動詞もあります。このような使われ方をする動詞には[VN to inf]という記号が付きます。名詞句は主動詞の目的語となり得ます。

Can you **persuade Sheila** to chair the meeting?

He was forced to hand over the keys.

または名詞句、不定詞句の両方が一緒に目的語になることもできます。

I expected **her to pass** her driving test first time.

We'd love **you to come** and visit us.

- 原形不定詞と共に用いられる動詞は2つのグループのみです。1つは法助動詞で、can、must、willなど主動詞の前にきて、その行為が可能であるとか、必要であるなどの意味を示すものです。この辞典ではこのような動詞を特別に扱っており、modal verbと記号が付けられています。
- 一般動詞の限られた種類のもので、例えばseeやhearは名詞句や原形不定詞と共に用いることができます。これに対する記号は[VN inf]になります。

Did you **hear the phone ring** just then?

She **watched him eat** his lunch.

動詞+ -ing 句

[V -ing] [VN -ing]

- 「-ing 句」は現在分詞（または動名詞）を含む句のことです。現在分詞は-ingで終わる動詞の形で、例としてdoing、eatingあるいはcatchingなどです。「-ing 句」は時として現在分詞単独で成り立つ場合があります。「-ing 句」を取る動詞用の記号は[V -ing]です。

She never **stops talking!**

I **started looking** for a job two years ago.

- 名詞句と「-ing句」の両方を一緒に使うことのできる動詞もあります。このような使われ方をする動詞には[VN -ing]という記号が付きます。名詞句は主動詞の目的語となります。

His comments **set me** thinking.

I can **smell something** nice cooking.

または名詞句、「-ing句」の両方が一緒に目的語になることもできます。

I hate **him joking** (=the fact that he jokes) about serious things.

- 次のパターンでは、himを所有格の代名詞hisに置き換えることができます。

I hate **his joking** about serious things.

しかしながら、所有格代名詞を含む文章はとても堅苦しく感じられるため、目的格代名詞の方がより一般的となります。特にアメリカ英語ではそういう傾向になります。動詞自体が文語的である場合には所有格代名詞もよく使われます。これは見出し語に示されています。

動詞+直接話法

[V speech][VN speech]

- say、answer、demandなどの動詞は、誰かの発言した内容を伝える場合に、「that節」を取ることもできますし、発言された言葉そのものを引用符(‘ ’)を用いて直接話法で続けることもできます。直接話法を取ることのできる動詞には[V speech]という記号が付きます。次の文を比較してみてください。

[V **speech**] ‘It’s snowing,’ she said.

[V (that)] She said that it was snowing.

- 書き手は時にlaugh、gulpなどの動詞を使って話を面白くしようと努めます。これは、話法動詞のように実際の発言を表しませんが、物事がどのように発言されているか、また話し手は発言する際にどのような状態なのかを示すためのものです。

'I'd love to come,' she **beamed**.

'I can't believe you did that!' he **exploded**.

- 直接話法と名詞句の両方を取ることでできる動詞もあり、この場合、誰が話し掛けられたのかを示します。この動詞の用法を示す記号は[VN speech]です。

'Tom's coming to lunch,' she **told him**.

異なる用法を持つ動詞

- watchなどのようにさまざまな異なる用法を持つ動詞も多くなります。

[VN inf] I watched him eat.

[VN-ing] I watched him eating.

[VN] I watched the pianist's left hand.

[V wh-] I watched how the pianist used her left hand.

- この辞典での各語の見出しは語句の使い方によって違った表し方になっており、一連の例文を示しています。各例文の前に付く記号は、その例文にどの文法的用法が適用されているかを示しています。ある例文の後に同じ用法の例文が続く場合には、記号は繰り返して表示されません。
- 中には特定の動詞で使うことはできるが、あまり一般的ではない用法もあります。このような例は例文としては示されませんが、見出し語の最後、または該当する意味の解説の後に記号を示しています。

句動詞

句動詞とは？

- Jan **turned down** the chance to work abroad.

Buying that new car has really **eaten into** my savings.

I don't think I can **put up with** his behaviour much longer.

句動詞(複数語動詞[multi-word verbs]と呼ばれる場合もあります)とは2語、時には3語から成る動詞のことです。最初にくる語が動詞で、次に副詞(turn down)か前置詞(eat into)、またはその両方(put up with)がきます。このような副詞または前置詞は不変化詞と呼ばれることもあります。

- この辞典では、句動詞は見出し語となる主動詞の最後の部分に **PHR V** という記号を付けて示されています。表記は後に続く不変化詞のアルファベット順となっています。

句動詞の意味

- He **sat down** on the bed.

sit downなどの句動詞の意味であれば動詞も不変化詞も通常の意味のままなので連想することは簡単です。しかし、句動詞には覚えなくては理解できない慣用的な意味を持つものがあります。例としてput、upとwithそれぞれの意味を組み合わせてもput up with(=我慢する)の意味とはなりません。

- 不変化詞の中には、いくつもの異なる動詞と一緒に使われても特定の意味を持ち続けるものもあります。

I didn't see the point of **hanging around** waiting for him,so I went home.

I wish you wouldn't leave all those books **lying around**.

Aroundは「特に何の目的、目標もなく」という意味を付け加えるもので、他の多くの動詞、例えばplay、sit、waitなどとも同じ意味で使われます。

- 句動詞の意味は時に一語の動詞で説明できる場合もあります。しかし、句動詞は口語英語で頻繁に使われるもので、一語の同義語が使われるとすると、それはより文語的な形となるのが普通です。

I wish my ears didn't **stick out** so much.

The garage **projects** 5 metres beyond the front of the house. stick outもprojectも同じ「表面から突出する」という意味を持ちますが、スタイルはかなり異なってきます。Stick outはくだけた雰囲気のある文脈で用いられ、projectは改まった、あるいは技術的な文脈で用いられます。

句動詞の文法

- 句動詞は他動詞的(目的語を取る)、または自動詞的(目的語を取らない)に用いることができます。どちらとしても使えるものもあります。

For heaven's sake **shut her up**. (他動詞的)

He told me to **shut us**. (自動詞的)

- 自動詞的の句動詞はこの辞典の中でsb(誰々)やsth(何々)を後に取らずに記載されています。これは目的語を取らないことを示しています。

Eat outは自動詞的の意味を持ち、この2語の間には他の言葉を入れて分けることができません。

Shall we eat out tonight? とは言いますが

Shall we eat tonight out? とは言いません。

- 他動詞的の句動詞を正しく使うためには、目的語をどこに入れるかを知っておく必要があります。いくつかの句動詞(分離動詞 [separable verbs]とも呼ばれる)では、目的語は動詞と不変化詞の間にも後にも入れることができます。

She **tore** the letter **up**.

She **tore up** the letter.

- 目的語が長い句になる場合には、通常不変化詞の後に置かれま

ず。
She **tore up** all the letters he had sent her.

- 目的語が代名詞の場合(例えば 'the letter' の代わりにitを使う場合)、常に動詞と不変化詞の間に置かなければなりません。

She read the letter and then **tore it up**.

- この辞典では、分離可能な句動詞を次のように示しています。

tear sth↔up

- 目的語と不変化詞の間の ↔ は、目的語を不変化詞の前にも後ろにも置くことができることを示しています。

たとえば、**call sth↔off** の場合、

They **called** the deal **off**. や

They **called off** the deal. と言えます。

- その他の句動詞(不可分動詞 [inseparable verbs]とも呼ばれる)では、動詞句の2語の間に目的語を入れて分けることはできません。

I didn't really **take to** her husband. と言いますが

I didn't really **take** her husband **to**. とは言いません。

I didn't really **take to** him. と言いますが

I didn't really **take** him **to**. とは言いません。

慣用句

慣用句とは何か？

- 慣用句とは、その意味が難解であるか、あるいは含まれる個々の語句を見ても意味が類推できないような句のことを言います。例えば、be in the same boat という句はすぐ理解できる文字通りの意味もありますし、よく使われる慣用的な意味もあります。

I found the job difficult at first. But we were all in the same boat; we were all learning.

ここでは be in the same boat とは「同じ困難や不運な状況下にある」という意味です。

- 慣用句の中には、ことわざや格言など想像上の表現を用いるものもあります。

Too many cooks spoil the broth.

(If too many people are involved in something, it will not be well done.)

- 有名な表現であれば一部省略されることもあります。
Well, I knew everything would go wrong - it's the usual story of too many cooks!
- 特定の目的で使われる短い表現の慣用句もあります。

Hang in there! (困難な状況下にある人を励ますときに使われます)

Get lost! (go awayの不作法な言い方)

- しかし、このようにすると意味が鮮明でなくなる慣用句が多くなります。このようなものが慣用句と認識されているのは形が固定されているからです。

for certain in any case

慣用句を調べる

- 慣用句はそこに含まれる最初の「実語」(名詞、動詞、形容詞、副詞)によって見出し語に分類されています。つまり、冠詞や前置詞などの文法上用語は無視するということです。ある語の主要な意味の解説の後で **IDM** という記号がついた部分に記載されています。

前記の慣用句の中でin, the, onなどの言葉は「実語」にカウントされませんので、そのような語句の見出しの中には慣用句は記載されません。

- 慣用句がどこから始まりどこで終わるかを判断するのは、難しい場合があります。

次のような表現を聞いた場合はどうでしょうか。

They decided to bury the hatchet and try to be friends again. 読み手はhatchetが唯一わからない言葉なので辞典を引こうと考えるかも知れません。実際は、bury the hatchetが慣用表現であり、buryの欄に記載されています。hatchetの欄ではburyの欄を見るように相互参照の記述がしてあります。

- 慣用句中の「実語」の一語が他の言葉に置き換えられる場合もあります。例として、be a bag of nervesという慣用句ではbagをbundleに置き換えることができます。この場合、be a bag/bundle of nervesという形で示され、意味は最初の変換の実語となるnerveの欄に記載されます。bagまたはbundleから慣用句の意味を調べようとすると、慣用句に関する記述部分の最後にnerveへの相互参照が示されているのがわかります。
- 数は少ないですがよく使われる動詞と形容詞badとgoodの組み合わせでは非常に多くの慣用句があり、見出しにすべて記載

することはできません。その代わりに、慣用句に含まれる次の名詞、動詞、形容詞などの見出しを調べるように知らせる脚注を付けています。

- 慣用句の中には多くの代替表現が可能なものもあります。例えば disappear into thin air という表現では disappear を vanish、melt あるいは evaporate などに置き換えることが可能です。この辞典では disappear、vanish、etc. into thin air という形で記載し、同じような意味の慣用句として disappear 以外の言葉も使うことができると説明しています。この場合、確定している最初の実語がないので、意味は thin の欄に記載し、at air の箇所だけに相互参照を付けてあります。
- 慣用句が見つけれない場合には、その表現に含まれる他の主要語句の見出しを探してみてください。
- 中には one、it、あるいは in などの文法的用語しか含んでいない慣用句もあります。このような慣用句の場合は最初の語の欄に記載してあります。例えば one up on sb の場合は one の見出し部分に記載されています。
- 慣用句の記載順序は、慣用句解説部分でアルファベット順になっています。a/an、the、sb/sth などの文法的用語、your、sb's、his、her などの所有格、また () でくくられたり、記号 (/) などの後にくる言葉は無視されます。

OXFORD Thesaurus ガイド (類語辞典)

類語のアレンジ

各見出し語のもとに、類語は「類語セット」として **1、2** … などの番号がつけられて収録されています。

複数の意味を持つ見出し語には個々のニュアンスごとに類語セットが用意されています。また、セミコロンで区切ってさらに詳しく定義付けがされているものも記載されています。

類語セットは、見出し語に最も近いと思われる意味を持つ言葉から順に並べられており、通常は“コア類語”(core synonym)として太い大文字で記されています。

一つのコア類語だけでは見出し語の意味を正確に反映しないときは、二つ以上のコア類語があげられます。例えば“audience”という見出し語を例に取ってみると、“SPECTATORS”と“LISTENERS”の二つのコア類語があげられます。

そしてまた、異なる二つの類語は見出し語の持つわずかな意味の違いをはっきりさせるでしょう。例えば“prosperous”が見出し語の場合、まず最初にあげられるコア類語は“THRIVING”、次に“flourishing”や“successful”のような、そのコアの意味に準じた類語が示されます。そして、その後につづくセミコロン以下で、もう一つのコア類語“AFFLUENT”があげられ、“wealthy”や“rich”のような二つ目のコアに準じた類語が続きます。

類語を使用するときのガイド

本辞典にあるほとんどの類語は標準的な英語ですが、いくつかの語は特定の文脈でのみ使われます。それらは類語セットの最後に集められ以下のようなラベルで表示されています。

〈informal〉 例 abysmal, dodgy など

： くれた会話及び文章につかわれる言葉

〈formal〉 例 forsake, remit など

： 公式文書などの文語表現につかわれる言葉

〈technical〉 例 absorbent, absorption など

： 特定の専門分野で使われる言葉。〈Medicine〉、〈Nautical〉 等と表示されている。

〈poetic/literary〉 例 dissimilar, divers など

： 詩または文学などでのみ使用される言葉

〈dated〉 例 correctly, scoundrel など

： もはや通常の英語表現ではないが、古い世代の人たちによって現在もつかわれる言葉

〈historical〉 例 donation, anchorite など

： 現在も使われるが、史話などの中のみ用いられる言葉

〈humorous〉 例 enjoyment, alteration など

： 主にユーモアを含む言葉

〈archaic〉 例 anchorite, fruitless など

： 表現効果のため以外には現在ではつかわれない古い言葉

〈rare〉 例 postpone, alms など

：現在も以前もあまり使われていない言葉

使用が特定の地域に限定される類語もまた、使用する地域名が以下のようなラベルで表示されています。

：イギリス 〈Brit.〉、北アメリカ 〈N. Amer.〉、アメリカ合衆国 〈US〉、カナダ 〈Canadian〉、オーストラリア 〈Austral.〉、ニュージーランド 〈NZ〉、南アフリカ 〈S. Afr.〉、西インド諸島地域 〈W. Ind.〉。

トレードマーク及び所有権のステータスについて

この辞典にはトレードマークである、あるいはそうでなくても、所有権があると主張されている言葉が記載されていますが、その所有権を無効化する法的な目的や意図、その他法的地位に関して判断を下すものではありません。

ある言葉が所有権の資格を持つという根拠が編集者にある場合、その言葉に 〈trademark〉 のラベルを付けますが、それによりこれらの言葉について、法的ステータスを決定したり暗に意味するものではありません。

主な特長

- ① assign
▶verb
- ② 1 **EX** a young doctor was assigned the task:
ALLOCATE, allot, give, set; charge with, entrust with.
2 **EX** she was assigned to a new post:
APPOINT, promote, delegate, commission, post, co-opt; select for, choose for, install in;
〈Military〉 detail.
3 **EX** we assign large sums of money to travel budgets:
EARMARK, designate, set aside, reserve, appropriate, allot, allocate, apportion.
4 **EX** he assigned the opinion to the Prince:
ASCRIBE, attribute, put down, accredit, credit, chalk up, impute; pin on, lay at the door of.
5 **EX** he may assign the money to a third party:
TRANSFER, make over, give, pass, hand
- ③ over/down, convey, consign;
〈Law〉 attorn, devise.

- ① ▶マークの後に見出し語の品詞を示す。
- ② ニュアンスの違いがわかるように、それぞれ**EX** マークをつけて例文を示す。
- ③ 類語の組み合わせをこのように表記する(この場合は、"hand over" と "hand down")。

bag
 ▶noun
 1 ㊦ I dug around in my bag for my lipstick:
HANDBAG, shoulder bag, clutch bag, evening bag, pochette;
 ④----- (N. Amer.) pocketbook, purse;
 <historical> reticule, scrip.
 2 ㊦ she began to unpack her bags:
SUITCASE, case, valise, portmanteau, holdall, grip, overnighter; backpack, rucksack, knapsack, haversack, kitbag, duffel bag; satchel;
 ⑤----- (**bags**) luggage, baggage.
 ▶verb
 1 ㊦ locals bagged the most fish:
CATCH, land, capture, trap, snare, ensnare; kill, shoot.
 2 ㊦ he bagged seven medals:
GET, secure, obtain, acquire, pick up; win, achieve, attain; commandeer, grab, appropriate, take;
 <informal> get one's hands on, land, net.

- ④ 特定の地域で使われる意味が類語となる語を示すラベル(略語の説明は197ページを参照)。
- ⑤ 見出し語の形が変わったときの類語を後ろに示す。

infrequent
 ▶adjective
 ⑥----- **RARE**, uncommon, unusual, exceptional, few (and far between), like gold dust, as scarce as hens' teeth; unaccustomed, unwonted; isolated, scarce, scattered; sporadic, irregular, intermittent;
 ⑦----- <informal> once in a blue moon;
 <dated> seldom.
 ⑧----- **-OPPOSITES** common.

- ⑥ コア類語(見出し語と意味が最も近いと思われる語)。
- ⑦ 類語のグループの表記。(この場合は、“few”と“few and far between”の二つが見出し語に対しての類語となる)
- ⑧ 見出し語の反対の意味を持つ言葉。これらのほとんどは見出し語として存在するので、そこで更に幅広く選択できる。

lip
 ▶noun
 1 ㊦ the lip of the crater:
EDGE, rim, brim, border, verge, brink.
 2 <informal> ㊦ I'll have no more of your lip! :
INSOLENCE, impertinence, impudence, cheek, rudeness, audacity, effrontery, disrespect, presumptuousness;
 <informal> mouth;
 <Brit, informal> sauce, backchat.
 ⑨----- **-RELATED TERMS** labial, labio-.

- ⑨ 語句、接頭辞および接尾辞など、見出し語と関わりのある語ではあるが類語とは呼べない言葉。

night and day
ALL THE TIME, around the clock, {morning, noon, and night}, {day in, day out}, ceaselessly, endlessly, incessantly, unceasingly, interminably, constantly, perpetually, continually, relentlessly; <informal> 24-7.

⑩ 括弧{ }で囲まれた表現がそのまま見出し語の類語となるケース。

plant
 ▶noun
 1 例 garden plants: flower, vegetable, herb, shrub, weed; (<plants> vegetation, greenery, flora, herbage, verdure.
 ⑪ <Table>Types of Plant
 <Table>Parts of a Plant
 See table at
 ⑫ <Table>FLOWER(1), <Table>FLOWER(2), <Table>FRUIT,

⑪ <Table> は、見出し語に関連のある情報が収録されていることを示す(後ろに関連情報のタイトルが示される)。

⑫ See table at に続く <Table> は、関連のある他の見出し語(ここでは FLOWER)の収録情報を見ることができることを示す。

〈 〉と《 》の違い

assign
 ▶verb
 1 例 a young doctor was assigned the task: **ALLOCATE**, allot, give, set; charge with, entrust with.
 2 例 she was assigned to a new post: **APPOINT**, promote, delegate, commission, post, co-opt; select for, choose for, install in;
 ⑬ <Military> detail.
 3 例 we assign large sums of money to travel budgets:

⑬ 〈 〉は類語となる意味の範囲を示すラベル。

この例では、後ろに示される語(detail)の Military な意味での使用が、見出し語 assign の類語となる。

lip
 ▶noun
 1 例 the lip of the crater: **EDGE**, rim, brim, border, verge, brink.
 ⑭ <informal> 例 I'll have no more of your lip!: **INSOLENCE**, impertinence, impudence, cheek, rudeness, audacity, effrontery, disrespect, presumptuousness;
 <informal> mouth;
 <Brit. informal> sauce, backchat.
 -RELATED TERMS labial, labio-.

⑭ 《 》は見出し語の意味の範囲を示すラベル。

この例では、見出し語 lip の informal な意味に対応する類語が後ろに示される。

【コロケーションとは?】

コロケーションとは、ある言語の単語が組み合わせられて、自然な話し言葉や、書き言葉が生み出されることを意味します。例えば、英語の strong wind や heavy rain は、通常 heavy wind や strong rain とは言いません。中級前あるいは初級レベルの学習者でも、これらの4つの単語をすべて知っていますが、使用語彙としてそれらの単語を正しく組み合わせるには、高い言語能力が要求されます。ネイティブにとっては、これらの組み合わせは予測できますが、学習者にとっては、決してそうではありません。

言語における単語の組み合わせは、see a man, see a car, see a book などの全く自由なものから、not see the wood for the trees のような完全に決まった慣用句といったものまでを範囲とした、連続変異上にあります。たとえば、not see the wood for the trees という慣用句は、ただ決まった形であるだけでなく、意味的には wood や trees とは何の関連もありません。この連続変異の間には、動詞 see がとることのできる名詞の範囲があって、この中には、意味に関していえば予測もできず、不明瞭でもないものが含まれています。これらは、see a film (初級学習者は see が文字通りの意味ではないことを反映して、区切りをつけないでかたまりとして学ぶ)などのかなり「弱い」コロケーションから、see a doctor のような「中ぐらいの」コロケーションを通して、see danger, see reason, see the point のような「より強い」コロケーションまで変化します。

これらの言葉の組み合わせはすべてコロケーションと呼ぶことができ、これは連続変異の両端にある極端なものとは区別して考えます。英語での伝達能力に絶対必要なのが、このような組み合わせで特に「中ぐらいの」コロケーションの組み合わせのものです。

【なぜコロケーションが重要なのか?】

コロケーションは、英語全体に渡って存在します。自然な会話言葉や、書き言葉の英語には、全くコロケーションのないものはありません。たとえ基本的な理解に問題がなくても、正しいコロケーションを選択することにより、学生の会話や作文は、さらに自然なネイティブのようになります。学生が、strong rain と述べても、理解してもらえませんが、笑いを誘い、訂正されることになるかもしれません。ただそれはあまり大きな問題ではないでしょう。確かに言えることは、試験の場合では、低い評価を受けることになるということです。

それより重要なことは、コロケーションが豊富だと、言葉がもっと正確になるということです。英語の単語、特に一般的な単語は、多くの意味を包含しています。全く明確な意味のものもあれば、意味が次第に変化するものもあります。

文章の前後関係における正確な意味は、周囲の単語や中心の単語に組み合わせたコロケーションにより、文脈が確定されます。最適のコロケーションを選ぶ学生は、よりはっきりと自身の言いたいことを表現することができ、一般的な意味だけではなく、もっと正確なことを伝えることができます。

【略語・記号の説明】

1. 省略形

- ADJ.** : 形容詞(または、形容詞と同じ働きをする名詞)
ADV. : 副詞
PREP. : 前置詞
QUANT. : 数量詞(=物の量/数を表わす言葉)
etc. : その他(=など)
sb : だれか(somebody)
sth : 何か(something)

●記号

- ~ : 見出し語の出だしの言葉に置き換えるもの
™ : 製造会社に属する登録商標

例) Hammond organ™ など、話すときや書くときに普通に使用される

2. スタイルラベル

本辞典の中で一般的に使用されるラベルは、二つの単語を組み合わせたコロケーションに適用し、個々の単語には適用しません。下記の用法指示は、特定の傾向を表わすコロケーションか、特定の状況において適切なコロケーションに使用します。

- disapproving** 不賛成や軽蔑の感情を示すときに用いる表現。
figurative 文字どおりではなく、暗喩的な意味を示す表現。
formal 厳粛な場や公式な場でのみ用いられる表現。日常会話での使用は不適当。

historical 過去に存在した物事や概念を表わし、すでに存在しない(debtor's prison)か、あるいは、現在それに相当するものは違う名前を持つ。(circulating library は、現在の言葉ではlending library)しかし、過去について話すときには、この歴史的用語は今でも使用される。

humorous ユーモラスな表現。

informal 友人同士、あるいはくつろいだ、ないしは非公式の場で使用される表現。形式ばった場での使用は不適切。

ironic 本来の意味とは反対または、まったく違った意味で使う。

literary 文学やフィクションで主に用いられる言語。

offensive 人や国などに対する非常に侮辱的な表現。

old-fashioned 現在では使用されなくなりつつある表現。作家の中には、特にフィクションの特定効果を求めて使用する場合がある。

saying ことわざなどよく知られた決り文句や伝統的な表現。

taboo 多くの人が卑猥、衝撃的と考える表現。使用は避けること。コロケーションとして有力な場合のみ記載するが、これらの語句は、コロケーションでも、常に禁忌語である。

technical 特定の分野の専門家によって使われる用語。

下記のラベルも特定分野の用語です。

- business**(ビジネス)、**law**(法律)、**medical**(医療)、**science**(科学)、**computing**(コンピューター)、**mathematics**(数学)、**military**(軍隊)、**sport**(スポーツ)

【見出し語のガイド】

・名詞

意味番号と短い定義により、
mountainの異なる意味を区別する。

mountainと連語を成す形容詞または形容詞のような働きをする名詞。

数量詞：物の量及び数を意味する言葉。

mountainの前に来る動詞及び後ろに続く動詞。

mountain noun
1 very high hill
● ADJ.
• big, great, high, huge, large, lofty, massive, tall, towering
• small
• steep
• low
• beautiful, dramatic, fine, majestic, spectacular
• surrounding The surrounding mountains make the city difficult to evacuate.
• distant
• isolated, remote
• inland
• jagged, rocky, rugged
• snow-capped, snow-covered, snowy
• holy the holy mountain of the Lapp community
● QUANT.
• chain, range a chain/range of mountains
● VERB + MOUNTAIN
• ascend, climb, come/go up, scale
• come/go down, descend, walk down
• walk in We enjoy walking in the mountains.
• cross (over)
● MOUNTAIN + VERB
• rise, soar, tower The mountains here rise to well over 2 000m.
• fall The mountains fall to the east to the flat expanse of the plateau.
• surround sth Towering mountains surrounded the village.
• shake The earth tremor made the mountains shake.

mountainの後ろに続く名詞。

連語は、意味またはカテゴリーによりグループ分けされる。

mountainと結合する前置詞。

mountainを含む一般的な句。

● MOUNTAIN + NOUN
• chain, range
• area, country, environment, region Between the two towns was 50 miles of mountain country.
• height We crossed the rugged mountain heights.
• pass, path, road, route, track
• landscape, scenery
• crag, face, flank, peak, ridge, side, slope, top, valley, wall
• cave
• lake, stream
• air Many people come to the resort simply to enjoy the fresh mountain air.
● SICKNESS
• boot
• goat, gorilla, hare, sheep
● PREP.
• across/over/through the ~ a pass through the mountains down/up a/the ~ She arranged to meet the others halfway up the mountain, in the ~s This type of goat lives high up in the mountains.
● PHRASES
• the flank/side/slope of a mountain, the foot/bottom/top of a mountain
2 large amount/number of sth
● ADJ.
• great
• debt
• paper
• butter, food, etc. They revealed a solution to reduce Europe's butter mountain.
● VERB + MOUNTAIN
• generate
• reduce
● PHRASES
• a mountain of paper/paperwork The enquiry generated a mountain of paperwork.

・形容詞

famousの前に来
る動詞。

famous adj.
● VERBS
• **be**
• **become**
• **make sb/sth** The school was made famous by its association with Charles Dickens.
● ADV.
• **really, very**
• **quite**
• **internationally, locally** internationally famous rock stars
• **justly, rightly** The city is justly famous for its nightclubs.
● PREP.
• **as** He was famous as both a teacher and a scientist. **for** The town became famous for its lace.
● PHRASES
• **rich and famous** One day I'll be rich and famous, you'll see! **world famous** He became a world famous conductor.

famousと連語を
成す副詞。

famousの後ろに
続く前置詞。

famousを含む
一般的な句。

・動詞

remindと連語を
成す副詞。

remindの前
に来る動詞。

remindの後ろ
に続く前置詞。

remindを含む
一般的な句。

動詞句は、見出し
語の最後で別に取
り扱う。

remind verb
● ADV.
• **constantly, frequently, repeatedly**
• **gently** She gently reminded him that the baby was getting cold and should be taken indoors.
● VERB + REMIND
• **not have to, not need to** I'm sure I don't need to remind you that we have lost our last ten matches.
• **serve to** An event like this serves to remind us that we do not have control over nature.
● PREP.
• **about** I rang to remind him about the party.
• **of** She looked at her watch to remind him of the time.
● PHRASES
• **keep reminding sb**
● PHRASAL VERBS
• **remind sb of sb/sth**
● ADV.
• **forcefully, forcibly, sharply, strongly, vividly** The building reminded me strongly of my old school.

・見出し語のその他の特徴

コロケーション
pitch blackの使
用について、短い
使用上の注意によ
り制限を示す。

見出し語に関連す
る語の説明などが
NOTEとして収録
されている。

black adj.
● ADV.
• **very** The sky looks very black.
• **all** His hands were all black from messing about with the car.
● ADJ.
• **jet, pitch** (used about the night) She had beautiful jet-black hair. ◊ It was pitch black outside.

<NOTE

humorous, formal, low, figurative等のラベルの意味は201ページのスタイルラベルを参照ください。

abode noun

- ADJ.
 - **humble** (humorous) Welcome to my humble abode.
- VERB + ABODE
 - **take up your** (formal or humorous) I had been invited to take up my abode at Government House.
- PHRASES
 - **of no fixed abode** (law) (= without a permanent address) An 18-year-old man of no fixed abode appeared at Teesside magistrates court yesterday.
 - **the right of abode** (law) (= the right to live in a place)

個別の句の意味を短く説明する。

wilderness noun

- ADJ.
 - **last**
 - **great**
 - **barren, desert, desolate**
 - **frozen**
 - **uncharted**
 - **unspoilt**
 - **political** (figurative) the man who brought the party back from the political wilderness
- VERB + WILDERNESS
 - **transform** They transformed the wilderness into a garden.
 - **explore** They set out to explore the earth's last great wilderness, Antarctica.
- WILDERNESS + NOUN
 - **years** (figurative) His wilderness years (= when he was out of politics and the public eye) in the 1990s were spent in North America.
- PREP.
 - **in the ~** We were hopelessly lost in the wilderness.

etc.は、他の国名も、aristocracyと連語を成すことを示す。

aristocracy noun

- ADJ.
 - **British, French, etc.**
 - **landed, landowning**
 - **local**
- PHRASES
 - **a member of the aristocracy**

この辞典の使い方

この辞典は、英語の語義、発音、語源などを調べる辞典ではなく、各単語が習慣的にどのような語と結びついて用いられるかを、理解しやすい分類に従って検索するために編集された辞典です。そのため、一般的な英和辞典のもつさまざまな要素は最小限にとどめ、ほとんどを語と語の結びつきを示す用例の提示にあてています。この辞典を効果的にご利用いただくために、ぜひ以下の解説をお読みください。

I この辞典の構造

A 見出し語の種類とコロケーションの分類

本辞典では、主に次の3種類の見出し語がある。

- (1) 名詞
- (2) 動詞
- (3) 形容詞

この中では、名詞がいちばん数も記述も多く、以下、動詞、形容詞と続く。このことから、本辞典が名詞を中心にして、コロケーション (collocation) を集めた辞書であるという性格がご理解いただけると思う。

また、上記(1) - (3)のほかに、適宜、副詞、前置詞、代名詞なども扱うが、それらは数としてはあまり多くない。

以下に、上記(1)から(3)までの見出し語の下でどのようなタイプの用例を扱うか、その分類を個別に具体的に見ていく。

《注》用例中では、その見出し語自体は斜体で示し、見出し語と結びつく、その用例の核となる単語は太字で表記する。

1. 名詞見出し

a) 〈動詞+〉

その名詞を目的語に取る他動詞・他動詞句を、その動詞の原形のアルファベット順に配列する。

《注》〈動詞+〉で扱う動詞は、(1) 1語の他動詞、(2) 「他動詞+副詞」の句動詞、の2種が原則だが、(3) 「自動詞+前置詞」の組み合わせで他動詞的に用いられるものなどもここに含まれる。

b) (+動詞)

その名詞が主語になってどのような述語動詞を従えるかを、その動詞の原形のアルファベット順に配列する。

《注》(+動詞)で扱うものは、(1) 単独の[1語の]動詞のほかに、(2) 句動詞、(3) 動詞を含む成句、などがある。

c) 〈形容詞・名詞+〉

その名詞を修飾する形容詞、形容詞的に用いられる名詞・名詞句を、その形容詞(など)の原級のアルファベット順に配列する。

《注》〈形容詞・名詞+〉の項では、普通の形容詞・名詞のほかに形容詞的に用いられる過去分詞、現在分詞なども含める。

《注》名詞を修飾する形容詞および形容詞相当語句は限定用法だけでなく、叙述用法も含む。

d) 〈前置詞+〉

その名詞の前にどのような前置詞・前置詞句がくるかを、その前置詞・前置詞句のアルファベット順に配列する。

《注》〈前置詞+〉では、1語の前置詞のほかに、according to, because of, due to, instead of などの前置詞句も適宜ひとまとまりの前置詞として扱う。これは名詞見出しのみならず、動詞見出しの(前置詞)、形容詞見出しの(前置詞)においても同様。

e) 〈前置詞〉

その名詞の後にどのような前置詞・前置詞句がくるかを、その前置詞・前置詞句のアルファベット順に配列する。

2. 動詞見出し

a) 〈副詞 1〉

その動詞を修飾する一般的な副詞を、その副詞のアルファベット順に配列する。

b) 〈副詞 2〉

about, along, down, in, off, on, out, over, through, up など、副詞にも前置詞にも用いることが可能で副詞として用いられている一群の副詞を、その副詞のアルファベット順に配列する。

c) 〈前置詞〉

その動詞と結びつく前置詞・前置詞句を、その前置詞・前置詞句のアルファベット順に配列する。

3. 形容詞見出し

a) 〈副詞〉

その形容詞を修飾する副詞・副詞句を、その副詞・副詞句のアルファベット順に配列する。

b) 〈前置詞〉

その形容詞と結びつく前置詞・前置詞句を、その前置詞・前置詞句のアルファベット順に配列する。

B 統語的結合について

上記IAの「コロケーションの分類」とは別に、英語を書く際に参考になると思われる下記の統語的結合を、必要と思われる見出し語について、正規のコロケーションの分類の後ろに表記する。

1. 名詞見出し

a) 〈+to do〉

to 不定詞が名詞に対して形容詞的に付加されるもので、原則として次の3種類。(1) 動詞との派生で関連する名詞に対して付加され、その動詞の意味に対して目的語または副詞的限定語の関係にあるもの、(2) 形容詞との派生で関連する名詞に付加され、その意味に対し副詞的限定語の関係にあるもの、(3) 「意向・権能・手段・時機・理由」などを意味する名詞に付加されてその意味を限定するもの。

b) 〈+that節〉

that 節が、名詞に続いて、その名詞の内容を述べる同格節をなしたり、その名詞に含まれる動詞的意味の対象を述べたりするもの。

c) 〈+wh.〉

疑問の内容を表わす wh-word が名詞のあとに続く場合。wh-に導かれる陳述が従節の形式をなす場合もあり、また to 不定詞を用いた名詞句の形式で表わされる場合もある。

2. 動詞見出し

a) (+to do)

動詞が他動詞で、その目的語として to 不定詞を取るものと、動詞が自動詞で、to 不定詞がその補語または副詞的修飾語となっているものを扱う。また、便宜上、「+目的語+to do」の形式(動詞が目的語とさらに目的補語としての to 不定詞を従えるもの)もこの項目で扱う。

b) (+doing)

動名詞を目的語に取る他動詞を扱う。また、便宜上、「+目的語+doing」の形式もこの項目で扱う。後者にあつては、doing は動名詞で、前の目的語がその動詞に対して論理上の主語と見なされるものと、現在分詞で、目的補語として用いられている場合とがある。

c) (+that節)

接続詞 that に導かれる従節を扱う。

d) (+wh.)

wh-word が主として他動詞の目的語となっている従節を導く場合を扱う。ここで扱う wh-word は、what, who (whom, whose), which, when, where, why, how, whether のほかに if など含まれる。

e) (+ -self)

再帰代名詞 (-self) を目的語に取る動詞を扱う。

f) (+補)

主格補語を従える動詞、および目的補語を従える動詞を扱う。

3. 形容詞見出し

a) (+to do)

形容詞のあとに to 不定詞が続く形を扱う。この型では、to 不定詞は、(1) 形容詞の意味の適応範囲を制限したり、その対象を示したりするもの、(2) 形容詞の意味に対して原因や理由を表わすもの、などがある。

b) (+that節)

形容詞のあとに、対象や原因などとなる事柄を述べる that 節が続く場合を扱う。接続詞の that は比較的平易な文で特に日常多く用いられる形容詞のあとではしばしば省略される。

c) (+wh.)

what, who (whom, whose), which, when, where, why, how, whether のほかに if などに導かれる節および句を扱う。

C (雑)について

各見出し語は、その品詞に応じて、指定された分類の用例を掲載し、なおかつ必要な場合は、その後さらに「統語的結合」欄を配してある。しかし、指定の分類にも「統語的結合」にもうまく収まらないが、その見出し語にとっては重要と思われる句や表現もある。それらの表現は、各見出し語のいちばん最後に(雑)という欄を設け、そこに収録する。

II 凡例

A 見出し語

見出し語はアルファベット順に配列してある。この辞典の性質上、同一の単語であっても、品詞が異なる場合は、名詞、動詞、形容詞の順に別見出しとして配列し、見出し語の右肩に小文字で番号を付けて区別した。

average¹ *n.* 平均; 標準.

average² *v.* 平均すると…である.

average³ *adj.* 平均の, 並みの.

つづり字が米英で異なるときは米式のつづりを前に、英式のつづりを後ろに置く。

color¹, (英) **colour** *n.* (1) 色, 色彩; 色合; 絵の具; 血色; 紅潮; ….

color², (英) **colour** *v.* 彩色する, 染める, 塗る; 潤色する; 顔を赤らめる.

また、見出し語に異つづりがある場合は、以下のように一般的なつづりを前に置き、併記した。

omelet, omelette *n.* オムレツ.

B 品詞表示

見出し語の品詞は、太字で示した見出し語の直後に斜体で示した。本辞典で用いている品詞表示は以下のとおり。

n. …noun 名詞

v. …verb 動詞

adj. …adjective 形容詞

上記のほかに、少数だが以下の品詞表示も用いられている。

adv. …adverb 副詞

pron. …pronoun 代名詞

prep. …preposition 前置詞

int. …interjection 間投詞

C 語形変化

名詞見出しの複数形は原則として表示しない。ただし、-o で終わる名詞、ギリシャ・ラテン語系の語の複数語尾などは使用者の便を考慮して適宜表記した。

aficionado *n.* (*pl.* ~s) 愛好者, ファン.

analysis *n.* (*pl.* -ses) 分析; 精神分析.

antenna *n.* (*pl.* ~s) アンテナ; (*pl.* -nae, ~s) [(動物) 触角, (カタツムリの) 角].

appendix *n.* (*pl.* ~es, -dices) 付録; 盲腸.

aura *n.* (*pl.* ~s, *aurae*) 雰囲気, 香気, 感じ, 輝き.

動詞・形容詞・副詞などの語形変化は表示しない。

D 語義

1. 本辞典での語義の扱い

本辞典は一般の英和辞典と異なり、単語の意味を調べる辞典ではない。従って、見出し語のあとに表記する訳語は、見出し語のもつすべての語義を網羅した、語の厳密な意味での definition ではなく、以下に列挙される用例全体を見渡しての「意味の indicator (指標)」と考えていただきたい。

2. 語義の区分

類似した語義の言い換え・羅列はコンマ(,)で区切り、意味が大きく離れるときはセミコロン(;)で区切る。

use² *v.* 用いる, 利用する; 消費する; 扱う。

そして、語の意味が大きく複数に分かれるときは適宜(1)(2)…と分類した。

end¹ *n.*

(1) 端, 末, 終わり, 最後; 死。

.....
(2) 目的, 成果。
.....

E 用例について

1. 用例順

用例は別画面で表示するようにし、太字で表記した語の原形・原級のアルファベット順に配列した。

2. 用例間の区切り

各用例は改行によって区切る。

3. 【類】について

用例にはすべて日本語訳を与えるのを原則とする。ただし、1つの用例とほぼ同一の、もしくは類似した用法の例が続く場合、【類】として英語のみ表記し、日本語訳を省いた。その場合は、直前の用例の訳を参照されたい。

4. 引用

聖書・文学作品などからの引用は以下の書式で表記した(別記「英訳聖書書名の略形」および「シェイクスピア作品名の略形」を参照)。

《注》ただし、引用された用例が原典とずれている場合には、以下のように (cf. …) を加えて注意を喚起した。

その他の引用は適宜日本語訳の後に示した。

5. 用例中の one, sb および sth について

用例中でさまざまに入れ替えが可能な「人」あるいは「もの」を表示して、one/one's 《主語と同一人のとき》, sb (=somebody)/sb's (=somebody's) 《主語と異なる人のとき》, sth(=something), またその所有格としての sth's を用いる。

go fishing on one's *day off* 休みの日に釣りに行く

come **to** an *arrangement* with sb about… …について人と話がまとまる

order sb's *arrest* 人の逮捕を命じる

examine sth **from** a *scientific aspect* ものを科学的な面から調べる

F さまざまな指示・記号について

1. 単数・複数扱い

[単数扱い]……複数形の見出し語、またはその語義の一部が単数扱いされることを示す。

[複数扱い]……複数形の見出し語、またはその語義の一部が複数扱いされることを示す。

acoustics *n.* [単数扱い]音響学; [複数扱い]音響効果.

[*pl.*]……見出し語, またはその語義の一部が複数形で用いられることを示す. 特に断りのないときは「複数扱い」.

[*sing.*]……見出し語, またはその語義の一部が単数形で用いられることを示す. 特に断りのないときは「単数扱い」.

effect *n.* (3) [*pl.*] 家財, 動産.

《注》この際, [通例 *pl.*] [しばしば *pl.*] などの修飾語がつくことがある.

2. 専門語表記

専門語の表示には〔 〕を用いる. 〔物理〕〔経済〕〔電算〕〔動物〕などのようにできるだけ明示的に表記したので, 特に専門語表示一覧表は設けなかった. なお, 〔商標〕〔掲示〕〔号令〕なども, 便宜的に同じ記号を使って表記した.

illegal entry 〔法律〕(住居)不法侵入

No entry by this door. 〔掲示〕この入口からは入れません

No entry for unaccompanied children. 〔掲示〕付き添いのないお子さまの入場お断り

G 語の使用域・スピーチレベルについて

本辞典で使用している使用域ならびにスピーチレベルは原則的に以下のとおり.

《米》《英》《口語》《文語》《卑》《戯言》《諺》《小児語》《反語》
《皮肉》《比喩》《婉曲》

《注1》《米》《英》などの使用域は絶対的なものではなく, 「主として米で用いられる」「主として英で用いられる」の意で

用いていることが多い.

《注2》用例はスピーチレベルを付していない標準的なものを中心に, より文語的な表現, より形式ばった表現, より堅い書き言葉的な表現などに対して《文語》という表示をつけた. そして逆に, より口語的な表現, よりくだけた表現, より話し言葉的な表現などに対して《口語》という表示をつけた. なお, 本辞典では《俗語》という表示は採用していない. これは, 《口語》と《俗語》との境界線はきわめて不分明であることに加え, 《俗語》は時の経過とともに《口語》に移行することが多いので, 俗語的表現のうち日本人にとって有用と思われるものに《口語》という指示をつけて表記し, 反対に, あまりに俗語的と思われる表現については, これを一般の英和辞典に譲って, 本辞典では取り扱わなかった.

H 記号の使用法

1. () について

a) 省略可能な語句に用いる. たとえば

He is *efficient in* (performing) his duties. は “He is *efficient in* performing his duties.” と “He is *efficient in* his duties.” の意.

b) 訳語などの補足説明に用いる.

These photographs are very good for a **first effort**. 初めて(カメラを手にした)にしてはこれらの写真は見事だ

2. [] について

言い換えに用いる。たとえば

in good [poor] health は “in good health” または “in poor health” の意。

3. () について

補足説明に用いる。

pack¹ *n.*

(形容詞・名詞+) …a **day pack** デイパック (日帰り用の小型ナップザック)…

英訳聖書 (A.V.) 書名の略形

<i>Acts</i>	<i>The Acts of the Apostles</i>
<i>Amos</i>	<i>Amos</i>
<i>1 Chron.</i>	<i>The First Book of the Chronicles</i>
<i>2 Chron.</i>	<i>The Second Book of the Chronicles</i>
<i>Col.</i>	<i>The Epistle of Paul the Apostle to the Colossians</i>
<i>1 Cor.</i>	<i>The First Epistle of Paul the Apostle to the Corinthians</i>
<i>2 Cor.</i>	<i>The Second Epistle of Paul the Apostle to the Corinthians</i>
<i>Dan</i>	<i>The Book of Daniel</i>
<i>Deut.</i>	<i>The Fifth Book of Moses, called Deuteronomy</i>
<i>Eccles.</i>	<i>Ecclesiastes, or the Preacher</i>
<i>Ephes.</i>	<i>The Epistle of Paul the Apostle to the Ephesians</i>
<i>Esth.</i>	<i>The Book of Esther</i>
<i>Exod.</i>	<i>The Second Book of Moses, called Exodus</i>
<i>Ezek.</i>	<i>The Book of the Prophet Ezekiel</i>
<i>Ezra</i>	<i>Ezra</i>
<i>Gal.</i>	<i>The Epistle of Paul the Apostle to the Galatians</i>
<i>Gen.</i>	<i>The First Book of Moses, called Genesis</i>
<i>Hab.</i>	<i>Habakkuk</i>
<i>Hag.</i>	<i>Haggai</i>
<i>Heb.</i>	<i>The Epistle of Paul the Apostle to the Hebrews</i>
<i>Hos.</i>	<i>Hosea</i>
<i>Isa.</i>	<i>The Book of the Prophet Isaiah</i>
<i>James</i>	<i>The General Epistle of James</i>
<i>Jer.</i>	<i>The Book of the Prophet Jeremiah</i>

<i>Job</i>	<i>The Book of Job</i>
<i>Joel</i>	<i>Joel</i>
<i>John</i>	<i>The Gospel according to St. John</i>
<i>1 John</i>	<i>The First Epistle General of John</i>
<i>2 John</i>	<i>The Second Epistle of John</i>
<i>3 John</i>	<i>The Third Epistle of John</i>
<i>Jonah</i>	<i>Jonah</i>
<i>Josh.</i>	<i>The Book of Joshua</i>
<i>Jude</i>	<i>The General Epistle of Jude</i>
<i>Judges</i>	<i>The Book of Judges</i>
<i>1 Kings</i>	<i>The First Book of the Kings</i>
<i>2 Kings</i>	<i>The Second Book of the Kings</i>
<i>Lam.</i>	<i>The Lamentations of Jeremiah</i>
<i>Lev.</i>	<i>The Third Book of Moses, called Leviticus</i>
<i>Luke</i>	<i>The Gospel according to St. Luke</i>
<i>Mal.</i>	<i>Malachi</i>
<i>Mark</i>	<i>The Gospel according to St. Mark</i>
<i>Matt.</i>	<i>The Gospel according to St. Matthew</i>
<i>Mic.</i>	<i>Micah</i>
<i>Nah.</i>	<i>Nahum</i>
<i>Neh.</i>	<i>The Book of Nehemiah</i>
<i>Num.</i>	<i>The Fourth Book of Moses, called Numbers</i>
<i>Obad.</i>	<i>Obadiah</i>
<i>1 Pet.</i>	<i>The First Epistle General of Peter</i>
<i>2 Pet.</i>	<i>The Second Epistle General of Peter</i>
<i>Philem.</i>	<i>The Epistle of Paul to Philemon</i>
<i>Philip.</i>	<i>The Epistle of Paul the Apostle to the Philippians</i>

<i>Prov.</i>	<i>The Proverbs</i>
<i>Ps.</i>	<i>The Book of Psalms</i>
<i>Rev.</i>	<i>The Revelation of St. John the Divine</i>
<i>Rom.</i>	<i>The Epistle of Paul the Apostle to the Romans</i>
<i>Ruth</i>	<i>The Book of Ruth</i>
<i>1 Sam.</i>	<i>The First Book of Samuel</i>
<i>2 Sam.</i>	<i>The Second Book of Samuel</i>
<i>Song of Sol.</i>	<i>The Song of Solomon</i>
<i>1 Thess.</i>	<i>The First Epistle of Paul the Apostle to the Thessalonians</i>
<i>2 Thess.</i>	<i>The Second Epistle of Paul the Apostle to the Thessalonians</i>
<i>1 Tim.</i>	<i>The First Epistle of Paul the Apostle to Timothy</i>
<i>2 Tim.</i>	<i>The Second Epistle of Paul the Apostle to Timothy</i>
<i>Titus</i>	<i>The Epistle of Paul to Titus</i>
<i>Zech.</i>	<i>Zechariah</i>
<i>Zeph.</i>	<i>Zephaniah</i>

外典 (Apocrypha)

<i>Baruch</i>	<i>Baruch</i>
<i>Bel and Dragon</i>	<i>The History of the Destruction of Bel and the Dragon</i>
<i>Ecclus.</i>	<i>The Wisdom of Jesus the Son of Sirach, or Ecclesiasticus</i>
<i>1 Esd.</i>	<i>I. Esdras</i>
<i>2 Esd.</i>	<i>II. Esdras</i>

<i>Judith</i>	<i>Judith</i>
<i>1 Macc.</i>	<i>The First Book of the Maccabees</i>
<i>2 Macc.</i>	<i>The Second Book of the Maccabees</i>
<i>Pr. of Man.</i>	<i>The Prayer of Manasses</i>
<i>Rest of Esther</i>	<i>The Rest of the Chapters of the Book of Esther</i>
<i>Song of Three Children</i>	<i>The Song of the Three Holy Children</i>
<i>Susanna</i>	<i>The History of Susanna</i>
<i>Tobit</i>	<i>Tobit</i>
<i>Wisd. of Sol.</i>	<i>The Wisdom of Solomon</i>

Shakespeare 作品の略形


<i>All's W</i>	<i>All's Well That Ends Well</i>
<i>Antony</i>	<i>Antony and Cleopatra</i>
<i>As Y L</i>	<i>As You Like It</i>
<i>Caesar</i>	<i>Julius Caesar</i>
<i>Corio</i>	<i>Coriolanus</i>
<i>Cymb</i>	<i>Cymbeline</i>
<i>Errors</i>	<i>The Comedy of Errors</i>
<i>Hamlet</i>	<i>Hamlet</i>
<i>1 Hen IV</i>	<i>1 Henry IV</i>
<i>2 Hen IV</i>	<i>2 Henry IV</i>
<i>Hen V</i>	<i>Henry V</i>
<i>1 Hen VI</i>	<i>1 Henry VI</i>
<i>2 Hen VI</i>	<i>2 Henry VI</i>
<i>3 Hen VI</i>	<i>3 Henry VI</i>

<i>Hen VIII</i>	<i>Henry VIII</i>
<i>John</i>	<i>King John</i>
<i>Kinsmen</i>	<i>The Two Noble Kinsmen</i>
<i>Lear</i>	<i>King Lear</i>
<i>Love's L L</i>	<i>Love's Labour's Lost</i>
<i>Lucrece</i>	<i>The Rape of Lucrece</i>
<i>Macbeth</i>	<i>Macbeth</i>
<i>Measure</i>	<i>Measure for Measure</i>
<i>Merch V</i>	<i>The Merchant of Venice</i>
<i>Merry W</i>	<i>The Merry Wives of Windsor</i>
<i>Mids N D</i>	<i>A Midsummer Night's Dream</i>
<i>Much Ado</i>	<i>Much Ado about Nothing</i>
<i>Othello</i>	<i>Othello</i>
<i>Pericles</i>	<i>Pericles</i>
<i>Rich II</i>	<i>Richard II</i>
<i>Rich III</i>	<i>Richard III</i>
<i>Romeo</i>	<i>Romeo and Juliet</i>
<i>Shrew</i>	<i>The Taming of the Shrew</i>
<i>Sonnets</i>	<i>Sonnets</i>
<i>Tempest</i>	<i>The Tempest</i>
<i>Timon</i>	<i>Timon of Athens</i>
<i>Titus</i>	<i>Titus Andronicus</i>
<i>Troilus</i>	<i>Troilus and Cressida</i>
<i>Twel N</i>	<i>Twelfth Night</i>
<i>Two Gent</i>	<i>The Two Gentlemen of Verona</i>
<i>Venus</i>	<i>Venus and Adonis</i>
<i>Winter's</i>	<i>The Winter's Tale</i>

英文ビジネスレター事典

この事典は、キーワードで引く英文ビジネスレター表現集を中心に、レター作成に欠かせない基礎知識、ビジネスの各場面に応じたモデルレター、さらに、最近のビジネスシーンに対応したファクス・Eメールのレターの書き方から成っています。

● キーワードで引く英文ビジネスレター表現集

使用頻度の特に高い表現は決まり文句として分かりやすく掲げています。項目のほとんどに解説を設けて、ビジネスレターで用いる際の注意やそれぞれの語・表現のニュアンスの違い、語法解説などを施してあります。また、類義表現を  で示して相互参照(ジャンプ)できるようにしています。


決まり文句では、代名詞が一人称の場合、便宜的に we/our/us で統一して示してあります。また、that 節が続くものは that が省略可能なものでも that を入れてあります。

● 用いている記号類について

() : 補足説明、または省略可能

[] : 直前の語句と言い換え可能

/ : 同義の語句や表現の並記

 : 参照

● 英文ビジネスレターの基礎知識

英文ビジネスレターを作成するに当たって、心得ていなければならない基本的な知識について解説しています。

● モデルレター30例

合計30の英文ビジネスレターの文例を紹介しています。ここで取り上げたものは、ビジネスの各場面で用いられる模範的な代表例で、実際の状況に即して応用のきく文面になっています。POINTにその項目のレターを作成するにあたって押さえるべき重要なポイント、語釈と応用例に重要な表現、注意を要する表現の語釈と言い換え例を示しています。

● ファクス・Eメールのレター

特にEメールでメッセージを送るときに注意すべき事項や、知っておくと便利な事柄を中心に解説し、ファクス2例、Eメール8例の文例を紹介しています。

編集方針

- 1、この辞典は、国語辞典であるとともに、学術専門語ならびに百科万般にわたる事項・用語を含む中辞典として編修したものである。ことばの定義を簡明に与えることを主眼としたが、語源・語法の解説にも留意した。収載項目は約23万である。
- 2、国語項目は、現代語はもとより、古代・中世・近世にわたってわが国の古典にあらわれる古語を広く収集し、その重要なものを網羅した。漢語・外来語のほか、民俗語・方言・隠語・慣用語・俚語の類についても、その採録に意を用いた。
- 3、わが国語のうち最も基礎的と思われる語約1000を選んで、その語義・用法などを特に詳述した。
- 4、国語項目の解説に当っては、つとめて古典から文例を引用し、また、現代語の作例を多く掲げ、語の用法を実地に示した。また、仮名遣いや発音を定めるに当っては、古辞書・訓点本の類に照らして正確を期した。
- 5、現代一般に用いられる、造語能力を有する漢字約3200を項目として掲げ、意味とそれぞれの熟語例を示した。
- 6、語源・語誌は、編者の説を中心にして諸家の説をも参酌し、要約して注記した。必要に応じて、漢語にはその出典を、外国語の訳語にはその原語を掲示した。
- 7、百科的事項の収載範囲は、哲学・宗教、歴史・地理、政治・法律・経済、教育、数学・自然科学・医学、産業・技術・交通、美術・芸能・体育・娯楽、語学・文学などの万般にわたり、地名・人名・書名・曲名・年号などの固有名詞にも及ぶ。わが国の人名は物故者に限った。
- 8、系図・組織図・一覧表など約100表を掲げ、解説文の理解を助

けるよう配慮した。

(220~259ページの「広辞苑(付表・図)」に収録)

見出し語

<仮名遣い>

原則として『現代仮名遣い』(1986年7月内閣告示)の方式に従った。

(1) 和語・漢語には平仮名を、外来語には片仮名を用いた。

例) ま - ぢか【間近】 つづ・<【続<】

クラブ【club・倶楽部】

(2) 歴史的仮名遣いが現代仮名遣いと相違するものは、その相違する部分を見出し語の横に片仮名で記し、相違しない部分は「…」で略した。

例) うわ - ぢょうし【上調子】ウハデウ…

(3) 外来語の片仮名表記については『外来語の表記』(1991年6月内閣告示)を参考とした。中国の地名・人名は一般に漢字音によったが、現代地名・人名は、原音音のローマ字表記を解説の冒頭に記した場合がある。

※ 長音を表すには「ー」を用いた。

※ 外国の固有名詞、および、外国語の感じが多分に残っている語に限って〔v〕の音は「ヴ」の仮名で表した。

<見出し語の区切り>

(1) 語構成を示すため、語源上からこれを二つの基本部分に分け、「-」でつないだ。語によっては、三つ以上に区分したものもある。

例) う - の - はな【卯の花】

語源を確定しがたい場合、また、語形の変化によって区分しが

たい場合は、「-」を付さなかった。

例) やよい【弥生】ヤヨヒ(イヤオヒの転)

(2) 人名は姓氏と名との間で区切り、地名は「山」「川」「橋」などが付く場合、その直前で区切ったが、その他の地名・作品名・年号などの固有名詞は原則として区切らなかつた。

(3) 活用する語は、原則としてその終止形を見出し語とし、語幹と語尾との間に「・」を付した。その位置が語構成を示す「-」と合致する時は、「・」のみを付した。

例) うれし・い【嬉しい】《形》

<表記形>

【 】の中に、見出し語の仮名に相当する漢字または外国語の綴りを示した。

・漢語・和語

(1) 相当する漢字がいくつかある場合は、現代標準的と思われるものをもって代表させた。この際、『同音の漢字による書きかえ』(1956年7月 国語審議会報告)などを参照した。

※ 「弘報」(コウホウ)と「広報」(クワウホウ)のように、字音仮名遣いが異なるものは、別項として扱った。

(2) 送り仮名は、現代語は現代仮名遣い、古語は歴史的仮名遣いに従って施した。『送り仮名の付け方』(1981年10月 内閣告示)に示された原則に準拠しつつ、旧来の慣行をも考慮して送った。

例) おもい【思い】オモヒ

おもい - わた・る【思ひ渡る】オモヒ・

・外来語

(3) 外来語については、わが国に直接伝来したと考えられる原語を掲げ、その言語名を注記した。英語の場合は一般にその注記

を省略した。また、ギリシア語・ペルシア語・ロシア語などは適宜ローマ字綴りに直した。漢字を当てる慣行の定着している語にはこれを並記した。

例) ガス【gas オランダ・イギリス・瓦斯】

中国語および漢字の当たる梵語・朝鮮語などの場合は、【 】内にその漢字を掲げ、適宜、原語音をローマ字で注記した。

例) チョンガー【総角】(朝鮮語ch'onggakの転)

(4) 外国語の固有名詞には原則として言語名を注記せず、解説の叙述で分るようにした。人名の場合は姓だけでなく名をも示し、また、原語における冠詞の類は多く省略した。

例) カント【Immanuel Kant】ドイツの哲学者。

(5) 原語音からいちじるしく転訛した外来語、または外国語に擬してわが国で作られた語には、その綴りを【 】内に入れず、()内に注記した。

例) ミシン(sewing machine の略訛)

(6) 片仮名で表記した外来語と平仮名で表記した和語・漢語との複合した語は、その片仮名に相当する部分を「-」で示し、必要に応じてその複合語に相当する外国語を注記した。

例) エーゲ - かい【一海】(Aegean Sea)

<品詞の表示>

品詞の別は、略語をもって《 》内に示した。

略語については後述の“品詞略語表”“活用の種類略語表”を参照のこと。

(1) 名詞および連語には、原則として品詞の表示を省略した。

(2) 動詞には自動詞・他動詞の別ならびに活用の種類を、文語形容詞には活用の種類を示した。

※ 動詞の四段活用・五段活用については、文語としての用法しか認められない語に限って、四段活用とした。

〔品詞略語表〕

《名》	名詞
《代》	代名詞
《自》	自動詞
《他》	他動詞
《形》	形容詞
《連体》	連体詞
《副》	副詞
《助動》	助動詞
《助詞》	助詞
《接続》	接続詞
《接頭》	接頭語
《接尾》	接尾語
《感》	感動詞
《枕》	枕詞

〔活用の種類略語表〕

五	五段活用
四	四段活用
上一	上一段活用
上二	上二段活用
下一	下一段活用
下二	下二段活用
カ変	カ行変格活用
サ変	サ行変格活用
ナ変	ナ行変格活用
ラ変	ラ行変格活用
ク	ク活用
シク	シク活用

＜文語形と口語形＞

活用語は、口語形見出しの下に、文語の用法をも併せて解説した。文語形のみあって、口語形が普通には行われない語については、その限りでない。

(1) 口語形項目には、解説の冒頭に、対応する文語形を **文** として示した。ただし、文語・口語同形の場合は省いた。

例) し・いる【強いる】シヒル

《他上一》**文** し・ふ(上二)

(2) 文語形・口語形の見出しが排列上相並ぶ場合は、文語形見出しを立てなかった。また、口語形サ変動詞についても、その文語形見出しを省略した。

見出し語の排列

＜五十音順＞

現代仮名遣いの五十音順により排列した。

(1) 清音・濁音・半濁音の順に置いた。

例) へん - き【騙欺】

べん - き【便器】

べん - ぎ【便宜】

ペンキ【番瀝青】

(2) 促音(そくおん)・拗音(ようおん)は、直音の前に置いた。

例) さっ - き【撮記】

さ - つき【五月】

ざっ - き【雑器】

ざ - つき【座付】

(3) 長音符「ー」は、すぐ上の片仮名の母音(ア・イ・ウ・エ・オのいずれか)を繰り返すものと見なして、その位置に排列した。

例) コーヒーはコオヒイの位置に置く。

＜同音の語の排列＞

見出し語の仮名表記が全く同じである場合は、順次つぎの基準に従って排列した。

(1) 品詞の順—名詞、代名詞、動詞、形容詞、連体詞、枕詞、副詞、助動詞、助詞、接続詞、接頭語、接尾語、感動詞の順に排列した。

連語は、体言相当のものは体言の、用言相当のものは用言の後に置いた。

(2) 和語・漢語・外来語の順—品詞を同じくする場合は、一般に和語を前に、字音語を後に置いた。外来語は、その原語の品詞にかかわらず、名詞の末尾に排列した。

同音の語は、【 】内の首字の字画数の順に並べた。

- (3) 普通名詞・固有名詞の順—地名・人名・作品名・年号など固有の名称は、原則として同音同字の他の名詞と項目を併せず、別に見出しを立ててその次に並べた。これら二つの項目が排列順位の上で離れる場合には、普通名詞の項目の解説末尾に(地名別項)(書名別項)などと注記した。

<親項目と複合語>

複合語は、語構成上の最初の部分が見出し語として掲げてある場合には、それを親項目としてその中にまとめた。ただし、一語意識のつよい語は独立した見出し語とした。

- (1) 親項目は、見出し語の仮名が三字以上(促音・拗音などを表す仮名も字数に算入)から成る語に限った。ただし、漢字一字の字音語は親項目としない。

※ わが国の姓氏の項目に限り、二字以下の場合も親項目とした。

- (2) 固有名詞を冠した複合語は、それが普通名詞であっても、その固有名詞を親項目とした複合語とした。人名の場合は、姓氏を親項目としてまとめた。

例) おうみ【近江】アフミ…旧国名。

おうみ - あきんど【近江商人】アフミ…

おうみ - おんな【近江女】アフミランナ

<成句>

その最初の単語を見出しとする項目の中にまとめた。

- (1) 見出しは、漢字・仮名まじり、現代仮名遣いで表記し、その五十音順に並べた。

解 説

<本文の表記>

- (1) 説明の本文は現代仮名遣いに従って表記した。動植物名・外来語、また、発音や語形を示す場合は、適宜に片仮名を用いた。
(2) 漢字の字体は、常用漢字ならびに人名用漢字はいわゆる新字体を、他は広く通用している字体を採用した。

<語釈の区分>

語義がいくつかに分れる場合には、原則として語源に近いものから列記した。

- (1) 区分を明らかにするため、①②③…の番号を付した。さらに大きく分類する場合は①②③…の番号を、細かく区分する場合は㉞㉟㊱…の符号を用いた。
(2) 一つの項目を二つ以上の品詞あるいは活用の種類に分けて解説する時は、それぞれの品詞・活用表示の前に㊲㊳㊴…の番号を付した。

<術語の分類>

専門学術用語には、その分野を明らかにするため、必要に応じて、解説の冒頭に〔 〕でかこんでその語の分類略語を標示した。

〔学術語・専門語略語表〕

〔哲〕	哲学	〔法〕	法律
〔論〕	論理学	〔経〕	経済
〔心〕	心理学	〔教〕	教育
〔宗〕	宗教	〔社〕	社会学
〔仏〕	仏教	〔美〕	美学・美術
〔神〕	神話	〔言〕	言語・音韻
〔史〕	歴史	〔文〕	文学

〔音〕 音楽
〔数〕 数学
〔理〕 物理
〔化〕 化学
〔天〕 天文
〔気〕 気象
〔地〕 地学
〔生〕 生物

〔植〕 植物
〔動〕 動物
〔医〕 医学・薬学
〔機〕 機械工学
〔電〕 電気工学
〔農〕 農林
〔建〕 建築・土木

<用 例>

語義の理解を助けるため、つとめて用例を掲げた。

- (1) 古典からの引用に当たっては、原典の仮名を漢字に、または漢字を仮名に改め、漢文を読み下しにするなど、かならずしも原文のままではない。
- (2) 用例中、語句の一部を省略した場合は、「…」で示した。また、難解の語句には、()でかこんで注釈を施した。
- (3) 引用古典の書名の巻名・章段名などは()でかこんで付記した。
- (4) 引用古典には、下記のようにジャンル名を略称で記したものがあ

浮、	浮世草子	洒、	洒落本
伎、	歌舞伎	浄、	浄瑠璃
黄、	黄表紙	新内、	新内節
狂、	狂言	伽、	御伽草子
幸若、	幸若舞曲	人、	人情本
滑、	滑稽本	謡、	謡曲

- (5) 見出し語に相当する部分は「一」で略した。活用語の場合は、語幹を「一」で表し、「・」をつけて活用語尾を送った。ただし、語幹と語尾とを分けにくい場合は「一・」を用いなかった。

<典拠>

- (1) 仮名遣いや清濁その他発音などに関して、古辞書・訓点本の類を典拠として掲げる場合は、原文のまま引用した。「日葡辞書」「和英語林集成」(略称「ヘボン」)のローマ字書きは片仮名にうつした。原文を引く必要のない時は< >にかこんで単に書名のみを示した。

<漢語の出典>

漢語または諺(ことわざ)の類には、必要と認めた場合、漢籍の出典を[]でかこんで解説の冒頭に掲げた。原典名の横に篇・章名を付した。

例) ふ - わく【不惑】…②〔論語(為政)「四十而不惑」〕年齢40歳をいう。

<字音の注記>

見出し項目に掲げた一字の漢字について、その字音が一般に二種以上用いられているものには、(呉音)などと字音の種類を注記した。漢音の場合は原則としてこれを省略した。

<漢字の使い分け>

【 】内に二つ以上の漢字表記があって、語義によって使い方が異なる場合は、語義区分の直後に< >で囲んで、該当する漢字を掲げた。また、項目末尾に◇を付して、現代よく使う漢字の使い分けを説明した場合がある。

<季 語>

基本的な季語約3500を選び、解説末尾に< 季 春 >のように、新年・春・夏・秋・冬の季節を示した。

(2) 類書その他に説くところに依拠して解説を施した場合には、解説末尾に、()でかこんでその書名を注記した。

<その他>

(1) ()内に示した西暦紀年は、人名の場合は生没年、年号の場合はその行われた期間、その他、在位・在職期間などを表す。原則として1872年(明治5)以前の西暦と和暦(旧暦)との月・日のずれは無視した。

(2) 国・都道府県・都市の人口は、必要と思われるものにのみ記した。わが国に関するものは、自治省行政局編『平成9年住民基本台帳人口要覧』による数字である。外国に関するものは、国際連合編『世界人口年鑑』1995年版により、調査年次を()内に注記した。中国の場合など、これ以外の資料を参照したものも若干ある。

(3) 外国の作品名や学術語の邦語訳には、その原語を()でかこんで解説の冒頭に掲げた。

(4) ノーベル賞受賞者、文化勲章受章者については、解説末尾に「ノーベル賞」「文化勲章」と記した。

(5) 参照記号

⇒ 解説: 解説はその項目を見よ

⇒ その項目を参照せよ

↔ 対語・反義語

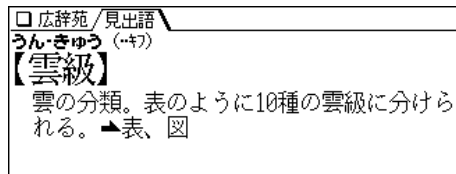
➡ 表、図 取扱説明書の付表や図を参照

(6) 解説末尾に▽を付して、現代語の用法についての注記をした場合がある。

広辞苑 (付表、図)

広辞苑の詳細画面で「➡表、図」と表示された場合は、下記のさくいんを参考にして該当する見出し語の付表や図を参照してください。

【例】「うんきゅう【雲級】」の詳細画面



さくいん

あ行	221ページ	は行	248ページ
か行	224ページ	ま行	254ページ
さ行	230ページ	や行	256ページ
た行	240ページ	ら行	257ページ
な行	245ページ	わ行	259ページ

本章には、書籍版の広辞苑第五版に掲載の図や表を収録しております。

これらの内容は、書籍版の広辞苑第五版が出版された後、変更されることがあり、実情とは異なる場合があります。

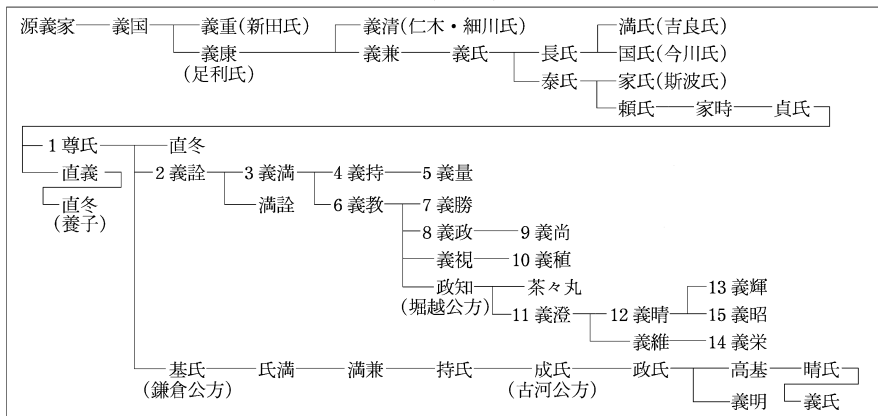
【アイビーリーグ】

アイビーリーグ

大学名	所在地	創立年
ハーヴァード	マサチューセッツ州ケンブリッジ	1636
イェール	コネチカット州ニュー・ヘブレン	1701
ペンシルヴァニア	ペンシルヴァニア州フィラデルフィア	1740
プリンストン	ニュー・ジャージー州プリンストン	1746
コロンビア	ニュー・ヨーク州ニュー・ヨーク	1754
ブラウン	ロード・アイランド州プロヴィデンス	1764
ダートマス	ニュー・ハンプシャー州ハノーヴァー	1769
コーネル	ニュー・ヨーク州イサカ	1865

【足利】

足利(略系図)



数字は將軍の代数

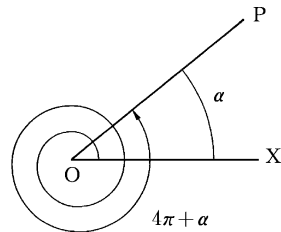
【位階】

位階(大宝令・養老令)

親王	諸王・諸臣	勲位	親王	諸臣	勲位
一品	正一位 従一位			正六位上 正六位下	勲七等
二品	正二位 従二位			従六位上 従六位下	勲八等
三品	正三位 従三位	勲一等 勲二等		正七位上 正七位下	勲九等
四品	正四位上 正四位下	勲三等		従七位上 正八位上	勲十等
	従四位上 従四位下	勲四等		正八位下 従八位上	勲十一等
	正五位上 正五位下	勲五等		従八位下 大初位上	勲十二等
	従五位上 従五位下	勲六等		大初位下 少初位上 少初位下	

ほかに正五位上～少初位下の各階に外位がある。
例、外正五位上

【一般角】



【遺伝暗号】

遺 伝 暗 号

		U (塩基の第二文字)		C		A		G			
		コドン	アミノ酸	コドン	アミノ酸	コドン	アミノ酸	コドン	アミノ酸		
U	フェニルアラニン	UUU	セリン	UCU	チロシン	UAU	システイン	UGU	トリプトファン	U	塩基の第三文字
		UUC		UCC		UAC		UGC			
		UUA		UCA		UAA		UGA			
		UUG		UCG		UAG		UGG			
C	ロイシン	CUU	プロリン	CCU	ヒスチジン	CAU	アルギニン	CGU	U	A	G
		CUC		CCC		CAC		CGC			
		CUA		CCA		CAA		CGA			
		CUG		CCG		CAG		CGG			
A	イソロイシン	AUU	トレオニン	ACU	アスパラギン	AAU	セリン	AGU	U	C	A
		AUC		ACC		AAC		AGC			
		AUA		ACA		AAA		AGA			
		AUG		ACG		AAG		AGG			
G	バリン	GUU	アラニン	GCU	アスパラギン酸	GAU	グリシン	GGU	U	C	A
		GUC		GCC		GAC		GGC			
		GUA		GCA		GAA		GGA			
		GUG		GCG		GAG		GGG			

U:ウラシル, C:シトシン, A:アデニン, G:グアニン,
*:読取り始め(開始コドン), †:読取り終り(終止コドン)

【雲級】

		雲 級	
類	略号	雲のよくあらわれる高さ	
巻 雲	Ci		極地方 3~8 km
巻積雲	Cc	上層	温帯地方 5~13 km
巻層雲	Cs		熱帯地方 6~18 km
高積雲	Ac	中層	極地方 2~4 km 温帯地方 2~7 km 熱帯地方 2~8 km
高層雲	As		普通中層に見られるが、上層までひろがっていることが多い。
乱層雲	Ns		普通中層に見られるが、上層および下層にもひろがっていることが多い。
層積雲	Sc	下層	極地方 地面付近~2 km
層 雲	St		温帯地方 地面付近~2 km 熱帯地方 地面付近~2 km
積 雲	Cu		雲底は普通下層にあるが、雲頂は中・上層まで
積乱雲	Cb		達していることが多い。

【印度】

インドの主な王朝

北西部・北部		中央部		南 部	
(マガダ国)	紀元前 6 世紀~	(カリン王国)	? ~前 3 世紀		
マウリヤ朝	前 324 頃~前 187 頃				
シュンガ朝	前 184 頃~前 72 頃	サータヴァーハナ朝	前 1 世紀? ~後 3 世紀	チョーラ朝①)	前 3 世紀~後 3 世紀
クシャーナ朝	後 1 世紀~3 世紀				
グプタ朝	320 頃~550 頃			パッラヴァ朝	4 ~9 世紀
ヴァルダナ朝	606 頃~647 頃			チョーラ朝②)	9 ~13 世紀
ラージプート系					
諸王朝	8 世紀~13 世紀				
ゴール朝	12 世紀頃~1206				
デリー王朝					
1 奴隷王朝	1206~1290				
2 ハルジー朝	1290~1320				
3 トグルク朝	1320~1413				
4 サイイド朝	1414~1451			ヴィジャヤナガル朝	1336~1649
5 ロディー朝	1451~1526				
ムガル帝国	1526~1858	マラーター王国(同盟)	1674~1819		

【干支】

干 支 1

1	甲子	かっし・こうし	きのえね	31	甲午	こうご	きのえうま
2	乙丑	いっちゅう・おっちゅう	きのとうし	32	乙未	いつび・おつび	きのとひつじ
3	丙寅	へいん	ひのえとら	33	丙酉	へいしん	ひのえさる
4	丁卯	ていぼう	ひのとう	34	丁酉	ていゆう	ひのととり
5	戊辰	ぼしん	つちのえたつ	35	戊戌	ぼじゅうつ	つちのえいぬ
6	己巳	きし	つちのとみ	36	己亥	きがい	つちのとい
7	庚午	こうご	かのえうま	37	庚子	こうし	かのえね
8	辛未	しんび	かのとひつじ	38	辛丑	しんちゅう	かのとうし
9	壬申	じんしん	みずのえさる	39	壬寅	じんいん	みずのえとら
10	癸酉	きゆう	みずのととり	40	癸卯	きぼう	みずのとう
11	甲戌	こうじゅうつ	きのえいぬ	41	甲辰	こうしん	きのえたつ
12	乙亥	いつがひ・おつがひ	きのとい	42	乙巳	いっし・おっし	きのとみ
13	丙子	へいし	ひのえね	43	丙午	へいご	ひのえうま
14	丁丑	ていちゅう	ひのとうし	44	丁未	ていび	ひのとひつじ
15	戊寅	ぼいん	つちのえとら	45	戊申	ぼしん	つちのえさる
16	己卯	きぼう	つちのとう	46	己酉	きゆう	つちのととり
17	庚辰	こうしん	かのえたつ	47	庚戌	こうじゅうつ	かのえいぬ
18	辛巳	しんし	かのとみ	48	辛亥	しんがひ	かのとい
19	壬午	じんご	みずのえうま	49	壬子	じんし	みずのえね
20	癸未	きび	みずのとひつじ	50	癸丑	きちゅう	みずのとうし
21	甲申	こうしん	きのえさる	51	甲寅	こういん	きのえとら
22	乙酉	いっゆう・おつゆう	きのととり	52	乙卯	いっぼう・おつぼう	きのとう
23	丙戌	へいじゅうつ	ひのえいぬ	53	丙辰	へいしん	ひのえたつ
24	丁亥	ていがい	ひのとい	54	丁巳	ていし	ひのとみ
25	戊子	ぼし	つちのえね	55	戊午	ぼご	つちのえうま
26	己丑	きちゅう	つちのとうし	56	己未	きび	つちのとひつじ
27	庚寅	こういん	かのえとら	57	庚申	こうしん	かのえさる
28	辛卯	しんぼう	かのとう	58	辛酉	しんゆう	かのととり
29	壬辰	じんしん	みずのえたつ	59	壬戌	じんじゅうつ	みずのえいぬ
30	癸巳	きし	みずのとみ	60	癸亥	きがい	みずのとい

【江戸幕府】

江戸幕府(将軍一覧)

代数	氏名	父	母	在職期間	没年
1	徳川家康	松平広忠	水野氏お大	1603~1605	1616
2	徳川秀忠	徳川家康	西郷氏お愛	1605~1623	1632
3	徳川家光	徳川秀忠	浅井氏お江	1623~1651	1651
4	徳川家綱	徳川家光	増山氏お楽	1651~1680	1680
5	徳川綱吉	徳川家光	本庄氏お玉	1680~1709	1709
6	徳川家宣	(甲府)徳川綱重	田中氏おほら	1709~1712	1712
7	徳川家継	徳川家宣	勝田氏おきよ	1713~1716	1716
8	徳川吉宗	(紀伊)徳川光貞	巨勢氏おゆり	1716~1745	1751
9	徳川家重	徳川吉宗	大久保氏おすま	1745~1760	1761
10	徳川家治	徳川家重	梅溪氏お幸	1760~1786	1786
11	徳川家斉	一橋治済	岩木氏おとみ	1787~1837	1841
12	徳川家慶	徳川家斉	押田氏お楽	1837~1853	1853
13	徳川家定	徳川家慶	跡部氏おみつ	1853~1858	1858
14	徳川家茂	(紀伊)徳川斉順	松平氏みさ	1858~1866	1866
15	徳川慶喜	(水戸)徳川斉昭	有栖川宮吉子	1866~1867	1913

【オリンピック競技】

オリンピック夏季大会

回	開催年	開催地	回	開催年	開催地
1	1896	アテネ	18	1964	東京
2	1900	パリ	19	1968	メキシコシティ
3	1904	セントルイス	20	1972	ミュンヘン
4	1908	ロンドン	21	1976	モントリオール
5	1912	ストックホルム	22	1980	モスクワ
6	1916	ベルリン (中止)	23	1984	ロサンゼルス
7	1920	アントワープ	24	1988	ソウル
8	1924	パリ	25	1992	バルセロナ
9	1928	アムステルダム	26	1996	アトランタ
10	1932	ロサンゼルス	27	2000	シドニー
11	1936	ベルリン	28	2004	アテネ
12	1940	東京 (中止)			
13	1944	ロンドン (中止)			
14	1948	ロンドン			
15	1952	ヘルシンキ			
16	1956	メルボルン			
		ストックホルム			
17	1960	ローマ			

オリンピック冬季大会

回	開催年	開催地	回	開催年	開催地
1	1924	シャモニ-モンブラン	1	1924	シャモニ-モンブラン
2	1928	サンモリッツ	2	1928	サンモリッツ
3	1932	レークプラシッド	3	1932	レークプラシッド
4	1936	ガルミッシュ-パルテンキルヘン	4	1936	ガルミッシュ-パルテンキルヘン
5	1948	サンモリッツ	5	1948	サンモリッツ
6	1952	オスロ	6	1952	オスロ
7	1956	コルチナ-ダンペッツォ	7	1956	コルチナ-ダンペッツォ
8	1960	スコークヴァレー	8	1960	スコークヴァレー
9	1964	インスブルック	9	1964	インスブルック
10	1968	グルノーブル	10	1968	グルノーブル
11	1972	札幌	11	1972	札幌
12	1976	インスブルック	12	1976	インスブルック
13	1980	レークプラシッド	13	1980	レークプラシッド
14	1984	サラエヴォ	14	1984	サラエヴォ
15	1988	カルガリー	15	1988	カルガリー
16	1992	アルペールヴィル	16	1992	アルペールヴィル
17	1994	リレハンメル	17	1994	リレハンメル
18	1998	長野	18	1998	長野
19	2002	ソルトレイクシティ	19	2002	ソルトレイクシティ

【オリンポス】

オリンポスの十二神

神名	ローマ名
ゼウス	ジュピター
ヘラ	ジュノー
ポセイドン	ネプチューン
アポロン	アポロ
アルテミス	ダイアナ
ヘファイストス	ウルカヌス
アフロディテ	ヴィーナス
アレス	マース
アテナ	ミネルヴァ
ヘルメス	マーキュリー
デメテル	ケレス
ヘステイアまたは ディオニュソス	バックス

【音名】

音名

国名	本位音	変位音(ハの場合)	
日本	ハニホヘトイロ	嬰ハ	変ハ
英米	C D E F G A B	C-sharp	C-flat
ドイツ	C D E F G A H	Cis	Ces
イタリア	do re mi fa sol la si	do diesis	do bemolle
フランス	ut ré mi fa sol la si	ut dièse	ut bémol

【階級】

生物の分類階級

階級	英語**	階級	英語**
界	kingdom	上科	
亜界		科	family
門	phylum(動), division(植)	亜科 連(族) 亜連(族)	tribe
亜門		属	genus
上綱		亜属	
網	class	節	section
亜綱		系	series
下綱		種	species
コホート	cohort	亜種	
上目*		変種	variety
目	order	品種(型)	form
群*	group		
亜目			

* 動物のみ。 ** 亜は sub, 上は super, 下は infra をそれぞれの語頭に付す。

【楽器】

楽器の種類

打 楽 器	金属製	シンバル・トライアングル・ボンナ・銅鑼(どら)・鐘・鉄琴・鈴・びやばん
	木・竹製	カスタネット・拍子木・木琴(シロホン)・マリンバ・木魚・びんざさら・ムックリ・マラカス
	膜打楽器	太鼓・ドラム・タンバリン・ティンパニ・コンガ・ボンゴ・タブラ・ムリダンガム・大鼓・小鼓
弦 楽 器	撥弦楽器	バイオリン・ビオラ・チェロ・コントラバス・ラバープ・胡弓・二胡・馬頭琴・サーランギ
	撥弦楽器	三味線・月琴・バラライカ・琵琶・リュート・ウード・シタール・ギター・マンドリン・ウクレレ・ハープ・箏(くご)・サウン・リラ・キタラ・チター・瑟(しつ)・箏・カースーン
	打弦楽器	ツィンパロム・洋琴(ヤンチン)
管 楽 器	横 笛	フルート・ピッコロ・竜笛(りゅうてき)・高麗笛(こまぶえ)・神楽笛・能管・篠笛(しのぶえ)
	縦 笛	オーボエ・クラリネット・サキソフォン・リコーダー・ケーナ・スールナイ・チャルメラ・尺八・簫(しょう)・箏(ひちりき)
	らっぱ	トランペット・ホルン・トロンボーン・チューバ
	その他	オカリナ・埴(けん)
鍵 盤 楽 器	アコースティック (音響的)	オルガン・ハープシコード・ピアノ・アコーディオン・チェレスタ
	エレクトロニック (電子的)	電子オルガン・シンセサイザー・オンドマルトノ
	そ の 他	ハーモニカ・オルゴール・大正琴・ハーディ・ガーディ

【鎌倉幕府】

鎌倉幕府(将軍一覧)

代数	氏名	父	母	在職期間	没年
1	源 頼朝	源 義朝	熱田大宮司季範娘	1192~1199	1199
2	源 頼朝	源 頼朝	北条政子	1202~1203	1204
3	源 実朝	源 頼朝	北条政子	1203~1219	1219
4	藤原頼経	九条道家	西園寺公経娘 綸子	1226~1244	1256
5	藤原頼朝	藤原頼経	藤原親能娘 近子	1244~1252	1256
6	宗尊親王	後嵯峨天皇	平 棟基娘 棟子	1252~1266	1274
7	惟康親王	宗尊親王	近衛兼経娘 宰子	1266~1289	1326
8	久明親王	後深草天皇	三条公親娘 房子	1289~1308	1328
9	守邦親王	久明親王	惟康親王娘	1308~1333	1333

【紙】

紙(JIS 仕上げ寸法)

番号	A 列(mm)	B 列(mm)
0	841×1189	1030×1456
1	594× 841	728×1030
2	420× 594	515× 728
3	297× 420	364× 515
4	210× 297	257× 364
5	148× 210	182× 257
6	105× 148	128× 182
7	74× 105	91× 128
8	52× 74	64× 91
9	37× 52	45× 64
10	26× 37	32× 45

【カンバス】

カンバス 1 の号数基準(単位:cm)

号	F	P	M
0	17.9×13.9 (18×14)	17.9×11.7 (18×12)	17.9×10.0
1	22.1×16.6 (22×16)	22.1×13.9 (22×14)	22.1×11.7 (22×12)
2	24.0×19.0 (24×19)	24.0×16.1 (24×16)	24.0×13.9 (24×14)
5	35.0×27.0 (35×27)	35.0×24.3 (35×24)	35.0×22.7 (35×22)
10	53.0×45.5 (55×46)	53.0×40.9 (55×38)	53.0×33.3 (55×33)
50	116.7×90.9 (116×89)	116.7×80.3 (116×81)	116.7×72.7 (116×73)
100	162.1×130.3 (162×130)	162.1×112.1 (162×114)	162.1×97.0 (162×97)

F=Figure(人物型), P=Paysage(風景型), M=Marine(海景型)
上段=日本, 下段=欧米

【九卿】

九 卿 1

周代	職務	六官
少師(しょうし)	太師の副	天官 地官 春官 夏官 秋官 冬官
少傅(しょうふ)	太傅の副	
少保(しょうぼ)	太保の副	
冢宰(ちやうさい)	宰相	
司徒(しと)	戸口・財政・教育	
宗伯(そうはく)	礼楽・祭祀	
司馬(しば)	軍政	
司寇(しこう)	刑罰・警察	
司空(しこう)	土地・民事	

九 卿 2

漢代	別称	唐代	職務	
太常(たいじやう)	奉常	太常	宗廟の祭祀・礼楽	
光祿勳(こうろくくん)	郎中令	光祿衛尉	宮中の警護 宮門の警護	
太僕(たいぼく)	大理 典客	太僕	車馬・牧畜	
廷尉(ていゐ)		大理	訴訟・刑罰	
大鴻臚(だいかうろ)		典客	鴻臚	外客の応接
宗正(そうせい)		宗正	皇族の管理	
少府(しょうふ)		太府	帝室の財政	
大司農(だいにのう)	治粟内史	司農	国家の財政	

【九星】

九 星

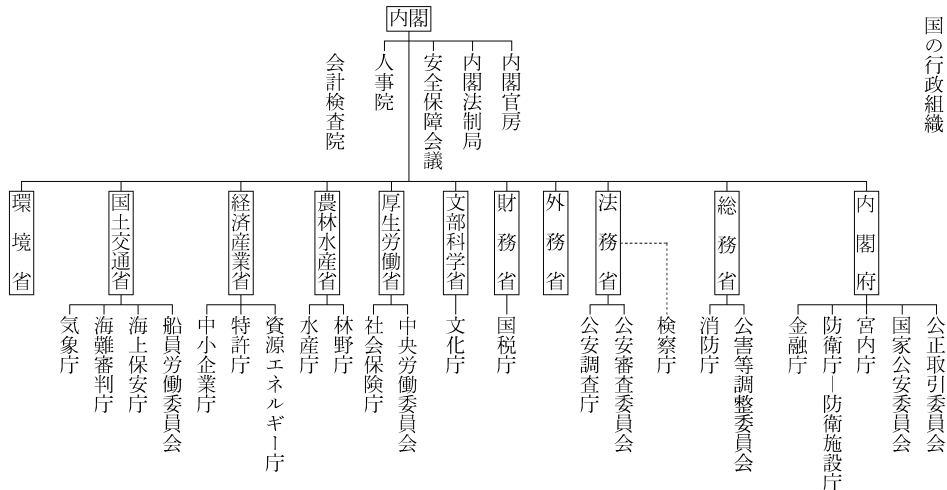
名称	五行	方位	八卦
一白(いっぱく)	水星	北	坎(かん)
二黒(じこく)	土星	西南	坤(こん)
三碧(さんぺき)	木星	東	震(しん)
四緑(しろく)	木星	東南	巽(そん)
五黄(ごおう)	土星	中央	
六白(ろっぱく)	金星	西北	乾(けん)
七赤(しちせき)	金星	西	兌(だ)
八白(はっぱく)	土星	東北	艮(こん)
九紫(きゅうし)	火星	南	離(り)

【強弱記号】

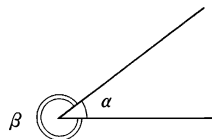
強弱記号の例

記号	標語	意味
<i>ppp</i>	ピアノッシッシモ	pianississimo <i>pp</i> より弱く
<i>pp</i>	ピアノッシモ	pianissimo <i>p</i> より弱く
<i>p</i>	ピアノ	piano 弱く
<i>mp</i>	メゾ-ピアノ	mezzo piano やや弱く
<i>mf</i>	メゾ-フォルテ	mezzo forte やや強く
<i>f</i>	フォルテ	forte 強く
<i>ff</i>	フォルティッシモ	fortissimo <i>f</i> より強く
<i>fff</i>	フォルティッシッシモ	fortississimo <i>ff</i> より強く
<i>fp</i>	フォルテピアノ	forte piano 強く、ただちに弱く
<i>sf, sfz</i>	スフォルツァンド	sforzando その音を特に強く
>, ^	アクセント	accent その音を強く
<	cresc. クレッシェンド	crescendo 次第に強く
>	dim. デイミヌエンド	diminuendo 次第に弱く
>	decrec. デクレッシェンド	decrescendo 次第に弱く

【行政】



【共役角】



【結婚記念日】

結婚記念日(記念式)

1年目 紙婚式	15年目 水晶婚式
2年目 綿婚式	20年目 磁器婚式
3年目 革婚式	25年目 銀婚式
4年目 花婚式	30年目 真珠婚式
5年目 木婚式	35年目 珊瑚婚式
6年目 鉄婚式	40年目 ルビー婚式
7年目 銅婚式	45年目 サファイア婚式
8年目 青銅婚式	50年目 金婚式
9年目 陶器婚式	55年目 エメラルド婚式
10年目 錫婚式	75年(または60年)目 ダイヤモンド婚式

【ギリシア文字】

ギリシア文字

大文字	小文字	名称	大文字	小文字	名称
A	α	アルファ	N	ν	ニュー
B	β	ベータ	Ξ	ξ	クシー(グザイ)
Γ	γ	ガンマ	Ο	ο	オミクロン
Δ	δ	デルタ	Π	π	ピー(パイ)
E	ε	エプシロン(イプシロン)	Ρ	ρ	ロー
Z	ζ	ゼータ	Σ	σ, ς	シグマ
H	η	エータ(イータ)	Τ	τ	タウ
Θ	θ	テータ(シータ)	Υ	υ	ユプシロン
I	ι	イオータ(イオタ)	Φ	φ	フィー(ファイ)
K	κ	カッパ	Χ	χ	キー(カイ)
Λ	λ	ラムダ	Ψ	ψ	プシー(プサイ)
M	μ	ミュー	Ω	ω	オメガ

括弧内は自然科学での慣用読み

【甲州街道】

甲州街道(宿駅一覧)

(江戸日本橋)	〔内藤新宿〕	〔下高井戸—上高井戸〕	〔国領—下布田—上布田—下石原
—上石原〕	〔府中〕	〔日野〕	〔横山(八王子)〕
〔駒木野—小仏〕	〔小原—与瀬〕	〔吉野〕	
〔関野〕	〔上野原〕	〔鶴川〕	〔野田尻〕
〔犬目〕	〔下鳥沢—上鳥沢〕	〔猿橋〕	〔駒橋〕
〔大月〕	〔下花咲—上花咲〕	〔下初狩—中初狩〕	〔白野—阿弥陀街道—黒野田〕
〔駒飼—鶴瀬〕	〔勝沼〕	〔栗原〕	〔石和〕
〔(甲府柳町)〕	〔韭崎〕	〔台ヶ原〕	〔教来石〕
〔嵐木〕	〔金沢〕	〔上諏訪〕	〔(下諏訪)〕

〔 〕内は交代または片道継立ての宿

【酵素】

酵素の分類

大分類・作用	主な酵素	大分類・作用	主な酵素
1 酸化還元酵素(オキシドレダクターゼ) 酸化,還元	脱水素酵素(デヒドロゲナーゼ), 酸化酵素(オキシダーゼ), 酸素添加酵素(オキシゲナーゼ)	4 脱離酵素(リアーゼ) 基質から特定の官能基を 取除く	脱カルボキシル酵素(デカルボキシラーゼ), カルボキシル化酵素(カルボキシラーゼ), アルドラーゼ
2 転移酵素(トランスフェラーゼ) 基質の特定の官能基を他の 基質に移す	アミノ基転移酵素(トランスアミナーゼ), アセチル基転移酵素(トランスアセチラーゼ), キナーゼ	5 異性化酵素(イソメラーゼ) 特定の分子を異性体に変換する	ラセミ化酵素(ラセマーゼ), エピ化酵素(エピメラーゼ), ムターゼ
3 加水分解酵素(ヒドロラーゼ) 加水分解	蛋白質分解酵素(プロテアーゼ), リパーゼ, ホスファターゼ, アミダーゼ	6 合成酵素(リガーゼ・シントターゼ) 二つの基質を結合させる	アセチル CoA 合成酵素, ピルビン酸カルボキシル化酵素, アミノアシル tRNA 合成酵素

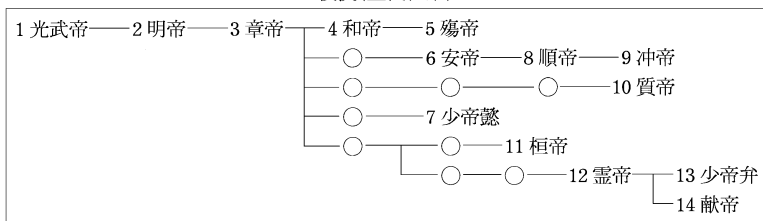
【皇朝十二銭】

皇朝十二銭

名称	発行年
1 和同開珎(わどうかいちん)	708
2 万年通宝(まんねんつうほう)	760
3 神功開宝(じんこうかいほう)	765
4 隆平永宝(りゅうへいえいほう)	796
5 富寿神宝(ふうじゅしんぼう)	818
6 承和昌宝(じょうわしやうほう)	835
7 長年大宝(ちやうねんたいほう)	848
8 饒益神宝(じやうえきしんぼう)	859
9 貞観永宝(じやうがんえいほう)	870
10 寛平大宝(かんびやうたいほう)	890
11 延喜通宝(えんぎつうほう)	907
12 乾元大宝(けんげんたいほう)	958
開基勝宝(かいきしやうほう)	760(金銭)
大平元宝(たいへいげんぼう)	760(銀銭)

【後漢】

後漢(歴代世系)



【五行】

五行配当

五行	時季	方位	色	十干	十二支	星
木	春	東	青	甲・乙	寅・卯	歳星(木星)
火	夏	南	赤(朱)	丙・丁	巳・午	熒惑(火星)
土	土用	中央	黄	戊・己	辰・未・戌・丑	鎮星(土星)
金	秋	西	白(素)	庚・辛	申・酉	太白(金星)
水	冬	北	黒(玄)	壬・癸	亥・子	辰星(水星)

【国際収支】

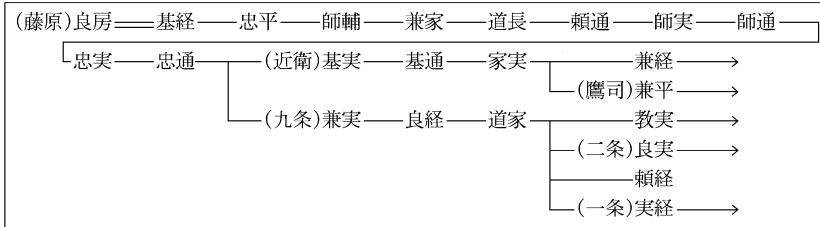
国際収支	
経常収支	貿易・サービス収支 所得収支 経常移転収支
資本収支	投資収支 その他資本収支
外貨準備高増減	
誤差脱漏	

【国際単位系】

SI 基本単位			SI 接頭語		
量	名称	記号	名称	記号	倍数
長さ	メートル	m	ヨタ (yotta-)	Y	10 ²⁴
質量	キログラム	kg	ゼタ (zetta-)	Z	10 ²¹
時間	秒	s	エクサ (exa-)	E	10 ¹⁸
電流	アンペア	A	ペタ (peta-)	P	10 ¹⁵
熱力学温度	ケルビン	K	テラ (tera-)	T	10 ¹²
光度	カンデラ	cd	ギガ (giga-)	G	10 ⁹
物質量	モル	mol	メガ (mega-)	M	10 ⁶
平面角	ラジアン	rad	キロ (kilo-)	k	10 ³
立体角	ステラジアン	sr	ヘクト (hecto-)	h	10 ²
			デカ (deca-)	da	10 ¹
			デシ (deci-)	d	10 ⁻¹
			センチ (centi-)	c	10 ⁻²
			ミリ (milli-)	m	10 ⁻³
			マイクロ (micro-)	μ	10 ⁻⁶
			ナノ (nano-)	n	10 ⁻⁹
			ピコ (pico-)	p	10 ⁻¹²
			フェムト (femto-)	f	10 ⁻¹⁵
			アト (atto-)	a	10 ⁻¹⁸
			ゼプト (zepto-)	z	10 ⁻²¹
			ヨクト (yocto-)	y	10 ⁻²⁴

【五摂家】

五 摂 家



【国民の祝日】

国民の祝日		
名称	月日	備考
元日	1月 1日	
成人の日	1月第2月曜日	
建国記念の日	2月 11日	1966年制定
春分の日	3月 21日頃	
みどりの日	4月 29日	1989年制定
憲法記念日	5月 3日	
こどもの日	5月 5日	
海の日	7月第3月曜日	1995年制定
敬老の日	9月第3月曜日	1966年制定
秋分の日	9月 21日頃	
体育の日	10月第2月曜日	1966年制定
文化の日	11月 3日	
勤労感謝の日	11月 23日	
天皇誕生日	12月 23日	1989年制定

【五胡十六国】

五胡十六国

五 胡	十六国	年代
匈奴(きょうど)	前趙(漢)	304~329
	北涼	397~439
	夏(大夏)	407~431
羯(けつ)	後趙	319~351
鮮卑(せんび)	前燕	337~370
	後燕	384~409
	西秦	385~431
	南涼	397~414
	南燕	398~410
氐(てい)	成(大成・漢)	304~347
	前秦	351~394
	後涼	386~403
羌(きょう)	後秦	384~417
(漢族)	前涼	301~376
	西涼	400~421
	北燕	409~436

【五代】

五代	
王朝名	年代
後梁	907~923
後唐	923~936
後晋	936~946
後漢	947~950
後周	951~960

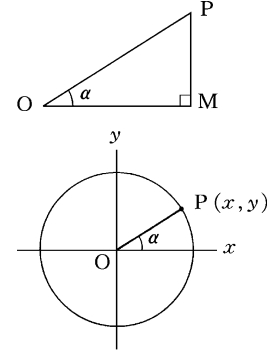
【五代十国】

十国	
国名	年代
呉	902~937
南唐	937~975
前蜀	907~925
後蜀	934~965
荆南	907~963
楚	907~951
呉越	907~978
閩(びん)	909~945
南漢	917~971
北漢	951~979

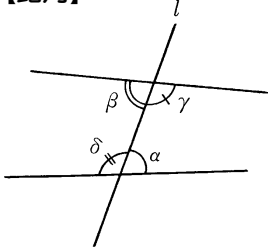
【西国三十三所】

西国三十三所	
府県名	寺名
和歌山県	1 青岸渡寺
	2 紀三井寺(金剛宝寺)
	3 粉河(こかわ)寺
大阪府	4 施福寺(槇尾寺)
	5 葛(藤)井寺(剛琳寺)
奈良県	6 壺坂寺(南法華寺)
	7 岡寺(竜蓋寺)
京都府	8 長谷寺(初瀬寺)
	9 興福寺南円堂
	10 三室戸寺
滋賀県	11 上醍醐寺
	12 正法(しょうぼう)寺(岩間寺)
	13 石山寺
京都府	14 三井寺(園城寺)
	15 観音寺(今熊野)
	16 清水(きよみず)寺
岐阜県	17 六波羅蜜寺
	18 頂法寺(六角堂)
京都府	19 行願寺(草堂)
	20 善峰(よしみね)寺
	21 穴太(あなお)寺
大阪府	22 總持寺
	23 勝尾(かつお)寺
兵庫県	24 中山寺
	25 清水寺
京都府	26 一乗寺
	27 円教寺
京都府	28 成相(なりあい)寺
	29 松尾(まつのお)寺
滋賀県	30 宝蔵(ほうぞん)寺
	31 長命寺
京都府	32 観音正寺
	33 華嚴寺

【三角関数】



【錯角】



【四国八十八箇所】

四国八十八箇所

県名	寺院名	県名	寺院名
徳島県	1 霊山寺	愛媛県	45 岩屋寺
	2 観音寺		46 浄観磨寺
	3 金泉寺		47 八坂寺
	4 大日寺		48 西林寺
	5 地藏寺		49 浄土寺
	6 安楽寺		50 繁多寺
	7 十楽寺		51 石手寺
	8 龍谷寺		52 太山寺
	9 法輪寺		53 円明寺
	10 切幡寺		54 延命寺
	11 藤井寺		55 南光坊
	12 焼山寺		56 泰山寺
	13 大日寺		57 栄福寺
	14 常楽寺		58 仙遊寺
徳島市	15 国分寺	徳島県	60 横峰寺
	16 観音寺		61 香園寺
	17 井戸寺		62 宝春寺
	18 岡山寺		63 吉祥寺
	19 立江寺		64 前神寺
	20 鶴林寺		65 三角寺
	21 太竜寺		66 雲辺寺
	22 平等寺		67 大興寺
	23 薬王寺		68 神慮院
	24 最御崎寺		69 観音寺
	25 津照寺		70 木山寺
	26 金剛頂寺		71 弥谷寺
	27 神峰寺		72 曼荼羅寺
	28 大日寺		73 出釈迦寺
29 国分寺	74 甲山寺		
30 善楽寺	75 普通寺		
高知県	31 竹林寺	徳島県	76 金蔵(倉)寺
	32 禪師峰寺		77 追峰寺
	33 雪隠寺		78 郷照寺
	34 種種寺		79 高照院
	35 清滝寺		80 国分寺
	36 青竜寺		81 白峰寺
	37 岩本寺		82 根香寺
	38 金剛福寺		83 一宮寺
	39 延光寺		84 屋島寺
	40 観自在寺		85 八栗寺
	41 電光寺		86 志度寺
	42 仏木寺		87 長尾寺
	43 明石寺		88 大窪寺
	44 大宝寺		

【十干】

十 干

甲	こう	きのえ	木の兄
乙	おつ	きのと	木の弟
丙	へい	ひのえ	火の兄
丁	てい	ひのと	火の弟
戊	ぼ	つちのえ	土の兄
己	き	つちのと	土の弟
庚	こう	かのえ	金の兄
辛	しん	かのと	金の弟
壬	じん	みずのえ	水の兄
癸	き	みずのと	水の弟

【執権】

執 権 3

代数	氏 名	在職期間	没年
1	北条時政	1203~1205	1215
2	北条義時	1205~1224	1224
3	北条泰時	1224~1242	1242
4	北条経時	1242~1246	1246
5	北条時頼	1246~1256	1263
6	北条長時	1256~1264	1264
7	北条政村	1264~1268	1273
8	北条時宗	1268~1284	1284
9	北条貞時	1284~1301	1311
10	北条師時	1301~1311	1311
11	北条(大仏)宗宣	1311~1312	1312
12	北条熙時	1312~1315	1315
13	北条基時	1315	1333
14	北条高時	1316~1326	1333
15	北条(金沢)貞顕	1326	1333
16	北条(赤橋)守時	1326~1333	1333

【四等官】

四 等 官

	長官 (かみ)	次官 (すけ)	判官 (じょう)	主典 (さかん)
神祇官 太政官	伯 (太政大臣), 左大臣, 右大臣	副 大納言, 中納言	祐 少納言, 弁	史 外記, 史
省 坊・職	卿 大夫	輔 亮 助 弼 佐 式 介	丞 進 允 忠 尉 監 掾	録 属 属 疏 志 典 目
寮 台	頭 尹 督 帥 守	少 領 (佑) 典侍	主 政 佑 掌侍	主 帳 令史
五衛府 大宰府	正 尚侍	扶	佑 佑 従	令史 令史 書史
国 郡 司 内侍司 監 署 家令	正 首 令			

【尺貫法】

長 さ			体 積		
1 尺		30.30 cm	1 合		180.4 ml
1 間	6 尺	1.818 m	1 升	10 合	1.804 ℓ
1 町	60 間	109.1 m	1 斗	10 升	18.04 ℓ
1 里	36 町	3.927 km	1 石	10 斗	180.4 ℓ
面 積			質 量		
1 坪		3.306 m ²	1 匁		3.75 g
1 反	300 坪	991.7 m ²	1 斤	160 匁	600 g
1 町	10 反	9917 m ²	1 貫	1000 匁	3.75 kg

【私年号】

私年号(日本の主な私年号)

名 称	使 用 例	名 称	使 用 例
法興(ほうこう)	6年(596)・31年(621)	延徳(えんとく)	2・3・5年 2年壬午・3年壬午(1462)など
白鳳(はくほう)	4(653)・5(654)・12(661)・13(662)・16(665)年 白雉の異称	正亨(しょうこう)	2年(1490)
朱雀(すざく)	元年(686) 朱鳥の異称	永伝(えいでん)	元年(1490)
保寿(ほうじゅ)	元年 1166~69年頃使用	福德(ふくとく)	元・2・3・4年 辛亥年(1491)ほかに使用
和勝(わしょう)	元年(1190)	徳応(とくおう)	元年(1501 または 1441)
迎雲(げいうん)	元年 1190年もしくはそれ以前使用	子平(しへい)	5年(1506)
建教(けんきょう)	元年(1225)	弥勒(みろく)	元・2・3年 丁卯年(1507)ほかに使用
白鹿(はくろく)	元年(1345)・2年(1346)	加平(かへい)	元年(1517)
応治(おうじ)	元年(1345)	永喜(えいき)	2年(1527)
至大(しだい)	元年 1375~79年, または 84~87年頃使用	宝寿(ほうじゅ)	2年(1534)
永宝(えいほう)	元年(1388)	命祿(めいろく)	元・2・3年(1540~42)
興徳(こうとく)	元年(1395)	光永(こうえい)	2年(1577 または 81 または 90)
天靖(てんせい)	元年(1443)	大道(だいでう)	元・2・10年 1609年頃以降使用, 大筒とも書く
享正(きょうせい)	2(1455)・3(1456)・4(1457)年	正中(しょうちゅう)	2年(1622)
永楽(えいらく)	元年(1461)	神治(しんじ)	元年(1867)

()内は相当する西暦年次、年次判定の困難なものは注記した。

【周期表】

元素の周期表

族 周期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
1	1H 水素																	2He ヘリウム	
2	3Li リチウム	4Be ベリリウム											5B ホウ素	6C 炭素	7N 窒素	8O 酸素	9F フッ素	10Ne ネオン	
3	11Na ナトリウム	12Mg マグネシウム											13Al アルミニウム	14Si ケイ素	15P リン	16S 硫黄	17Cl 塩素	18Ar アルゴン	
4	19K カリウム	20Ca カルシウム	21Sc スカンジウム	22Ti チタン	23V バナジウム	24Cr クロム	25Mn マンガン	26Fe 鉄	27Co コバルト	28Ni ニッケル	29Cu 銅	30Zn 亜鉛	31Ga ガリウム	32Ge ゲルマニウム	33As ヒ素	34Se セレン	35Br 臭素	36Kr クリプトン	
5	37Rb ルビジウム	38Sr ストロンチウム	39Y イットリウム	40Zr ジルコニウム	41Nb ニオブ	42Mo モリブデン	43Tc テクネチウム	44Ru ルテニウム	45Rh ロジウム	46Pd パラジウム	47Ag 銀	48Cd カドミウム	49In インジウム	50Sn スズ	51Sb アンチモン	52Te テルル	53I ヨウ素	54Xe キセノン	
6	55Cs セシウム	56Ba バリウム	57~71 ランタノイド	72Hf ハフニウム	73Ta タンタル	74W タングステン	75Re レニウム	76Os オスミウム	77Ir イリジウム	78Pt 白金	79Au 金	80Hg 水銀	81Tl タリウム	82Pb 鉛	83Bi ビスマス	84Po ポロニウム	85At アスタチン	86Rn ラドン	
7	87Fr フランシウム	88Ra ラジウム	89~103 アクチノイド	104Rf ラザホーニウム	105Db ドブニウム	106Sg シーボークニウム	107Bh ボークニウム	108Hs ハッシウム	109Mt マイタネリウム	元素記号の左の数字は原子番号									

ランタノイド	57La ランタン	58Ce セリウム	59Pr プラセオジム	60Nd ネオジム	61Pm プロメチウム	62Sm サマリウム	63Eu ユクロビウム	64Gd ガドリニウム	65Tb テルビウム	66Dy ジスプロシウム	67Ho ホルミウム	68Er エルビウム	69Tm ツリウム	70Yb イッテルビウム	71Lu ルテチウム
--------	--------------	--------------	----------------	--------------	----------------	---------------	----------------	----------------	---------------	-----------------	---------------	---------------	--------------	-----------------	---------------

アクチノイド	89Ac アクチニウム	90Th トリウム	91Pa プロトアクチニウム	92U ウラン	93Np ネプツニウム	94Pu プルトニウム	95Am アメリシウム	96Cm キュリウム	97Bk バークリウム	98Cf カリホルニウム	99Es アインスタイニウム	100Fm フェルミウム	101Md メンデレビウム	102No ノーベリウム	103Lr ローレンツウム
--------	----------------	--------------	-------------------	------------	----------------	----------------	----------------	---------------	----------------	-----------------	-------------------	-----------------	------------------	-----------------	------------------

【十三經注疏】

十三經注疏

十三經	卷数	注・伝・箋・解	疏
周易(易經)	10	王弼(おうひつ)(魏) 注 韓康伯(晋) 注	孔穎達(くゐいたつ)(唐)
尚書(書經)	20	孔安国(漢) 伝	孔穎達(唐)
毛詩(詩經)	70	毛亨(もうこう)(漢) 伝 鄭玄(じょうげん)(漢) 箋	孔穎達(唐)
周礼	42	鄭玄(漢) 注	賈公彦(かこうげん)(唐)
儀礼	50	鄭玄(漢) 注	賈公彦(唐)
礼記	63	鄭玄(漢) 注	孔穎達(唐)
春秋左氏伝	60	杜預(とよ)(晋) 集解	孔穎達(唐)
春秋公羊伝	28	何休(漢) 解詁	徐彦(じょげん)(唐)
春秋穀梁伝	20	范萇(晋) 集解	楊士勛(ようしくん)(唐)
孝經	9	玄宗(唐) 注	邢昺(けいへい)(宋)
論語	20	何晏(かあん)(魏) 集解	邢昺(宋)
孟子	14	趙岐(漢) 注	孫奭(そんせき)(宋)
爾雅	11	郭璞(かくはく)(晋) 注	邢昺(宋)

【十二神将】

十二神将

夜叉大将	本地仏	刻神
1 宮毘羅(くびら)	弥勒	子
2 伐折羅(ぼざら)	勢至	丑
3 迷企羅(めきら)	弥陀	寅
4 安底羅(あんちら)	観音	卯
5 頰備羅(あにら)	如意輪	辰
6 珊底羅(さんちら)	虚空蔵	巳
7 因達羅(いんだら)	地藏	午
8 波夷羅(はいら)	文殊	未
9 摩虎羅(まこら)	大威徳	申
10 真達羅(しんだら)	普賢	酉
11 招杜羅(しょうとら)	大日	戌
12 毘羯羅(びから)	釈迦	亥

【十二門】

十二門(平安京大内裏, 外郭十二門)

		延喜式の名称	貞観式の名称
南面	東門	美福門(みぶくもん)	壬生門(みぶもん)
	中門	朱雀門(すざくもん)	大伴門(おおとももん)
	西門	皇嘉門(こうかもん)	若犬養門(わかぬかいもん)
西面	南門	談天門(だんてんもん)	玉手門(たまでもん)
	中門	藻壁門(そうへきもん)	佐伯門(さえきもん)
	北門	殷富門(いんぷもん)	伊福部門(いふくべもん)
北面	西門	安嘉門(あんかもん)	海犬養門(あまいぬかいもん)
	中門	偉鑿門(いかんもん)	猪使門(いかいもん)
	東門	達智門(たっちもん)	丹治比門(たじひもん)
東面	北門	陽明門(ようめいもん)	山門(やまもん)
	中門	待賢門(たいけんもん)	建部門(たけべもん)
	南門	郁芳門(いくほうもん)	的門(いくはもん)

【十三仏】

十三仏

仏事	仏・菩薩
初七日	不動明王
二七日	釈迦如来
三七日	文殊菩薩
四七日	普賢菩薩
五七日	地藏菩薩
六七日	弥勒菩薩
七七日	薬師如来
七七カ日	観世音菩薩
一周忌	勢至菩薩
三回忌	阿弥陀如来
七回忌	阿閼如来
十三回忌	大日如来
三十三回忌	虚空蔵菩薩

【十八檀林】

十八檀林

【十二律】

十二律

中国	日本			洋楽の 近似音名
	雅楽	義太夫節	その他	
黄鐘(こうしょう)	壹越(いちこつ)	一本	六本	ニ
大呂(たいりょ)	断金(たんぎん)	二本	七本	嬰ニ(変ホ)
太簇(たいさく)	平調(ひょうじょう)	三本	八本	ホ
夾鐘(きょうしょう)	勝絶(しょうぜつ)	四本	九本	ヘ
姑洗(こせん)	下無(しもむ)	五本	十本	嬰ヘ(変ト)
仲呂(ちゅうりょ)	双調(そうじょう)	六本	十一本	ト
蕤賓(すいひん)	晃鐘(ふしょう)	七本	十二本	嬰ト(変イ)
林鐘(りんしょう)	黄鐘(おうしき)	八本	一本	イ
夷則(いそく)	鸞鏡(らんけい)	九本	二本	嬰イ(変ロ)
南呂(なんりょ)	盤涉(ばんしき)	十本	三本	ロ
無射(ぶえき)	神仙(しんせん)	十一本	四本	ハ
応鐘(おうしょう)	上無(かみむ)	十二本	五本	嬰ハ(変ニ)

旧国・地域名	寺院名
相模・鎌倉	光明寺
武蔵・鴻巣	勝願寺
常陸・瓜連	常福寺
江戸・芝	増上寺
下総・飯沼	弘経寺
下総・小金	大漸寺
下総・生実	大巖寺
武蔵・川越	蓮馨寺
武蔵・滝山	大善寺
武蔵・岩槻	浄国寺
常陸・江戸崎	大念寺
上野・館林	普導寺
下総・結城	弘経寺
江戸・本所	霊山寺
江戸・下谷	幡随院
江戸・小石川	伝通院
上野・新田	大光院
江戸・深川	靈巖寺

【植物帯】

植物帯(本州中部太平洋岸の垂直分布)

高度 (m)	植物帯	代表的な植物
2300~2500	高山草原 (高山帯)	ヒゲハリスゲ ハイマツ
	針葉樹林帯 (亜高山帯)	コメツガ トウヒ シラビソ
1500~1700	夏緑樹林帯 (山地帯)	ブナ・ミズナラ クリ・コナラ
500~700	照葉樹林帯 (低山帯・丘陵帯)	カシ シイ・タブ
0		

【植物ホルモン】

主な植物ホルモンと作用

	茎	葉	根	花	芽	果実	休眠	老化
オーキシシン (インドール酢酸)	伸長	落葉抑制	発根、伸長	花芽形成 促進	側芽成長 抑制	結実、落果 抑制		—
ジベレリン	伸長	成長	伸長	開花促進		結実 成長	—	—
サイトカイニン (カイネチン)	成長	成長			発芽促進	成長	—	—
アブシジン酸		落葉	成長阻害		発芽抑制		+	+
エチレン	肥大	落葉	肥大、不定根形成			成熟		+
ブラシノリド	伸長							

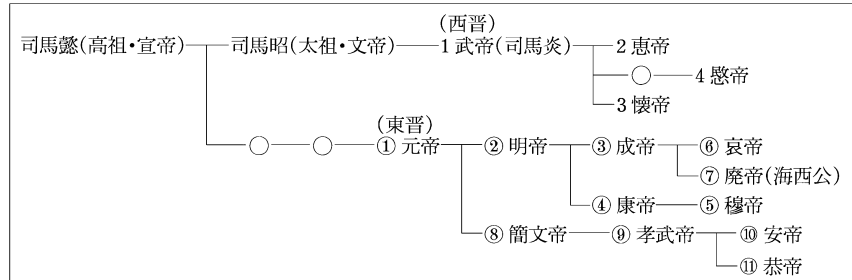
【諸子百家】

諸子百家

学派	主な学者・思想家または書名
儒家	孔子・曾子・子思・孟子・荀子
道家	老子・列子・莊子・関尹子
墨家	墨子・胡非子・随巢子
法家	申不害・商鞅・慎到・韓非
名家	公孫竜・恵施・尹文子・鄧析(とうせき)
農家	「神農」「野老」「宰氏」
縦横家	蘇秦・張儀
陰陽家	騶衍(騶衍)(すうえん)・公孫発
兵家	孫武(孫子)・孫臏・呉起(呉子)
小説家	鸞子(いっし)・青史子・師曠(しこう)
雑家	呂不韋・淮南王安・東方朔

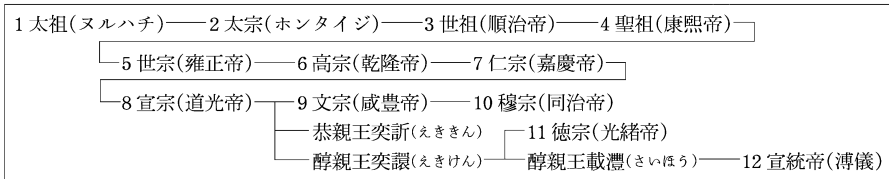
【晋】

晋2(歴代世系)

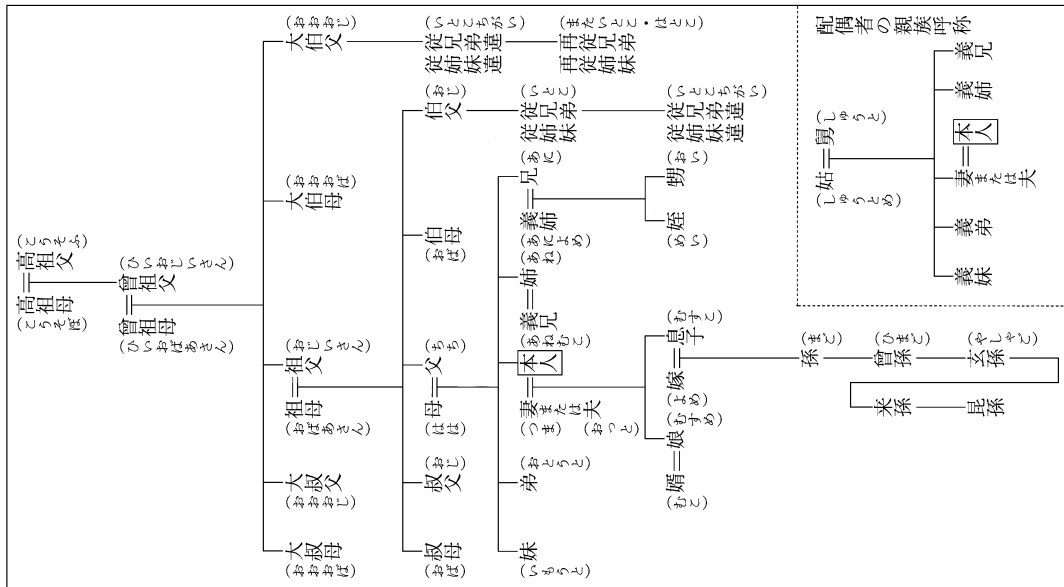


【清】

清(歴代世系)



親族呼称



【親族】

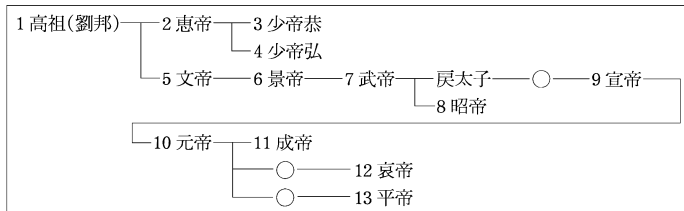
【震度階級】

気象庁震度階級関連解説表(一部)

震度階級	人 間	屋内の状況	屋外の状況
0	人は揺れを感じない。		
1	屋内にいる人の一部が、わずかな揺れを感じる。		
2	屋内にいる人の多くが、揺れを感じる。眠っている人の一部が、目を覚ます。	電灯などのつり下げ物が、わずかに揺れる。	
3	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。恐怖感を覚える人もいる。	棚にある食器類が、音を立てることがある。	電線が少し揺れる。
4	かなりの恐怖感があり、一部の人は、身の安全を図ろうとする。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。	つり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。座りの悪い置物が、倒れることがある。	電線が大きく揺れる。歩いている人も揺れを感じる。自動車を運転していて、揺れに気付く人がいる。
5弱	多くの人が、身の安全を図ろうとする。一部の人は、行動に支障を感じる。	つり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の多くが倒れ、家具が移動することがある。	窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのがわかる。補強されていないブロック塀が崩れることがある。道路に被害が生じることがある。
5強	非常に恐怖を感じる。多くの人が、行動に支障を感じる。	棚にある食器類、書棚の本の多くが落ちる。テレビが台から落ちることがある。タンスなど重い家具が倒れることがある。変形によりドアが開かなくなることがある。一部の戸が外れる。	補強されていないブロック塀の多くが崩れる。据付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。多くの墓石が倒れる。自動車の運転が困難となり、停止する車が多い。
6弱	立っていることが困難になる。	固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。開かなくなるドアが多い。	かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。
6強	立っていることができず、はわないと動くことができない。	固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する。戸が外れて飛ぶことがある。	多くの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。
7	揺れにほんろうされ、自分の意志で行動できない。	ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある。	ほとんどの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されているブロック塀も破損するものがある。

【前漢】

前漢(歴代世系)



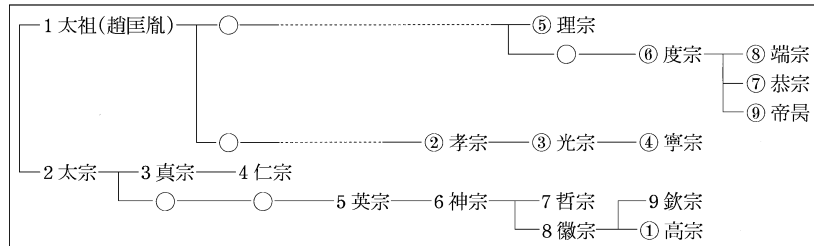
【染色体】

生物の染色体数(核相:2n)

ヒト	46	ハツカネズミ	40	サツマイモ	90
チンパンジー	48	カンガルー	16	ジャガイモ	48
キリン	30	ニワトリ(♂)	78	アサガオ	30
ウシ・ヤギ	60	ヒキガエル	22	ホウレンソウ	12
トナカイ	70	イモリ	24	タマネギ	16
インドサイ	84	コイ	104	エンドウ	14
ゾウ	56	メダカ	48	ムラサキツユクサ	24
オットセイ	36	アメリカザリガニ	200	イネ	24
ネコ・トラ	38	カイコ	56	オオムギ	14
イヌ・コヨーテ	78	シヨウジョウバエ	8	パンコムギ	42
キツネ	36	アカイエカ	6	アカマツ	24
タヌキ	42	ヒドラ	32	イチヨウ	24
ナガスクジラ	44	ウマノカイチュウ	2	ゼンマイ	44
ウサギ	44	スイレン	112	コンブ・ワカメ	44
モルモット	64	オシロイバナ	58	クロカビ	4

【宋】

宋(歴代世系)



丸中数字は南宋の歴代

【奏法記号】

奏法記号の例

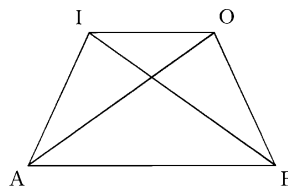
記号	標語	意味	
ゝなど	アルペッジョ	arpeggio	和音を分散和音として順々に奏する
gliss.	グリッサンド	glissando	広い音域を急速にすべるように奏する
	コン・ソルディーノ	con sordino	弱音器を使用する
・	スタッカート	staccato	一音一音を切り離して奏する
	ソステヌート	sostenuto	音の長さを十分に保って(速度標語と組合せて)
— ten.	テヌート	tenuto	ある一個の音の長さを十分に保って
♪など	トレモロ	tremolo	一音または二音を急速に反復して
pizz.	ピッチカート	pizzicato	指で弦を弾いて奏する
∩	フェルマータ	fermata	その音符・休止符を任意の長さで奏する
∨	ブレス	breath	息つぎをする
	ポルタメント	portamento	次の音へ音程をずらせながら移動する
marc.	マルカート	marcato	一音一音はつきりと奏する
	レガート	legato	滑らかに
—	スラー	slur	レガートの記号(弦楽器ではひと弓で奏する指示)

【速度標語】

速度標語の例

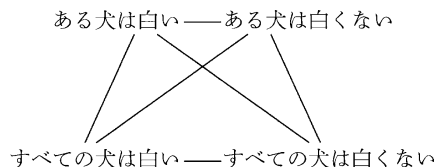
標語	意味	
ラルゴ	largo	ゆっくりと、豊かに
ラルゲット	larghetto	ゆっくりと(ラルゴよりやや速く)
レント	lento	遅く、ゆっくりと
アダージョ	adagio	ゆるやかに
アンダンテ	andante	歩くくらいの速さで、ゆるやかに
モデラート	moderato	中くらいの速さで
アレグロ	allegro	速く
ヴィヴァーチェ	vivace	生き生きと、きわめて速く
プレスト	presto	急速に
リタルダンド	ritardando(rit.)	次第に遅く
ラレンタンド	rallentando(rall.)	次第に遅く
アツチェレランド	accelerando(accel.)	次第に速く
メノ・モッソ	meno mosso	(今までより)もっと遅く
ア・テンポ	a tempo	もとの速さで
テンポ・プリモ	tempo primo	初めの速さで
アッサイ	assai	十分に、非常に
モルト	molto	きわめて、はなはだ
ポコ	poco	すこし(poco a poco すこしずつ)
ノン・トロッポ	non troppo	あまり…すぎないように

【対当関係】



対当関係の図式

- A E: 反対対当
- I O: 小反対対当
- A I, E O: 大小対当
- A O, E I: 矛盾対当



対当関係の例

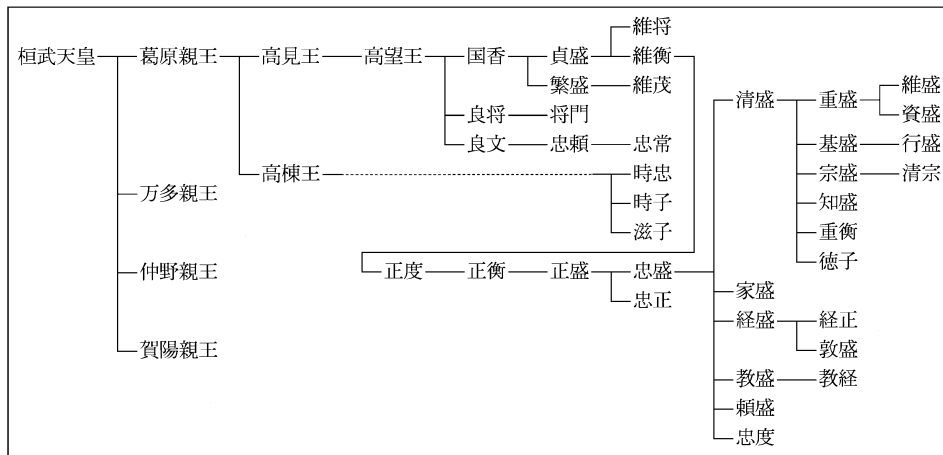
【大名】

大名(近世大名の分類)

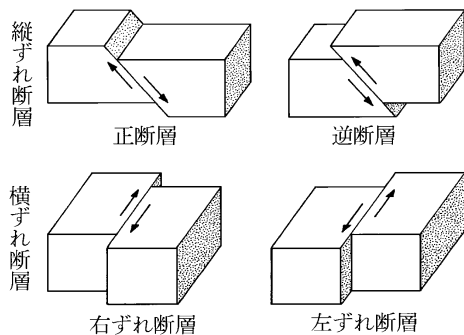
親藩	三家(尾張・紀伊・水戸)・三卿(田安・一橋・清水)・家門(福井・松江・津山・高松・西条・浜田・会津などの松平と久松)	
譜代大名	井伊・酒井・本多・榊原・大久保・土井・水野・戸田・小笠原・牧野・内藤・稲葉・堀田・阿部・久世・間部・松平(家康以前の分流)ほか	
外様大名	旧族大名	伊達・島津・毛利・上杉・佐竹・鍋島・津軽・南部・松浦・大村・宗・相良ほか
	織豊大名	前田・細川・黒田・浅野・池田(岡山・鳥取)・山内・蜂須賀・藤堂・仙石・有馬ほか

【平】

平(桓武平氏略系図)



【断層】



【地質年代】

地質年代		現在	
新生代	第四紀	完新世	1万年前
		更新世	180万年前
	第三紀	鮮新世	530万年前
		中新世	2300万年前
		漸新世	3400万年前
		始新世	5300万年前
中生代	白亜紀	6500万年前	
	ジュラ紀	1.4億年前	
	三畳紀	2.0億年前	
古生代		2.5億年前	
	ペルム紀	2.9億年前	
	石炭紀	3.6億年前	
	デボン紀	4.1億年前	
	シルル紀	4.4億年前	
	オルドビス紀	5.0億年前	
先カンブリア時代	原生代	5.4億年前	
	始生代	25億年前	
		46億年前	

【秩父三十三所】

秩父三十三所			
市・郡名	寺院名	市・郡名	寺院名
秩父市	1 妙音寺	秩父市	18 神門寺
	2 真福寺		19 竜石寺
	3 常泉寺		20 岩之上堂
秩父郡	4 金昌寺	秩父郡	21 観音寺
	5 長興寺		22 栄(永)福寺
	6 卜雲寺		23 音楽寺
	7 法長寺		24 法泉寺
秩父市	8 西善寺	秩父郡	25 久昌寺
	9 明智寺		26 円融寺
	10 大慈寺		27 大淵寺
	11 常楽寺		28 橋立寺
	12 野坂寺		29 長泉院
	13 慈眼寺		30 法雲寺
	14 今宮坊		31 観音院
	15 少林寺		32 法性寺
	16 西光寺		33 菊水寺
	17 定林寺		34 水潜寺

【天気記号】

天気記号(日本式)			
天気記号	天気	天気記号	天気
○	快晴	●	にわか雨
⊖	晴	☂	みぞれ
☁	曇	⊗	雪
☁	曇霧	⊗	雪強し
☁	ちり煙霧	⊗	にわか雪
☁	砂じんあらし	⊖	あられ
☁	地ふぶき	▲	ひょう
☁	霧	●	雷
☁	霧雨	☂	雷強し
☁	雨	⊗	天気不明
☁	雨強し		

【中国】

中国(歴代王朝)

王朝名	初代	年代	王朝名	初代	年代
夏	禹	?	東晋	元帝(司馬睿)	317~420
殷(商)	湯王	? ~紀元前 1100頃	五胡十六国		304~439
周	武王	前 1100頃~前 256	南北朝時代		439~589
			隋	文帝(楊堅)	581~619
春秋時代		前 770~前 403	唐	高祖(李淵)	618~907
戦国時代		前 403~前 221	五代十国		907~960(979)
秦	始皇帝	前 221~前 206	宋(北宋)	太祖(趙匡胤)	960~1127
前漢	高祖(劉邦)	前 202~後 8	南宋	高宗(趙構)	1127~1279
新	王莽	8~23	遼	太祖(耶律阿保機)	916~1125
後漢	光武帝(劉秀)	25~220	金	太祖(阿骨打)	1115~1234
			元	世祖(フビライ)	1271~1368
三国時代(魏・呉・蜀)	曹丕・孫権・劉備	220~265(280)	明	太祖(朱元璋)	1368~1644
		(蜀は 221~263)	清	太祖(ヌルハチ)	1616~1912
		(呉は 222~280)			
晋(西晋)	武帝(司馬炎)	265~316			

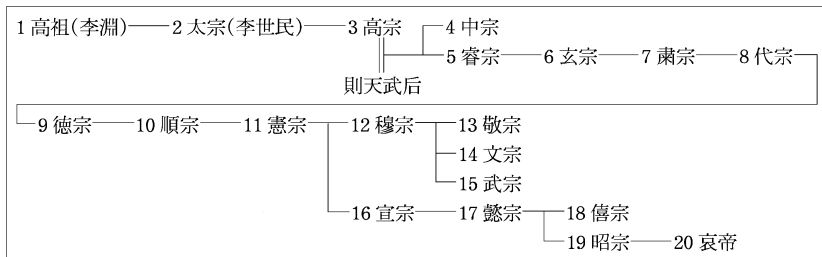
【天皇】

天 皇

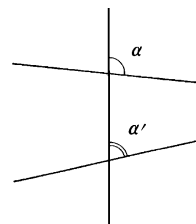
1 神武(じんむ)天皇	34 舒明(じよめい)天皇	67 三条(さんじょう)天皇	後光厳(ごこうごん)天皇(北朝4)
2 綏靖(すいせい)天皇	35 皇極(こうぎやく)天皇	68 後一条(ごいちじょう)天皇	後円融(ごえんりゅう)天皇(北朝5)
3 安寧(あんねい)天皇	36 孝徳(こうとく)天皇	69 後朱雀(ごすざく)天皇	97 後村上(ごむらかみ)天皇(南朝2)
4 懿徳(いとく)天皇	37 斉明(さいめい)天皇	70 後冷泉(ごれいぜい)天皇	98 長慶(ちょうけい)天皇(南朝3)
5 孝昭(こうしょう)天皇	38 天智(てんじ)天皇	71 後三条(ごさんじょう)天皇	99 後龜山(ごかめやま)天皇(南朝4)
6 孝安(こうあん)天皇	39 弘文(こうぶん)天皇	72 白河(しらかわ)天皇	100 後小松(ごこまつ)天皇
7 孝靈(こうれい)天皇	40 天武(てんむ)天皇	73 堀河(ほりかわ)天皇	101 称光(しょうこう)天皇
8 孝元(こうげん)天皇	41 持統(じとう)天皇	74 鳥羽(とば)天皇	102 後花園(ごはなぞの)天皇
9 開化(かいか)天皇	42 文武(もんむ)天皇	75 崇徳(すとく)天皇	103 後土御門(ごつちみかど)天皇
10 崇神(すじん)天皇	43 元明(げんめい)天皇	76 近衛(このえ)天皇	104 後柏原(ごかしわばら)天皇
11 垂仁(すいじん)天皇	44 元正(げんしょう)天皇	77 後白河(ごしらかわ)天皇	105 後奈良(ごなら)天皇
12 景行(けいこう)天皇	45 聖武(しょうむ)天皇	78 二条(にじょう)天皇	106 正親町(おおぎまち)天皇
13 成務(せいむ)天皇	46 孝謙(こうけん)天皇	79 六条(ろくじょう)天皇	107 後陽成(ごようぜい)天皇
14 仲哀(ちゅうあい)天皇	47 淳仁(じゅんにん)天皇	80 高倉(たかくら)天皇	108 後水尾(ごみずのお)天皇
15 応神(おうじん)天皇	48 称徳(しょうとく)天皇	81 安德(あんとく)天皇	109 明正(めいしょう)天皇
16 仁徳(にんとく)天皇	49 光仁(こうにん)天皇	82 後鳥羽(ごとば)天皇	110 後光明(ごこうみょう)天皇
17 履中(りちゅう)天皇	50 桓武(かんむ)天皇	83 土御門(つちみかど)天皇	111 後西(ごさい)天皇
18 反正(はんぜい)天皇	51 平城(へいぜい)天皇	84 順徳(じゅんとく)天皇	112 霊元(れいげん)天皇
19 允恭(いんぎょう)天皇	52 嵯峨(さが)天皇	85 仲恭(ちゅうきょう)天皇	113 東山(ひがしやま)天皇
20 安康(あんこう)天皇	53 淳和(じゅんわ)天皇	86 後堀河(ごほりかわ)天皇	114 中御門(なかもみかど)天皇
21 雄略(ゆうりやく)天皇	54 仁明(にんみょう)天皇	87 四条(しじょう)天皇	115 桜町(さくらまち)天皇
22 清寧(せいねい)天皇	55 文徳(もんとく)天皇	88 後嵯峨(ごさが)天皇	116 桃園(ももぞの)天皇
23 顕宗(けんそう)天皇	56 清和(せいわ)天皇	89 後深草(ごふかくさ)天皇	117 後桜町(ごさくらまち)天皇
24 仁賢(にんけん)天皇	57 陽成(ようぜい)天皇	90 龜山(かめやま)天皇	118 後桃園(ごももぞの)天皇
25 武烈(ぶれつ)天皇	58 光孝(こうこう)天皇	91 後宇多(ごうだ)天皇	119 光格(こうかく)天皇
26 継体(けいたい)天皇	59 宇多(うだ)天皇	92 伏見(ふしみ)天皇	120 仁孝(にんこう)天皇
27 安閑(あんかん)天皇	60 醍醐(たいご)天皇	93 後伏見(ごふしみ)天皇	121 孝明(こうめい)天皇
28 宣化(せんか)天皇	61 朱雀(すざく)天皇	94 後二条(ごにじょう)天皇	122 明治天皇
29 欽明(きんめい)天皇	62 村上(むらかみ)天皇	95 花園(はなぞの)天皇	123 大正天皇
30 敏達(びだつ)天皇	63 冷泉(れいぜい)天皇	96 後醍醐(ごたいご)天皇(南朝1)	124 昭和天皇
31 用明(ようめい)天皇	64 円融(えんりゅう)天皇	光厳(こうごん)天皇(北朝1)	125 今上天皇
32 崇峻(すしゅん)天皇	65 花山(かざん)天皇	光明(こうみょう)天皇(北朝2)	
33 推古(すいこ)天皇	66 一条(いちじょう)天皇	崇光(すこう)天皇(北朝3)	

【唐】

唐(歴代世系)

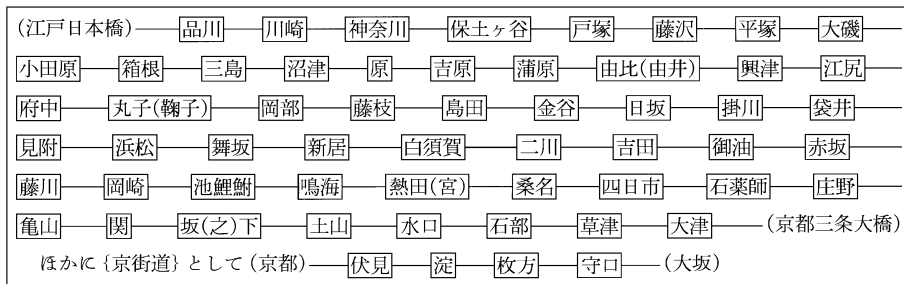


【同位角】



【東海道五十三次】

東海道五十三次(宿駅一覧)



【二十四史】

二十四史(正史)一覧

書名	巻数	編著者	成立年代	書名	巻数	編著者	成立年代
史記	130	司馬遷	前漢 前 91 年頃	南史	80	李延寿	唐 659
漢書	100	班固	後漢 後 82 年頃	北史	100	李延寿	唐 659
後漢書	120	范曄	南朝宋 432 年頃	旧唐書	200	劉昫 <small>ほか</small>	後晋 945
三国志	65	陳寿	西晋 3 世紀末	新唐書	225	歐陽修 <small>ほか</small>	宋 1060
晋書	130	房玄齡 <small>ほか</small>	唐 648	旧五代史	150	薛居正 <small>ほか</small>	宋 974
宋書	100	沈約	南齐 488	新五代史	74	歐陽修	宋 1053
南齐書	59	蕭子顯	梁 6 世紀前半	宋史	496	脱脱 <small>ほか</small>	元 1345
梁書	56	姚思廉	唐 636	遼史	116	脱脱 <small>ほか</small>	元 1345
陳書	36	姚思廉	唐 636	金史	135	脱脱 <small>ほか</small>	元 1345
魏書	130	魏収	北齐 554	元史	210	宋濂 <small>ほか</small>	明 1370
北齐書	50	李百薬 <small>ほか</small>	唐 636	明史	332	張廷玉 <small>ほか</small>	清 1739
周書	50	令狐德棻 <small>ほか</small>	唐 636	新元史	257	柯劭忞	民国 1919
隋書	85	魏徵 <small>ほか</small>	唐 636・656				

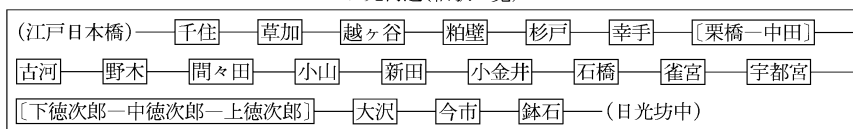
【二十四節気】

二十四節気

季節	名称	概略日付	季節	名称	概略日付
春	立春	2月 4日	秋	立秋	8月 8日
	雨水	2月 19日		処暑	8月 24日
	啓蟄	3月 6日		白露	9月 8日
	春分	3月 21日		秋分	9月 23日
	清明	4月 5日		寒露	10月 9日
夏	穀雨	4月 20日	冬	霜降	10月 24日
	立夏	5月 6日		立冬	11月 8日
	小満	5月 21日		小雪	11月 23日
	芒種	6月 6日		大雪	12月 8日
	夏至	6月 22日		冬至	12月 22日
小暑	7月 8日	小寒	1月 6日		
大暑	7月 23日	大寒	1月 20日		

【日光街道】

日光街道(宿駅一覧)



〔 〕内は交代継立ての宿

【能楽】

能楽の流派

分類	流派名
立方	観世(かんぜ) 宝生(ほうしょう) 金春(こんばる) 金剛(こんごう) 喜多(きた)
ワキ方	福王(ふくおう) 高安(たかやす) 宝生(下掛り宝生) [春藤](しゅんどう) [進藤](しんどう)
狂言方	大蔵(おおくら) 和泉(いづみ) [鶯](さぎ)
囃子方	笛方 一噌(いっそう) 森田 藤田 [春日](しゅんにち) [平岩]
小鼓方	幸(こう) 幸清(こうせい) 大倉 観世
大鼓方	葛野(かどの) 高安 大倉 石井 観世(宝生鍊三郎派)
太鼓方	観世 金春

[]は廃絶

【能面】

能面の主なもの

分類	名称			
翁面	尉面 白色尉(はくしきじょう) 肉色尉 父尉 黒色尉			
	冠者面 延命冠者(えんめいかじや)			
	常相 奇相 異相			
能面	尉面 (老体面)	小尉(小牛尉)・三光尉・朝倉尉・笑尉・舞尉	皴尉(しわじょう)・石王尉	悪尉(あくじょう)(大悪尉・小悪尉・鼻瘤悪尉など)
	男面	若男・中将・平太(へいだ)・邯鄲男・十六・敦盛・童子・喝食(かつしき)・慈童・猩々	怪士(あやかし)・三日月・鷹・筋男(すじおとこ)・瘦男・蛙(かわず)・一角仙人	癡見(べしみ)(大癡見・小癡見・黒癡見など)・飛出(とびで)(大飛出・小飛出)・釣眼(つりまなこ)・黒髭(くろひげ)など)・顰(しかみ)・獅子口・天神
	女面	若女・小面(こおもて)・増(ぞう)(増女)・孫次郎・近江女・深井・曲見(しやくみ)・老女・姥	泥眼(でいがん)・橋姫・増髪(ますかみ)・瘦女・山姥(やまんば)	般若(はんにや)・生成(なまなり)・蛇(じや)

【発光生物】

主な発光生物

細菌	発光バクテリア類(フォトバクテリウム・ビブリオなど)	節足動物	ウミホタル・発光ヤスデ・サクラエビ・ヒカリエビ・ホタルなど
真菌	ツキヨタケ・ナラタケ(菌糸)・ヤコウタケなど	軟体動物	ホタルイカ・メヒカリイカ・カモメガイ・発光ウミウシなど
原生動物	ヤコウチュウ・ケラチウムなど	原索動物	ヒカリボヤ・ギボシムシなど
腔腸動物	ウミサボテン・タコクラゲ・ウミエラ・オワンクラゲなど	脊椎動物	マツカサウオ・ヒカリキンメダイ・ホウネンイワシ・ホウネンエソなど
紐形動物	ヒカリヒモムシ		
環形動物	ウロコムシ・ツバサゴカイ・ヒカリミミズなど		

【発酵】

主な発酵

	作用	発酵微生物
アルコール発酵	糖→エタノール, 二酸化炭素	コウボ
グリセロール発酵	糖→グリセロール	コウボ
乳酸発酵	糖→乳酸, 二酸化炭素	乳酸菌, ケカビ
メタン発酵	二酸化炭素, 蟻酸, 酢酸など→メタン	メタン細菌
酢酸発酵	エタノール→酢酸	酢酸菌
クエン酸発酵	糖, 炭水化物→クエン酸	クロカビ, アオカビなど
イタコン酸発酵	糖→クエン酸→イタコン酸	アスペルギリスなど
グルコン酸発酵	糖→グルコン酸	酢酸菌, クロカビなど
酪酸発酵	糖→酪酸, アセトン, ブタノールなど	クロストリディウム
アミノ酸発酵	糖など→グルタミン酸, リジン, トレオニンなど	コリネバクテリウム

【発想標語】

発想標語

標語	意味
アニマート animato	活発に, 生き生きと
アパッショナート appassionato	情熱的に
ヴィーヴォ vivo	活発に
エスプレッシーヴォ espressivo	表情ゆたかに
カンタービレ cantabile	歌うように(なだらかに)
グラヴェ gravac	重々しく
グラツィオーソ grazioso	優雅に
コン・ブリオ con brio	生き生きと
コン・モート con moto	元氣よく
ジョコーソ giocoso	嬉々として
センプリチェ semplice	素朴に
トランクイロ tranquillo	静かに
ドルチェ dolce	甘く, やわらかに
マエストーソ maestoso	堂々と, 荘厳に

【パラフィン】

直鎖パラフィン炭化水素

名称	分子式	沸点(℃)
メタン(methane)	CH ₄	-161.5
エタン(ethane)	C ₂ H ₆	-89.0
プロパン(propane)	C ₃ H ₈	-42.1
ブタン(butane)	C ₄ H ₁₀	0.5
ペンタン(pentane)	C ₅ H ₁₂	36.1
ヘキサン(hexane)	C ₆ H ₁₄	68.7
ヘプタン(heptane)	C ₇ H ₁₆	98.4
オクタン(octane)	C ₈ H ₁₈	125.7
ノナン(nonane)	C ₉ H ₂₀	150.8
デカン(decane)	C ₁₀ H ₂₂	174.1

【ハロゲン】

ハロゲン族の単体

名称	分子式	状態	色	融点(℃)	沸点(℃)
弗素	F ₂	気体	淡黄	-219.6	-188.1
塩素	Cl ₂	気体	黄緑	-101.0	-34.1
臭素	Br ₂	液体	赤褐	-7.2	58.8
沃素	I ₂	固体	黒紫	113.5	184.4

【坂東三十三所】

坂東三十三所

都県名	寺院名	都県名	寺院名	
神奈川県	1 杉本寺	栃木県	18 中禅寺	
	2 岩殿寺		19 大谷寺	
	3 安養院		20 西明寺	
鎌倉	4 長谷寺	茨城県	21 日輪寺	
	5 勝福寺		22 佐竹寺	
厚木	6 長谷寺		23 観世音寺	
	7 光明寺		24 楽法寺	
	8 星谷寺		25 大御堂	
埼玉県	9 慈光寺		千葉県	26 清滝寺
	10 正法寺			27 円福寺
	11 安楽寺	28 竜正院		
12 慈恩寺	29 千葉寺			
13 浅草寺	30 高蔵寺			
東京都	14 弘明寺	31 笠森寺		
神奈川県	15 長谷寺	32 清水寺		
	16 水沢寺	33 那古寺		
栃木県	17 満願寺			

【藩学】

主な藩学

名称	藩主	所在地	創設年代	旧称・改称
稽古館(けいこかん)	津軽 弘前		1796	
作人館(さくじんかん)	南部 盛岡		1636	稽古所・明義堂
養賢堂(ようけんどう)	伊達 仙台		1736	学問所・明倫館
日新館(にっしんかん)	松平 会津		1678	
明德館(めいとくかん)	佐竹 秋田		1789	明道館
興讓館(こうじょうかん)	上杉 米沢		1697	学校
道学堂(どうかくどう)	溝口 新発田		1772	
文武学校(ぶんぶがっこう)	真田 松代		1855	稽古所・学問所
弘道館(こうどうかん)	徳川 水戸		1841	
明倫堂(めいりんどう)	徳川 名古屋		1748	学問所
明倫堂(めいりんどう)	前田 金沢		1792	
成徳書院(せいとくしょいん)	堀田 佐倉		1792	
弘道館(こうどうかん)	井伊 彦根		1799	稽古館
立教館(りっきょうかん)	松平 白河・桑名		1791	学問所
学習館(がくしゅうかん)	徳川 和歌山		1713	講釈所
花畠教場(はなばたけきょうじょう)	池田 岡山		1641	仮学館・学校
誠之館(せいしかん)	阿部 福山		1786	弘道館
修道館(しゅうどうかん)	浅野 広島		1782	稽古屋敷・学問所
明教館(めいきょうかん)	松平 松江		1758	文明館・文武館
明倫館(めいりんかん)	毛利 萩		1719	
教授館(きょうじゅうかん)	山内 高知		1760	教授場・致道館
明倫館(めいりんかん)	伊達 宇和島		1748	内徳館・敷教館
修猷館(しゅうゆうかん)	黒田 福岡		1784	
伝習館(でんしゅうかん)	立花 柳川		1824	
弘道館(こうどうかん)	鍋島 佐賀		1781	
時習館(じしゅうかん)	細川 熊本		1755	
造士館(ぞうしかん)	島津 鹿児島		1773	本学校

【病原体】

主な病原体

	特 徴	例
ウイルス	宿主細胞内でのみ増殖。化学療法剤が効かない	はしかウイルス、インフルエンザウイルス、日本脳炎ウイルス、肝炎ウイルス、風疹ウイルス、黄熱ウイルス、ラッサ熱ウイルスなど
クラミジア	宿主細胞内でのみ増殖	トラコーマ-クラミジア、オウム病クラミジアなど
マイコプラズマ	細胞壁がない。最小の自律増殖生物	異型肝炎マイコプラズマ、肺炎マイコプラズマなど
細菌	細胞壁をもち、自率的に増殖	ジフテリア菌、肺炎双球菌、淋菌、コレラ菌、赤痢菌、大腸菌、破傷風菌、ボツリヌス菌、結核菌など
スピロヘータ	同上	梅毒トレポネーマ、レプトスピラなど
リケッチア	宿主細胞内でのみ増殖	ツツガムシ病リケッチア、発疹チフス-リケッチアなど
真菌	半ば寄生的に増殖	カンジダ、クリプトコッカス、白癬菌など
原生動物(原虫)	宿主に寄生	マラリア原虫、トリパノソーマ、トキソプラズマ
寄生虫	同上	回虫、十二指腸虫、条虫、住血吸虫、ジストマなど

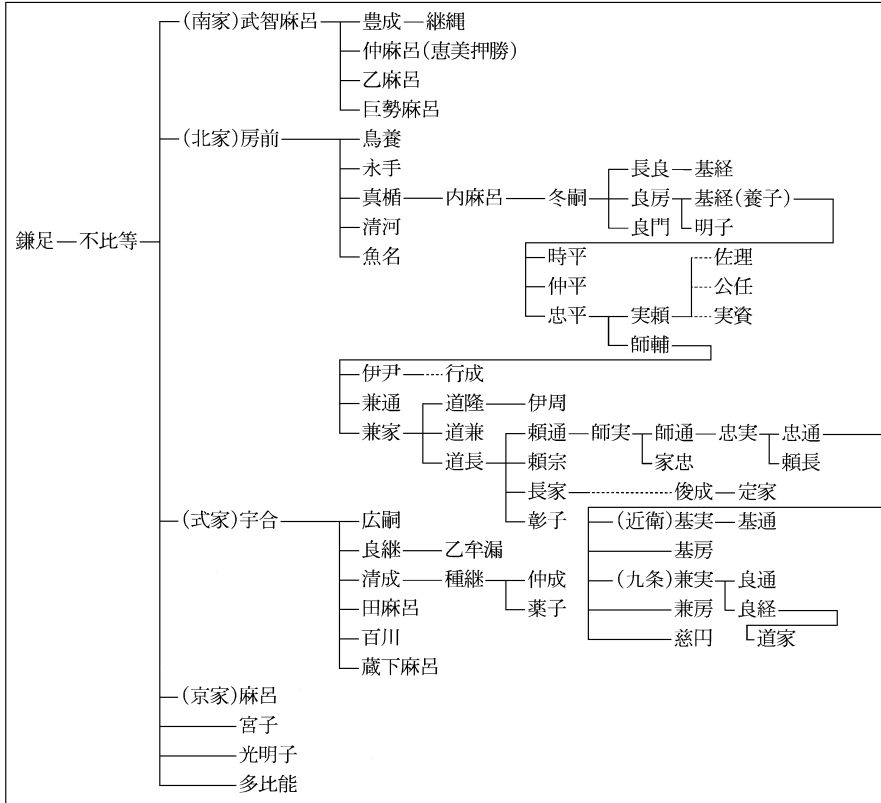
【舞曲】

舞曲(欧米の主な舞曲)

流行した時代	名 称	拍子	始まった国	流行した時代	名 称	拍子	始まった国		
16～17世紀	バヴァース	pavane	4/4	イタリア	18～19世紀 19世紀	メヌエット	menuet	3/4	フランス
	ガイヤルド	gaillarde	3/2	イタリア		マズルカ	mazurka	3/4	ポーランド
	アルマンド	allemande	4/4	ドイツ		ポロネーズ	polonaise	3/4	ポーランド
	シャコンヌ	chaconne	3/4	スペイン		ポルカ	polka	2/4	チェコ
	パッサカリア	passacaglia	3/4	スペイン		ボレロ	bolero	3/4	スペイン
	クーラント	courante	3/2	フランス・イタリア		ハバネラ	habanera	2/4	キューバ
17～18世紀	サラバンド	saraband	3/4	スペイン	ギャロップ	galop	2/4	ドイツ	
	ジューグ	gigue	6/8	イギリス	ワルツ	waltz	3/4	オーストリア	
	ブーレ	bourrée	2	フランス	チャルダシュ	czardas	2/4	ハンガリー	
	ガヴォット	gavotte	4/4	フランス	タンゴ	tango	2/4	アルゼンチン	

【藤原】

藤原(藤原氏略系図)



【仏像】

主な仏像の種類

如来部	釈迦如来, 薬師如来, 阿弥陀如来, 毘盧遮那如来, 大日如来, 五智如来
菩薩部	弥勒菩薩, 観(世)音菩薩(聖観音・如意輪観音・十一面観音・千手観音・不空羼索観音・馬頭観音・准胝観音など), 勢至菩薩, 日光菩薩, 月光菩薩, 文殊菩薩, 普賢菩薩, 普賢延命菩薩, 虚空蔵菩薩, 五大虚空蔵菩薩, 地藏菩薩, 薬王菩薩, 薬上菩薩, 妙見菩薩
明王部	五大明王(不動明王・降三世明王・軍荼利明王・大威徳明王・金剛夜叉明王), 愛染明王, 孔雀明王, 大元帥明王, 烏枢沙摩明王
天部	四天王(持国天・増長天・広目天・多聞天=毘沙聞天), 梵天, 帝釈天, 吉祥天, 弁財天, 大黒天, 歓喜天=聖天, 韋駄天, 摩利支天, 仁王, 鬼子母神, 八部衆, 十二神将
その他	十大弟子, 羅漢, 祖師, 大師など

【変体仮名】

変体仮名

あ	さ	な	ま	ら
い	し	に	み	り
う	ず	ぬ	む	る
え	せ	ね	め	れ
お	そ	の	も	ろ
か	た	は	や	わ
き	ち	ひ	や	ゐ
く	つ	ふ	ゆ	を
け	て	へ	よ	を
こ	と	ほ	を	を

【フロン】

フロン

名称	分子式	沸点(℃)
F-11	CFCl ₃	23.8
F-12	CF ₂ Cl ₂	-29.8
F-22	CHF ₂ Cl	-40.8
F-113	C ₂ F ₃ Cl ₃	47.6
F-114	C ₂ F ₄ Cl ₂	3.8
F-115	C ₂ F ₅ Cl	-39.1

【分国法】

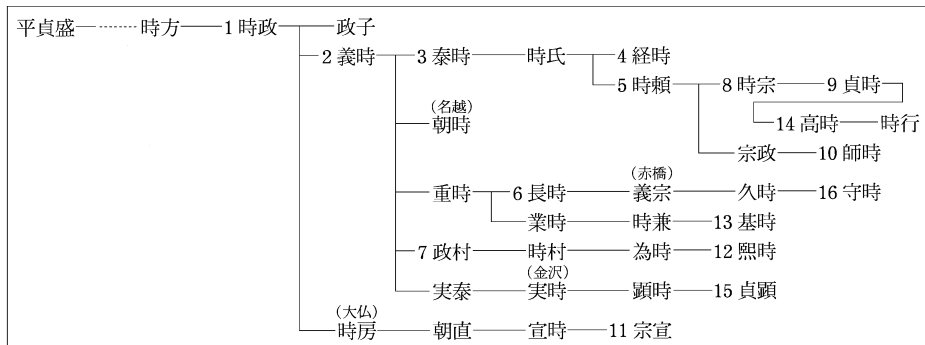
分国法

名称	別称	条文数	制定年代
朝倉孝景条々	朝倉敏景十七箇条	17	1471~81
大内氏掟書	大内家壁書	181	1439~1529
相良氏法度		41	1493~1555
今川仮名目録		33	1526
同 追加		21	1553
塵芥集		171	1536
甲州法度	甲州法度之次第 信玄家法	26*	1547
結城氏新法度		106	1556
新加制式		22	1558~70頃
六角氏式目	義治式目	67	1567
長宗我部氏掟書	長宗我部元親百箇条	100	1597頃

* のち55ヵ条に増補

【北条】

北条(略系図)



数字は執権の順序

【ボクシング】

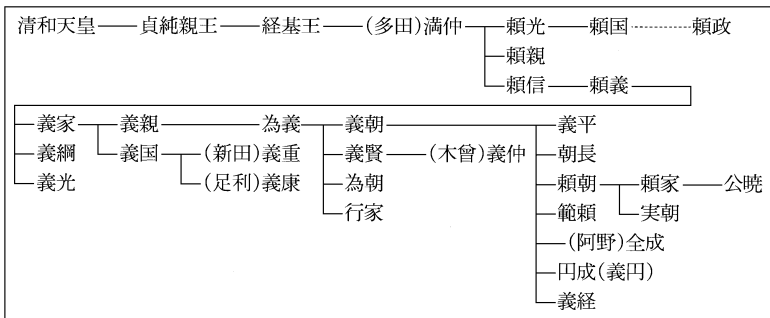
ボクシングの階級と体重

ア マ		ブ ロ	
階 級	体重(kg)	階 級	体重(ポンド)
ライト-フライ	48 以下	ミニマム	105(約 47.6 kg) 以下
フライ	~51 以下	ライト-フライ	~108(約 48.9 kg) 以下
バンタム	~54 以下	フライ	~112(約 50.8 kg) 以下
フェザー	~57 以下	スーパー-フライ	~115(約 52.1 kg) 以下
ライト	~60 以下	バンタム	~118(約 53.5 kg) 以下
ライト-ウェルター	~64 以下	スーパー-バンタム	~122(約 55.3 kg) 以下
ウェルター	~69 以下	フェザー	~126(約 57.1 kg) 以下
ライト-ミドル	~75 以下	スーパー-フェザー	~130(約 58.9 kg) 以下
ミドル	~81 以下	ライト	~135(約 61.2 kg) 以下
ライト-ヘビー	~91 以下	スーパー-ライト	~140(約 63.5 kg) 以下
ヘビー	91 超過	ウェルター	~147(約 66.6 kg) 以下
		スーパー-ウェルター	~154(約 69.8 kg) 以下
		ミドル	~160(約 72.5 kg) 以下
		スーパー-ミドル	~168(約 76.2 kg) 以下
		ライト-ヘビー	~175(約 79.3 kg) 以下
		クルーザー	~190(約 86.1 kg) 以下
		ヘビー	190(約 86.1 kg) 超過

ジュニアにはモスキート級(45 kg 以下)がある。

【源】

源(清和源氏略系図)



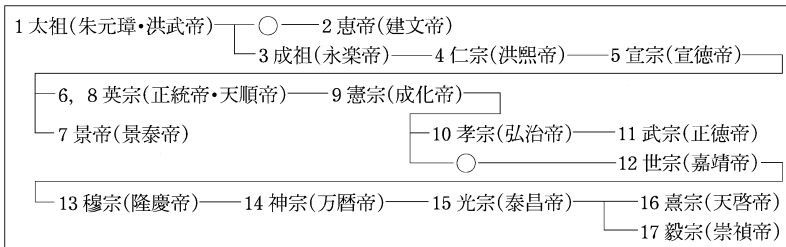
【室町幕府】

室町幕府(将軍一覽)

代数	氏名	父	母	在職期間	没年
1	足利尊氏	足利貞氏	上杉頼重娘清子	1338~1358	1358
2	足利義詮	足利尊氏	北条(赤橋)久時娘登子	1358~1367	1367
3	足利義満	足利義詮	善法寺通清娘紀良子	1368~1394	1408
4	足利義持	足利義満	安芸法眼娘藤原慶子	1394~1423	1428
5	足利義量	足利義持	日野資康娘栄子	1423~1425	1425
6	足利義教	足利義満	安芸法眼娘藤原慶子	1429~1441	1441
7	足利義勝	足利義教	日野重光娘重子	1442~1443	1443
8	足利義政	足利義教	日野重光娘重子	1449~1473	1490
9	足利義尚	足利義政	日野重政娘富子	1473~1489	1489
10	足利義植	足利義視	日野重政娘(富子妹)	1490~1493	1493
				1508~1521	1523
11	足利義澄	足利政知	武者小路隆光娘	1494~1508	1511
12	足利義晴	阿与	阿与	1521~1546	1550
13	足利義輝	足利義晴	近衛尚通娘	1546~1565	1565
14	足利義栄	足利義維	大内介娘	1568	1568
15	足利義昭	足利義晴	近衛尚通娘	1568~1573	1597

【明】

明(歴代世系)



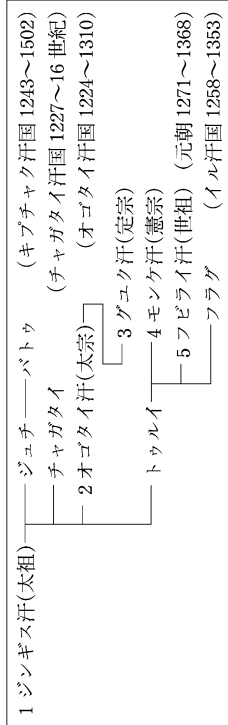
【命数法】

命数法

	命数法
大数	十, 百, 千, 万, 億, 兆, 京(けい), 垓(がい), 秭(じ), 穰(じょう), 溝, 澗(かん), 正(せい), 載, 極, 恒河沙(ごうがしゃ), 阿僧祇(あそうぎ), 那由他(なゆた), 不可思議, 無量大数
小数	分, 厘, 毫(=毛), 糸, 忽(こつ), 微, 纖, 沙(しゃ), 塵, 埃(あい), 渺(びょう), 漠, 模糊(もこ), 逡巡, 須臾(しゆ), 瞬息, 彈指, 刹那, 六徳, 虚空, 清淨

【モンゴル帝国】

モンゴル帝国(略系図)



数字は大汗の代数

【紋所】

分類	素材と名称
模様・文字	鱗(三つ鱗)・唐花・亀甲(三つ亀甲)・七宝・蛇の目・菱(三つ菱・三蓋菱・花菱・松皮菱・割り菱・武田菱・大内菱)・巴(右巴・左巴・一つ巴・二つ巴・三つ巴)・卍(丸卍・左卍)・引両(一つ引両・二つ引両・三つ引両)・木瓜(丸に木瓜)・庵木瓜・蔓木瓜)・目結(四目結)・輪(金輪・輪違い)・有文字・一文字・十文字・井の字・入山形
建築・器具	庵・罽・井桁・井筒(重井筒・角立井筒・平井筒)・石畳・糸巻・団扇(うちわ)(三本団扇)・扇(三つ扇・日の丸扇・扇車)・檜扇・笠(丸に笠・柳生笠・三蓋笠)・傘(三本傘)・舵・鑿・杏葉(ぎょうよう)・釘抜・くつわ・車(源氏車・風車)・剣・五徳・琴柱(ことじ)・駒・銭(六連銭・永楽通宝)・槌・鼓・羽根・分銅・枱・的・守(祇園守)・矢(矢車)・輪鼓(りゅうこ)
植物	葵(葵巴・立葵・唐草葵)・総角(あげまき)・麻(麻の葉)・銀杏・稻(稻の丸・抱き稻)・梅(梅鉢・裏梅)・沢瀉(おもだか)(抱き沢瀉・立て沢瀉)・かきつばた・柏(抱き柏・違い柏・三つ柏・三葉柏)・梶(梶の葉)・かたばみ(草かたばみ・剣かたばみ)・桔梗(ききょう)(細桔梗・桔梗崩し)・菊(菊花・菊一文字・三つ割菊・裏菊・菊水・杏葉菊・乱菊)・桐(五三桐・五七桐・大内桐・太閤桐)・くるみ・河骨(こうぼね)・桜(影桜)・大根・竹(竹の丸・竹に雀)・笹(おかめ笹・三枚笹)・丸に九枚笹)・根笹・雪持笹)・上杉笹)・仙台笹)・棕櫚(しゅうろ)・杉(一本杉)・並び杉)・杉巴)・薄(すすき)(薄の丸)・橘(丸に橘)・向う橘)・丁子・蔦(鬼蔦)・中陰蔦)・結蔦)・鉄線(光琳鉄線)・なずな(雪なずな)・なでしこ)・ひいらぎ)・藤(上り藤)・下り藤)・藤の丸)・葡萄)・牡丹(近衛牡丹)・伊達牡丹)・銅島牡丹)・蟹牡丹)・杏葉牡丹)・松(一つ松)・榲松)・三蓋松)・松葉)・松笠)・茗荷(抱き茗荷)・桃)・竜胆(笹竜胆)・餅(黒餅)
動物	鴛鴦(おし)・兎(花兎)・馬(繫ぎ馬)・雁(二つ雁金)・結び雁金)・雁金菱)・雀(雀の丸)・ふくら雀)・鷹(鷹の羽)・鶴(鶴の丸)・舞鶴)・蝶(揚羽蝶)・胡蝶)・鳩
天文・気象	日(日の丸)・月(三日月)・星(三つ星)・八曜)・九曜)・稻妻(稲妻菱)・雲)・雪(雪輪)・波

【ヤードポンド法】

長 さ		
1 インチ		2.54 cm
1 フィート	12 インチ	30.48 cm
1 ヤード	3 フィート	91.44 cm
1 マイル	1,760 ヤード	1.609 km

面 積	
1 エーカー	4,047 m ²

体 積	
1 ガロン(英)	4.546 ℓ
1 ガロン(米)	3.785 ℓ

質 量		
1 オンス		28.35 g
1 ポンド	16 オンス	453.6 g
1 トン(英)	2,240 ポンド	1.016 t
1 トン(米)	2,000 ポンド	0.9072 t

【養老律令】

養老令の編名

1 官位令(かんいりょう)	16 宮衛令(くうえりょう・くえりょう)
2 職員令(しきいんりょう)	17 軍防令(ぐんぼうりょう)
3 後宮職員令(ごくうしきいんりょう・こ うきゅうしきいんりょう)	18 儀制令(ぎせいりょう)
4 東宮職員令(とうぐうしきいんりょう)	19 衣服令(えぶくりょう・いふくりょう)
5 家令職員令(けりょうしきいんりょう・ かれいしきいんりょう)	20 宮繕令(ようぜんりょう・えいぜんりよ う)
6 神祇令(じんぎりょう)	21 公式令(くうじきりょう・くしきりょう)
7 僧尼令(そうにりょう)	22 倉庫令(そうこりょう)
8 戸令(こりょう)	23 廐牧令(くもくりょう・きゅうぼくりよ う)
9 田令(でんりょう)	24 医疾令(いしちりょう・いしつりょう)
10 賦役令(ふやくりょう・ぶやくりょう)	25 仮寧令(けにょうりょう)
11 学令(がくりょう)	26 喪葬令(そうそうりょう)
12 選叙令(せんじょりょう)	27 閉市令(げんしりょう)
13 継嗣令(けいしりょう)	28 捕亡令(ぶもうりょう)
14 考課令(こうかりょう)	29 獄令(ごくりょう)
15 禄令(ろくりょう)	30 雑令(ぞうりょう)

【六国史】

六国史

書名	巻数	収載歴代	完成年	主な編者
日本書紀	30	(神代)～持統	720	舎人親王
続日本紀	40	文武～桓武	797	藤原繼縄・菅野真道
日本後紀	40	桓武・淳和	840	藤原冬嗣・藤原緒嗣
続日本後紀	20	仁明	869	藤原良房・春澄善純
日本文徳天皇実録	10	文徳	879	藤原基経・都良香・菅原是善
日本三代実録	50	清和・陽成・光孝	901	藤原時平・大蔵善行

【令外官】

令外官の主なもの

官名	初置年代
内大臣(ないだいじん)	669
参議(さんぎ)	702
知太政官事(ちだいじょうかんじ)	703
中納言(ちゅうなごん)	705
按察使(あぜち)	719
征夷大將軍(せいいたいしょうぐん)	794
勘解由使(かげゆし)	797頃
観察使(かんさつし)	806
蔵人所(くらうどどころ)	810
檢非違使(けびいし)	816頃
修理職(しゆりしき)	818

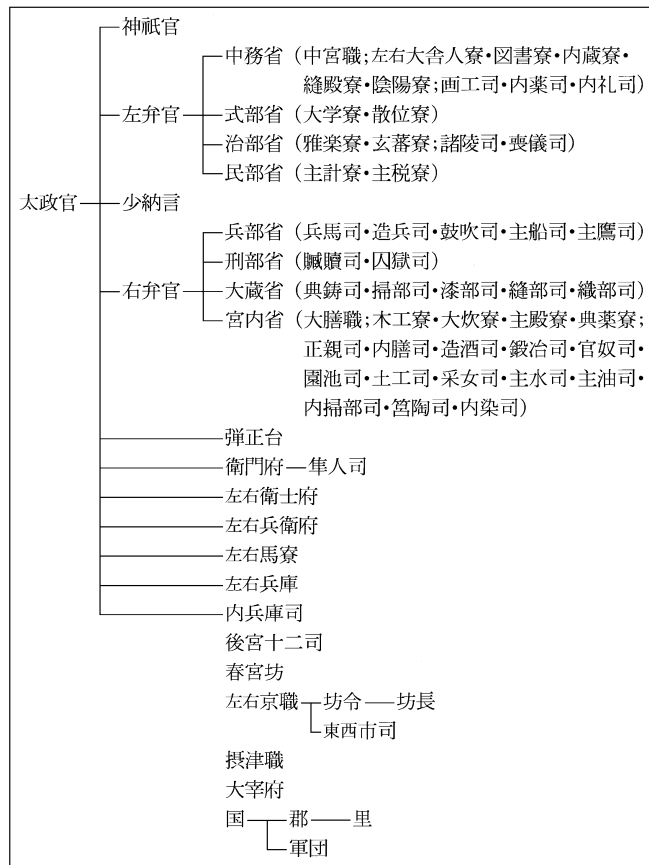
【曆法】

曆法(日本で行われた曆法)

曆名	作製者	施行年
元嘉曆(げんかれき)	何承天(南朝宋)	692(持統天皇6年)
儀鳳曆(ぎほうれき)	李淳風(唐)	697(文武天皇元年)
大衍曆(たいえんれき)	一行(唐)	764(天平宝字8年)
五紀曆(ごきれき)	郭献之(唐)	858(天安2年)
宣明曆(せんみょうれき)	徐昂(唐)	862(貞観4年)
貞享曆(じょうきょうれき)	渋川春海	1685(貞享2年)
宝曆曆(ほうれきれき)	安倍泰邦 <small>ほか</small>	1755(宝曆5年)
寛政曆(かんせいれき)	高橋至時・間重富	1798(寛政10年)
天保曆(てんぽうれき)	渋川景佑 <small>ほか</small>	1844(弘化元年)
グレゴリオ曆		1873(明治6年)

【律令制】

律令制(官制)



【ローマ字】

ローマ字

大文字	小文字	名称	大文字	小文字	名称
A	a	エー	N	n	エヌ
B	b	ビー	O	o	オー
C	c	シー	P	p	ピー
D	d	ディー	Q	q	キュー
E	e	イー	R	r	アール
F	f	エフ	S	s	エス
G	g	ジー	T	t	ティー
H	h	エッチ	U	u	ユー
I	i	アイ	V	v	ヴィー
J	j	ジェー	W	w	ダブリュー
K	k	ケー	X	x	エックス
L	l	エル	Y	y	ワイ
M	m	エム	Z	z	ゼット

【ローマ数字】

ローマ数字

算用数字	ローマ数字
1	I
2	II
3	III
4	IV
5	V
6	VI
7	VII
8	VIII
9	IX
10	X
50	L
100	C
500	D
1000	M

【ロシア文字】

ロシア文字

大文字	小文字	名称	大文字	小文字	名称
А	а	アー	Р	р	エル
Б	б	ベー	С	с	エス
В	в	ヴェー	Т	т	テー
Г	г	ゲー	У	у	ウー
Д	д	デー	Ф	ф	エフ
Е	е	イエー	Х	х	ハー
Ё	ё	ヨー	Ц	ц	ツェー
Ж	ж	ジェー	Ч	ч	チェー
З	з	ゼー	Ш	ш	シャー
И	и	イー	Щ	щ	シチャー
Й	й	イー-クラートコエ	Ь	ь	硬音符
К	к	カー	Ъ	ъ	ウイ
Л	л	エリ	Ы	ы	軟音符
М	м	エム	Э	э	エー
Н	н	エヌ	Ю	ю	ユー
О	о	オー	Я	я	ヤー
П	п	ペー			

【渡り鳥】

日本列島の主な渡り鳥

夏鳥(夏, 日本に来て繁殖)		冬鳥(日本で越冬)	
種名	越冬地	種名	繁殖地
ホトトギス	←東南アジア*	ナベヅル	←ロシア沿海州アムール地方
カッコウ	←東南アジア	マナヅル	←ロシア沿海州アムール地方
ヨタカ	←東南アジア	オオハクチョウ	←シベリア-タイガ帯
ブッポウソウ	←東南アジア	コハクチョウ	←シベリア北極圏
アカショウビン	←東南アジア	マガン	←シベリア北極圏
ツバメ	←東南アジア	オナガガモ	←シベリア・北米北部
オオルリ	←東南アジア	コズガモ	←シベリア北東部
コルリ	←東南アジア	コミミズク	←シベリア
キビタキ	←東南アジア	ツグミ	←シベリア-タイガ帯
ノビタキ	←東南アジア	アトリ	←シベリア-タイガ帯
センダイムシクイ	←東南アジア	ジョウビタキ	←シベリア南東部・ロシア沿海州
クロツグミ	←東南アジア	ヒレンジャク	←ロシア沿海州アムール地方
オオヨシキリ	←東南アジア	ハマシギ	←シベリア・アラスカ北極圏
オオジシギ	←オーストラリア南東部	アビ	←シベリア北極圏
コアジサシ	←ニュー-ギニア・オーストラリア	ユリカモメ	←シベリア北東部・カムチャツカ
オオミズナギドリ	←フィリピン群島・オーストラリア北部	セグロカモメ	←シベリア北部

旅鳥(渡りの途中, 日本を通過)

種名	越冬地	繁殖地
アカエリヒレアシシギ	フィリピン・ニュー-ギニア	←シベリア北極圏
チュウシャクシギ	東南アジア・オーストラリア	←シベリア東部
キョウジョシギ	東南アジア・オーストラリア	←シベリア・アラスカ北極圏
キアシシギ	東南アジア・オーストラリア	←シベリア東部
オオソリハシシギ	東南アジア・オーストラリア	←シベリア北極圏
エリマキシギ	東南アジア・オーストラリア	←シベリア北極圏
トウネン	東南アジア・オーストラリア	←シベリア北極圏
ダイゼン	東南アジア・オーストラリア	←シベリア北極圏
ムナグロ	東南アジア・オーストラリア	←シベリア・アラスカ西部北極圏
メダイチドリ	東南アジア・オーストラリア	←シベリア・カムチャツカ
トウゾクカモメ	オーストラリア・ニュー-ジーランド海域	←シベリア北極圏
アジサシ	オーストラリア南部海域	←シベリア東部
ハシボソミズナギドリ	北太平洋北部	←オーストラリア南東部・タスマニア
エゾビタキ	東南アジア	←シベリア南東部

越冬地・繁殖地は、日本列島に渡来する集団についてのものを示す。

* 東南アジアは、東アジア・南アジアをも含む。

類語新辞典（凡例）

『角川類語新辞典』は、ひとつには、表現したい言葉が見つからない、また、思い浮かぶ言葉はあるが、もっと別な言葉で表現したいという人のための、もうひとつには、ある言葉を、他の似た言葉や対義語と対比させたり、具体的な用例によって言葉の学習や理解を深めたい人のための辞典です。この辞典の各項目には、次のような内容が順に記述してあります。

1. 収録範囲

この辞典には、日常生活に必要な現代語を中心に、単語のみならず複合語・連語・慣用語・ことわざ・故事成語の類を含む約五万語を収録した。

2. 分類・配列

(1) すべての語彙は、図書分類法にならった十進分類法方式による「語彙分類体系表」に基づき、大分類(1桁目)・中分類(2桁目)小分類(3桁目)の三桁の数字によって分類し、必要に応じてさらにa・b・c…により細分化した。この分類によって、共通の意味を持つ語(類語)が一箇所に集まるようになっている。

〈例〉0《自然》→ 00《天文》→ 002《空》→
002a《空》 広さから見た空

(2) 語彙の配列は「体系表」における分類番号順によった。また最小分類項目(小分類、またはa b c…)内では、おおむね一般的な意味を持つ語から特殊な語の順で掲げた。

〈例〉001《宇宙》 すべての天体を含む空間
【宇宙】うちゅう
【天地】てんち
【天地】あめつち
【天壤】てんじょう

3. 見出し語

- (1) 見出し語は【 】でくくって掲げ、各語の本来の意味が理解しやすいように、和語も原則として漢字をあてた。
- (2) 「体系表」による、大・中・小分類、およびa・b・c…の各分類項目は、そのまま見出しの役割を兼ねており、語釈も簡単に施してあるが、それらの語も改めて見出し語として掲出した。

〈例〉001《宇宙》 すべての天体を含む空間
【宇宙】うちゅう 【常】

○「宇」は天地四方、「宙」は過去・現在・未来

- (3) 同じ語群の中では、意味の共通性を重視し、意味が共通であるならば、他の品詞の語でも並べて掲出した。
〈例〉【動く】【動き】【運動】 【美しい】【美】【美麗】
- (4) 意味の共通性によらずに、検索の便宜上から妥当と思われる語群中に所属させた語がある。意味の遠いものはおおむね最後に置いたが、特に区別したい語には*印を付した。
〈例〉【白雲】【黒雲】【*青雲】
- (5) 一語で複数の意味を持つ語は、それぞれの箇所に別々に出し、相互に参照すべき番号を付した。

4. 意味の解説

各見出し語の下には、それぞれの語の読み・位相・対意語・参照番号・用例・語釈などの順に、簡潔な解説を施した。

(1) 見出し語と同じ読み方で別表記のある場合は、〈 〉を用いて適宜示した。また別の読み方などのある場合は“[…]とも”の形で示してある。

〈例〉【脅す】おどす…〈威す〉 【依怙地】いこじ…「えこじ」とも

(2) 外来語についてはその原綴を示し、原語名は略号で注記した。注記のないものは英語である(和は和製英語)。

〈例〉【イデオロギー】 Ideologie 独
【スカイ】sky
【ナイター】nighter 和

(3) 各語の適切な用法や語義の違いを一層明確にするために、すべての語に位相を示した。⇒ 略語(位相)一覧参照。

(4) 必要に応じて⇔を用いて、対意語(反対語・対照語)を掲げた。

〈例〉【軽んじる】… ⇔重んじる

(5) 同一語が他の意味分類の中にも立項されている場合、そのいずれからも相互にその語が検索できるよう分類番号で参照させるようにした。

(6) 用例としては、適切な作例をできるだけ圧縮した形で掲げ、見出し語部分は「一」で示した。

〈例〉【勧誘】 加入を一する。一を断る。保険一員

(7) 用例中の単語が他の語とも置き換えられる場合は、その語を[]にくくって併せ掲げるようにした。また必要に応じて()を用いて、用例の意味を補ったり、出典を示したりし

た。

〈例〉【天体】 一写真[望遠鏡]

【天外】 奇想一(着想が奇抜なこと)

【万】 一の犬とぶらひ見に行く(枕草子)

(8) 語義は○印を付して解説した。特に隣接する語群との微妙な差異を明らかにするよう努めた。ただし分類項目の中で取り上げられている語については、多くの場合語釈を省いた。

(9) その他に[注][参考]などの欄を適宜設け、他の語との意味や用法の微妙な相違などを中心に、語釈の欄のみでは尽くせない補足的な解説(比喩的な意味・用法・語源・参考事項など)を施した。

5. 検索の方法

(1) 見出し語の読み、表記によって求める語にたどりつくことができる。この方法は、自分の思い浮かぶ語ではなく、もっと別な表現をしたい場合に、自分の知っている言葉を検索することで、多くの類語にたどりつく方法である。

(2) 分類番号により求める語にたどりつくことができる。

(3) 「体系表」の意味分類によって、求める語にたどりつくことができる(分類メニュー検索)。(2)(3)とも、自分の言いたいと思うことが表現しにくい場合に、関係のある分野を見ることが求める語にたどりつく方法である。

略語(位相)一覧表

【略語】	【語義】	【語例】
〔常〕	日常語	学{がっこう}
〔口〕	口語	尖{とん}がる
〔文〕	文語	濡{そぼ}つ
〔文章〕	文章語	学窓{がくそう}
〔雅〕	雅語	夕月夜{ゆうづくよ}
〔俗〕	俗語	ばてる
〔隠〕	隠語	さつ
〔方〕	方言	がめつい
〔古風〕	古風な表現	朋輩{ほうばい}
〔男〕	男性語	俺{おれ}
〔女〕	女性語	お下地{したじ}
〔幼〕	幼児語	おっばい
〔天〕	天文・気象	星雲{せいうん}
〔地〕	地理・地学	段丘{だんきゅう}
〔動〕	動物	柴犬{しばいぬ}
〔植〕	植物	桜桃{おうとう}
〔数〕	数学	未知数{みちすう}
〔理〕	物理・化学	反作用{はんさよう}
〔医〕	医学	臨床{りんしょう}
〔生〕	生理学	器官{きかん}
〔哲〕	哲学	止揚{しよう}
〔心〕	心理学	躁鬱質{そううつしつ}
〔仏〕	仏教	涅槃{ねはん}
〔キ〕	キリスト教	修道院{しゅうどういん}

【略語】	【語義】	【語例】
〔法〕	法律	契約{けいやく}
〔経〕	経済	約定{やくじょう}
〔軍〕	軍事	空母{くうぼ}
〔農〕	農林業	水稻{すいとう}
〔服〕	服飾	フレア
〔料〕	料理	ポターージュ
〔美〕	美術	デフォルメ
〔音〕	音楽	弦楽器{げんがっき}

語彙(ごい)分類体系表

【自然】

大分類	中分類	小分類									
		00 天文	000 天文	001 宇宙	002 空	003 天体	004 太陽	005 月	006 星	007 地球	008 朝夕
01 暦日	010 季節	011 春	012 夏	013 秋	014 冬	015 節気	016 年	017 月	018 週	019 日	
02 気象	020 気象	021 寒暖	022 晴曇	023 雨	024 雪	025 露霜	026 雲	027 霧霞	028 風	029 天変地異	
03 地勢	030 地勢	031 陸地	032 山	033 平野	034 海	035 湖沼	036 川	037 泉	038 岸	039 島	
04 景観	040 景色	041 風土	042 用地	043 耕地	044 森林	045 庭園	046 墓地	047 道路	048 海流	049 波	
05 植物	050 植物	051 樹木	052 草	053 芽	054 茎	055 枝葉	056 花	057 果実	058 樹皮果皮	059 細胞	
06 動物	060 生物	061 動物	062 魚介	063 虫類	064 器官	065 脚尾	066 筋骨	067 内臓	068 卵	069 性	
07 生理	070 生命	071 生死	072 成育	073 発病	074 生理	075 呼吸	076 血行	077 排出	078 分泌	079 生殖	
08 物質	080 万物	081 物体	082 物質	083 酸塩	084 栄養	085 水	086 空気	087 金属	088 鉱物	089 塵埃	
09 物象	090 物象	091 反応	092 燃焼	093 熱	094 煮沸	095 光	096 音	097 波動	098 力	099 電気	

【自然】

大分類	中分類	小分類									
		10 位置	100 位置	101 こそあと	102 点	103 内外	104 前後左右	105 上下	106 入り口	107 周辺	108 遠近
11 形状	110 形	111 点線	112 面	113 角	114 立体	115 模様	116 長短	117 大小	118 広狭	119 擬態語	
12 数量	120 数	121 数量	122 度	123 度量衡	124 年齢	125 有無	126 多少	127 全部	128 単複	129 幾ら	
13 実質	130 実質	131 構造	132 疎密	133 繁簡	134 軽重	135 強弱	136 硬軟	137 濃淡	138 乾湿	139 新古	
14 刺激	140 刺激	141 明暗	142 光沢	143 色彩	144 風味	145 匂い	146 冷温	147 痛痒	148 喧騒	149 擬声語	
15 時間	150 時間	151 時機	152 時刻	153 期間	154 常時	155 遅速	156 先後	157 終始	158 今昔	159 時代	
16 状態	160 状態	161 調子	162 隆盛	163 過激	164 安危	165 難易	166 明瞭	167 不変	168 気配	169 地味	
17 価値	170 価値	171 価格	172 良否	173 適不適	174 有用	175 真偽	176 正否	177 精粗	178 美醜	179 雅俗	
18 類型	180 類型	181 種類	182 特徴	183 箇条	184 系統	185 正副	186 類例	187 特異	188 同一	189 相応	
19 程度	190 程度	191 標準	192 等級	193 並み	194 限度	195 大要	196 細大	197 一層	198 大体	199 こんな	

【自然】

大分類	中分類	小分類									
		20 動揺	200 運動	201 動揺	202 震動	203 傾斜	204 転倒	205 回転	206 滑り	207 弾み	208 翻り
21 移動	210 移動	211 旋回	212 進退	213 通過	214 渡り	215 接近	216 指向	217 昇降	218 飛翔	219 流動	
22 離合	220 離合	221 混合	222 交錯	223 接触	224 付着	225 接続	226 並列	227 集散	228 堆積	229 下垂	
23 出没	230 出し入れ	231 抜き差し	232 埋没	233 見え隠れ	234 露出	235 包囲	236 開閉	237 浮沈	238 浸透	239 注ぎ	
24 変形	240 変形	241 破壊	242 伸縮	243 拡大	244 曲折	245 起伏	246 角立ち	247 締まり	248 畳み	249 巻き	
25 変質	250 変質	251 凝固	252 乾燥	253 濃縮	254 清濁	255 美化	256 色付き	257 腐敗	258 強化	259 散乱	
26 増減	260 生成	261 残存	262 増減	263 加除	264 満ち欠け	265 過不足	266 補充	267 総括	268 包含	269 限定	
27 情勢	270 情勢	271 勢い	272 発生	273 成否	274 興亡	275 盛衰	276 進歩	277 変動	278 混乱	279 緊張	
28 経過	280 経過	281 過程	282 開始	283 到来	284 断続	285 存廃	286 進捗	287 進み	288 繰り上げ	289 短縮	
29 関連	290 関係	291 独立	292 対応	293 本末	294 因果	295 影響	296 均衡	297 適合	298 類似	299 勝り	

【人事】

大分類	中分類	小分類									
		30 動作	300 動作	301 全身動作	302 立ち居	303 俯仰	304 横臥	305 手の動作	306 足の動作	307 歩行	308 疾走
31 往来	310 道筋	311 往復	312 去来	313 出入り	314 発着	315 乗降	316 運行	317 逃亡	318 巡回	319 滞在	
32 表情	320 表情	321 笑い	322 泣き	323 目の動き	324 声	325 感嘆	326 身震い	327 狼狽	328 気取り	329 凄み	
33 見聞	330 見聞	331 目撃	332 聴取	333 提示	334 合図	335 表現	336 描写	337 署名	338 読み	339 書き	
34 陳述	340 発言	341 沈黙	342 進言	343 談話	344 相談	345 議論	346 問答	347 説明	348 演説	349 主張	
35 寝食	350 生活	351 居住	352 在宅	353 寝起き	354 食事	355 炊事	356 装い	357 美容	358 掃除	359 裁縫	
36 労役	360 行為	361 実行	362 成敗	363 労働	364 従業	365 休業	366 営業	367 仕事	368 職業	369 産業	
37 授受	370 授受	371 需給	372 徴収	373 取捨	374 貸借	375 預け	376 交換	377 集配	378 選択	379 所有	
38 操作	380 操作	381 使用	382 処置	383 設置	384 包装	385 積載	386 運搬	387 押し	388 突き	389 打撃	
39 生産	390 生産	391 製造	392 修繕	393 装飾	394 建造	395 土木	396 耕作	397 牧畜	398 狩猟	399 採取	

【人事】

大分類	中分類	小分類									
4 心情	40 感覚	400 感じ	401 意識	402 狂気	403 酔い	404 睡眠	405 疲労	406 飢渴	407 味見	408 痛み	409 痙攣
	41 思考	410 心	411 思考	412 判断	413 認識	414 比較	415 識別	416 信疑	417 過誤	418 証明	419 立案
	42 学習	420 学習	421 練習	422 模倣	423 記憶	424 研究	425 調査	426 搜索	427 試験	428 計算	429 出題
	43 意向	430 意	431 欲望	432 願望	433 注意	434 用意	435 決意	436 奮起	437 執着	438 勤怠	439 忍耐
	44 要求	440 要求	441 頼み	442 諾否	443 許否	444 認否	445 賛否	446 協力	447 交渉	448 約束	449 権利
	45 誘導	450 勧誘	451 奨励	452 命令	453 束縛	454 誘導	455 指導	456 欺瞞	457 妨害	458 救助	459 保護
	46 闘争	460 闘争	461 紛争	462 競争	463 勝敗	464 攻防	465 討伐	466 征服	467 叛服	468 復讐	469 侵害
	47 栄辱	470 褒貶	471 賞罰	472 叱責	473 非難	474 尊敬	475 尊重	476 感謝	477 栄辱	478 自尊	479 驕り
	48 愛憎	480 人情	481 愛憎	482 恋愛	483 思慕	484 好悪	485 威嚇	486 同情	487 恩恵	488 親近	489 待遇
	49 悲喜	490 感情	491 感動	492 苦楽	493 悲喜	494 安心	495 満足	496 焦慮	497 恐怖	498 怒り	499 驚き

【人事】

大分類	中分類	小分類									
5 人物	50 人称	500 人称	501 自称	502 対称	503 他称	504 不定称	505 自他	506 公私	507 人	508 接尾辞	509 接辞
	51 老若	510 老若	511 男女	512 幼児	513 少年	514 青年	515 成人	516 老人	517 障害者	518 病人	519 死人
	52 親族	520 家族	521 夫婦	522 父母	523 子	524 孫	525 兄弟	526 祖父母	527 先祖	528 親族	529 伯父伯母
	53 仲間	530 仲間	531 成員	532 相手	533 友人	534 恋人	535 主客	536 住民	537 民衆	538 国民	539 民族
	54 地位	540 君臣	541 主従	542 首長	543 治者	544 目上目下	545 師弟	546 将卒	547 貴賤	548 貧富	549 労資
	55 役割	550 創始者	551 首脳	552 担当者	553 当事者	554 使者	555 所有者	556 仕手	557 筆者読者	558 役者	559 選手
	56 生産的 職業	560 業者	561 作業員	562 職人	563 運送人	564 乗務員	565 商人	566 農民	567 牛飼い	568 猟師	569 樵
	57 サービシ的 職業	570 役人	571 軍人	572 教育者	573 文筆家	574 芸術家	575 俳優	576 僧俗	577 医者	578 事務員	579 使用人
	58 人物	580 偉人	581 賢者	582 第一人者	583 勇者	584 働き者	585 趣味人	586 変人	587 善人	588 賊	589 罪人
	59 神仏	590 神仏	591 天帝	592 化身	593 天使	594 仙人	595 靈魂	596 魔物	597 鬼	598 化け物	599 憑き物

【人事】

大分類	中分類	小分類									
		6 性 向 对人	60 体格	600 身体	601 胴体	602 手足	603 乳房	604 皮膚	605 体毛	606 体格	607 健康
61 容貌	610 顔		611 容貌	612 頭	613 目	614 鼻	615 耳	616 毛髮	617 ほくろ	618 口	619 齒
62 姿態	620 姿態		621 裸	622 上品	623 威厳	624 美麗	625 男性的	626 魅惑的	627 可愛げ	628 滑稽	629 若気
63 身振り	630 身振り		631 機敏	632 乱暴	633 平静	634 茫然	635 足取り	636 話し振り	637 笑い方	638 目付き	639 食へ振り
64 態度	640 態度		641 熱心	642 積極的	643 執拗	644 入念	645 慎重	646 悠長	647 真面目	648 勇敢	649 贅沢
65 態度	650 人当たり		651 有縁	652 親疎	653 愛想	654 親切	655 寛厳	656 高慢	657 丁重	658 公平	659 公然
66 性格	660 性格		661 習性	662 温和	663 善良	664 無欲	665 強情	666 剛健	667 気長	668 陽気	669 好色
67 才能	670 力		671 能力	672 知恵	673 賢愚	674 敏感	675 学識	676 趣味	677 技量	678 巧拙	679 業績
68 境遇	680 境遇		681 身上	682 地位	683 貴賤	684 貧富	685 運命	686 禍福	687 安否	688 災難	689 繁忙
69 心境	690 気持ち		691 愉快	692 上機嫌	693 安楽	694 安心	695 無気味	696 満足	697 優越感	698 好き嫌い	699 痛切

【文化】

大分類	中分類	小分類									
		7 社 会	70 地域	700 範囲	701 跡形	702 場所	703 土地	704 領土	705 都道府県	706 都会	707 村落
71 集団	710 群集		711 集会	712 加入	713 団体	714 軍隊	715 党派	716 界	717 家庭	718 社会	719 国家
72 施設	720 施設		721 役所	722 学校	723 公共施設	724 仕事場	725 駅港	726 城塞	727 社寺	728 住居	729 店舗
73 統治	730 支配		731 統治	732 治乱	733 機関	734 掟	735 犯罪	736 検挙	737 訴訟	738 裁判	739 刑罰
74 取引	740 経済		741 取引	742 売買	743 騰落	744 損得	745 収支	746 費用	747 貨財	748 賃金	749 税
75 報道	750 報道		751 伝達	752 発表	753 流布	754 評判	755 音信	756 通信	757 編集	758 印刷	759 出版
76 習俗	760 習俗		761 流行	762 伝承	763 文化	764 儀式	765 慶弔	766 参拝	767 宗教	768 信仰	769 行事
77 処世	770 処世		771 経歴	772 籍	773 相続	774 結婚	775 学事	776 出処進退	777 任免	778 推挙	779 栄達
78 社交	780 交際		781 出会い	782 招致	783 同伴	784 送迎	785 出欠	786 訪問	787 応対	788 仲介	789 挨拶
79 人倫	790 間柄		791 人道	792 道徳	793 節操	794 恩義	795 奉仕	796 信頼	797 善悪	798 罪悪	799 姦淫

【文化】

大分類	中分類	小分類									
		80 學術	800 學問	801 分科	802 論說	803 主義	804 奥義	805 資料	806 題目	807 著作	808 作品
81 論理	810 論理	811 事柄	812 実体	813 概念	814 意味	815 要点	816 概要	817 理由	818 目的	819 方法	
82 記号	820 記号	821 文字	822 名称	823 番号	824 図表	825 式	826 曆	827 干支	828 単位	829 助数詞	
83 言語	830 言葉	831 音韻	832 文法	833 単語	834 接辞	835 文句	836 話	837 諺	838 洒落	839 修辞	
84 文書	840 文章	841 章節	842 文体	843 表記	844 原稿	845 文書	846 書簡	847 刊行物	848 書物	849 目録	
85 文学	850 芸術	851 文学	852 詩歌	853 創作	854 説話	855 小説	856 構想	857 記録	858 戯曲	859 文芸用語	
86 美術	860 美術	861 絵画	862 図画	863 書芸	864 写真	865 撮影	866 肖像	867 彫刻	868 工芸	869 意匠	
87 音楽	870 音楽	871 演奏	872 歌謡	873 歌唱	874 楽曲	875 調子	876 音階	877 拍子	878 旋律	879 声域	
88 芸能	880 芸	881 演劇	882 映画	883 出演	884 興行	885 見世物	886 芸当	887 舞踊	888 諸芸	889 武芸	
89 娯楽	890 娯楽	891 遊び	892 見物	893 旅行	894 散歩	895 納涼	896 遊獵	897 ゲーム	898 スポーツ	899 球技用語	

【文化】

大分類	中分類	小分類									
		90 物資	900 物品	901 物資	902 紙	903 木材	904 石材	905 鉄材	906 燃料	907 油	908 肥料
91 薬品	910 薬剂	911 医薬類	912 薬品類	913 農薬類	914 化粧品類	915 香料	916 塗料	917 染料	918 接着剂	919 火薬	
92 食品	920 食物	921 穀物	922 飯	923 料理	924 食品	925 調味料	926 食肉	927 野菜	928 菓子	929 飲料	
93 衣類	930 衣料	931 糸	932 織物	933 衣服	934 衣服部分	935 衣服付属	936 帽子	937 履き物	938 寝具	939 装身具	
94 建物	940 建物	941 部屋	942 建物部分	943 建物付属	944 建具	945 敷物	946 幕	947 日覆い	948 門	949 塀垣	
95 家具	950 道具	951 卓	952 箱類	953 容器	954 籠	955 袋	956 食器	957 冷暖房具	958 灯火	959 家庭用具	
96 文具	960 学用品	961 筆記具	962 帳面	963 本巻物	964 玩具	965 人形	966 遊戯具	967 運動具	968 楽器	969 鐘	
97 標識	970 標識	971 記章	972 碑	973 旗	974 札	975 貨幣	976 くじ	977 指針	978 印章	979 飾り物	
98 工具	980 工具	981 錠鍵	982 ハンドル	983 針ねじ	984 棒竿	985 輪	986 管	987 針金	988 農具	989 刃物	
99 機械	990 機械	991 原動機	992 電気機具	993 光学器械	994 計器	995 兵器	996 乗り物	997 車両	998 船舶	999 航空機	

学研 パーソナルカタカナ語辞典

パーソナルカタカナ語辞典編集要旨

見出し語の表記

- 1 原則として平成3年内閣告示「外来語の表記」の趣旨にしたがいながら、新聞などで一般的によく使われている表記を用いた。
- 2 エ行やオ行の長音は、原則として「エー」「オー」の表記を優先にしている。ただし、慣用として「エイ」や「オウ」が一般的なものは、それにしめたものもある。
(例) ボール・ペン ボウリング(スポーツ)
- 3 原語がvのものは「ヴ」を用いず「バ」行を用いた。ただし、商標や固有名詞のものは「ヴ」にしめた。
(例) ビレッジ イヴ・サンローラン
- 4 原語のdi、tiには「ジ」「ディ」「チ」「ティ」の2通りの表記法があるが、慣例にしめた。
(例) ジレンマ ディレクトリー
- 5 語末の長音は、理化学用語などでは省略されることが多いが、長音のままとした。
(例) コンピューター
- 6 複合語は、原語が分かれている場合にだけ・を置いた。

配列

- 1 配列は、カタカナ部分だけでなく、漢字・数字・アルファベットまでもカナに変えた読みで五十音順とした。
- 2 長音符(ー)の読みと・は省略して、配列した。
(例) グリーンGDP(ぐりんじでいび)
- 3 同じ読みで長音符のある語とない語では、ないものを前に置いた。
- 4 清音、濁音、半濁音の順番に配列した。

- 5 原語の異なる同音語や同じつづりでも語源の異なる語は別見出し語とし、右肩に123…の数字を付けて区別した。

原語の表記

- 1 原語は見出し語の直後に【 】にくくって入れた。
- 2 原語名を原語の直後に置いて示した。ただし、原語が英語のものはそれを表記していない。また、商標や地名などは、原語名を省略した。
- 3 原語の英語は、基本的にイギリス式つづりよりもアメリカ式つづりを採用した。
- 4 ギリシャ語、ロシア語、中国語など、特殊な文字をもつ原語については、ローマ字化して示した。
- 5 植物の属名など学名表記が一般的なものはラテン語で表した。
- 6 漢字・平仮名とカタカナが混じたもので、原語が特定できないものは、その部分をダッシュで省略した。
(例) ミサイル療法【missile -】
- 7 原語のないもの、示しようのないものは原語表記をしていないものがある。
- 8 商標に関しては、全部が大文字のものでも、本辞典では語頭のみ大文字で表記した。

和製語

- 1 和製語のものは【 】内の原語の後に**和**を入れた。
- 2 原語が変化したものや省略されたものは、その語に「<」を用いて記し、和製語と同じ扱いとした。
(例) ジルバ【<jitterbug】
- 3 漢字や仮名の混じた語は、**和**を入れていない。
- 4 複数の外国語からなる複合語は+を用いて表した。
(例) アルペン・スキー【Alpen トイ + ski **和**】

- 5 原語はその外国語としては成立するが、意味が極めて日本独自の内容で用いられているものなどには、本文中に「和製用法」の記述を入れた。

本文中の語義と記号

- 1 語義に複数の意味があるときは、①②③…を用いて示した。
- 2 補注と記号
 - * 同義のカタカナ語、略語・記号などを示した。
 - ◇ 用例を示した。
 - ◆ 語源や類語解説、補足説明などを必要に応じて記述した。
 - ⇒ 参照語を示した。
 - ⇒ 解説: 見出し語と同義であり、くわしい解説があることを示した。
 - ⇒ ⇔ 反対語、対語を示した。
 - 【 】 原義や他の外国語での表記など、原語上の注記を与えた。
- 3 分野表記

必要に応じて《 》でくくり、特定分野などの表示をした。

宇…宇宙 気…気象 経…経済・経営 航…航空
鉱…鉱物 社…社会学 宗…宗教 心…心理
生化…生化学 俗…俗語 地…地学 天…天文学
電…電気 電算…コンピューター 美…美術 服…服飾
理…物理 アメフト…アメリカン・フットボール
フィギュア…フィギュア・スケート 造語…造語成分
など
- 4 商標に関しては、多くを《商標》として記したが、主に商品名にとどめ、企業名などはその表記を省略した。

漢字源 (JIS版)

親字について

収録の範囲

親字(見出しになっている漢字)は、JIS(日本工業規格)の「情報交換用漢字符号」(X-0208-1990)に掲載されている第一水準、第二水準の漢字6,355字を収録した。

部首について

部首の分け方は「康熙字典」(1716年に完成した中国の字書)に準じている。ただし、その漢字の成り立ちから判断して他の部首に入れた漢字もある。また「康熙字典」では同じ部首であったが、二つにわけたものもある。

(例 刀部と刂部、心部と忄部、手部と扌部)

親字見出しについて

- ①『常用』、『人名用』はそれぞれその漢字が常用漢字・人名用漢字であることを示す。『一年』『二年』『三年』『四年』『五年』『六年』はその漢字が学年配当漢字(いわゆる学習漢字)であり、その学年に配当されていることを示している。
- ②『常読』は、「常用漢字表」に示されている音訓を示した。訓読みで「・」からあとは送りがなを示す。
- ③『字音』は、漢字音(音読み)を示す。()内は歴史的かな遣いをあらわし、(漢)・(呉)・(慣)などは、漢音・呉音・慣用音などの区別を示す。
- ④『音読』は意味読み(訓読み)を示す。
- ⑤旧字体は、「常用漢字表」に示される以前の字体で、JIS漢字

中にあるもののみを示した。「常用漢字表」に示された新字体が、二つ以上の旧字体の音と意味をもっている場合は、(A)、(B)で区別した。

- ⑥異体字は、音と意味が同じで形が違う漢字を示した。

〈意味〉について

- ①親字の意味を①②③…の順に記述した。その際、その漢字の成り立ちに基づく原義(本来の意味)を第一として、順次、派生した意味に及ぶようにした。
- ②用法上から分類した品詞名を①②③…の後に示した。その際の品詞の分類は、漢語の文法で一般に使われるものによった。
- ③品詞の後の()内は歴史的かな遣いをあらわし、またその漢字が漢文訓読の際、サ変動詞・形容動詞・副詞に用いられるものは、その形を品詞の前に()で示した。
- ④漢字本来の意味と異なった日本語特有の意味がある場合は、(国)をつけて、①②③…の順に記述した。その際、品詞名は省略した。
- ⑤その漢字の意味に、同義(同じ意味)・類義(似た意味)・反義(反対の意味)または対義(対称の意味)の漢字がある場合はそれを(同)(類)(対)として示した。

〈解字〉と〈単語家族〉について

- ①漢字の成り立ちを〈解字〉で解説した。その際、その漢字の六書(リクシヨ)〔漢字の四つの造字法と二つの使用法〕を冒頭に示した。
- ②漢字の成り立ちや、意味がさらによく理解できるように、〈単語家族〉の欄で同じ系統の漢字をまとめて解説した。

〈類義〉について

意味が似ている漢字の使い方の違いを〈類義〉の欄で解説した。

〈異字同訓〉について

訓が同じで、意味に違いがある漢字の用法を、国語審議会漢字部会資料によって解説した。

JISコードについて

その漢字のコードを区点コード、JIS16進コード、シフトJISコードの順で示した。

ピンインについて

〈字音〉欄に〈 〉で、その漢字の現代中国のペキン語による発音を、中国の「漢語ピンイン方案」によるローマ字綴りで示した。

熟語について

収録の範囲

- ① 中国の主な古典に見える語句、故事成語、地名などを収録した。
- ② 日本の主な古典に見える語句及び、現代生活に必要なと思われる難読の語も収録した。
- ③ 仏教の経典に見える主な仏教語も収録した。

配列の方法

熟語の読みの五十音順に示す。

見出しの体裁

同音の漢字による書きかえ(国語審議会漢字部会資料に基づく)字が使用されている場合、書きかえ前の漢字を{ }でくくって

示した。

〈例〉【画(劃)然】(カクゼン)

意味の記述

- ① 意味の記述は原義に近い順に①②③…とした。
- ② 日本語特有の意味がある場合は、(国)をつけて記述した。
- ③ その熟語が仏教語・俗語である場合は(仏)(俗)の記号で示した。(俗)には宋・元・明代の俗語から現代中国語まで含まれる。
- ④ その熟語と偏(ヘン)や旁(ツクリ)が異なるだけで、同音同義の熟語は次のように示した。
〈例〉【偏旁】(ヘンパウ)の説明文中において =偏傍・扁旁と表記。
- ⑤ 一字目が同じで、意味が同じ熟語は、{ }をつけて示した。
〈例〉【倫次】(リンジ)の説明文中において{倫序(リンジョ)}と表記。
- ⑥ その熟語と同義(同じ意味)・類義(似た意味)・反義(反対の意味)または対義(対称の意味)の熟語がある場合は、それぞれ(同)(類)(対)として示した。
- ⑦ 人名については(人)に続けて解説した。
- ⑧ 書物については(書)に続けて解説した。
- ⑨ 熟語の中の故事成語は、(故)で示す。

略語・記号一覧

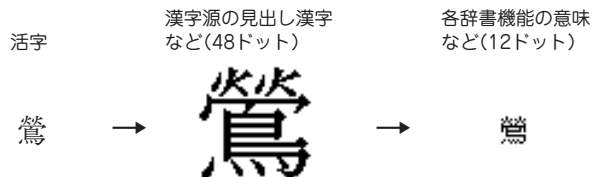
(呉)	呉音	(仏)	仏教語
(漢)	漢音	(俗)	俗語
(唐)	唐宋音	(同)	同音同義の漢字・熟語
(慣)	慣用音	(類)	同義の漢字・熟語
(平)	平声	(対)	反義の漢字・熟語
(上)	上声	(人)	主要な人名の説明
(去)	去声	(書)	主要な書籍の説明
(入)	入声	(故)	故事に関係のある熟語
{名}	名詞	▷	補足説明
{動}	動詞	=	偏や旁が異なるだけで同音同義の熟語
{形}	形容詞	{ }	親字が同じ熟語で、意味も同じ熟語
{副}	副詞	[]	表せない漢字の読み
{助動}	助動詞	常用	常用漢字
{接続}	接続詞	人名用	人名用漢字
{感}	感動詞	国字	日本製の漢字
{指}	指示詞	〈意味〉	親字の意味
{前}	前置詞	〈解字〉	漢字の成り立ち
{代}	代名詞	〈単語家族〉	同じ系統の漢字の説明
{疑}	疑問詞	〈類義〉	意味が似ている漢字の説明
{助}	助辞・接頭辞・接尾辞	〈異字同訓〉	訓が同じで意味に違いがある漢字の用法
{単位}	単位詞	〈参考〉	使用にあたっての注意すべき点
{数}	数詞	〈名付け〉	名前をつけるときに使う読み方
(国)	日本語特有の意味	〈難読〉	読み方の難しい熟語
		〈注〉	他の親字の熟語を参照

参 考

字形について

- この製品に使われている漢字の字形はJIS-X0208-1990の漢字表に準拠していますので、一般の辞典などで採用されている文字と字形が異なるものがあります。
- ただし、JISの漢字表以外の漢字も一部含まれています。
- また、限られたドット数で文字を構成しているため、一部の漢字は略字を用いています。

【例】



コンテンツ(辞書など)の表現の違いについて

- この製品は、基本的に各コンテンツ(辞書など)の内容を変更することなく収録しています。このため、同じ語を別々の辞書などで引いた場合、表現などに違いがあることがあります。

コンテンツの内容について

- この製品に収録されている各コンテンツで書籍が刊行されているものの内容は、基本的に書籍版の内容を変更することなく収録しておりますが、画面表示の都合、その他の事情により、各出版社の監修に基づいて一部内容を変更していることがあります。

参考にしてほしいこと

この製品は精密な電子機器です。長くご愛用いただくための注意点など、参考にしていただきたいことをまとめています。よく読んで正しく使ってください。

電池交換のしかた

電池が消耗すると、音が鳴らなくなったり、電源が切れて入らなくなったりします。必ず以降の内容をよくお読みの方え、電池交換は十分注意して行ってください。

使用している電池

種類	形名	個数
アルカリ乾電池 単4形	LR03	2本


※ 指定している電池以外は使用しないでください。電池容量、電圧が異なるため、誤動作や故障の原因となります。

ご注意

冒頭の「安全にお使いいただくために」もよく読んでお取り扱いください。

- 製品を長時間使わないときは電池を取り外しておいてください。
- 消耗した電池をそのままにしておきますと、液もれにより製品を傷めることがあります。
- 付属の電池は工場出荷時に入れていますので、所定の連続使用時間に満たないうちに寿命が切れることがあります。

電池の交換時期

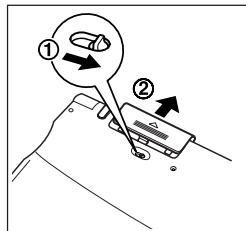
画面右上に“”が表示されたとき、または電源を入れたときに「電池を交換してください」とのメッセージが表示された場合は電池が消耗しています。速やかに電池を交換してください。

メモ 電池について

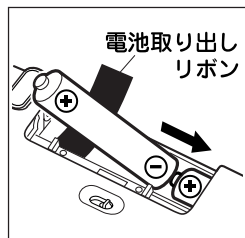
- 電池の使用時間は、約100時間です。(カード非装着、常温25℃で連続表示のとき。)
- ※ 電池の種類(メーカー)、使用温度、使用状態によっては電池の寿命が短くなります。

電池の交換手順

- 1 電源を切ります。
- 2 本体裏面の電池ふたスイッチを“解除”側にします。
- 3 電池ふたを矢印の方向に水平に引いて外します。
- 4 消耗した電池を取り出します。
リボンの先端を引き、2本とも取り出してください。



- 5 新しい電池を入れます。
2本とも新しい電池に交換してください。また、向きをまちがえないように入れてください。
 - リボンの上から電池を入れます。リボンの先端が電池の下に隠れないようにしてください。



- 6 電池ふたをもとどおり水平に差し込んで取り付けます。

- 7 電池ふたスイッチを“ロック”側にします。
- 8 本体を開き、**入/切** を押して電源が入ることを確認してください。
もし、電源が入らないときは2~8の手順をもう一度行い、電池を入れ直してください。
それでも電源が入らないときは次ページのリセット操作を行ってください。
- 9 画面に従って、表示濃度の調整、キータッチ音の設定を行ってください(3ページの手順7以降を参照)。

異常が発生したときの処理

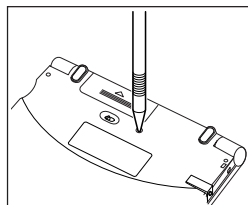
ご使用中に強度の外来ノイズや強いショックを受けた場合など、ごくまれに **クリア** も含めたすべてのキーが働かなくなるなどの異常が発生することがあります。このときは、以下のリセット操作をしてください。

リセット操作

1 本体裏側のリセットスイッチをボールペンなどで押します。

初期化の確認画面が表示されます。

- リセットスイッチの操作に、先の折れやすいものや先のとがったものは使用しないでください。



2 本体を開き、下記のように表示されていることを確認して **[N]** キーを押します。

初期化すると、単語帳/しおり/各種設定の内容が消えて初期状態になります
(コンテンツのデータは消えません)

初期化しますか?

[Y]はい [N]いいえ

- [Y]キーを押すと初期化します
- [N]キーを押すと初期化しません

表示濃度の調整画面が表示されます。

3 画面に従って、表示濃度の調整、キータッチ音の設定を行ってください(3ページの手順7以降を参照)。

異常を知らせるメッセージが表示されたときは

電源を入れたときなどに、

**初期化されていないか
異常が発生しています**

リセットを押してください

などと表示される場合があります。

このような場合は左のリセット操作の手順2で、**[N]** キーの代わりに **[Y]** キーを押して、この製品を初期化してください。

- この操作により、単語帳の登録データ、電卓のメモリー、しおりの内容が消去され、My辞書の設定内容、通貨換算の設定内容、「各種設定」の設定内容、消費税電卓の税率(初期状態：5%)などが初期の状態に戻ります。

ローマ字 → かな変換表

あ行	A	I	U	E	O
ぁ行	XA	XI	XU	XE	XO
か行	KA CA	KI	KU CU QU	KE	KO CO
さ行	SA	SI SHI	SU	SE	SO
た行	TA	TI CHI	TU TSU	TE	TO
っ行			XTU		
な行	NA	NI	NU	NE	NO
は行	HA	HI	HU FU	HE	HO
ま行	MA	MI	MU	ME	MO
や行	YA		YU		YO
ゃ行	XYA		XYU		XYO
ら行	RA LA	RI LI	RU LU	RE LE	RO LO
わ行	WA	WYI(ゐ)		WYE(ゑ)	WO(を)
っゃ行	XWA				
ん	N	NN	NX		

う行			VU		
が行	GA	GI	GU	GE	GO
ざ行	ZA	ZI JI	ZU	ZE	ZO
だ行	DA	DI	DU	DE	DO
ば行	BA	BI	BU	BE	BO
ぱ行	PA	PI	PU	PE	PO

注) 表中の行名は、つづりを探し易くするために便宜上つけた名称です。

いえ行				YE	
うぁ行	WHA	WI WHI		WE WHE	WHO
きゃ行	KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
くぁ行	QA KWA	QI KWI QWI		QE KWE QWE	QO KWO QWO
しゃ行	SHA SYA	SYI	SHU SYU	SHE SYE	SHO SYO
ちゃ行	CHA CYA TYA	CYI TYI	CHU CYU TYU	CHE CYE TYE	CHO CYO TYO
つぁ行	TSA	TSI		TSE	TSO
てゃ行	THA	THI	THU	THE	THO
とう行			TWU		
にゃ行	NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひゃ行	HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
ふぁ行	FA HWA	FI HWI FYI		FE HWE FYE	FO HWO
ふゃ行	FYA		FYU		FYO
みゃ行	MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
りゃ行	RYA LYA	RYI LYI	RYU LYU	RYE LYE	RYO LYO
うぁ行	VA	VI		VE	VO
づゅ行			VYU		
ぎゃ行	GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
くぁ行	GWA	GWI	GWU	GWE	GWO
じゃ行	JA JYA ZYA	JYI ZYI	JU JYU ZYU	JE JYE ZYE	JO JYO ZYO
ぢゃ行	DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
でゃ行	DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
どう行			DWU		
びゃ行	BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃ行	PYA	PYI	PYU	PYE	PYO

撥音(はつおん)の入力

“ん”の次に母音または“Y”がくるときや、“ん”で終わるときは“NN”と入力する。または“N”の後ろに“X”をつける。

ほんやく → HONNYAKU (HONXYAKU)

はんい → HANNI (HANXI)

ほん → HONN (HONX)

- 上記以外るとき

ほんき → HONKI

促音(そくおん)の入力

“N”以外の子音を重ねる。または“XTU”と入力する。

けっか → KEKKA (KEXTUKA)

とっきゅう → TOKKYUU (TOXTUKYUU)

変換できないローマ字のつづりを入れたときは

この製品は、ローマ字のつづりを入力する場合、1字入力するごとに、かなに変換できる候補の有無を確認し、一致すればかなに変換します。もし、候補がないときは、先頭の文字を削除して候補の有無を確認します。それでも候補がない場合は、もう1字削除して確認します。

	入力操作	表示
例 1	Q W →	q w
	A →	わ (qが削除されwaを変換)
例 2	K Y →	k y
	W →	w (k yが削除されwが残る)
	O →	を (woを変換)

仕 様

形 名	PW-V8900
品 名	電子辞書
表 示	320×240ドット液晶表示
電卓機能	計算桁数：12桁 消費税電卓（税込／税抜計算、加減乗除、メモリー、パーセント計算など） 通貨換算、単位換算、年号計算、年齢計算
出力端子	イヤホン端子(3.5φ)
使用温度	0℃～40℃
電 源	3V ㊄ (DC)：アルカリ乾電池 単4形(LR03)2本
消費電力	0.43 W
使用時間	約100時間（カード非装着、使用温度25℃で連続表示の場合） 約 55時間（カード非装着、使用温度25℃で、1時間あたり表示状態を55分、検索を5分間行った場合） 約 45時間（カード非装着、使用温度25℃で、1時間あたり表示状態を55分、検索を4分間、音声出力を1分間行った場合） ※ 使用環境やカードのご使用により、使用時間が短くなることがあります。
質 量	約 259 g(電池を含む)
外形寸法	幅140mm×奥行106.8mm×厚さ19.5mm(最厚部) 厚さ13.9mm(最薄部)
付 属 品	アルカリ乾電池 単4形2本、イヤホン、保護カード、取扱説明書、お客様ご相談窓口のご案内

収 録 数

リーダーズ英和辞典	： 約270,000語
リーダーズ・プラス	： 約190,000語
ジーニアス英和大辞典	： 約255,000語
ジーニアス和英辞典	： 約82,000語
OXFORD英英辞典	： 語数…約355,000語 （うち百科事典的項目 約12,000 項目） 例文…約66,000例
OXFORD現代英英辞典	： 語数…約80,000語 例文…約82,000例
OXFORD Thesaurus(類語)	： 約365,000語
OXFORD Collocations(連語)	： 語数…約 9,000語 例数…約150,000例
英和活用大辞典	： 約380,000用例
TOEIC® テスト	英単語・熟語マスタリー2000： 2,000単熟語
TOEIC® テストの英文法	： 600項目
語源で覚える「英単語」2000	： 2,000語
英会話とっさのひとこと辞典	： 例文…約8,000例
英会話Make it!	： 基本表現編 例文…約2,600例 場面攻略編 例文…約2,400例
英文ビジネスレター事典	： 項目…約1,600項目 例文…約4,000例
広辞苑	： 約230,000項目
逆引き広辞苑	： 約230,000項目
類語新辞典	： 約50,000語
パーソナルカタカナ語辞典	： 約28,000語
漢字源(JIS版)	： 漢字…6,355字(JIS第1/2水準) 熟語…約45,000語

アフターサービスについて

保証について

1. この製品には取扱説明書の巻末に保証書がついています。
保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
2. 保証期間は、お買いあげの日から1年間です。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
3. 保証期間後の修理は…
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は電子辞書の補修用性能部品を製造打切後7年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

1. 異常があるときは使用をやめて、お買いあげの販売店にこの製品を **お持込み** のうえ、修理をお申しつけください。ご自分での修理はしないでください。
2. アフターサービスについてわからないことは…
お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

お問い合わせは

この製品についてのご意見、ご質問は、もよりのお客様ご相談窓口へお申しつけください。
付属の「お客様ご相談窓口のご案内」とおり、全国にお客様ご相談窓口を設けております。

この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント/LCFONTおよびLCロゴマークは、シャープ株式会社の登録商標です。
ただし記号など、一部LCフォントでないものもあります。



よくあるご質問

ご質問内容	対応方法(回答)
表示が濃い・薄い	<ul style="list-style-type: none"> ● 機能 ◀ (淡く) 機能 ▶ (濃く) と押して、表示を見やすい濃度に調整してください(☞21ページ)。
キータッチ音は消せますか	キータッチ音の「鳴る(入)／鳴らない(切)」を切り替えるときは、 メニュー ① ④ と押して各種設定画面にし、 ② キーを押します(☞20ページ)。
調べたい語が出てこない	<p>次のことを確認してみてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 読みかたは正しいですか。別の読みかたではありませんか。 ● 「つ」と「っ」など、大きい文字と小さい文字がまちがって入力されていませんか。 ● 「ば」と「ぱ」など、濁音や半濁音がまちがって入力されていませんか。 ● 「づ」と「ず」、「ぢ」と「じ」などの使いかたが違っていませんか。
調べたい単語が出てこない	単語は変化形ではありませんか。変化形で出てこないときは原形で調べてみてください。
読みのわからない漢字の調べかたは...	部品の読みや、部首画数、総画数で調べることができます(☞96ページ)。
“?”や“~”が使える機能は?	ワイルドカード“?”、ブランクワード“~”は、広辞苑、類語新辞典、英和大辞典、和英辞典、英英辞典(ODE、OALD)などで使えます(☞28ページ)。逆引き広辞苑などでは使えません。
ローマ字で思うように入力できない	277～278ページをご参照いただいて入力してください。 広辞苑の読み入力などで、 A や S を押しても何も入らないときは、「50音かな入力」方法になっていると思われます。 メニュー ① ④ と押して各種設定画面にし、 ③ キーを押してかな入力方法を切り替えてみてください(☞20ページ)。
「50音かな入力」ができない キーを押すと「っっっ…」と小さい「っ」が入る	かなの入力方式が「ローマ字かな入力方式」になっていると思われます。 メニュー ① ④ と押して各種設定画面にし、 ③ キーを押してかな入力方法を切り替えてみてください(☞20ページ)。

ご質問内容	対応方法(回答)
広辞苑で表や図を見ることはできますか	画面で表や図を見ることはできません。 説明の中に“→表、図”とあるときは、取扱説明書の220～259ページに収録されている表や図の中から、調べた語に該当するものを参照してください。
消費税の税率が変わってしまったら... レートが変わったら...	消費税の税率や、通貨の換算レートは変更することができます。107ページをご覧ください、設定を変更してご使用ください。
国名などが変わっている 古いデータになっている	この製品は、書籍版のコンテンツ(辞書など)のデータを収録しておりますので、その辞書などの記述に合わせております。
オプションで辞書などのデータをパソコンに取り込んだり、印刷する機器はありませんか	辞書などの内容は各出版社等の著作物であり、著作権保護のうえから、そのようなオプション機器は用意しておりません。
検索したリストに同じ見出し語が複数個表示されることがあるのはなぜ...	1つの見出し語に複数の語が収録されている場合、個々の語に対して検索を行うので、同じ見出し語が複数個表示されることがあります。
ジャンプ機能で、ほかの辞書などにもあるはずの語へジャンプできない	辞書などにより見出し語などに使われる文字の種類や表記のしかたが違うことがあり、このような場合は違う言葉と判断されるためジャンプできません。 例 表記の違い: 取替え (広辞苑) 取り替え (和英)
充電式電池は使えますか?	お使いいただくことはできません。アルカリ乾電池をご使用ください。 充電式電池とアルカリ乾電池では、電圧や電気特性が異なるため、誤動作や故障の原因となります。
市販のSDメモリーカードは使えますか?	本電子辞書では、専用のコンテンツカードがご利用いただけます。市販のSDメモリーカードはご利用いただけません。
英和大辞典などで数字を含む見出し語を引く方法は?	見出し語の読みどおりにアルファベットで入力して検索します。 例 2 → two 3 → three 24 → twentyfour

ご質問内容	対応方法(回答)
音声の再生ができない	<p>本体右側の音量調整ダイヤルが小さい音量になっていませんか。調整してみてください(☞32ページ)。</p> <p>本体左側のイヤホン端子にイヤホンのプラグが接続されていませんか。接続されているとスピーカーから音が出ません。</p> <p>電池が消耗している可能性があります。乾電池を交換してみてください(☞274ページ)。</p>

故障かな?と思ったら

次のような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。それでも具合の悪いときは280ページの「アフターサービスについて」をご覧くださいのうえ修理を依頼してください。

こんなとき	ここをお確かめください
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">● 電池が消耗していませんか(☞274ページ)。● 電池が正しい向きで取り付けられていますか(☞275ページ)。● 表示濃度の調整が淡くなりすぎていませんか(☞21ページ)。 ※ 上記のどれでもないときは本体裏側のリセットスイッチを押してください(☞276ページ「異常が発生したときの処理」)。
表示が淡い(濃い)	<ul style="list-style-type: none">● 表示濃度が見やすい濃さに調整されていますか(☞21ページ)。
すべてのキーが働かない	<ul style="list-style-type: none">● 本体裏側のリセットスイッチを押してください(☞276ページ)。
キーを押したとき“ピッ”と鳴らない	<ul style="list-style-type: none">● キータッチ音が「切」になっていませんか(☞20ページ)。
文字が入らない 正しく入らない	<ul style="list-style-type: none">● かな入力方法が切り替わっていませんか。かな入力方式を切り替えてみてください(☞20ページ)。
自動的に電源が切れる	<ul style="list-style-type: none">● この製品には、しばらく使わないと自動的に電源が切れるオートパワーオフ機能がついています。 電源が切れるまでの時間は変更することができます(☞20ページ)。
電源を入れると、デモ(商品紹介)の確認画面や「ひとこと英会話」が表示される	<ul style="list-style-type: none">● オープニング設定画面で「表示なし」に設定してください。(☞22ページ)。
カードを装着して電源を入れるとすぐに電源が切れる カードを装着しても「カードが入っていません」と表示される	<ul style="list-style-type: none">● 電池が消耗していませんか。電池を交換してみてください(☞274ページ)。カードを認識しなかった場合は、電池交換後、もう一度カードを入れ直してください。

● 製品についてのお問い合わせは・・

お客様相談センター

東日本相談室 TEL **043-299-8021** FAX **043-299-8280**

西日本相談室 TEL **06-6794-8021** FAX **06-6792-5993**

《受付時間》 月曜～土曜：午前9時～午後6時 日曜・祝日：午前10時～午後5時 (年末年始を除く)

● 修理のご相談は・・

製品に付属の『お客様ご相談窓口のご案内』をご参照ください。

● シャープホームページ

<http://www.sharp.co.jp/>

シャープ株式会社

本社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
情報通信事業本部 〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492